

沖縄子供の貧困緊急対策事業
アンケート調査報告書

平成 30 年 3 月

沖縄県

調査研究業務 受託者

公立大学法人 大阪府立大学 山野則子研究室

目次

はじめに.....	1
I 調査概要.....	2
II 調査結果.....	4
第1章 居場所に関する分析.....	4
1. 回答者の属性.....	4
2. 学年別に見た分析結果.....	11
(1) 居場所に関すること.....	11
(2) 生活環境の変化.....	16
(3) 教育環境の変化.....	22
(4) 社会環境の変化.....	28
3. 居場所の利用頻度別に見た分析結果.....	45
(1) 利用頻度別に見た子どもの特徴.....	45
(2) 利用頻度別に見た子どもの変化.....	48
4. 居場所に来て「良かったと思わない」子どもの特徴.....	73
第2章 支援員に関する分析.....	79
1. 回答者の属性.....	79
2. 単純集計から見た分析結果.....	89
(1) 支援に関すること.....	89
(2) 生活環境・教育環境の変化.....	99
(3) 社会環境の変化.....	106
3. 支援員に会った回数別に見た分析結果.....	111
(1) 支援回数別に見た保護者の特徴.....	111
(2) 支援回数別に見た保護者の変化.....	119
(3) 保護者から見た子どもの変化.....	136
第3章 2016年度との比較.....	147
1. 居場所.....	147
2. 支援員.....	151
III 考察.....	163
1. 居場所に関する分析結果のまとめ.....	163
2. 支援員に関する分析結果のまとめ.....	167
3. 総合考察.....	171
IV 資料.....	178

はじめに

子どもの貧困対策を総合的に推進するにあたり、講ずべき施策の基本となる事項およびその他事項を定めた「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が、第 183 回国会において成立し、2014 年 1 月に施行された。さらに、「子供の貧困対策に関する大綱」が 2014 年 8 月に打ち出された。「貧困の世代間連鎖の解消と積極的な人材育成、子供に視点を置いた切れ目のない施策の実施、子供の貧困の実態を踏まえた対策の推進、子供の貧困に関する指標を設定しその改善に向けて取り組む」など 4 点を中心とした方針が明記され、教育の支援、生活の支援、保護者の就労支援、経済的支援が提示されるとともに、学校を中心にした施策として、学校プラットフォームという仕組みも提示された。

こうした政府の動きを受けて、各自治体においては、子どもの貧困対策について議論され、さまざまな方策が打ち出され、また、取り組みが進められている。沖縄県もその一つである。2017 年 3 月、「沖縄子どもの貧困実態調査事業・報告書」が公表され、貧困の実態把握とその対策に向けた取り組みが進められている。本来は、相対的貧困率は地域ごとに物価の違いもあり等価可処分所得を出し、その中央値の半分以下の世帯の占める割合で示すものであるが、沖縄県では国が出した全国のデータとの比較で見えており、全国では 13.9%のところ、沖縄県では 29.9% (平成 26 年) であったことを公表している。1 人当たりの県民所得が全国で最も低く、母子世帯の出現率が全国 1 位である。このように、沖縄の子どもたちを取り巻く環境は全国の中でも極めて深刻である。こうしたことを背景として、①寄り添い型支援を行う「支援員」の配置、②安心して過ごせる「居場所」の確保、③経済的自立に向けた親の「就労」の支援の 3 つを柱とする「沖縄子供の貧困緊急対策事業」が実施されることとなった。

本調査では、子どもの貧困に関するタウンゼントの定義を元に Child Poverty Action Group (CPAG) が示している、①所得や資産など経済的資本 (capital) の欠如、②健康や教育など人的資本 (human capital: ヒューマンキャピタル) の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本 (social capital: ソーシャルキャピタル) の欠如からなる 3 つの資本の欠如・欠落を基本的な枠組みとし、「沖縄子供の貧困緊急対策事業」の効果的実施に向けた貧困の把握に努めるものである。また今回の子どもから回答を得た居場所の調査では、子どもに所得を聞いていないこと、親とマッチングをしているわけではないことから、先行自治体の調査において、はく奪指標の意味合いで活用した「子どもたちが持っているもの」、「使うことができるもの」を物差しとして活用している。

本報告書は、平成 29 年 12 月に実施した「沖縄子供の貧困緊急対策事業効果測定アンケート調査」を分析したものである。具体的には、子ども用のアンケート (以下、居場所 (子ども用)) と保護者用のアンケート (以下、支援員 (保護者用)) を行い、(1) 居場所 (子ども用)、(2) 支援員 (保護者用) に関し単純集計・クロス集計及び分析を行ったものである。

I 調査概要

1. 調査の目的

子どもたちの未来が生まれ育った環境によって左右されることなく、自分の可能性を追求できる社会の実現を目指し、沖縄子供の貧困緊急対策事業の効果的な実施のため、沖縄県の支援を受けている子どもの現状等を把握することを目的とする。

2. 調査票種別

- (1) 居場所用配布 (子ども用)
- (2) 支援員配布 (保護者用)

3. 調査実施日

平成 29 年 12 月

4. 収集方法・回収状況

市町村が調査票を配布・回収し、受託者が集計。

居場所配布数 2,937 件 回収数 (回収率) 1,745 件 (59.4%)

支援員配布数 749 件 回収数 (回収率) 400 件 (53.4%)

5. 調査実施主体

沖縄県 (子ども生活福祉部子ども未来政策課)

調査研究業務受託者

公立大学法人 大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科

6. 研究者一覧

担当者 公立大学法人大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科

教授 山野 則子 (業務責任者)

研究補助者 大阪府立大学 研究員 野崎 友花 河瀬 麻里 山下 剛徳 若宮 ちひろ

大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 太田 祥貴 藤岡 佳

大阪府立大学 現代システム科学研究科 山村 拓也

大阪府立大学 現代システム科学域 知識情報システム学類 橋本 力

大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類

後藤 恵 田中 佑典

小西 純果 鈴木 円香 西村 征輝 真鍋 里彩

7. データの扱い

本報告書のデータについては「Ⅰ. 調査概要」で述べた方法で収集したものである。調査票では、居場所 27 問、支援員 21 問を調査項目として設計した。なお、報告書においてはパーセンテージを用いて記述し、議論を進める。この中で、パーセンテージで示される数値同士の加・減・除を行う（合計する・差を把握する・何倍かに着目する）ことがあるが、実際に示された数値で算出しても結果が異なることがある。これは、示されている数値は小数第二位以下を四捨五入しているものであり、算出には四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。

また、データ入力の関係上、学年別、居場所の利用頻度別、支援員に会った回数別にみたクロス集計分析では無回答を除いた割合を算出している（多重回答項目は除く）。各質問項目の無回答を含んだ割合については巻末の単純集計表を参照していただきたい。

Ⅱ 調査結果

第1章 居場所に関する分析

1. 回答者の属性

学校区分・学年別

問2 あなたは小学校・中学校・高校の何年生ですか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

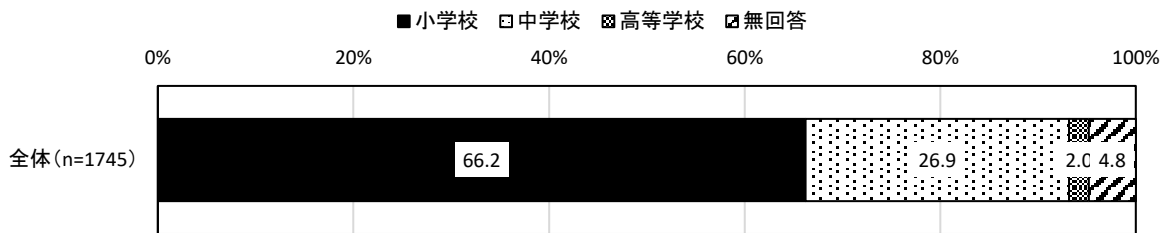


図 1. 学校区分

1745名が有効サンプルである。内訳として「小学校」が1156名で66.2%、「中学校」が470名で26.9%、「高等学校」が35名で2.0%、「無回答」が4.8%である。

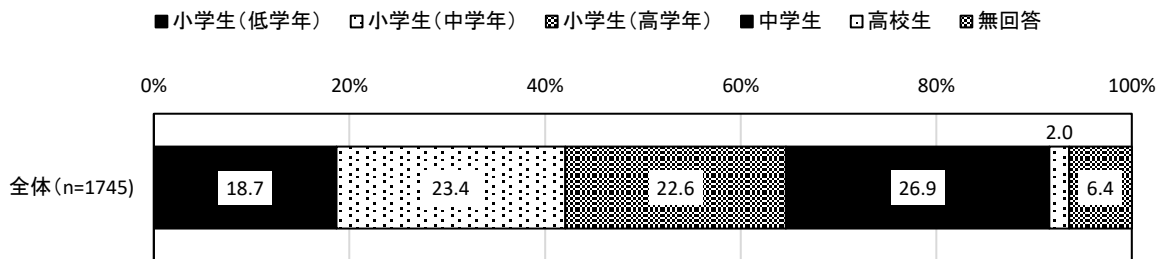


図 2. 学年別

1745名が有効サンプルで内訳として「小学生低学年」が326名で18.7%、「小学生中学年」が408名で23.4%、「小学生高学年」が394名で22.6%、「中学生」が470名で26.9%、「高校生」が35名で2.0%、「無回答」が112名で6.4%である。

* 以下、居場所に関する質問項目では、図2に示す無回答112名を除いた1633名について分析する。分析にあたっては、小学校低学年、中学年、高学年、中学生、高校生および全体という6つの群に分けることとし、この順に図を示す。ただし多重回答は集計の関係上、学年別のみ示している。また、結果の説明については、まず全体の傾向を述べてから、特徴的な群について見ていくこととする。

性別

問1 あなたの性別について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

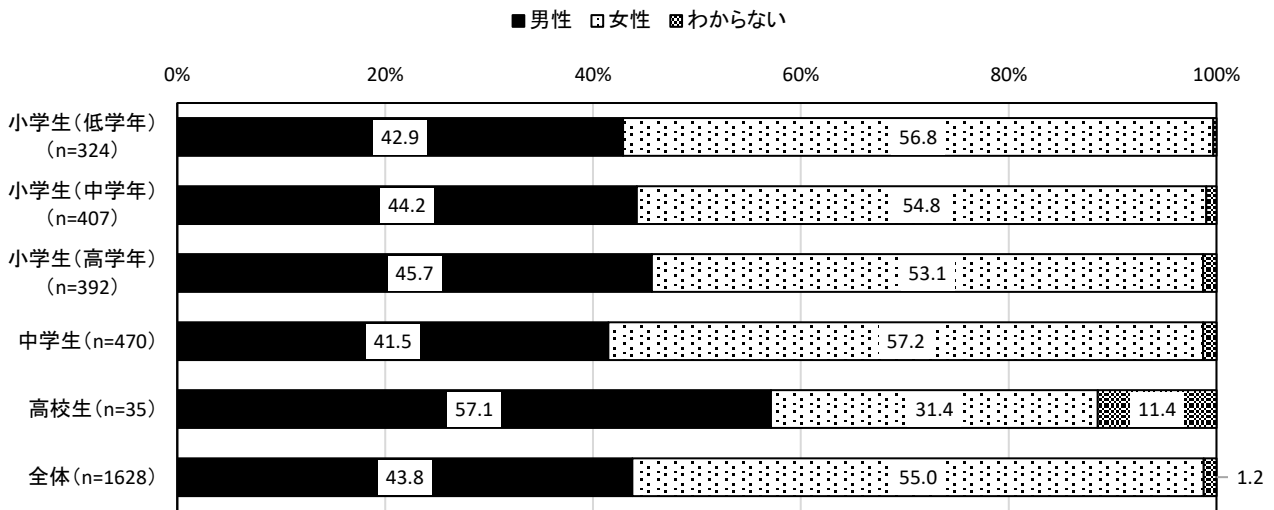


図 3. 性別

子どもの性別について、全体では、「男性」が43.8%、「女性」が55.0%、「わからない」が1.2%である。

小学生低学年では、「男性」が42.9%、「女性」が56.8%、「わからない」が0.3%である。小学生中学年では、「男性」が44.2%、「女性」が54.8%、「わからない」が1.0%である。小学生高学年では、「男性」が45.7%、「女性」が53.1%、「わからない」が1.3%である。中学生では、「男性」が41.5%、「女性」が57.2%、「わからない」が1.3%である。高校生では、「男性」が57.1%、「女性」が31.4%、「わからない」が11.4%である。

世帯構成

問3 いっしょに暮らしている家族について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

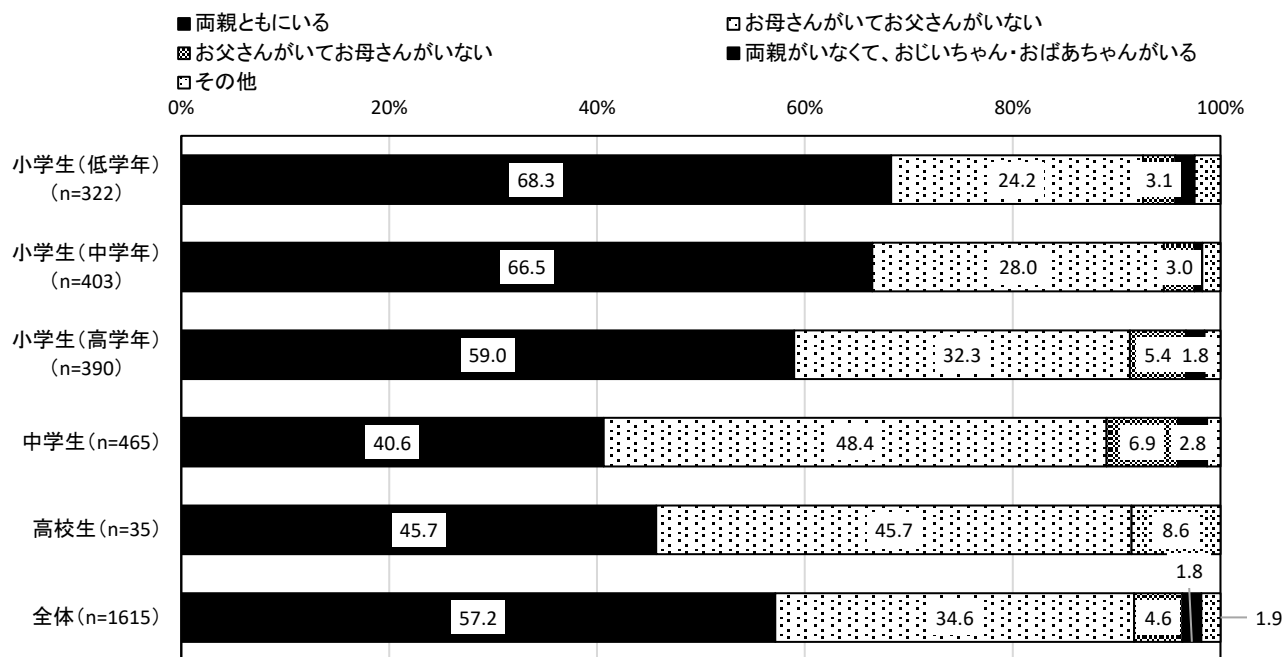


図 4. 世帯構成

世帯構成について、全体では、「両親ともにいる」が57.2%、「お母さんがいてお父さんがいない」が34.6%、「お父さんがいてお母さんがいない」が4.6%、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」が1.8%、「その他」が1.9%である。

小学生低学年では、「両親ともにいる」が68.3%、「お母さんがいてお父さんがいない」が24.2%、「お父さんがいてお母さんがいない」が3.1%、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」が1.9%、「その他」が2.5%である。小学生中学年では、「両親ともにいる」が66.5%、「お母さんがいてお父さんがいない」が28.0%、「お父さんがいてお母さんがいない」が3.0%、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」が0.7%、「その他」が1.7%である。小学生高学年では、「両親ともにいる」が59.0%、「お母さんがいてお父さんがいない」が32.3%、「お父さんがいてお母さんがいない」が5.4%、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」が1.8%、「その他」が1.5%である。中学生では、「両親ともにいる」が40.6%、「お母さんがいてお父さんがいない」が48.4%、「お父さんがいてお母さんがいない」が6.9%、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」が2.8%、「その他」が1.3%である。高校生では、「両親ともにいる」が45.7%、「お母さんがいてお父さんがいない」が45.7%、「お父さんがいてお母さんがいない」および「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」が該当なし、「その他」が8.6%である。

このことから、小学生は「両親ともにいる」が6割程度、中学生・高校生は「両親ともにいる」が4割程度を占めている。

放課後過ごす場所

問7 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

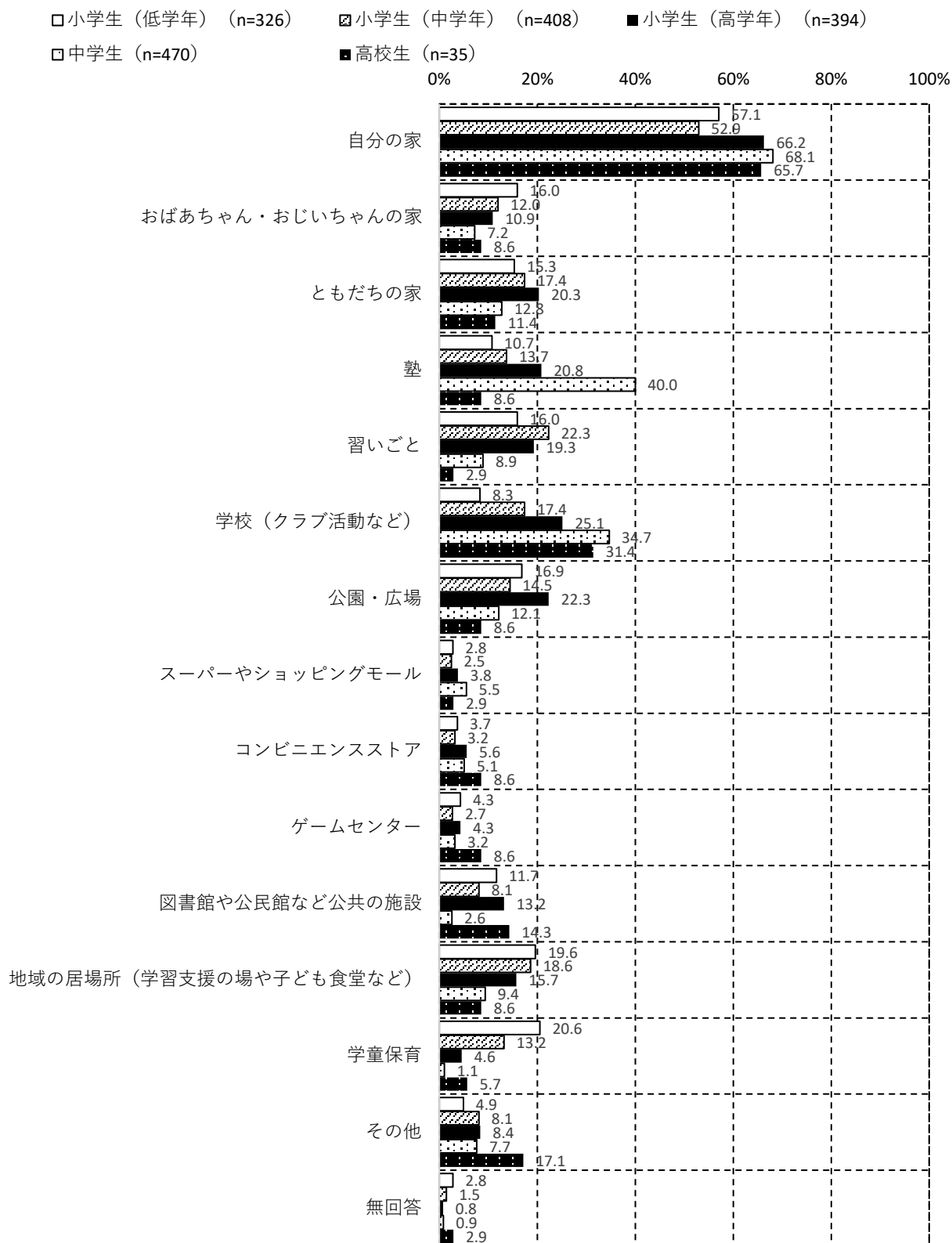


図 5. 放課後過ごす場所

放課後過ごす場所について、子どもたちは様々な場所で放課後を過ごしているが、主な項目を挙げると以下のとおりである。全学年において「自分の家」が6割前後を占めている。

群別にみると、小学生低学年では、「自分の家」が57.1%、「学童保育」が20.6%、「地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など）」が19.6%、「公園・広場」が16.9%、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」および「習いごと」が16.0%の順になっている。

小学生中学年では、「自分の家」が52.9%、「習いごと」が22.3%、「地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など）」が18.6%、「ともだちの家」および「学校（クラブ活動など）」が17.4%、「公園・広場」が14.5%の順になっている。

小学生高学年では、「自分の家」が66.2%、「学校（クラブ活動など）」が25.1%、「公園・広場」が22.3%、「塾」が20.8%、「ともだちの家」が20.3%の順になっている。「地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など）」は15.7%である。

中学生では、「自分の家」が68.1%、「塾」が40.0%、「学校（クラブ活動など）」が34.7%、「ともだちの家」が12.8%、「公園・広場」が12.1%、「地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など）」が9.4%の順になっている。

高校生では、「自分の家」が65.7%、「学校（クラブ活動など）」が31.4%、「その他」が17.1%、「図書館や公民館など公共の施設」が14.3%、「ともだちの家」が11.4%の順になっている。「地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など）」は8.6%である。

持っているもの、使うことができるもの

問8 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

□小学生（低学年）（n=326） ▨小学生（中学年）（n=408） ■小学生（高学年）（n=394）
 □中学生（n=470） ■高校生（n=35）

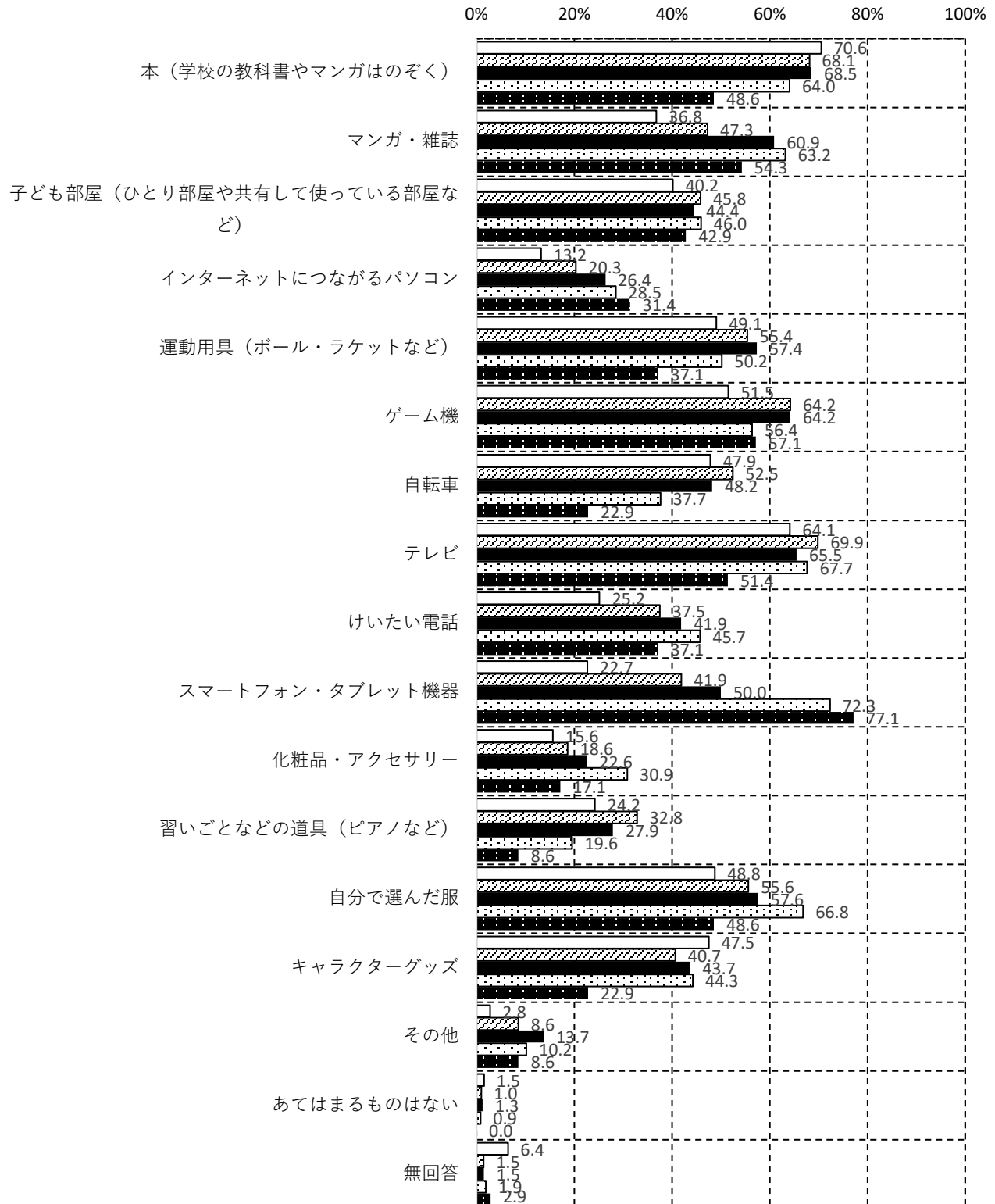


図 6. 持っているもの、使うことができるもの

持っているもの、使うことができるものについて、全体として、多様な項目が選択された。

小学生低学年では、「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」が70.6%、「テレビ」が64.1%、「ゲーム機」が51.5%、「運動用具（ボール・ラケットなど）」が49.1%、「自分で選んだ服」が48.8%になっている。

小学生中学年では、「テレビ」が69.9%、「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」が68.1%、「ゲーム機」が64.2%、「自分で選んだ服」が55.6%、「運動用具（ボール・ラケットなど）」が55.4%になっている。

小学生高学年では、「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」が68.5%、「テレビ」が65.5%、「ゲーム機」が64.2%、「マンガ・雑誌」が60.9%、「自分で選んだ服」が57.6%になっている。

中学生では、「スマートフォン・タブレット機器」が72.3%、「テレビ」が67.7%、「自分で選んだ服」が66.8%、「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」が64.0%、「マンガ・雑誌」が63.2%になっている。

高校生では、「スマートフォン・タブレット機器」が77.1%、「ゲーム機」が57.1%、「マンガ・雑誌」が54.3%、「テレビ」が51.4%、「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」及び「自分で選んだ服」が48.6%になっている。

2. 学年別に見た分析結果

(1) 居場所に関すること

居場所に来る回数

問4 この居場所にどのくらい来ますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

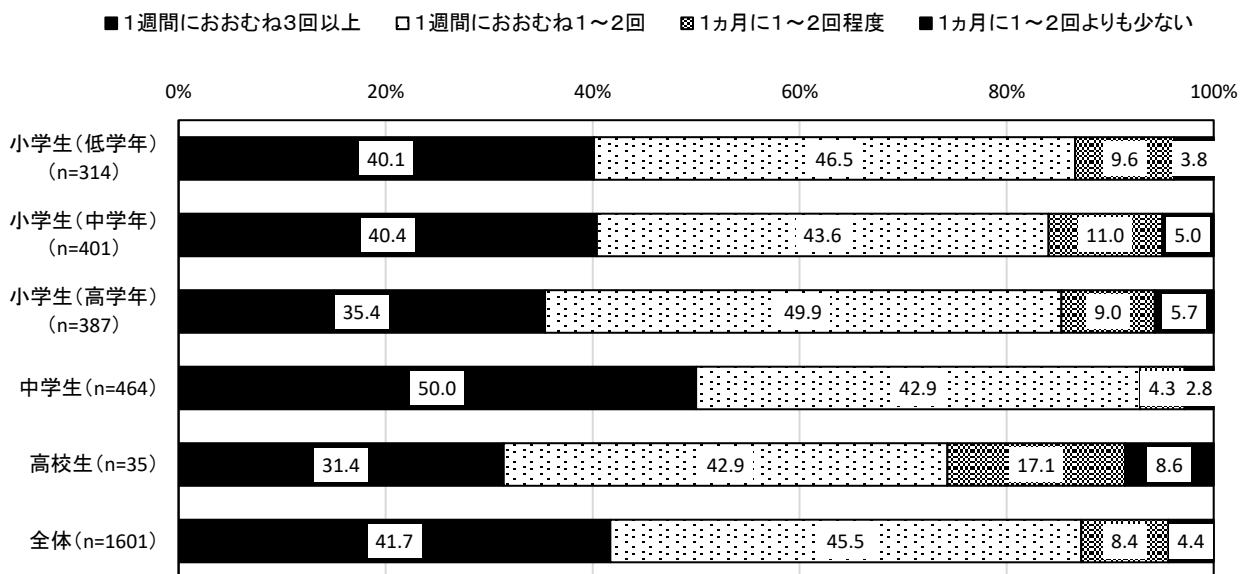


図 7. 居場所に来る回数

居場所に来る回数について見ると、全体では、「1週間におおむね3回以上」が41.7%、「1週間におおむね1～2回」が45.5%、「1か月に1～2回程度」が8.4%、「1か月に1～2回より少ない」が4.4%である。

小学生低学年では、「1週間におおむね3回以上」が40.1%、「1週間におおむね1～2回」が46.5%、「1か月に1～2回程度」が9.6%、「1か月に1～2回より少ない」が3.8%である。小学生中学年では、「1週間におおむね3回以上」が40.4%、「1週間におおむね1～2回」が43.6%、「1か月に1～2回程度」が11.0%、「1か月に1～2回より少ない」が5.0%である。小学生高学年では、「1週間におおむね3回以上」が35.4%、「1週間におおむね1～2回」が49.9%、「1か月に1～2回程度」が9.0%、「1か月に1～2回より少ない」が5.7%である。中学生では、「1週間におおむね3回以上」が50.0%、「1週間におおむね1～2回」が42.9%、「1か月に1～2回程度」が4.3%、「1か月に1～2回より少ない」が2.8%である。高校生では、「1週間におおむね3回以上」が31.4%、「1週間におおむね1～2回」が42.9%、「1か月に1～2回程度」が17.1%、「1か月に1～2回より少ない」が8.6%である。

このことから、中学生において「1週間におおむね3回以上」の割合が一番高くなっている。

居場所に来てから友達ができただか

問 5 ①居場所に来てから友達ができましたか (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

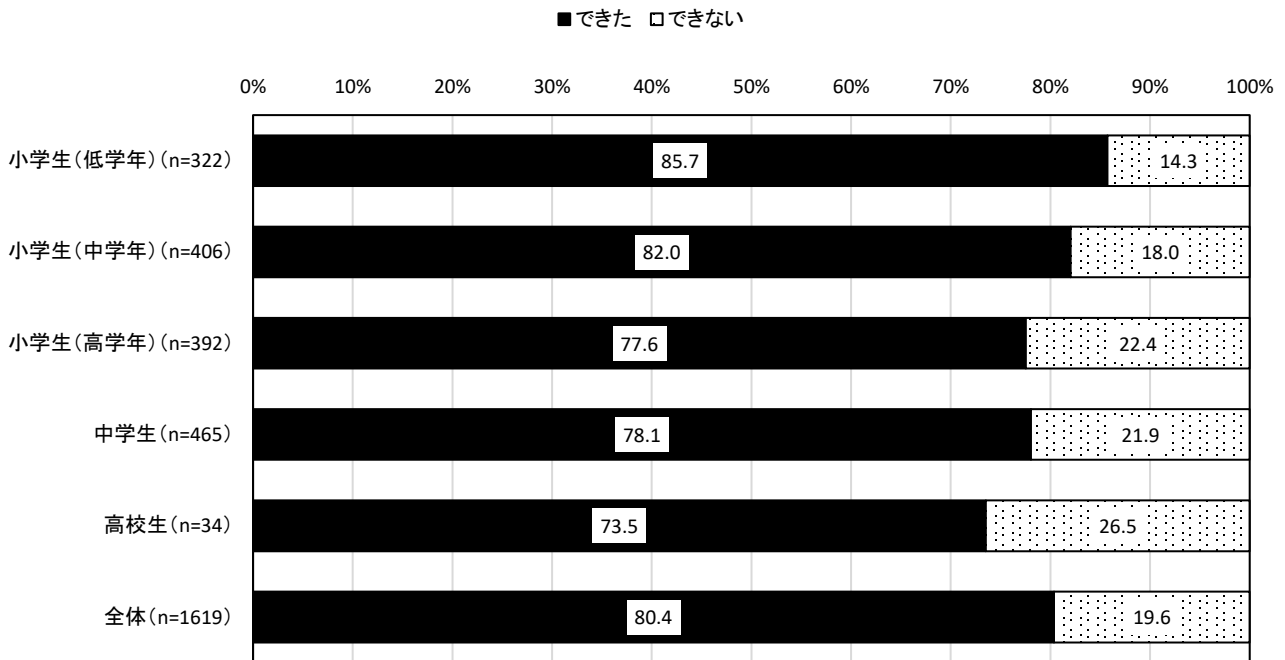


図 8. 居場所に来てから友達ができただか

居場所に来てから友達ができただかについては、全体では、「できた」が 80.4%、「できない」が 19.6%である。小学生低学年では、「できた」が 85.7%、「できない」が 14.3%である。小学生中学年では、「できた」が 82.0%、「できない」が 18.0%である。小学生高学年では、「できた」が 77.6%、「できない」が 22.4%である。中学生では、「できた」が 78.1%、「できない」が 21.9%である。高校生では、「できた」が 73.5%、「できない」が 26.5%である。このことから、小学校低学年、小学校中学年において「できた」の割合が高くなっている。

「1. できた」と答えた人に聞きます。どういう友だちですか。

問5 ②「1. できた」と答えた人に聞きます。どういう友だちですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

□居場所に来る子 ■学校の子 ■その他 □無回答

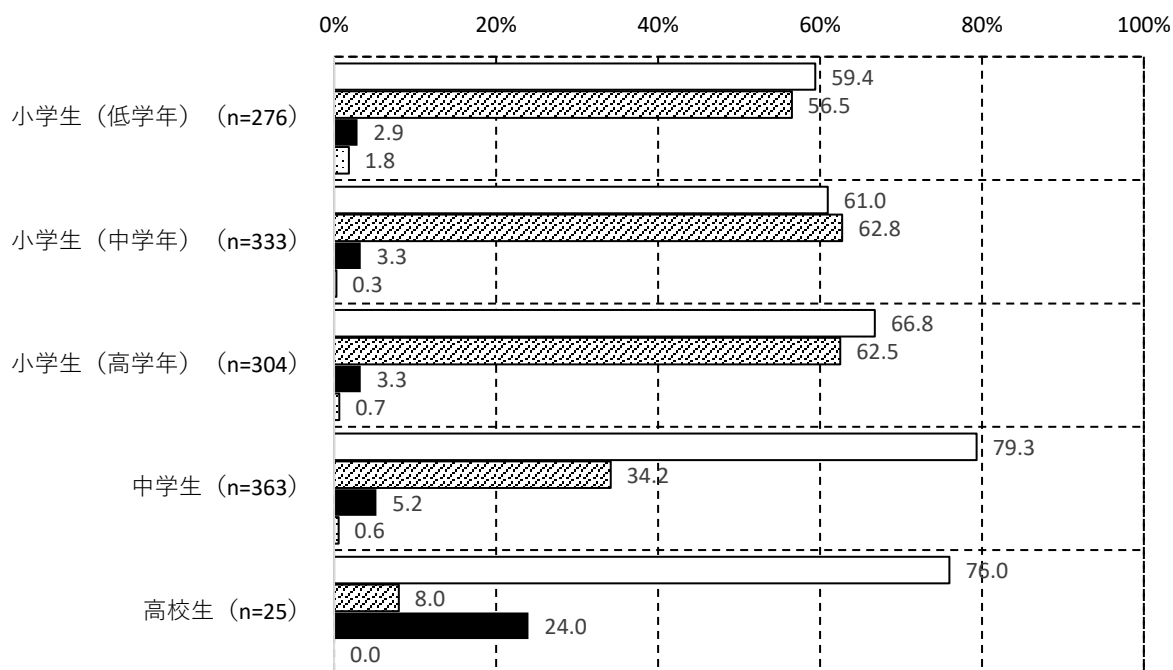


図 9. 居場所の友だち (どういう友達か)

居場所に来てからできた友達の内訳について、学年別に見ると、小学生低学年では、「居場所に来る子」が59.4%、「学校の子」が56.5%、「その他」が2.9%、「無回答」が1.8%である。小学生中学年では、「居場所に来る子」が61.0%、「学校の子」が62.8%、「その他」が3.3%、「無回答」が0.3%である。小学生高学年では、「居場所に来る子」が66.8%、「学校の子」が62.5%、「その他」が3.3%、「無回答」が0.7%である。中学生では、「居場所に来る子」が79.3%、「学校の子」が34.2%、「その他」が5.2%、「無回答」が0.6%である。高校生では、「居場所に来る子」が76.0%、「学校の子」が8.0%、「その他」が24.0%、「無回答」が0.0%である。

このことから、他群と比して中学生において「居場所に来る子」の割合が一番高くなっている。さらに、小学生では「居場所に来る子」と「学校の子」が同じくらいの割合であるが、中学生と高校生では、「学校の子」より「居場所に来る子」の割合が高くなっている。

居場所に来る理由

問6 この居場所へ来る理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

□ 小学生（低学年）（n=326） ▨ 小学生（中学年）（n=408）
 ■ 小学生（高学年）（n=394） □ 中学生（n=470）
 ■ 高校生（n=35）

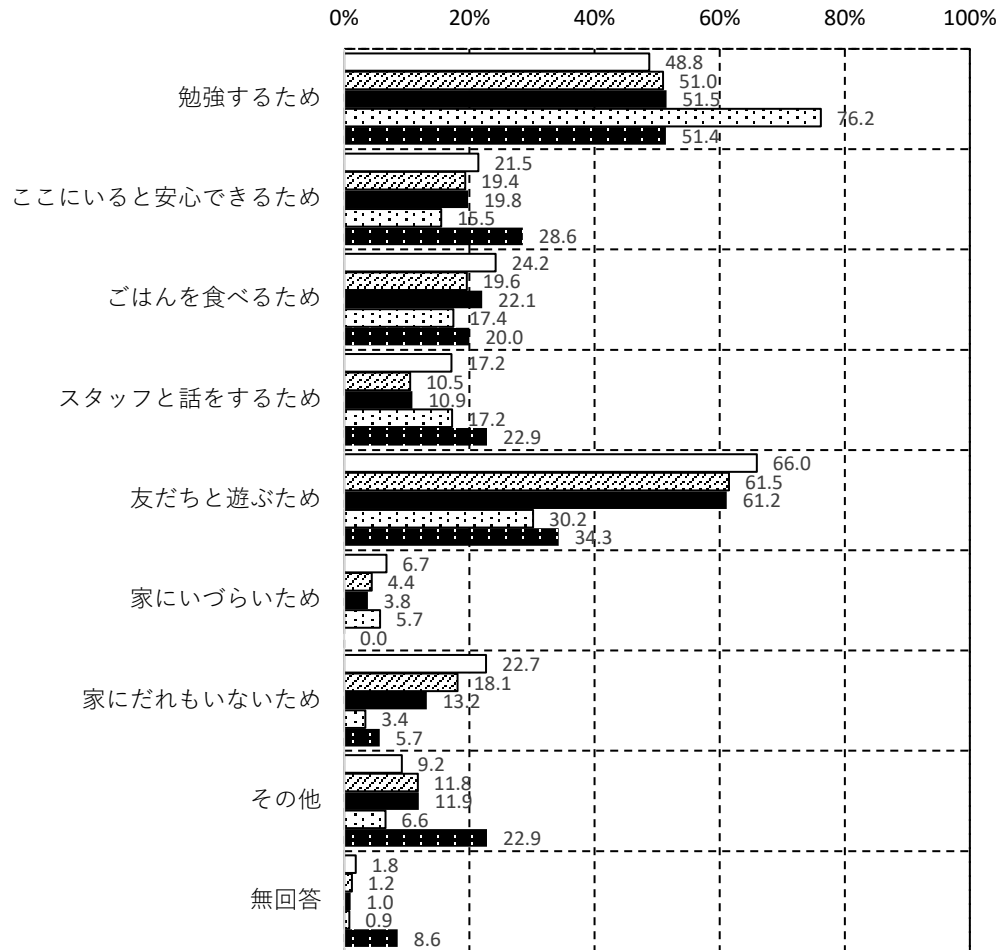


図 10. 居場所に来る理由

居場所に来る理由について学年別に見たところ、小学生低学年では、「友達と遊ぶため」が66.0%、「勉強するため」が48.8%、「ごはんを食べるため」が24.2%の順に高くなっている。小学生中学年では、「友達と遊ぶため」が61.5%、「勉強するため」が51.0%、「ごはんを食べるため」が19.6%の順に高くなっている。小学生高学年では、「友達と遊ぶため」が61.2%、「勉強するため」が51.5%、「ごはんを食べるため」が22.1%の順に高くなっている。中学生では、「勉強するため」が76.2%、「友達と遊ぶため」が30.2%、「ごはんを食べるため」が17.4%の順に高くなっている。高校生では、「勉強するため」が51.4%、「友達と遊ぶため」が34.3%、「ここにいると安心するため」が28.6%の順に高くなっている。

このことから、小学生全体において「友達と遊ぶため」の割合が一番高くなっている。また中学生・高校生において「勉強するため」の割合が一番高くなっている。

居場所に来てよかったか

問 25 この居場所に来て良かったと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

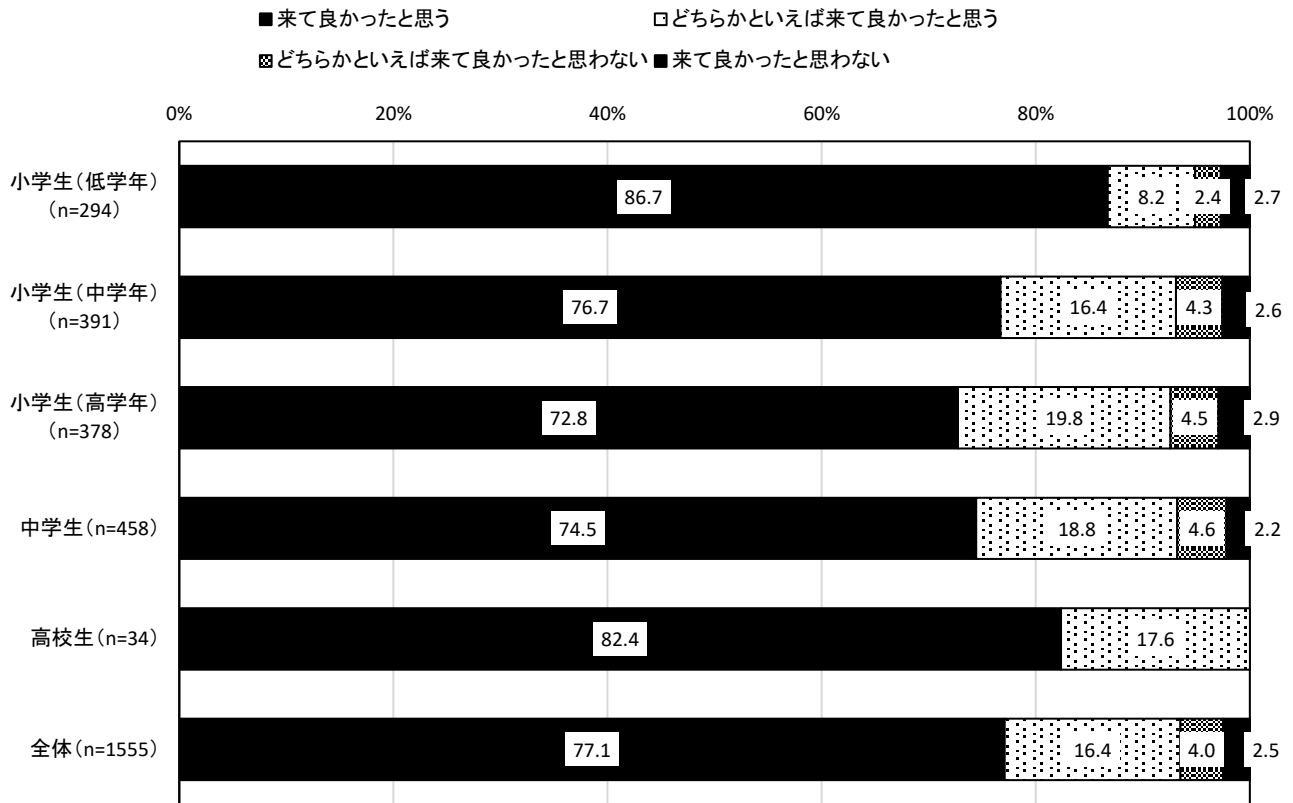


図 11. 居場所に来てよかったか

居場所に来て良かったと思うかどうかについてみたところ、全体では、「来て良かったと思う」が77.1%、「どちらかといえば来て良かったと思う」が16.4%、「どちらかといえば来て良かったと思わない」が4.0%、「来て良かったと思わない」が2.5%である。

小学生低学年では、「来て良かったと思う」が86.7%、「どちらかといえば来て良かったと思う」が8.2%、「どちらかといえば来て良かったと思わない」が2.4%、「来て良かったと思わない」が2.7%である。小学生中学年では、「来て良かったと思う」が76.7%、「どちらかといえば来て良かったと思う」が16.4%、「どちらかといえば来て良かったと思わない」が4.3%、「来て良かったと思わない」が2.6%である。小学生高学年では、「来て良かったと思う」が72.8%、「どちらかといえば来て良かったと思う」が19.8%、「どちらかといえば来て良かったと思わない」が4.5%、「来て良かったと思わない」が2.9%である。中学生では、「来て良かったと思う」が74.5%、「どちらかといえば来て良かったと思う」が18.8%、「どちらかといえば来て良かったと思わない」が4.6%、「来て良かったと思わない」が2.2%である。高校生では、「来て良かったと思う」が82.4%、「どちらかといえば来て良かったと思う」が17.6%である。

このことから、小学校低学年において「来て良かったと思う」の割合が一番高くなっている。

(2) 生活環境の変化

起床時間の規則性

問 14 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時刻に起きていますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

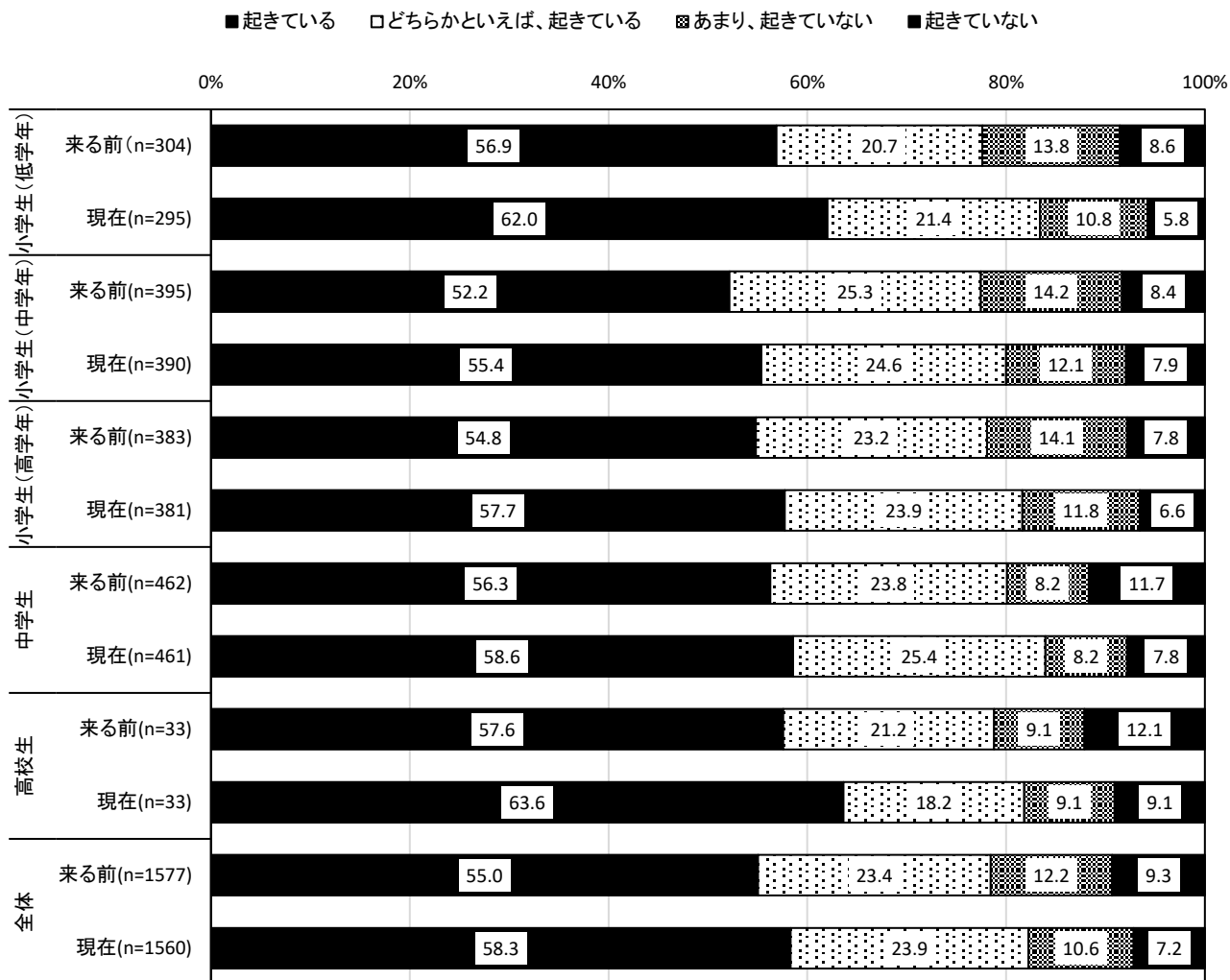


図 12. 起床時間の規則性

起床時間の規則性をみると、全体では居場所に来る前は「起きている」が55.0%、「どちらかといえば、起きている」が23.4%、「あまり、起きていない」が12.2%、「起きていない」が9.3%になっている。現在では「起きている」が58.3%、「どちらかといえば、起きている」が23.9%、「あまり、起きていない」が10.6%、「起きていない」が7.2%である。学年別による差は見られず、起床時間の規則性は学校種によらず共通している。

来る前と現在の変化は、「起きている」において、小学校低学年（5.1ポイント）と高校生（6.0ポイント）で高くなっているものの、大きな差は見られない。

就寝時間

問 15 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。（就寝時間）
 （あてはまる番号1つに○をつけてください）

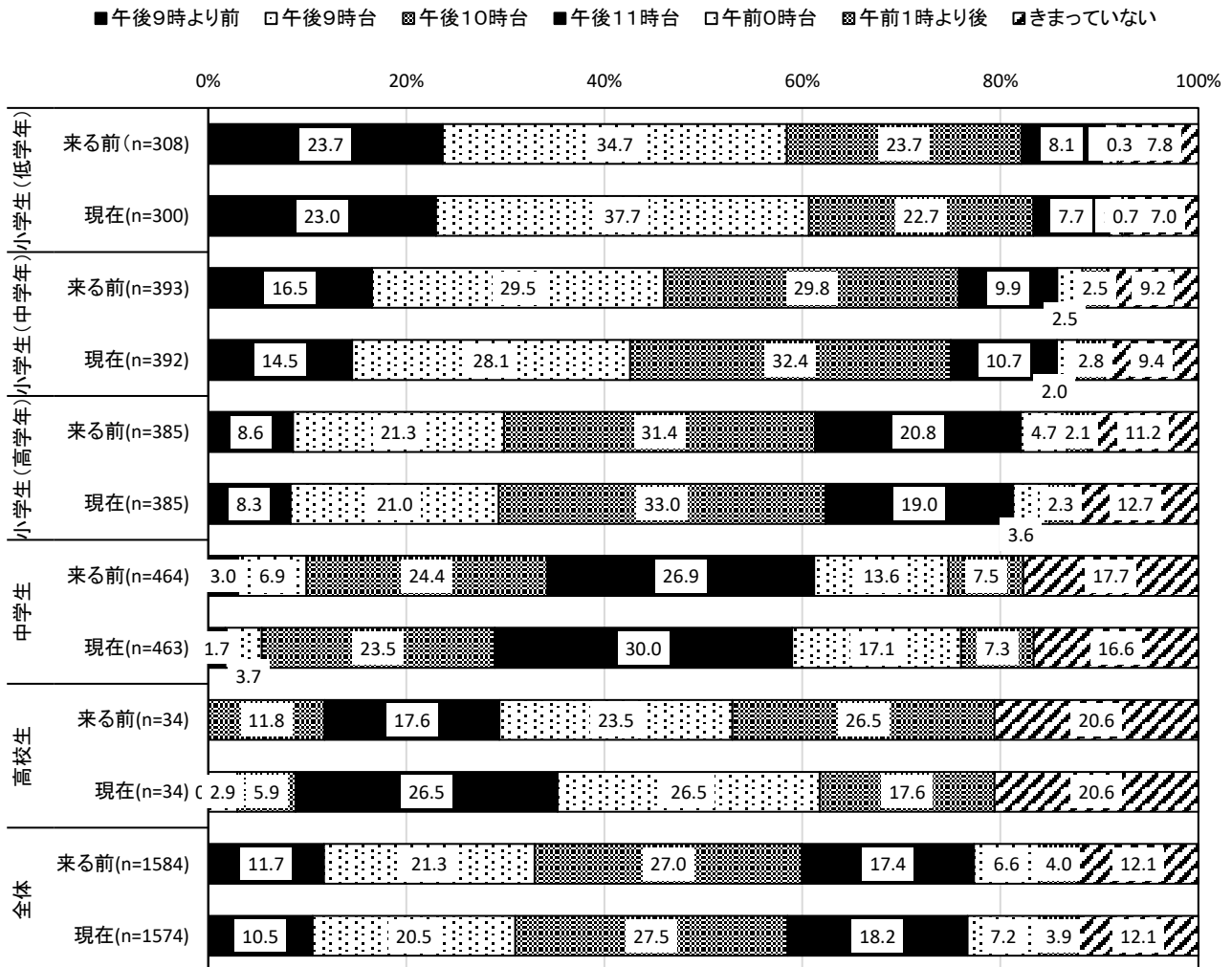


図 13. 就寝時間

就寝時間をみると、全体では居場所に来る前は「午後9時より前」が11.7%、「午後9時台」が21.3%、「午後10時台」が27.0%、「午後11時台」が17.4%、「午前0時台」が6.6%、「午前1時より後」が4.0%、「きまってない」が12.1%になっている。現在では「午後9時より前」が10.5%、「午後9時台」が20.5%、「午後10時台」が27.5%、「午後11時台」が18.2%、「午前0時台」が7.2%、「午前1時より後」が3.9%、「きまってない」が12.1%である。学年が上がるにつれて就寝時間は遅くなっている。

来る前と現在の変化は、高校生において、「午後11時台」が8.9ポイント増加し、「午前1時より後」が8.9ポイント減少している。高校生の就寝時間が早まったことがわかる。

睡眠時間

問 16 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時間くらい寝ていますか。（睡眠時間）

（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

■ 5時間59分より短い □ 6時間～6時間59分 ▨ 7時間～7時間59分 ■ 8時間～8時間59分
 □ 9時間～9時間59分 ▨ 10時間より長い ◻ きまっていない

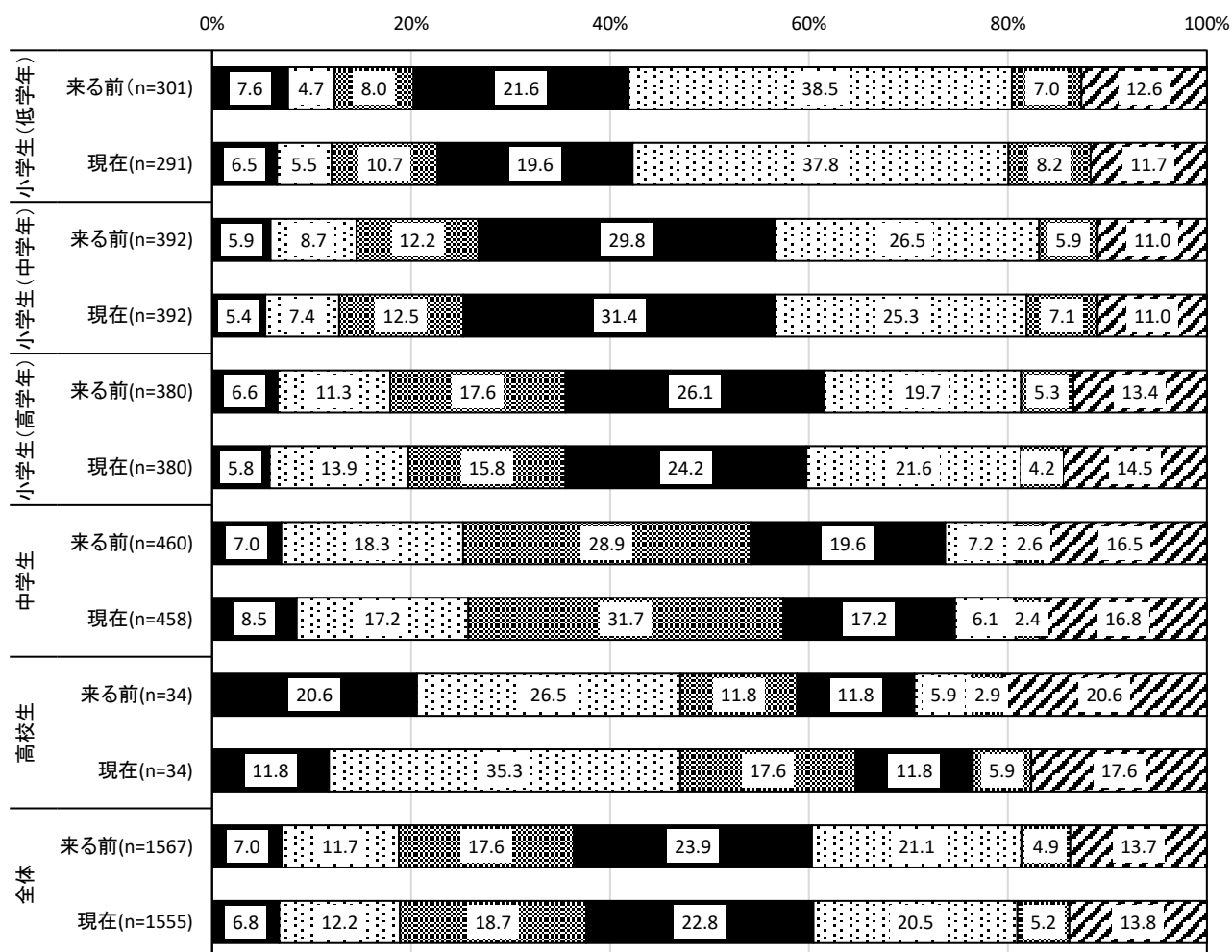


図 14. 睡眠時間

睡眠時間をみると、全体では居場所に来る前は「5時間59分より短い」が7.0%、「6時間～6時間59分」が11.7%、「7時間～7時間59分」が17.6%、「8時間～8時間59分」が23.9%、「9時間～9時間59分」が21.1%、「10時間より長い」が4.9%、「きまってない」が13.7%になっている。現在では「5時間59分より短い」が6.8%、「6時間～6時間59分」が12.2%、「7時間～7時間59分」が18.7%、「8時間～8時間59分」が22.8%、「9時間～9時間59分」が20.5%、「10時間より長い」が5.2%、「きまってない」が13.8%である。学年が上がるにつれて睡眠時間は短くなっている。

来る前と現在の変化は、特に高校生において、6時間未満が8.8ポイント減少し、6時間台が8.8ポイント増加し、7時間台が5.8ポイント増加している。高校生では睡眠時間が増加したことがわかる。

朝食の頻度

問 17 あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

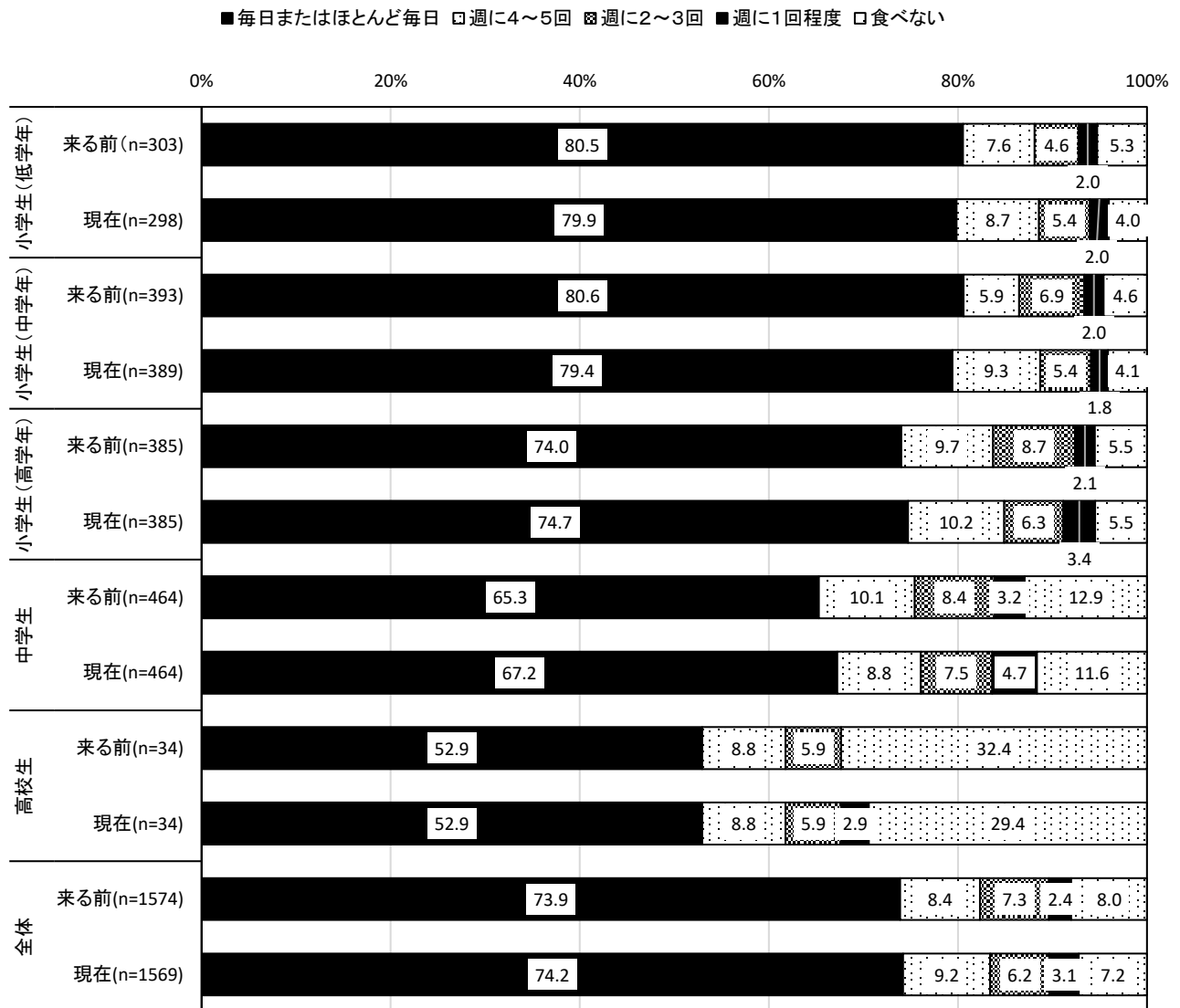


図 15. 朝食の頻度

朝食の頻度をみると、全体では居場所に来る前は「毎日またはほとんど毎日」が73.9%、「週に4~5回」が8.4%、「週に2~3回」が7.3%、「週に1回程度」が2.4%、「食べない」が8.0%になっている。現在では「毎日またはほとんど毎日」が74.2%、「週に4~5回」が9.2%、「週に2~3回」が6.2%、「週に1回程度」が3.1%、「食べない」が7.2%である。小学生低学年や中学年と比べて、小学生高学年以降、学年が上がるにつれて、毎日またはほとんど毎日朝食を食べる頻度は減少し、中学生では6割強、高校生はそもそも人数が少ないものの、約半数となっている。

来る前と現在の変化は、高校生において、「食べない」の割合が3.0ポイント減少している。また、「週に4~5回」では、小学生中学年(3.4ポイント)で増加しているものの、大きな差は見られない。

夕食の頻度

問 18 あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

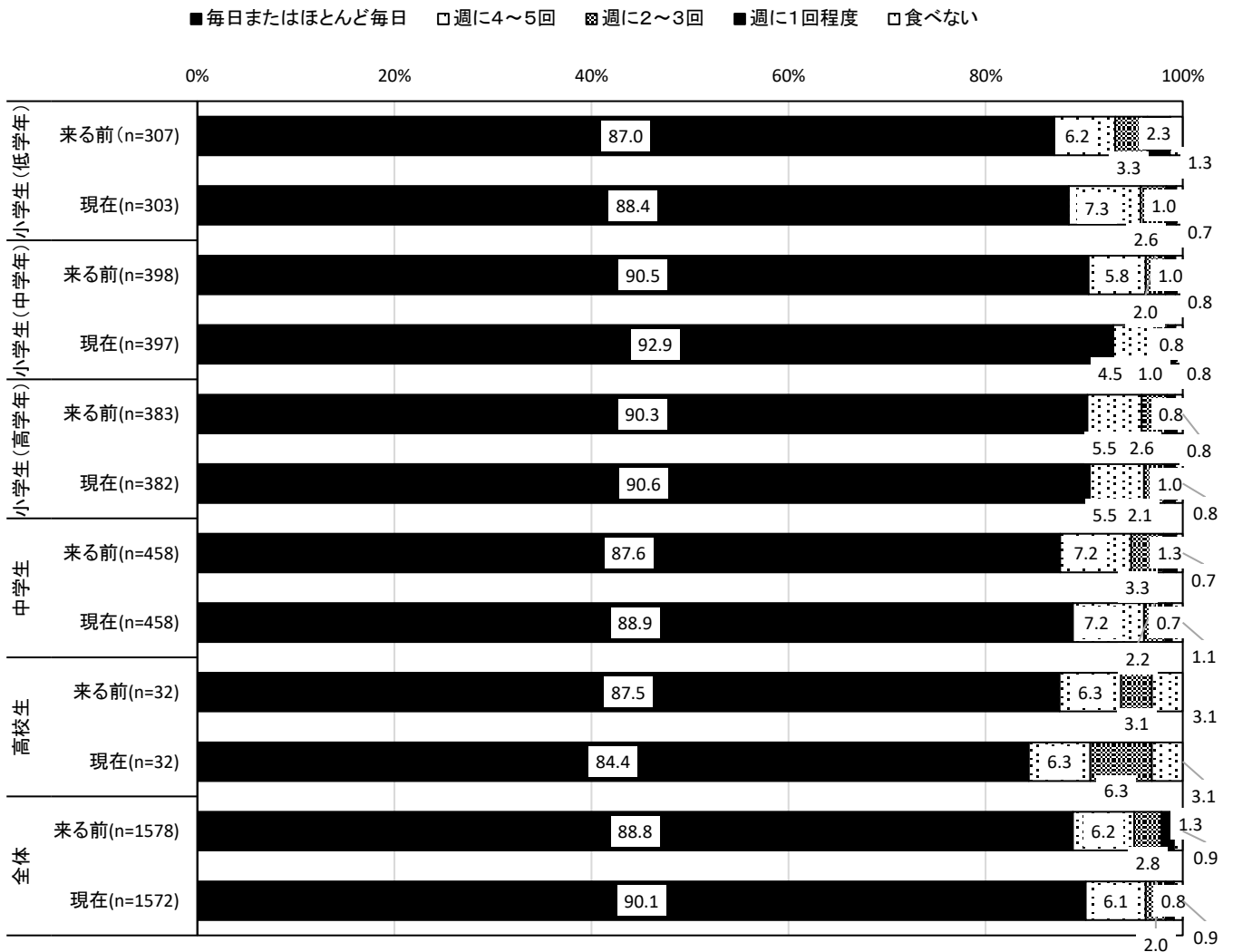


図 16. 夕食の頻度

夕食の頻度をみると、全体では居場所に来る前は「毎日またはほとんど毎日」が88.8%、「週に4~5回」が6.2%、「週に2~3回」が2.8%、「週に1回程度」が1.3%、「食べない」が0.9%になっている。現在では「毎日またはほとんど毎日」が90.1%、「週に4~5回」が6.1%、「週に2~3回」が2.0%、「週に1回程度」が0.8%、「食べない」が0.9%である。学校区分によらず、8割~9割の人が夕食を毎日またはほとんど毎日食べている。

来る前と現在の変化は、特に「週に2~3回」において、高校生(3.2ポイント)で高くなっている程度であり大きな差は見られない。

健康状態

問 19 あなたはの健康状態について聞きます。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

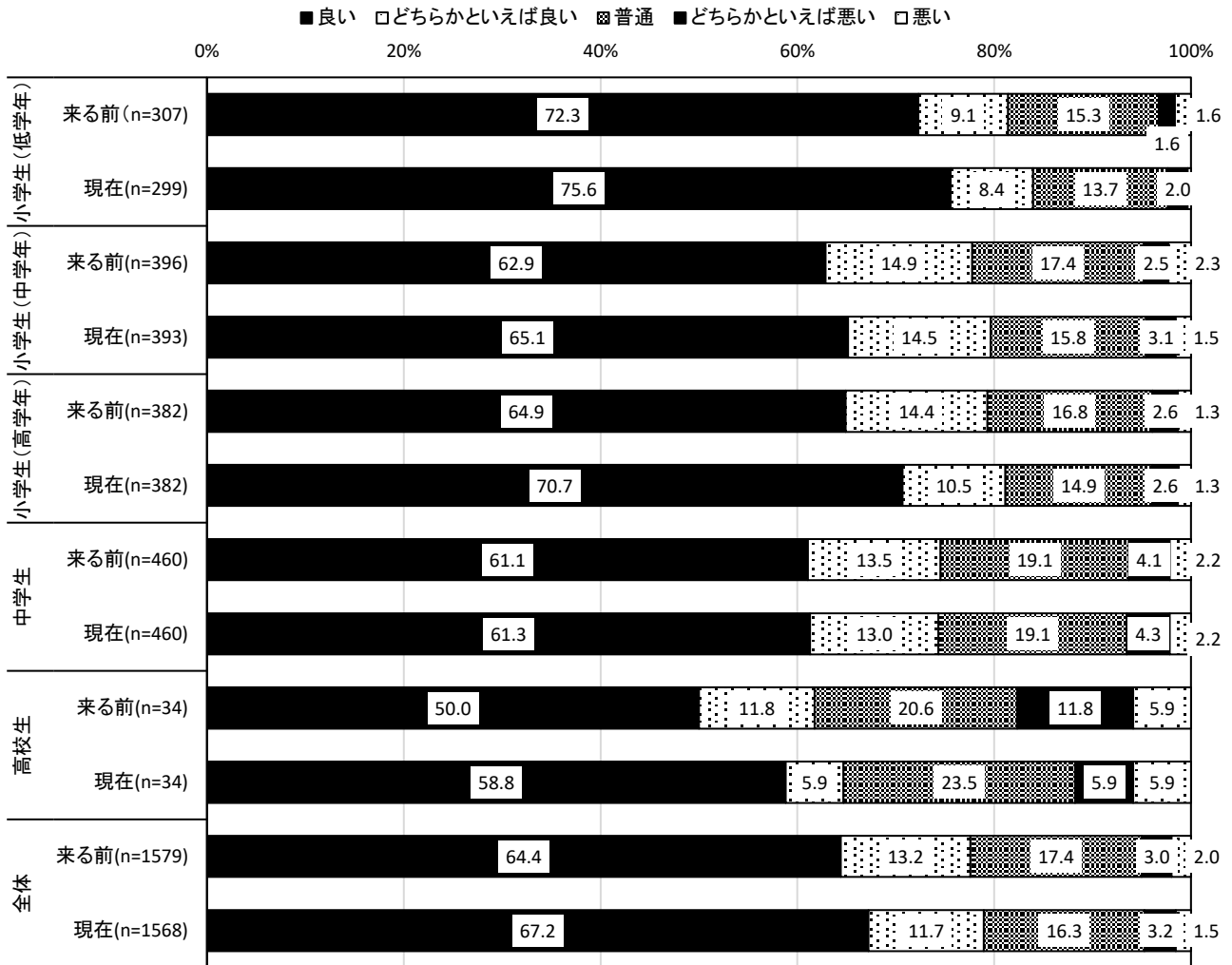


図 17. 健康状態

健康状態をみると、全体では居場所に来る前は「良い」が 64.4%、「どちらかといえば良い」が 13.2%、「普通」が 17.4%、「どちらかといえば悪い」が 3.0%、「悪い」が 2.0%になっている。現在では「良い」が 67.2%、「どちらかといえば良い」が 11.7%、「普通」が 16.3%、「どちらかといえば悪い」が 3.2%、「悪い」が 1.5%である。

来る前と現在の変化は、特に「良い」において、小学生低学年 (3.3 ポイント)、小学生高学年 (5.8 ポイント)、高校生 (8.8 ポイント) で高くなっているが、大きな差は見られない。どの群においても、来る前より現在の方が、健康状態が良いと答えた割合が多少増加している。

(3) 教育環境の変化

登校頻度

問9 あなたは、週にどのくらい学校に登校しますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

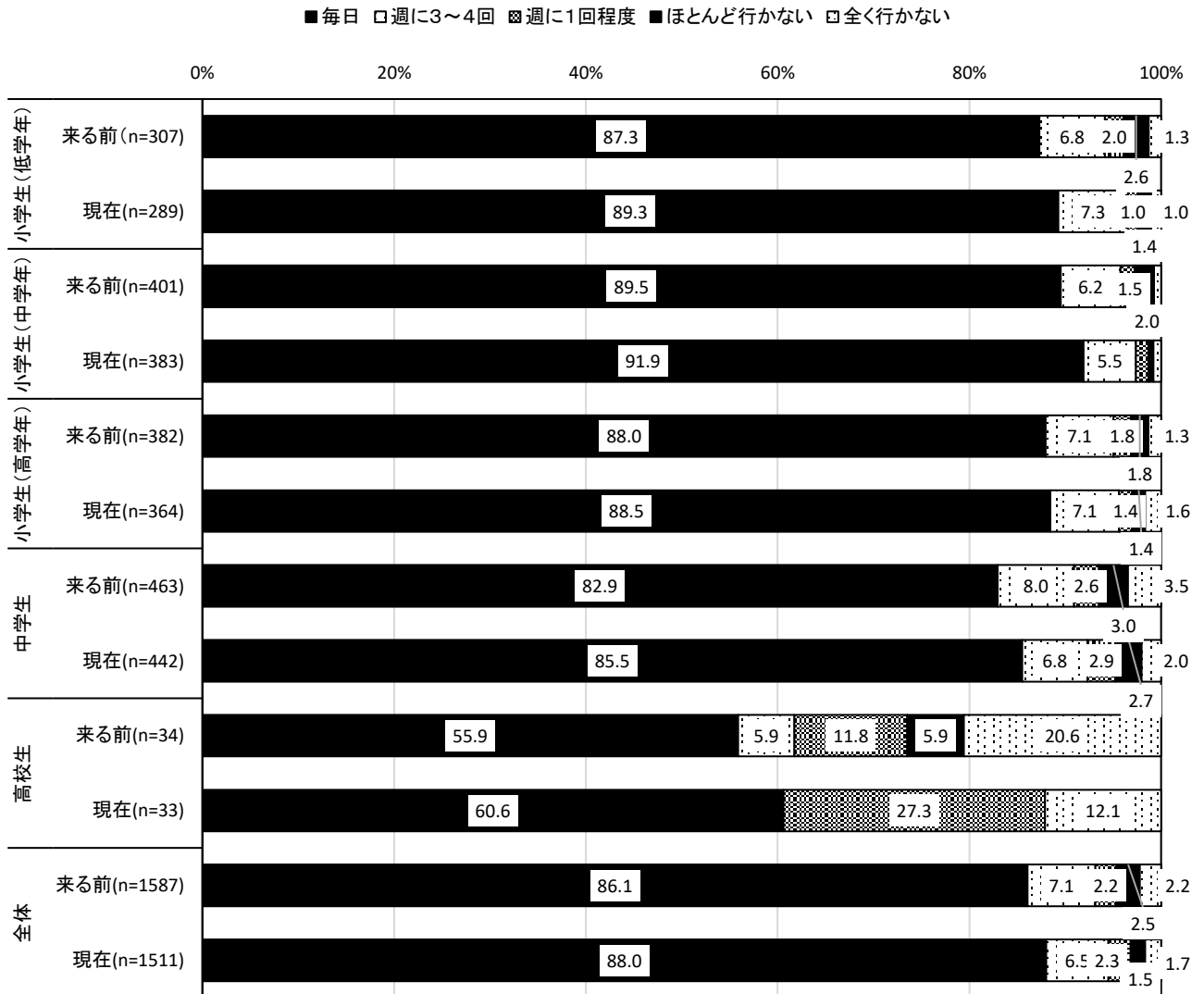


図 18. 登校頻度

登校頻度をみると、全体では居場所に来る前は「毎日」が86.1%、「週に3~4回」が7.1%、「週に1回程度」が2.2%、「ほとんど行かない」が2.5%、「全く行かない」が2.2%になっている。現在では「毎日」が88.0%、「週に3~4回」が6.5%、「週に1回程度」が2.3%、「ほとんど行かない」が1.5%、「全く行かない」が1.7%である。学年別では、高校生のみ他の群と異なり、毎日登校する人は少ない。回答人数の少なさの影響があるように思われる。

来る前と現在の変化は、特に「毎日」において、中学生(2.6ポイント)、高校生(4.7ポイント)で高くなっているが、大きな差ではない。

学校への遅刻

問 10 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

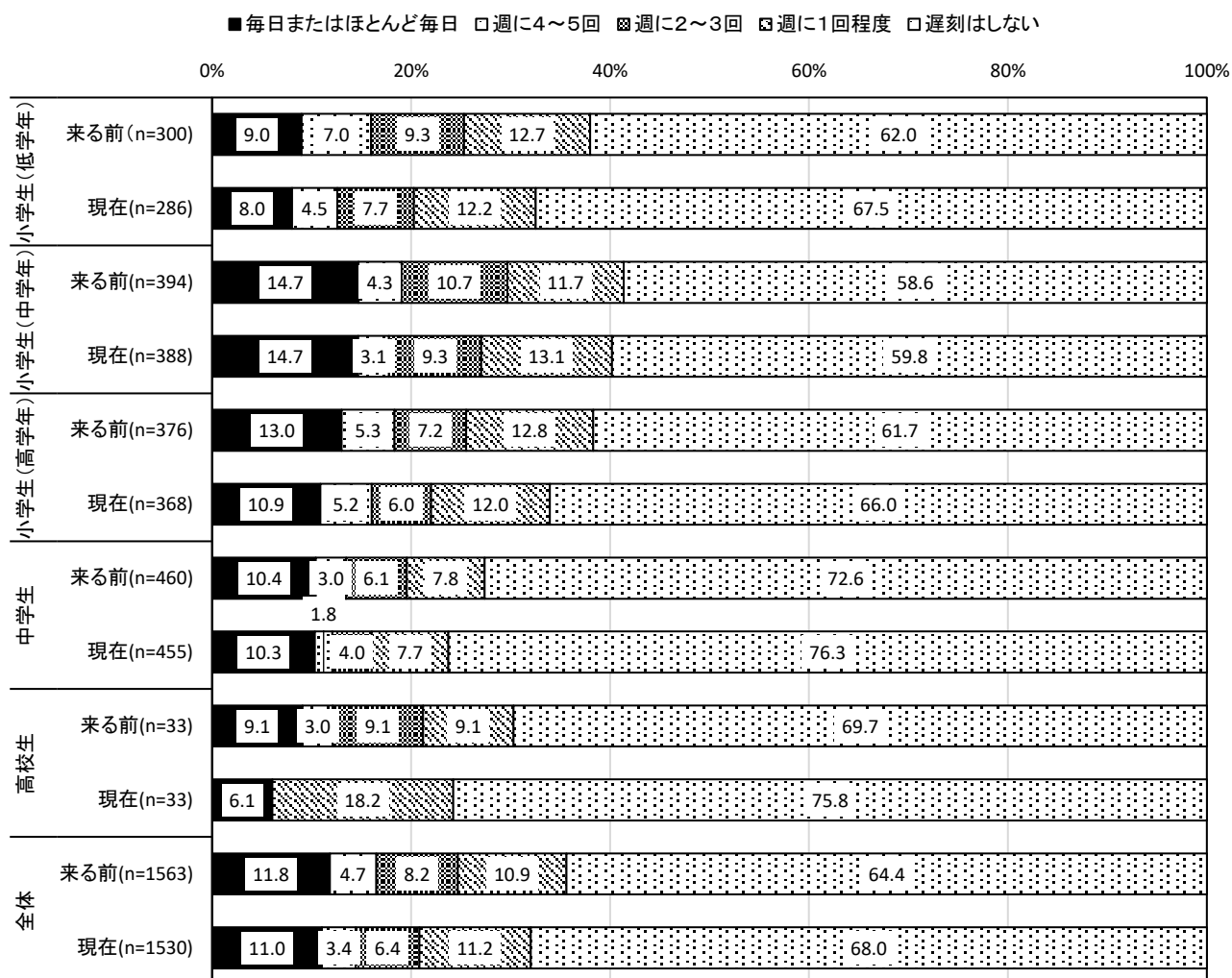


図 19. 学校への遅刻

学校への遅刻をみると、全体では居場所に来る前は「毎日またはほとんど毎日」が11.8%、「週に4~5回」が4.7%、「週に2~3回」が8.2%、「週に1回程度」が10.9%、「遅刻はしない」が64.4%になっている。現在では「毎日またはほとんど毎日」が11.0%、「週に4~5回」が3.4%、「週に2~3回」が6.4%、「週に1回程度」が11.2%、「遅刻はしない」が68.0%である。

来る前と現在の変化は、特に「遅刻はしない」において、小学生低学年(5.5ポイント)、小学生高学年(4.3ポイント)、中学生(3.7ポイント)、高校生(6.1ポイント)で高くなっているが、大きな差は見られない。「遅刻はしない」という割合が、小学生中学年で最も低くなり、学年が上がるにつれて遅刻が改善されている点が興味深い。

授業以外の勉強時間

問 11 あなたは、学校のある日、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(塾などの時間も含まれます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- まったくしない
- 1時間以上、2時間より少ない
- わからない
- 30分より少ない
- 2時間以上、3時間より少ない
- 30分以上、1時間より少ない
- 3時間以上

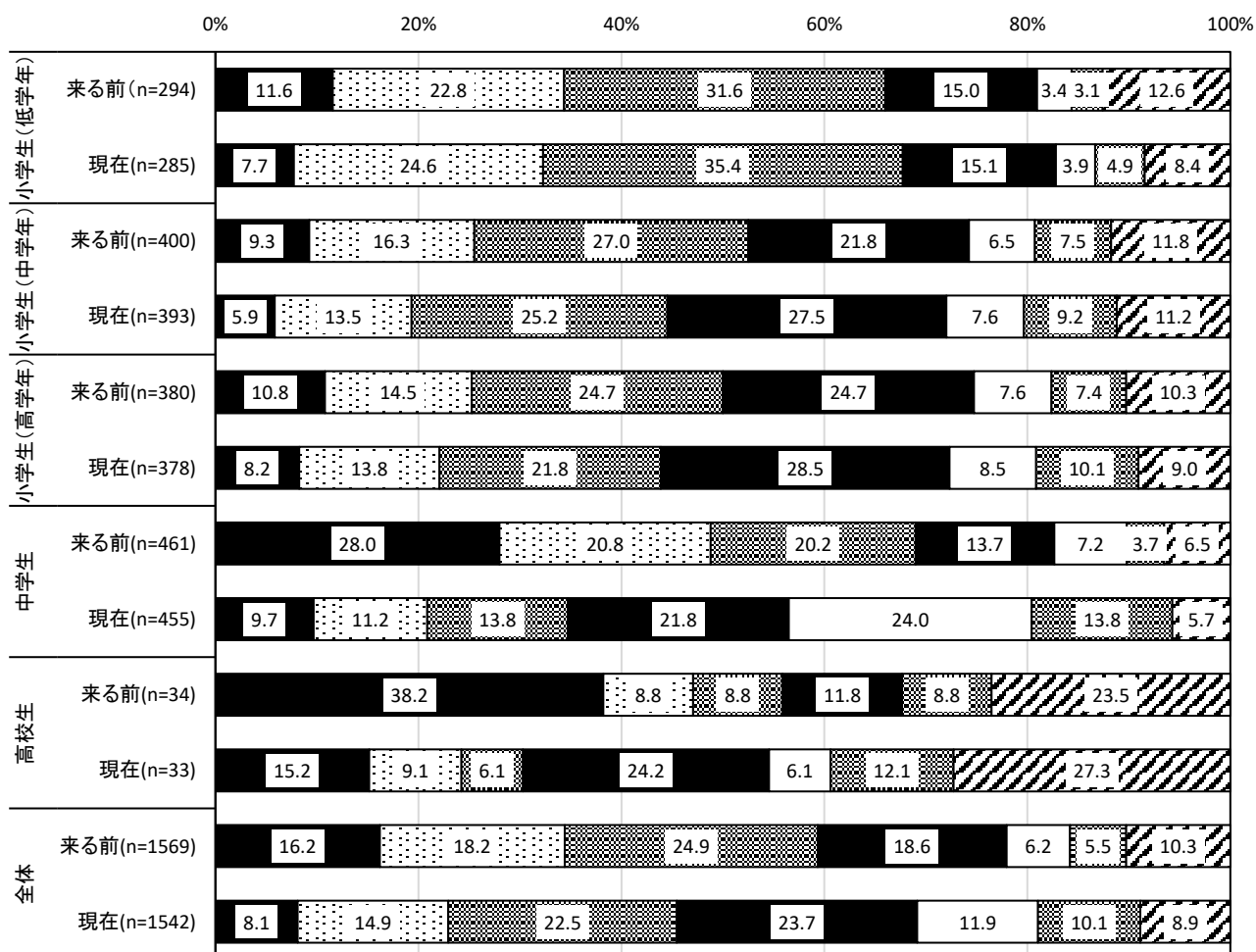


図 20. 授業以外の勉強時間

授業以外の勉強時間をみると、全体では居場所に来る前は「全くしない」が16.2%、「30分より少ない」が18.2%、「30分以上、1時間より少ない」が24.9%、「1時間以上、2時間より少ない」が18.6%、「2時間以上、3時間より少ない」が6.2%、「3時間以上」が5.5%、「分からない」が10.3%になっている。現在では「全くしない」が8.1%、「30分より少ない」が14.9%、「30分以上、1時間より少ない」が22.5%、「1時間以上、2時間より少ない」が23.7%、「2時間以上、3時間より少ない」が11.9%、「3時間以上」が10.1%、「分からない」が8.9%である。授業以外の勉強時間は、それぞれの群で多様である。来る前と現在の変化は、中学生において勉強時間が増加しており、例えば中学生の「3時間以上」(10.1ポイント)、「2時間以上、3時間より少ない」(16.8ポイント)で高くなっている。

授業以外の読書時間

問 13 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- まったくしない □30分より少ない ▨30分以上、1時間より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない □2時間以上、3時間より少ない ▨3時間以上
- わからない

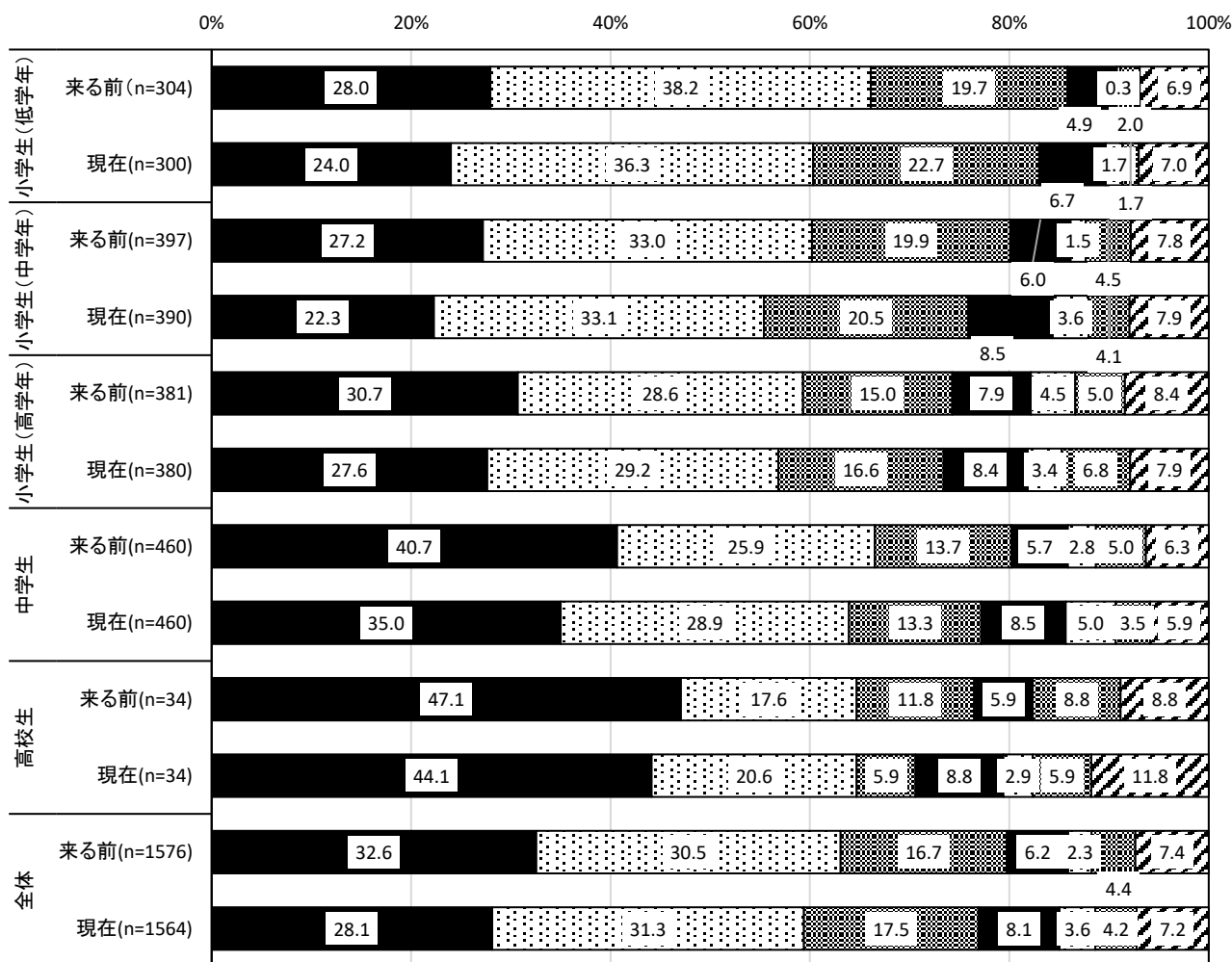


図 21. 授業以外の読書時間

授業以外の読書時間をみると、全体では居場所に来る前は「全くしない」が32.6%、「30分より少ない」が30.5%、「30分以上、1時間より少ない」が16.7%、「1時間以上、2時間より少ない」が6.2%、「2時間以上、3時間より少ない」が2.3%、「3時間以上」が4.4%、「分からない」が7.4%になっている。現在では「全くしない」が28.1%、「30分より少ない」が31.3%、「30分以上、1時間より少ない」が17.5%、「1時間以上、2時間より少ない」が8.1%、「2時間以上、3時間より少ない」が3.6%、「3時間以上」が4.2%、「分からない」が7.2%である。

来る前と現在の変化は、全群において「まったくしない」の割合が減少している。例えば、中学生では5.7ポイント減少している。

学校の勉強で気持ちに近いもの

問 12 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

■よくわかる □だいたいわかる ▨あまりわからない ■ほとんどわからない □わからない

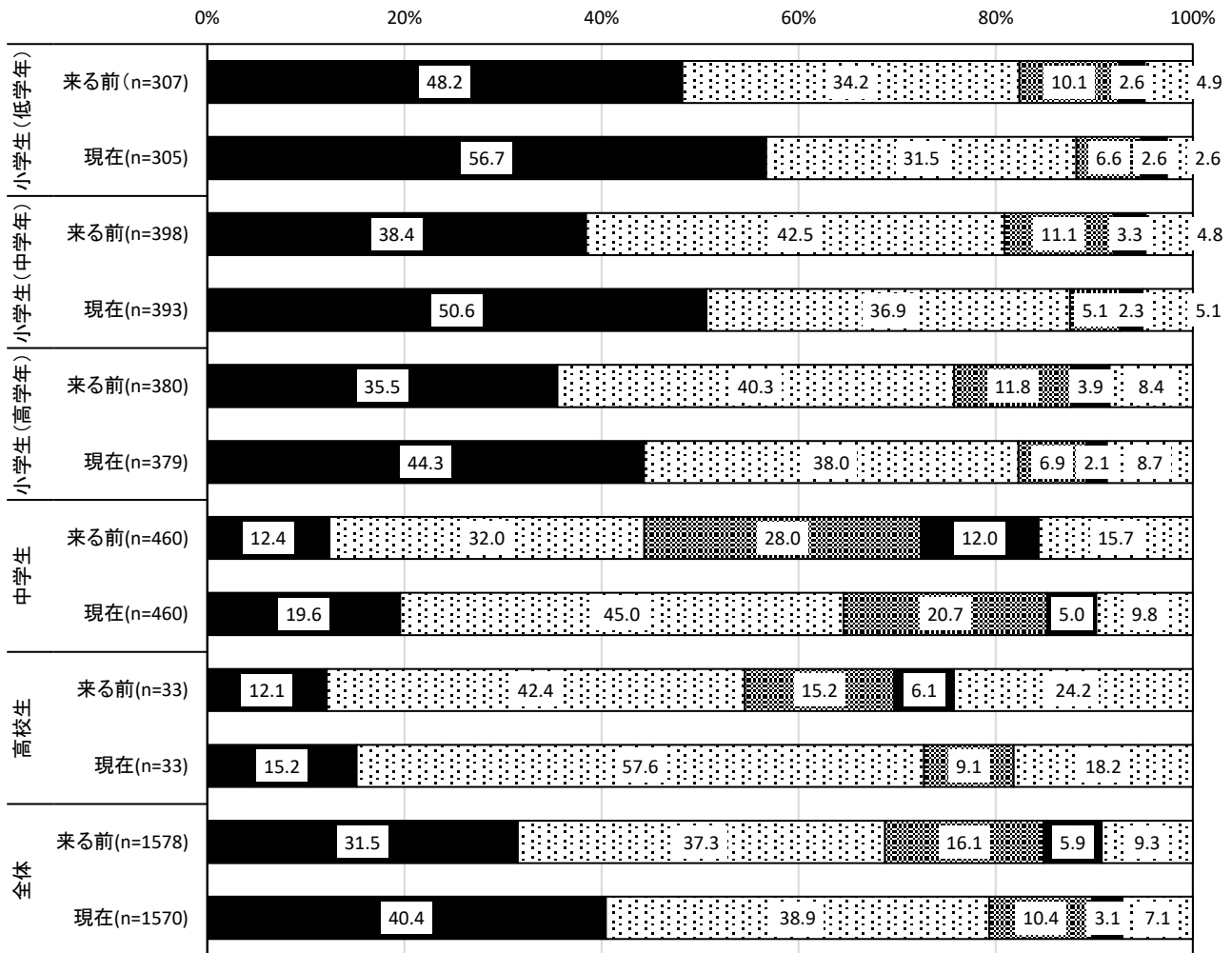


図 22. 学校の勉強で気持ちに近いもの

学校の勉強で気持ちに近いものをみると、全体では居場所に来る前は「よくわかる」が31.5%、「だいたいわかる」が37.3%、「あまり分からない」が16.1%、「ほとんどわからない」が5.9%、「わからない」が9.3%になっている。現在では「よくわかる」が40.4%、「だいたいわかる」が38.9%、「あまり分からない」が10.4%、「ほとんどわからない」が3.1%、「わからない」が7.1%である。小学生と比べて中学生や高校生では、「よくわかる」という割合が少ない。

来る前と現在の変化は、特に「よくわかる」において、小学生中学年(12.2ポイント)、小学生高学年(8.8ポイント)、また「だいたいわかる」において、中学生(13.0ポイント)、高校生(15.2ポイント)、で高くなっている。このように、各群において、居場所に来る前より現在の方が学校の勉強を理解できているという意識の傾向がみられる。

希望する進学先

問 24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

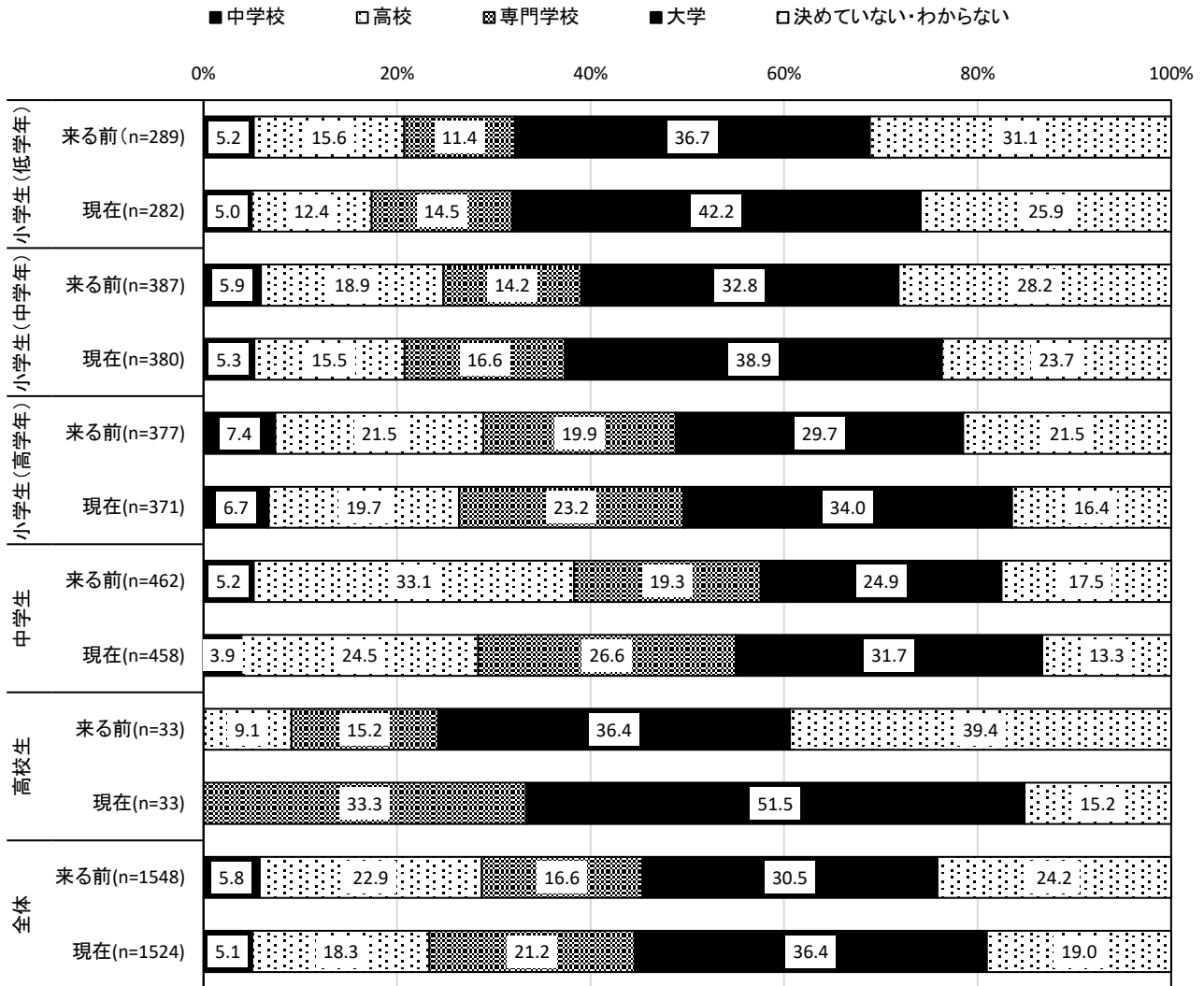


図 23. 希望する進学先

希望する進学先をみると、全体では居場所に来る前は「中学校」が 5.8%、「高校」が 22.9%、「専門学校」が 16.6%、「大学」が 30.5%、「決めていない・わからない」が 24.2%になっている。現在では「中学校」が 5.1%、「高校」が 18.3%、「専門学校」が 21.2%、「大学」が 36.4%、「決めていない・わからない」が 19.0%である。小学生と中学生では、学年が上がるにつれて、希望する進学先を「決めていない・わからない」とする割合が減少する傾向がみられる。

来る前と現在の変化は、特に「大学」において、高校生（15.1 ポイント）、で高くなっている。どの群においても、大学進学を希望する割合が、来る前より現在の方が高くなっている。

(4) 社会環境の変化

放課後だれと過ごすか

問 20 あなたはふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

□小学生（低学年）（n=326） ▨小学生（中学年）（n=408） ■小学生（高学年）（n=394）
 □中学生（n=470） ■高校生（n=35）

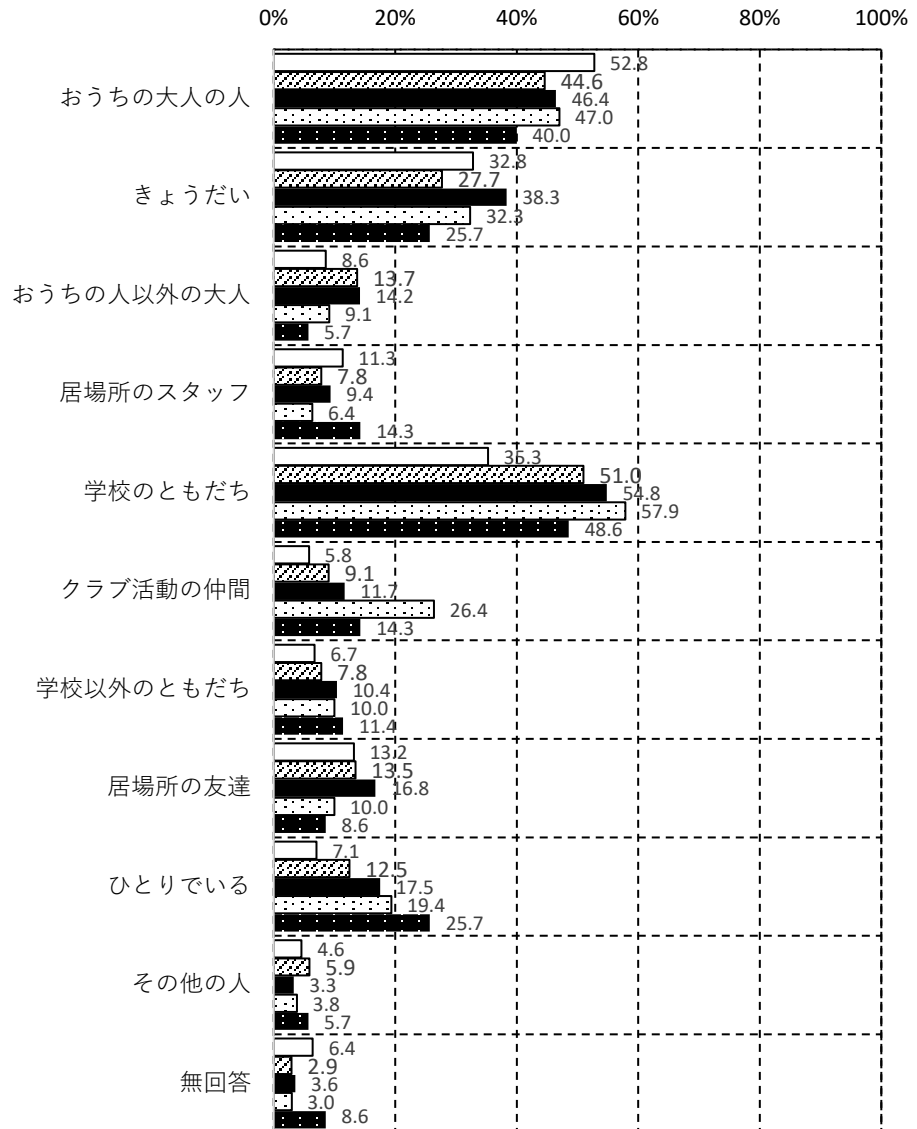


図 24. 放課後だれと過ごすか（居場所に来る前）

居場所に来る前、放課後だれと過ごしていたかについて、各群についてみると、小学生低学年では、「おうちの大人の人」が52.8%、「きょうだい」が32.8%、「学校のともだち」が35.3%になっている。小学生中学年では、「おうちの大人の人」が44.6%、「きょうだい」が27.7%、「学校のともだち」が51.0%になっている。小学生高学年では、「おうちの大人の人」が46.4%、「きょうだい」が38.3%、「学校のともだち」が54.8%になっている。中学生では、「おうちの大人の人」が47.0%、「きょうだい」が32.3%、「学校のともだち」が57.9%になっている。高校生では、「おうちの大人の人」が40.0%、「きょうだい」が25.7%、「学校のともだち」が48.6%になっている。このように、「おうちの大人の人」、「きょうだい」、「学校のともだち」が多数を占めている。

□小学生（低学年）（n=326） ▨小学生（中学年）（n=408） ■小学生（高学年）（n=394）
 □中学生（n=470） ■高校生（n=35）

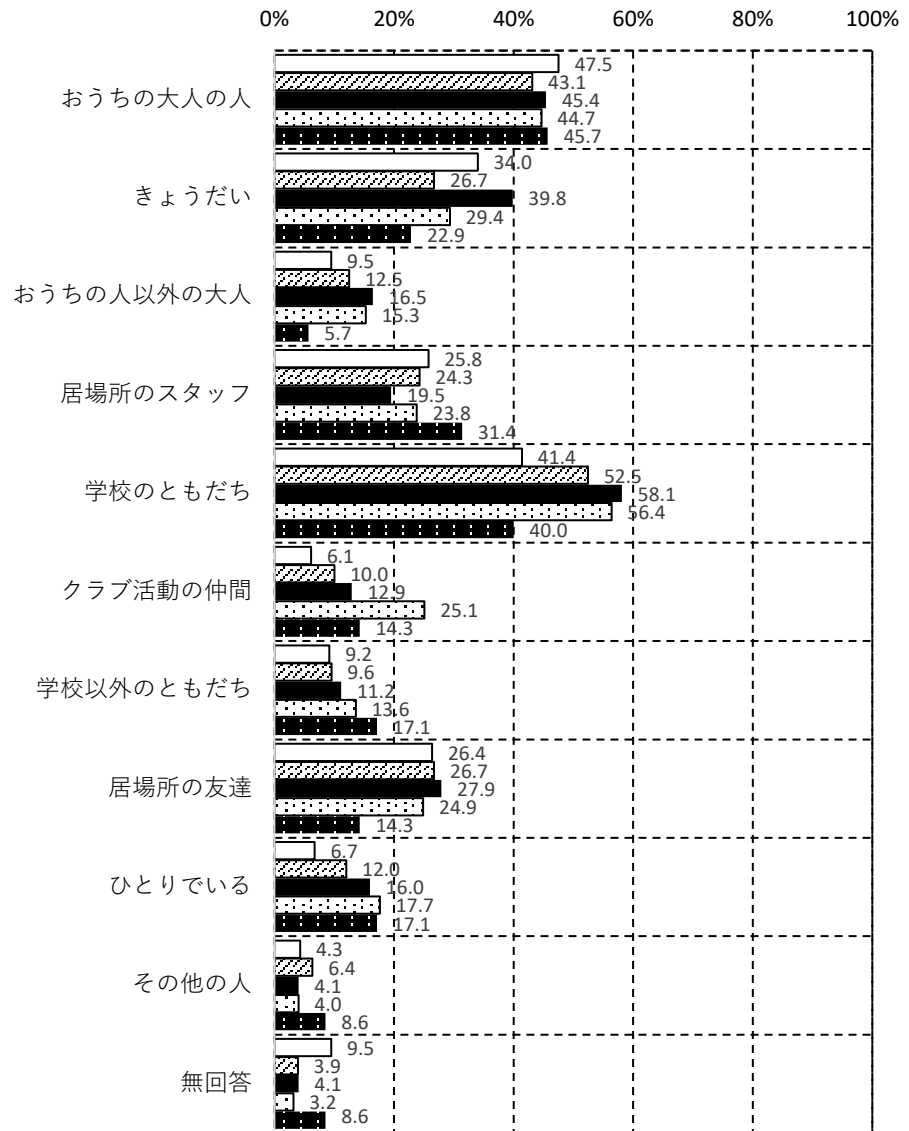


図 25. 放課後だれと過ごすか（現在）

現在、放課後だれと過ごしているかについてみたところ、小学生低学年では、「おうちの大人の人」が47.5%、「きょうだい」が34.0%、「学校のともだち」が41.4%になっている。小学生中学年では、「おうちの大人の人」が43.1%、「きょうだい」が26.7%、「学校のともだち」が52.5%になっている。小学生高学年では、「おうちの大人の人」が45.4%、「きょうだい」が39.8%、「学校のともだち」が58.1%になっている。中学生では、「おうちの大人の人」が44.7%、「きょうだい」が29.4%、「学校のともだち」が56.4%になっている。高校生では、「おうちの大人の人」が45.7%、「きょうだい」が22.9%、「学校のともだち」が40.0%になっている。

「おうちの大人の人」、「きょうだい」、「学校のともだち」が高いことは居場所に来る前と現在で共通している。このことに加えて、居場所に来てからは、居場所の友達とも過ごしていることがわかる。

失敗したときに助けてくれる人

問 22 ① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

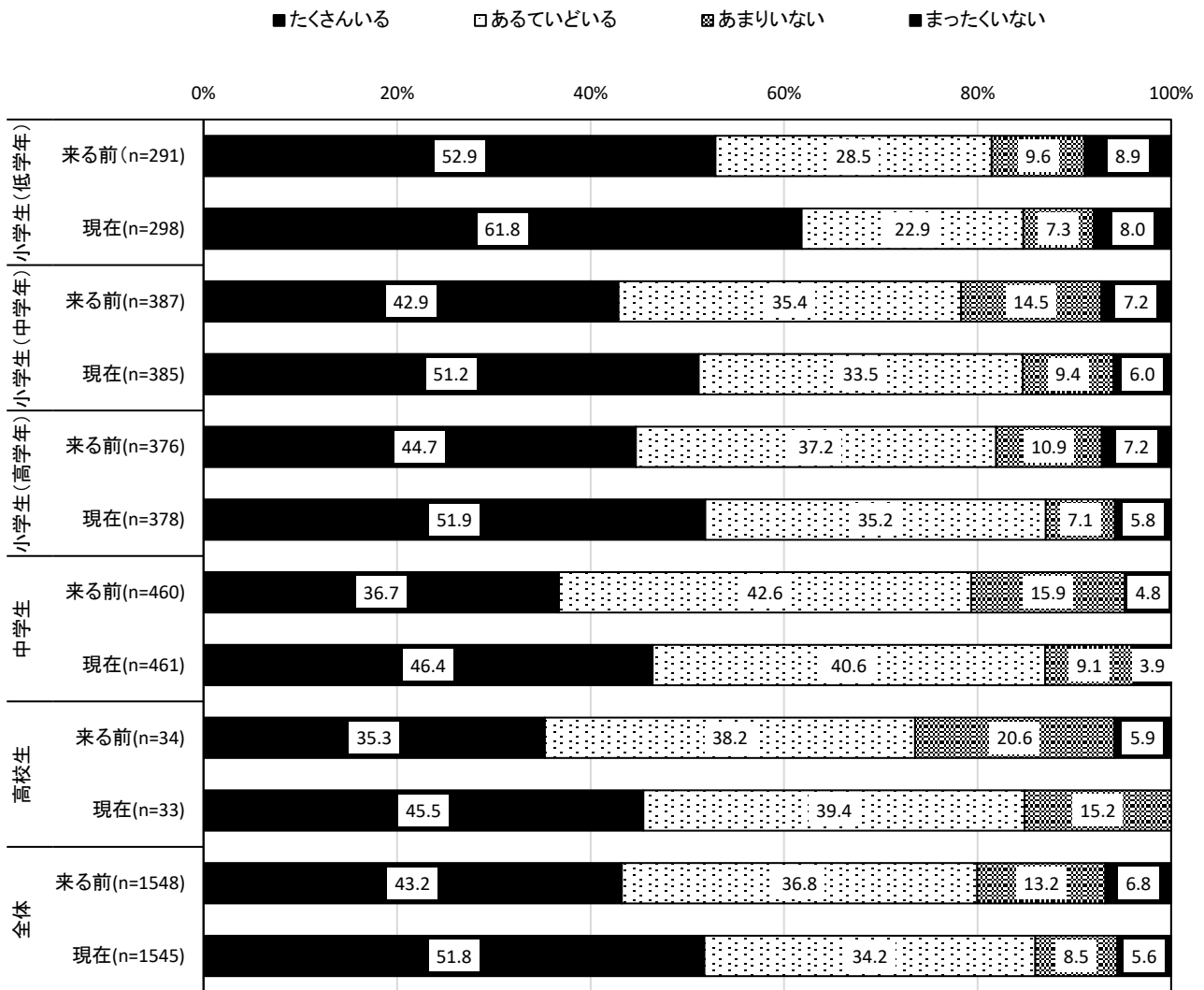


図 26. 失敗したときに助けてくれる人

失敗したときに助けてくれる人をみると、全体では居場所に来る前は「たくさんいる」が43.2%、「あるていどいる」が36.8%、「あまりいない」が13.2%、「まったくいない」が6.8%になっている。現在では「たくさんいる」が51.8%、「あるていどいる」が34.2%、「あまりいない」が8.5%、「まったくいない」が5.6%である。

来る前と現在の変化は、特に「たくさんいる」において、小学生低学年(8.9ポイント)、小学生中学年(8.3ポイント)、中学生(9.7ポイント)、高校生(10.2ポイント)で高くなっている。このように、全群において、居場所に来る前と比べて現在は、助けてくれる人が「たくさんいる」と回答した割合が高くなっている。

頑張ったときにほめてくれる人
 問 22 ② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

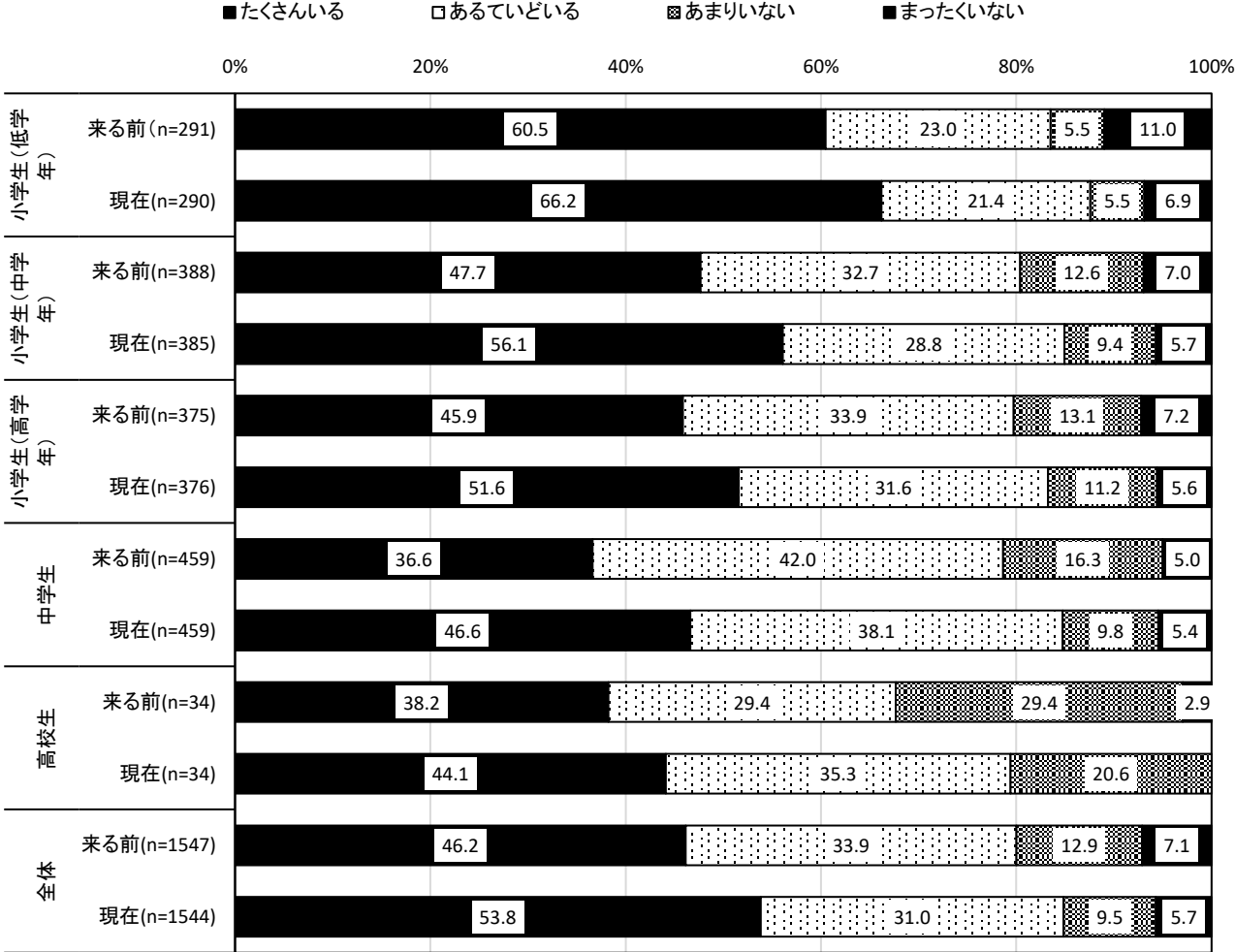


図 27. 頑張ったときにほめてくれる人

頑張ったときにほめてくれる人をみると、全体では居場所に来る前は「たくさんいる」が46.2%、「あるていどいる」が33.9%、「あまりいない」が12.9%、「まったくいない」が7.1%になっている。現在では「たくさんいる」が53.8%、「あるていどいる」が31.0%、「あまりいない」が9.5%、「まったくいない」が5.7%である。

来る前と現在の変化は、特に「たくさんいる」において、小学生中学年(8.4ポイント)、中学生(10.0ポイント)で高くなっている。このように、全ての群において、居場所に来る前と比べて現在は、頑張ったときにほめてくれる人が「たくさんいる」と回答した割合が高くなっている。

一人でできないときに手伝ってくれる人

問 22 ③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

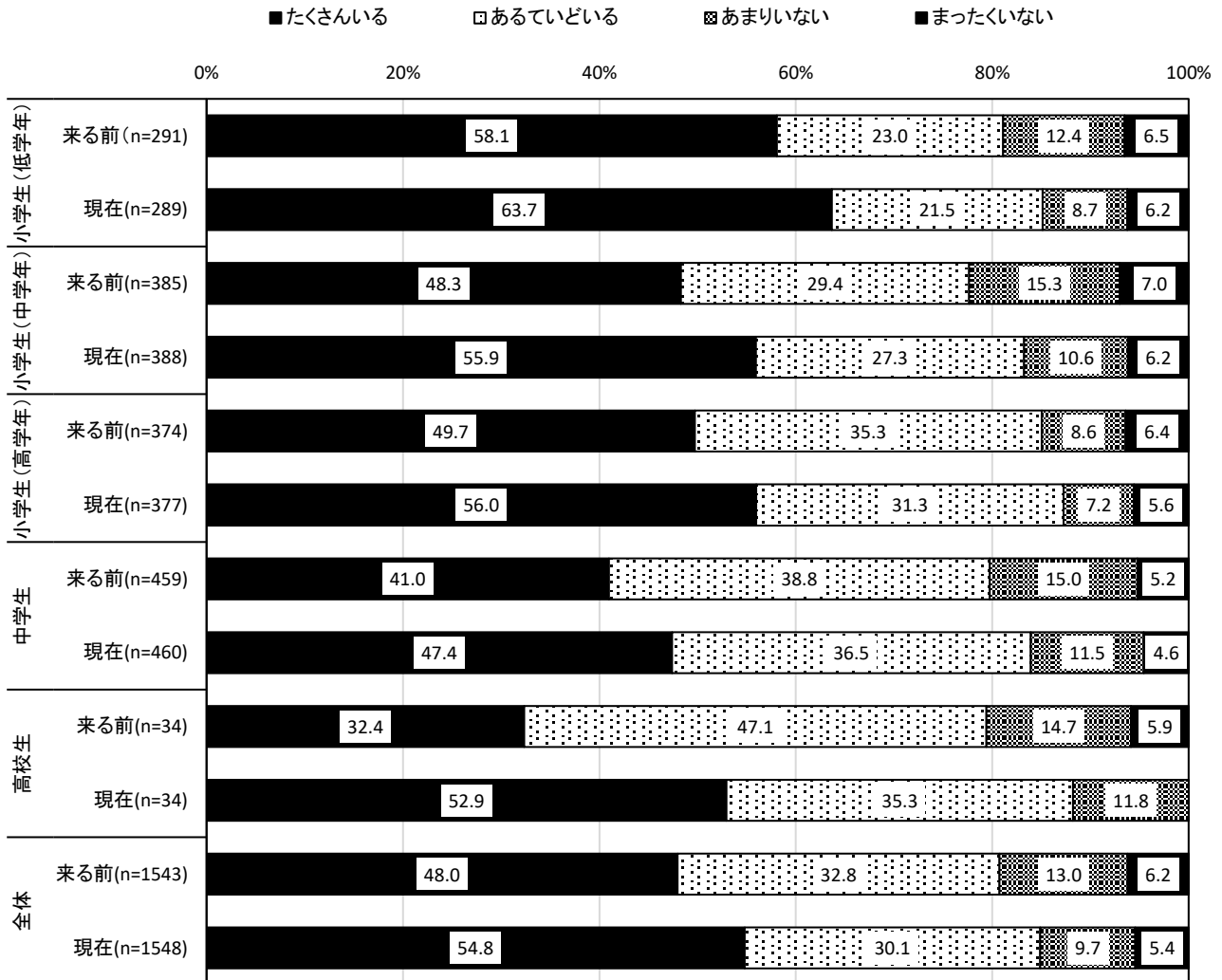


図 28. 一人でできないときに手伝ってくれる人

一人でできないときに手伝ってくれる人を見ると、全体では居場所に来る前は「たくさんいる」が48.0%、「あるていどいる」が32.8%、「あまりいない」が13.0%、「まったくいない」が6.2%になっている。現在では「たくさんいる」が54.8%、「あるていどいる」が30.1%、「あまりいない」が9.7%、「まったくいない」が5.4%である。

来る前と現在の変化は、特に「たくさんいる」において、高校生(20.5ポイント)で高くなっている。このように、全ての群において、居場所に来る前と比べて現在は、一人でできないときに手伝ってくれる人が「たくさんいる」と回答した割合が高くなっている。

悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人

問 22 ④ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

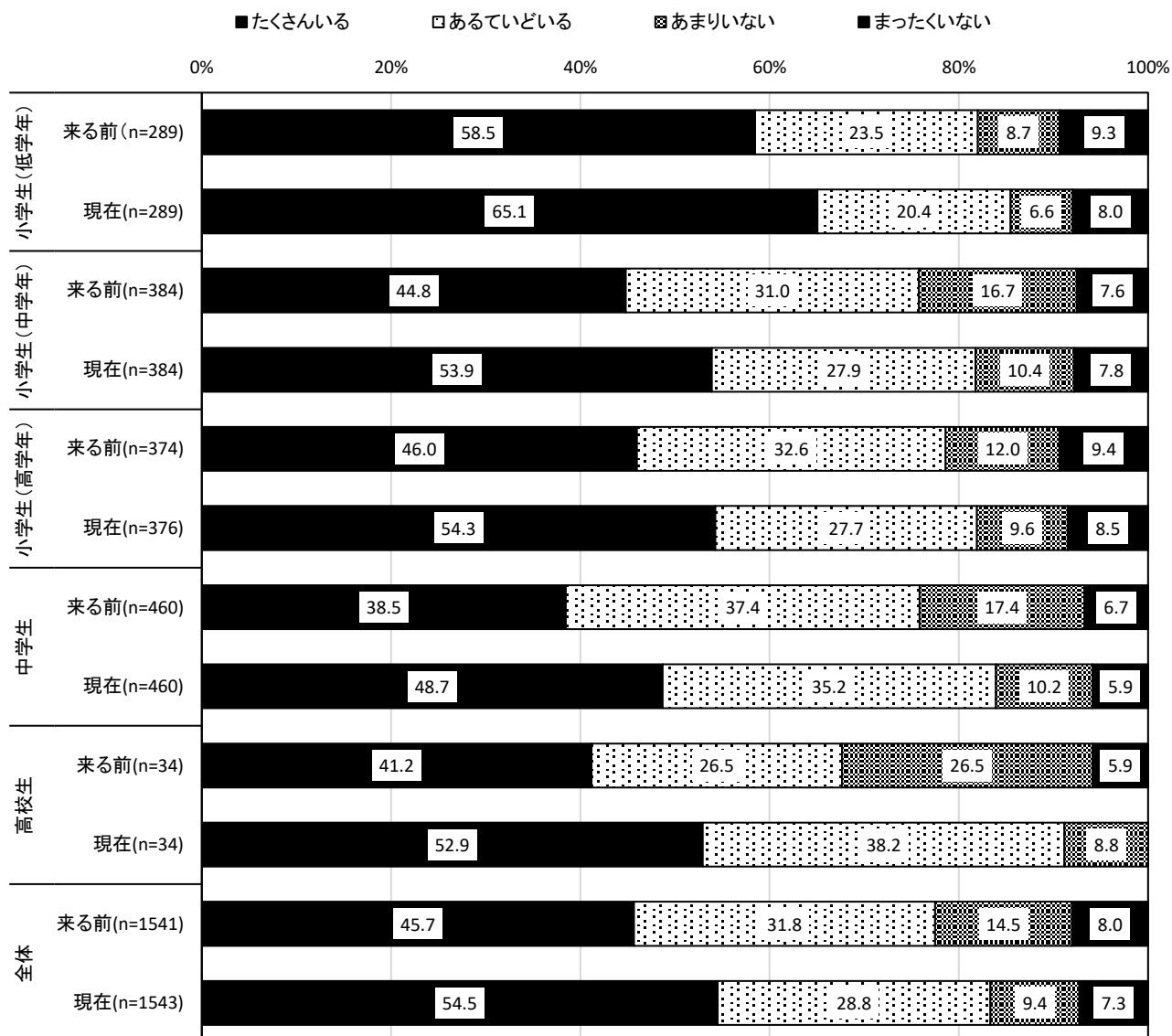


図 29. 悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人

悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人をみると、全体では居場所に来る前は「たくさんいる」が45.7%、「あるていどいる」が31.8%、「あまりいない」が14.5%、「まったくいない」が8.0%になっている。現在では「たくさんいる」が54.5%、「あるていどいる」が28.8%、「あまりいない」が9.4%、「まったくいない」が7.3%である。

来る前と現在の変化は、特に「たくさんいる」において、小学生中学年(9.1ポイント)、中学生(10.2ポイント)、高校生(11.7ポイント)で高くなっている。このように、全ての群において、居場所に来る前と比べて現在は、悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人が「たくさんいる」と回答した割合が高くなっている。

いままでの人生で、心から感動したことがある

問 21 ① いままでの人生で、心から感動したことがある。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

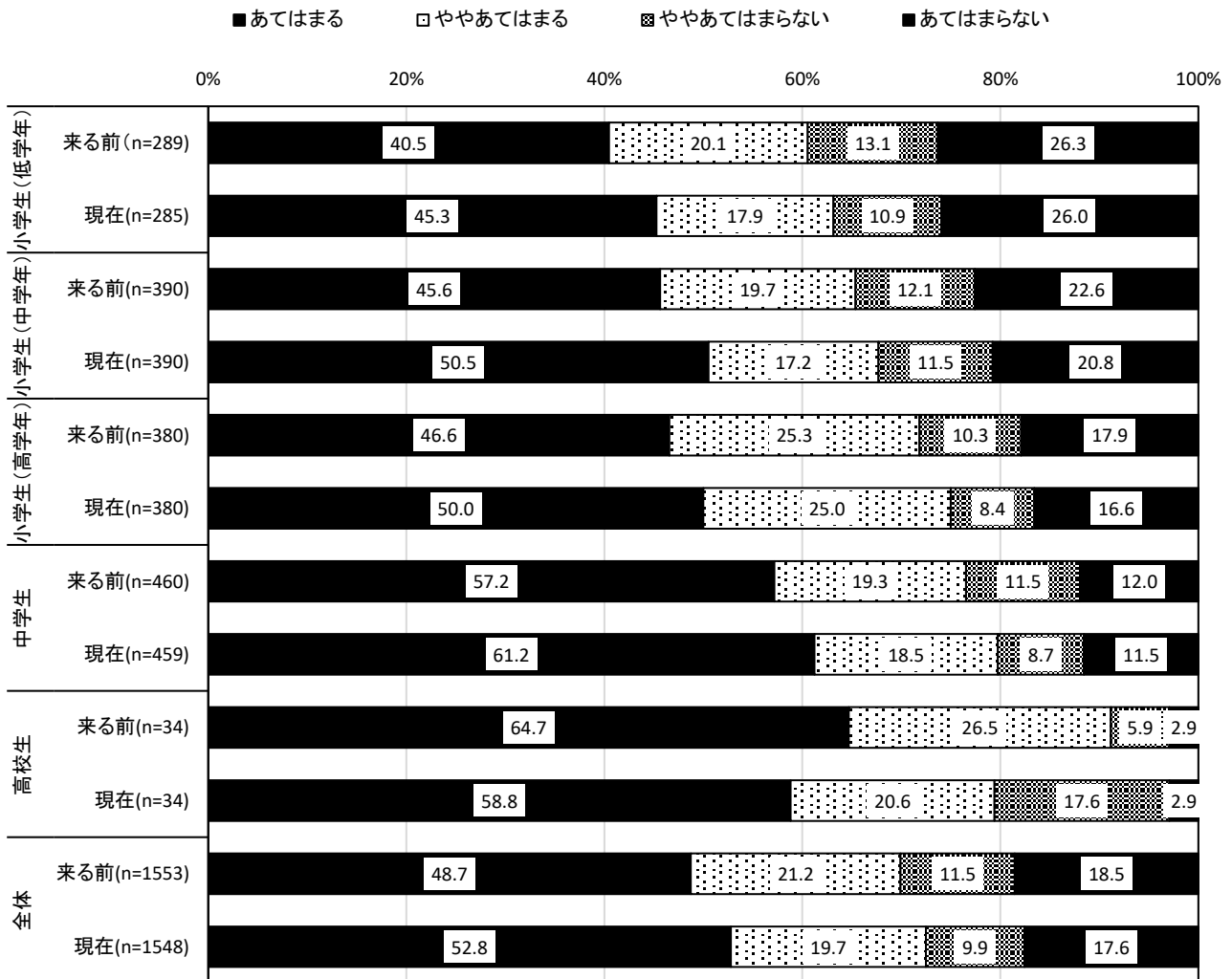


図 30. いままでの人生で、心から感動したことがある

いままでの人生で、心から感動したことがあるかどうかをみると、全体では、居場所に来る前は「あてはまる」が48.7%、「ややあてはまる」が21.2%、「ややあてはまらない」が11.5%、「あてはまらない」が18.5%になっている。現在では、「あてはまる」が52.8%、「ややあてはまる」が19.7%、「ややあてはまらない」が9.9%、「あてはまらない」が17.6%である。学年が上がるにつれて、「あてはまらない」の割合が低くなっている。

来る前と現在の変化は、特に「あてはまる」において、高校生を除く各学年で平均3.0ポイント高くなっている。高校生は、変化の傾向が他の群と異なり、来る前より現在のほうが、感動経験に対する否定的な意識が高くなっており、別途検討が必要であろう。

夢中になったり勉強が面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある

問 21 ②夢中になったり勉強が面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

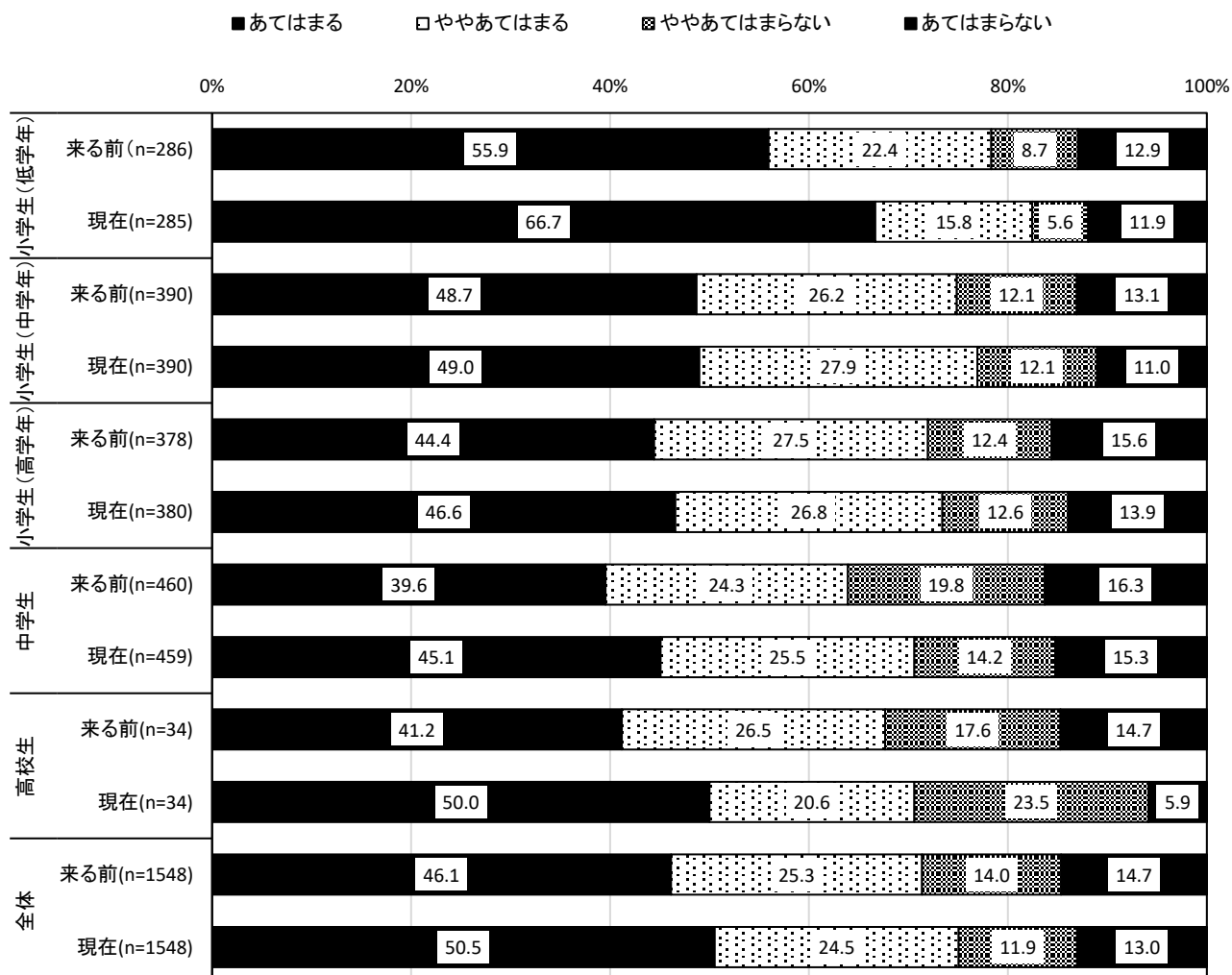


図 31. 夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある

夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業があるかどうかについてみると、全体では、居場所に来る前は「あてはまる」が46.1%、「ややあてはまる」が25.3%、「ややあてはまらない」が14.0%、「あてはまらない」が14.7%になっている。現在では、「あてはまる」が50.5%、「ややあてはまる」が24.5%、「ややあてはまらない」が11.9%、「あてはまらない」が13.0%である。学年が上がるにつれて、こうした授業の記憶がある割合は若干低くなっている。

来る前と現在の変化は、特に「あてはまる」において、小学生低学年(10.8ポイント)と高校生(8.8ポイント)で高くなっている。全体的に、来る前より現在のほうが、こうした授業の記憶があると答えた割合が若干高いようである。

小さい子やお年寄りがこまっているとき手助けをする

問 21 ③ 小さい子やお年寄りがこまっているとき手助けをする。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

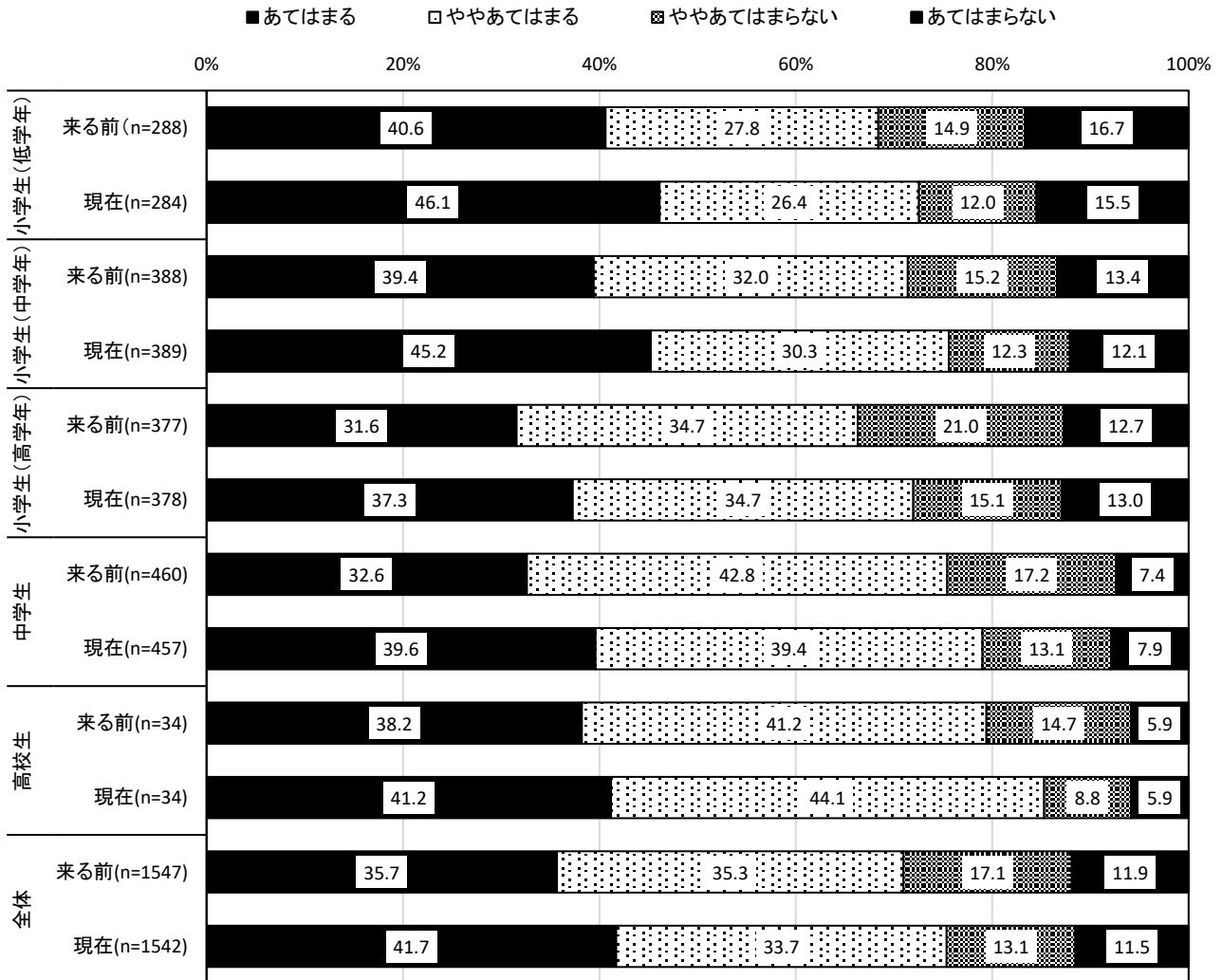


図 32. 小さい子やお年寄りがこまっているとき手助けをする

こまっているとき手助けをするをみると、全体では、居場所に来る前は「あてはまる」が 35.7%、「ややあてはまる」が 35.3%、「ややあてはまらない」が 17.1%、「あてはまらない」が 11.9%になっている。現在では、「あてはまる」が 41.7%、「ややあてはまる」が 33.7%、「ややあてはまらない」が 13.1%、「あてはまらない」が 11.5%である。「あてはまらない」と回答した割合は、学年が上がるにつれて、低くなっている。

来る前と現在の変化は、特に「あてはまる」において、各学校区分で平均 5.4 ポイント高くなっており、現在のほうが手助けをしている割合が高い。

お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する

問 21 ④ お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

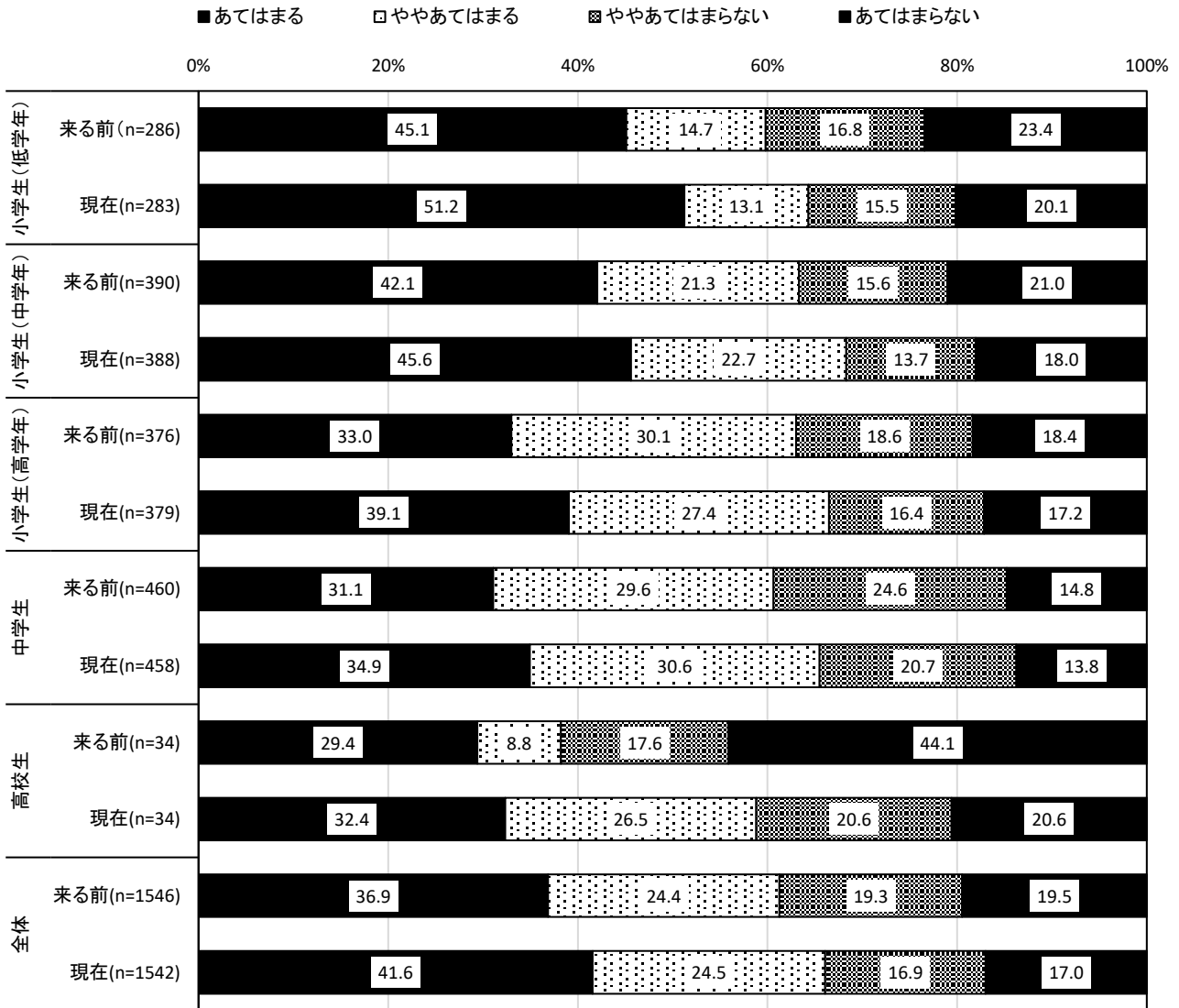


図 33. お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する

地域の行事に参加するをみると、全体では、居場所に来る前は「あてはまる」が 36.9%、「ややあてはまる」が 24.4%、「ややあてはまらない」が 19.3%、「あてはまらない」が 19.5%になっている。現在では、「あてはまる」が 41.6%、「ややあてはまる」が 24.5%、「ややあてはまらない」が 16.9%、「あてはまらない」が 17.0%である。高校生を除き、学年が上がるにつれて、「あてはまらない」の割合は低くなっている。

来る前と現在の変化は、特に「あてはまる」において、小学生低学年（6.1ポイント）と小学生高学年（6.1ポイント）で高くなっている。程度の違いはあるが、どの群においても「あてはまる」の割合は、現在のほうが高くなっている。

自分に自信がある

問 23 ①自分に自信がある（あてはまる番号1つに○をつけてください）

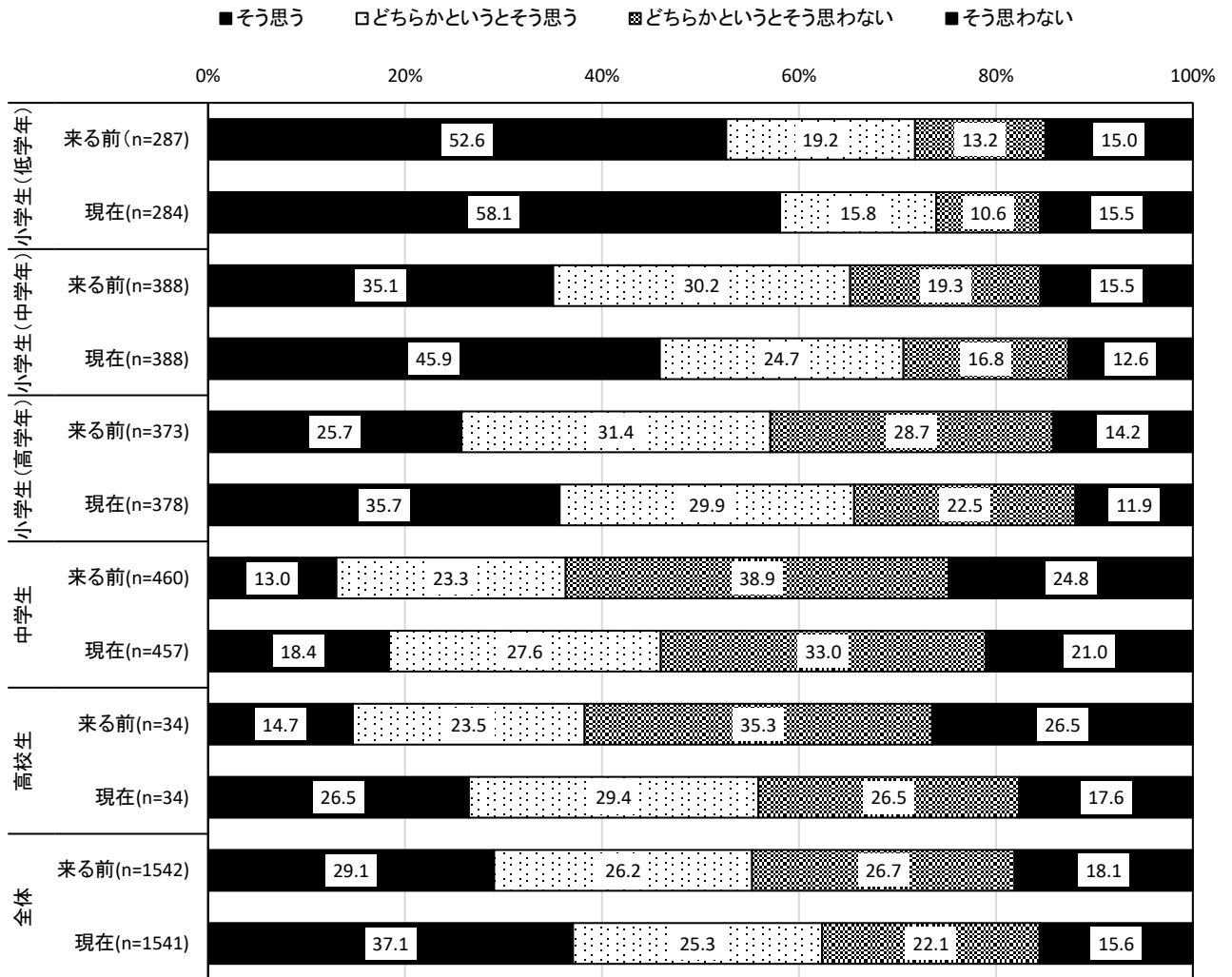


図 34. 自分に自信がある

自分に自信があるかどうかについてみると、全体では、居場所に来る前は「そう思う」が29.1%、「どちらかというと思う」が26.2%、「どちらかというと思わない」が26.7%、「そう思わない」が18.1%になっている。現在では、「そう思う」が37.1%、「どちらかというと思う」が25.3%、「どちらかというと思わない」が22.1%、「そう思わない」が15.6%である。小学生と比べて中学生と高校生では自信がある割合が低い傾向にある。

来る前と現在の変化は、特に「そう思う」において、小学生中学年（10.8ポイント）と小学生高学年（10.0ポイント）と高校生（11.8ポイント）で高くなっている。どの群においても、「そう思う」が増加しており、来る前より現在のほうが、自分に自信があるという意識が高くなっている。

自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

問 23 ②自分の考えをはっきり相手に伝えることができる。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

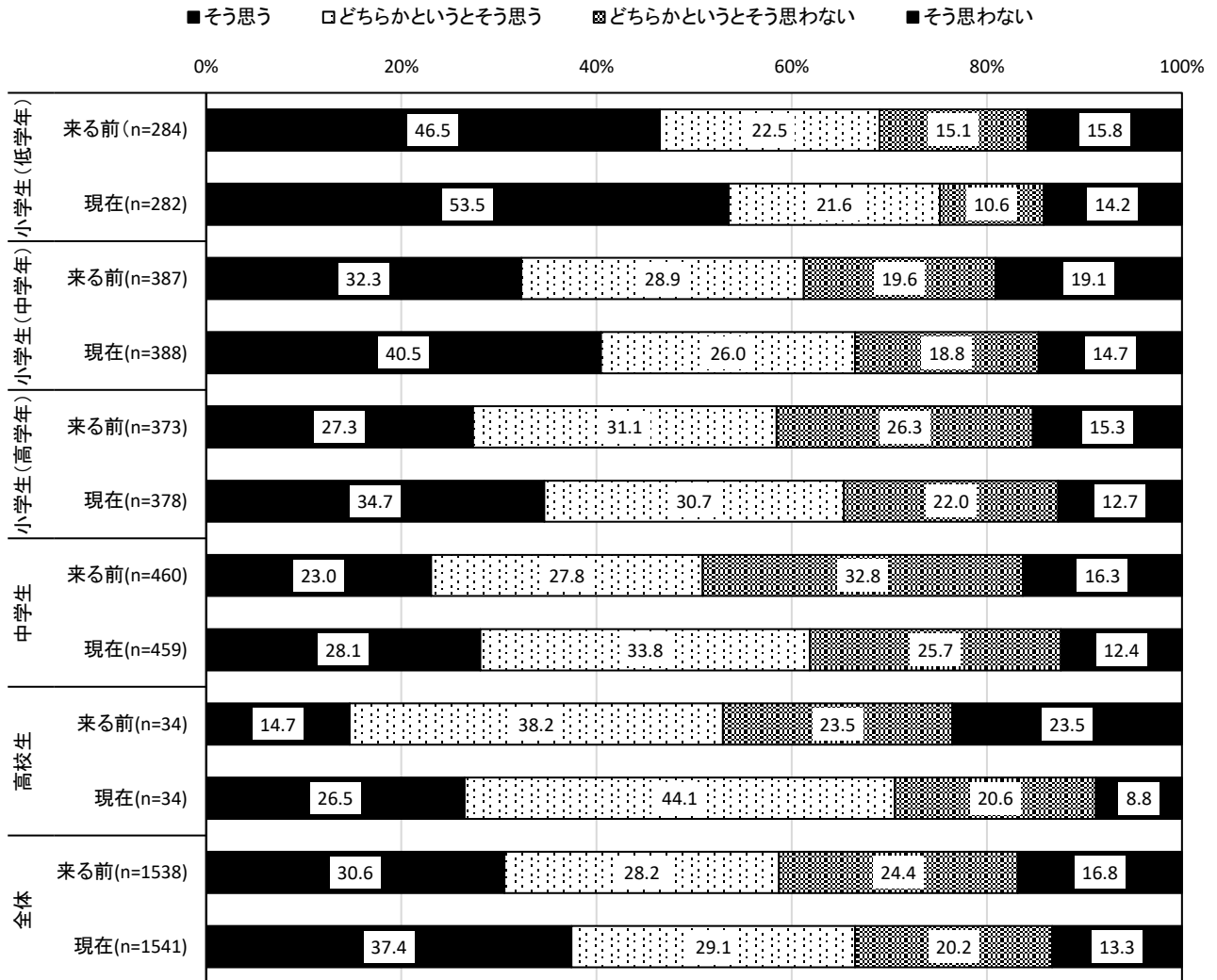


図 35. 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

自分の考えをはっきり相手に伝えることができるかどうかについてみると、全体では、居場所に来る前は「そう思う」が30.6%、「どちらかというと思う」が28.2%、「どちらかというと思わない」が24.4%、「そう思わない」が16.8%になっている。現在では、「そう思う」が37.4%、「どちらかというと思う」が29.1%、「どちらかというと思わない」が20.2%、「そう思わない」が13.3%である。「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計をみると、学年が上がるにつれて、割合が低くなる傾向がある。

来る前と現在の変化は、特に「そう思う」において、高校生(11.8ポイント)で高くなっている。このように、来る前より現在のほうが、自分の考えをはっきり相手に伝えることができるという意識を持つ傾向にある。

大人を信用できる

問 23 ③大人を信用できる（あてはまる番号1つに○をつけてください）

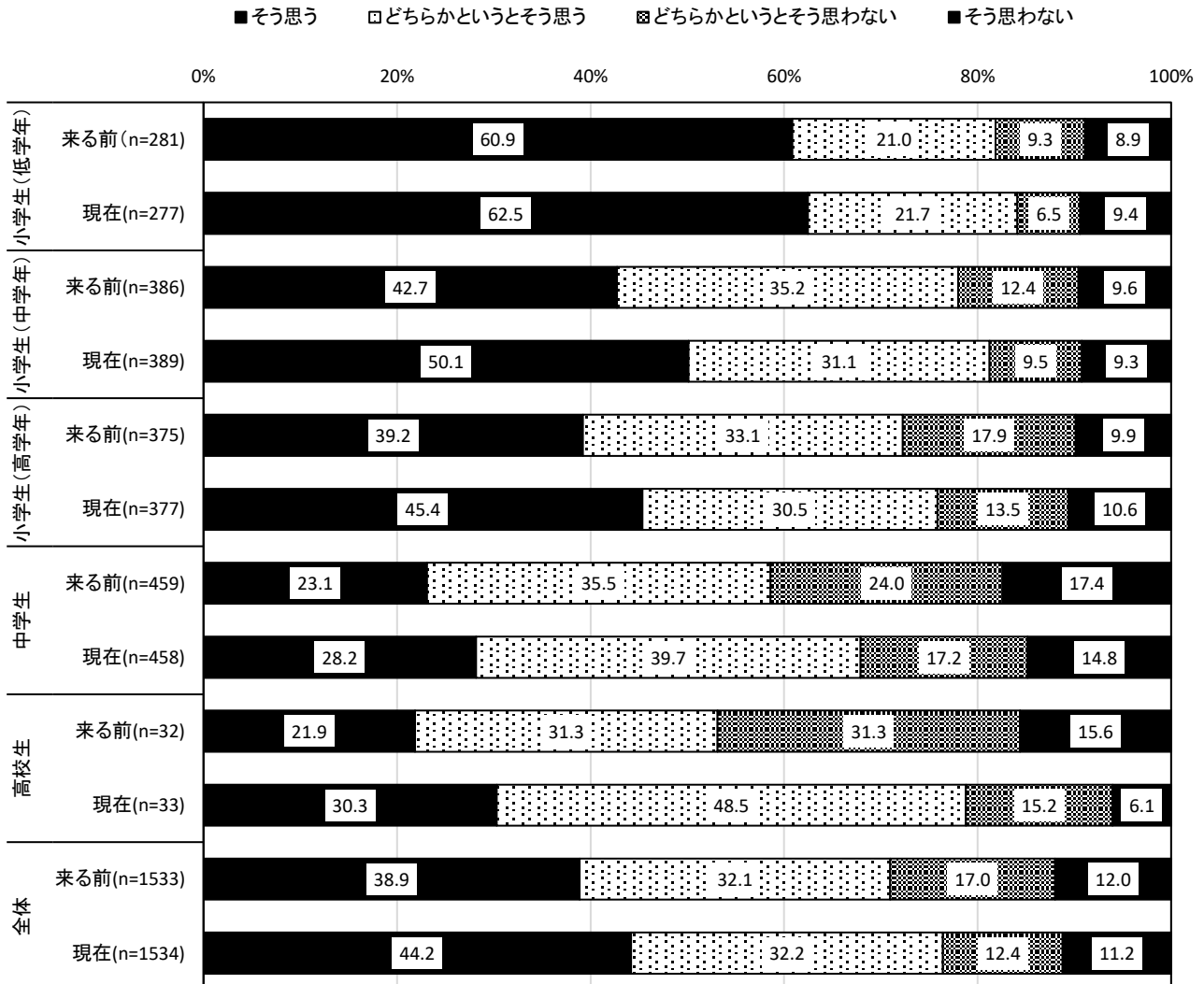


図 36. 大人を信用できる

大人を信用できるかどうかについてみると、全体では、居場所に来る前は「そう思う」が 38.9%、「どちらかというと思う」が 32.1%、「どちらかというと思わない」が 17.0%、「そう思わない」が 12.0%になっている。現在では、「そう思う」が 44.2%、「どちらかというと思う」が 32.2%、「どちらかというと思わない」が 12.4%、「そう思わない」が 11.2%である。学年が上がるにつれて、大人を信用できると思う割合が低くなる傾向がある。

来る前と現在の変化は、特に「そう思う」において、小学生中学年（7.4ポイント）と高校生（8.4ポイント）で高くなっている。程度の違いはあれど、来る前より現在のほうが、大人を信用できるとする意識を持つ傾向にある。

自分の将来の夢や目標を持っている

問 23 ④ 自分の将来の夢や目標を持っている

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

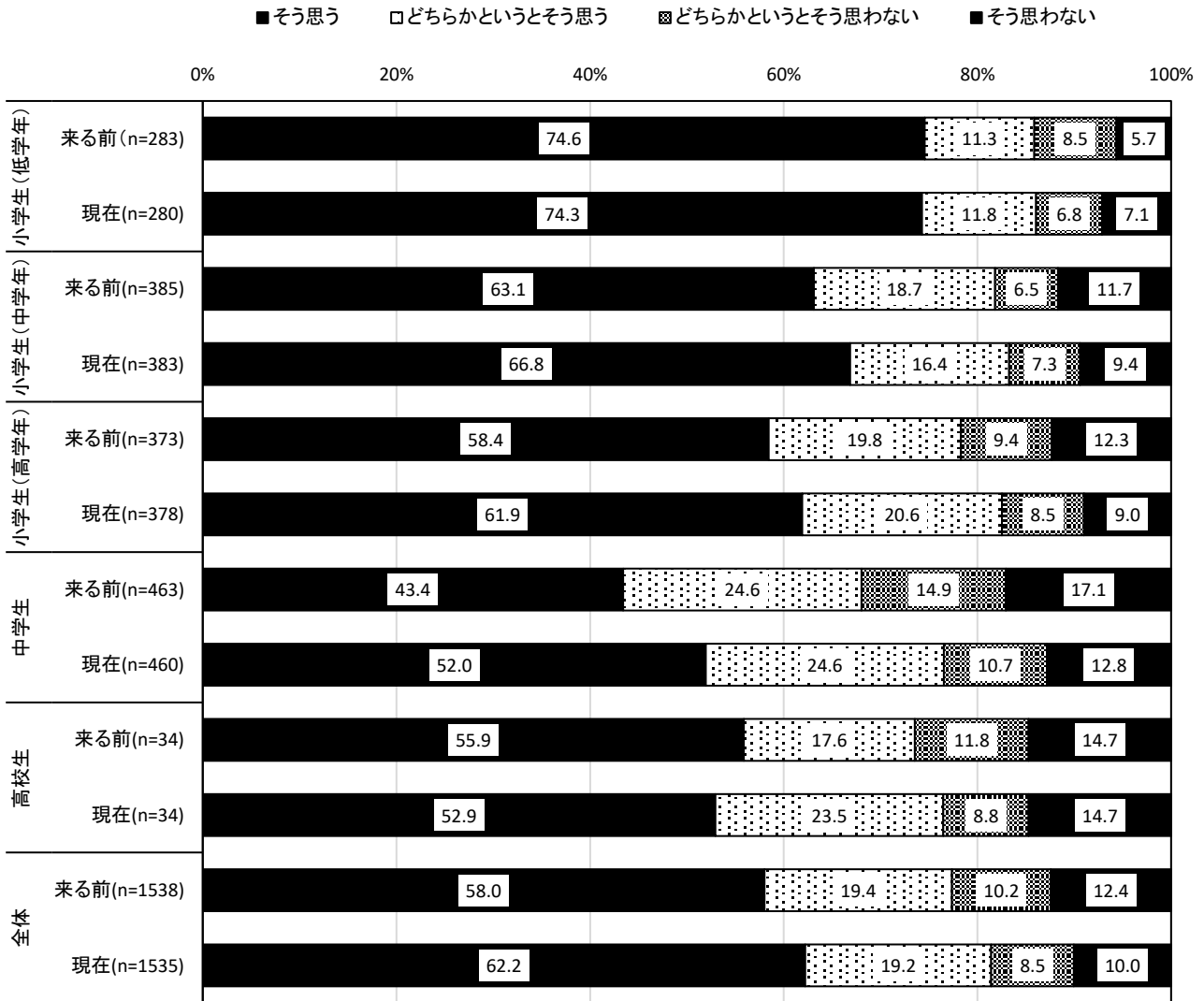


図 37. 自分の将来の夢や目標を持っている

自分の将来の夢や目標を持っているをみると、全体では、居場所に来る前は「そう思う」が 58.0%、「どちらかというと思う」が 19.4%、「どちらかというと思わない」が 10.2%、「そう思わない」が 12.4%になっている。現在では、「そう思う」が 62.2%、「どちらかというと思う」が 19.2%、「どちらかというと思わない」が 8.5%、「そう思わない」が 10.0%である。他の群に比べて中学生は、「そう思う」の割合が低い。

来る前と現在の変化は、特に「そう思う」において、中学生(8.6 ポイント)で高くなっている。回答者全体については若干の増加がみられるが、上述の中学生の意識の変化が顕著である。

将来のためにも今頑張りたいと思う

問 23 ⑤将来のためにも今頑張りたいと思う（あてはまる番号1つに○をつけてください）

■ そう思う □ どちらかというと思う ▨ どちらかというと思わない ■ そう思わない

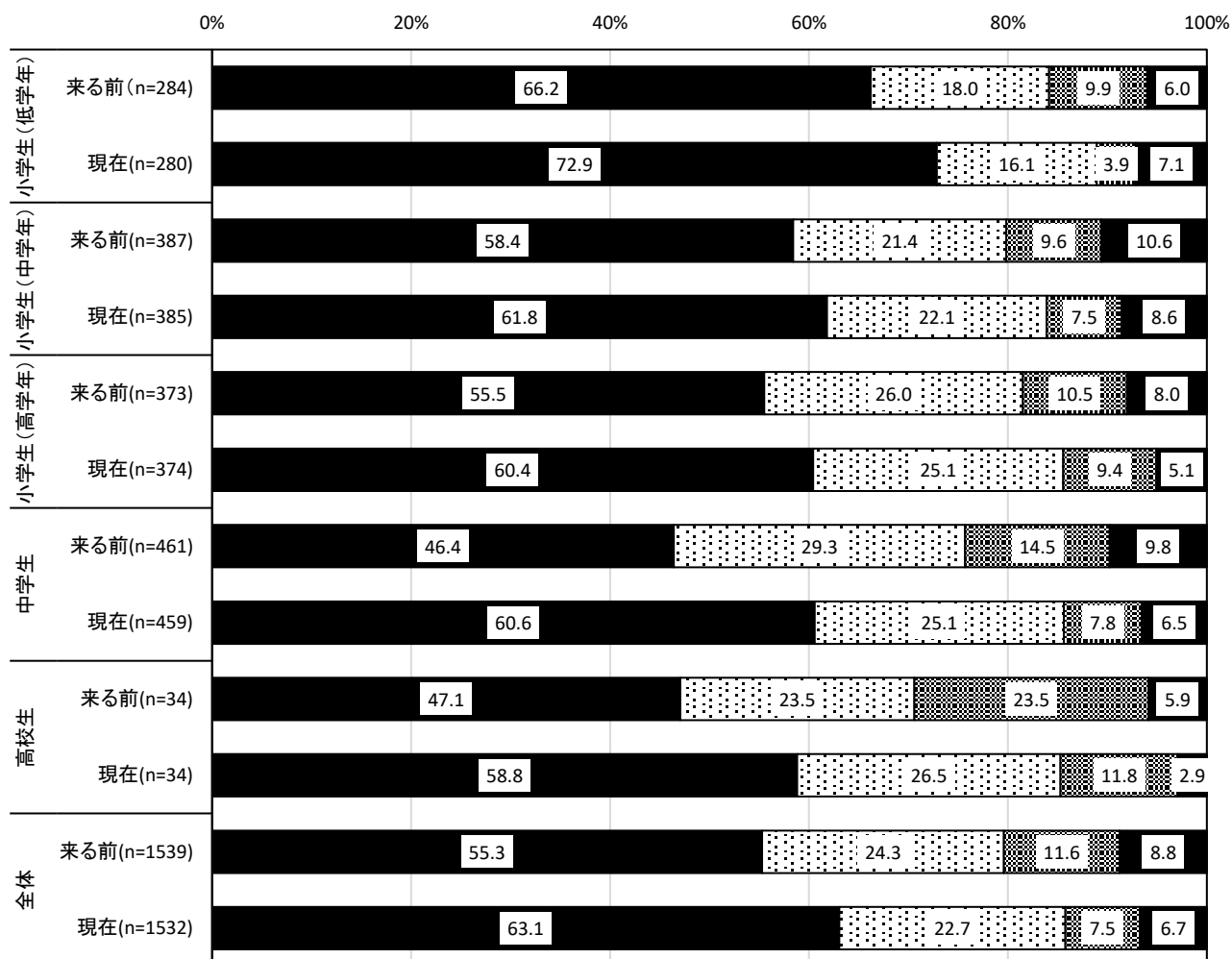


図 38. 将来のためにも今頑張りたいと思う

将来のためにも今頑張りたいと思うについてみると、全体では、居場所に来る前は「そう思う」が 55.3%、「どちらかというと思う」が 24.3%、「どちらかというと思わない」が 11.6%、「そう思わない」が 8.8%になっている。現在では、「そう思う」が 63.1%、「どちらかというと思う」が 22.7%、「どちらかというと思わない」が 7.5%、「そう思わない」が 6.7%である。学年区分による大きな差は見られない。

来る前と現在の変化は、特に「そう思う」において、中学生（14.2ポイント）と高校生（11.7ポイント）で高くなっている。このように、来る前より現在のほうが、将来のためにも今頑張りたいと思うという意識を持つ傾向にある。

将来働きたいと思う

問 23 ⑥ 将来働きたいと思う（あてはまる番号1つに○をつけてください）

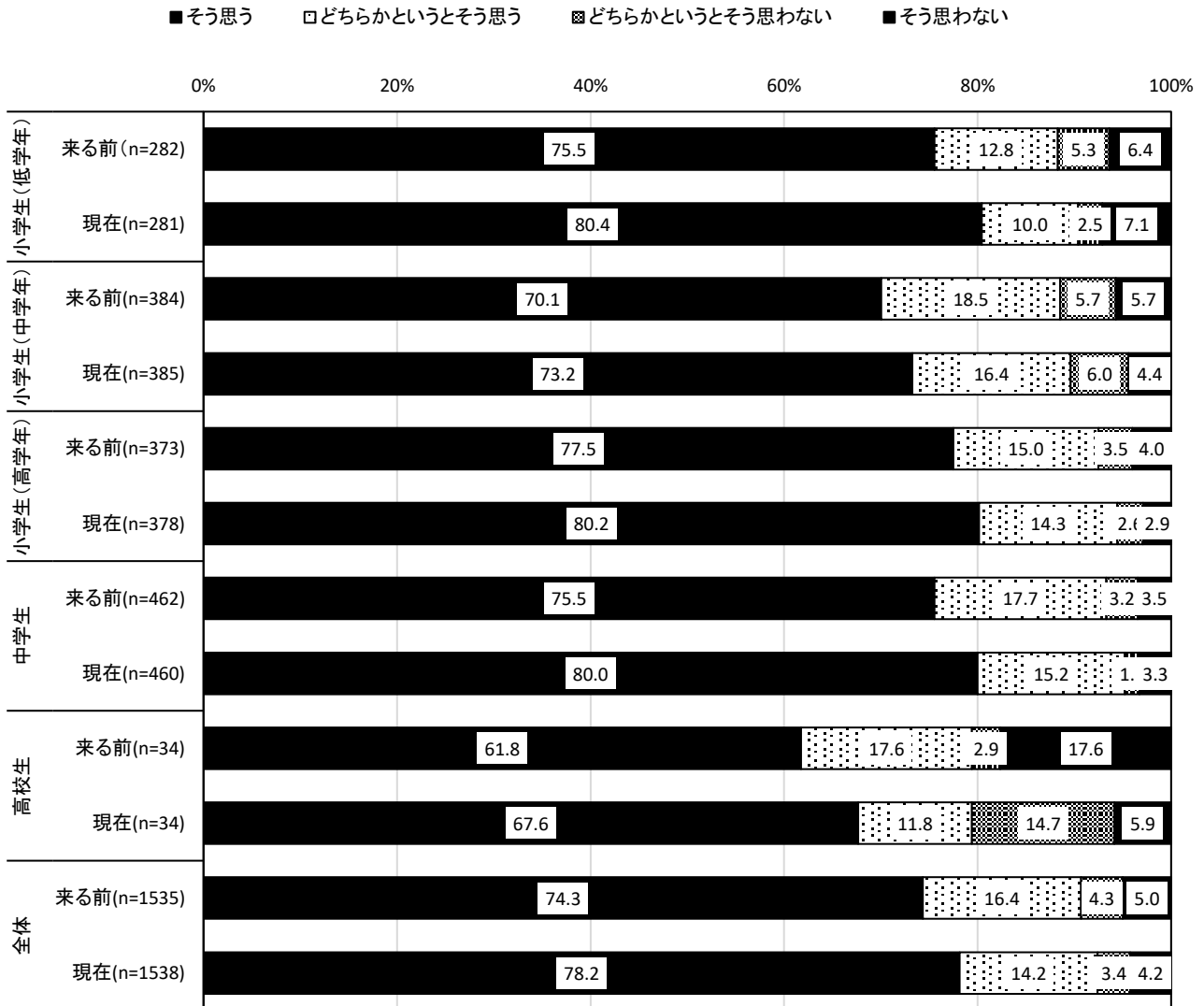


図 39. 将来働きたいと思う

将来働きたいと思うかどうかについてみると、全体では、居場所に来る前は「そう思う」が 74.3%、「どちらかというと思う」が 16.4%、「どちらかというと思わない」が 4.3%、「そう思わない」が 5.0%になっている。現在では、「そう思う」が 78.2%、「どちらかというと思う」が 14.2%、「どちらかというと思わない」が 3.4%、「そう思わない」が 4.2%である。他の群と比して高校生は、「そう思う」の割合が低くなる傾向がある。このように、来る前より現在のほうが、自分の考えをはっきり相手に伝えることができるという意識を持つ傾向にある。

来る前と現在の変化は、特に「そう思う」において、各学年で平均 4.2 ポイント高くなっている。このように、来る前より現在のほうが、若干ではあるが、将来働くことに対して肯定的な意識を持つ傾向にある。

子どもの自己効力感（セルフエフィカシー）

あなたの気持ちについて教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

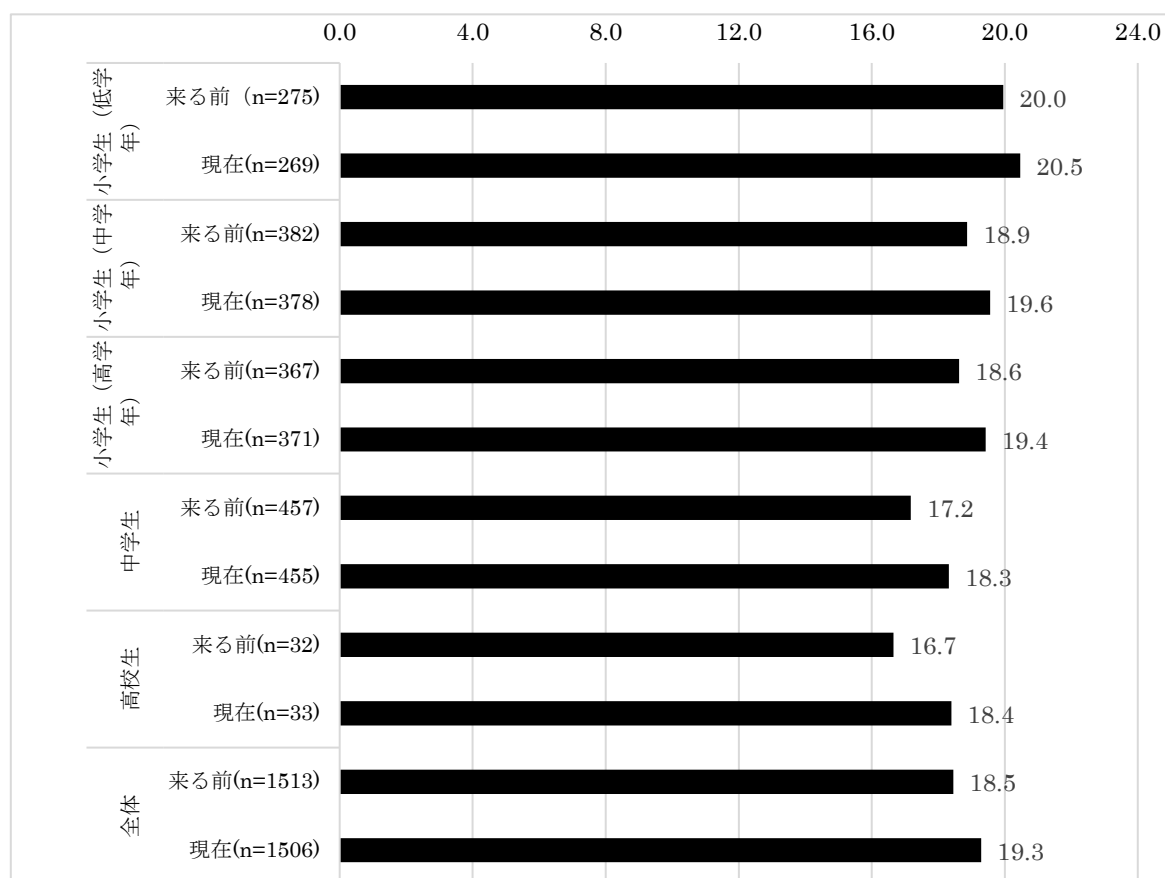


図 40. 子どもの自己効力感

子どもの自己効力感について、「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「大人を信用できる」「自分の将来の夢や目標を持っている」「将来のためにも、今、頑張りたいと思う」「将来、働きたいと思う」の6つの項目それぞれについて、「そう思う」「どちらかというと思う」「どちらかというと思わない」「そう思わない」の4段階の選択肢から1つを選んでもらった。6項目の回答の合計を図に示し、これを自己効力感とした。図の最大値はすべて4を選んだ場合の $6 \times 4 = 24$ となる。数字が大きい方が、自己効力感が高いことを示す。

なお、図は、「そう思う」を1、「どちらかというと思う」を2、「どちらかというと思わない」を3、「そう思わない」を4として計算しているが、調査票では、逆の得点（「そう思う」を4、「どちらかというと思う」を3、「どちらかというと思わない」を2、「そう思わない」を1とし）となっている。

子どもの自己効力感についてみたところ、中学生と高校生は、居場所に来る前が17.2および16.7と、他群に比べ若干低いものの、学年による大きな差は見られない。来る前と現在の変化をみると、どの群においても若干の増加がみられる。

3. 居場所の利用頻度別に見た分析結果

(1) 利用頻度別に見た子どもの特徴

居場所利用頻度別に見た、子どもの学年（問4×問2）

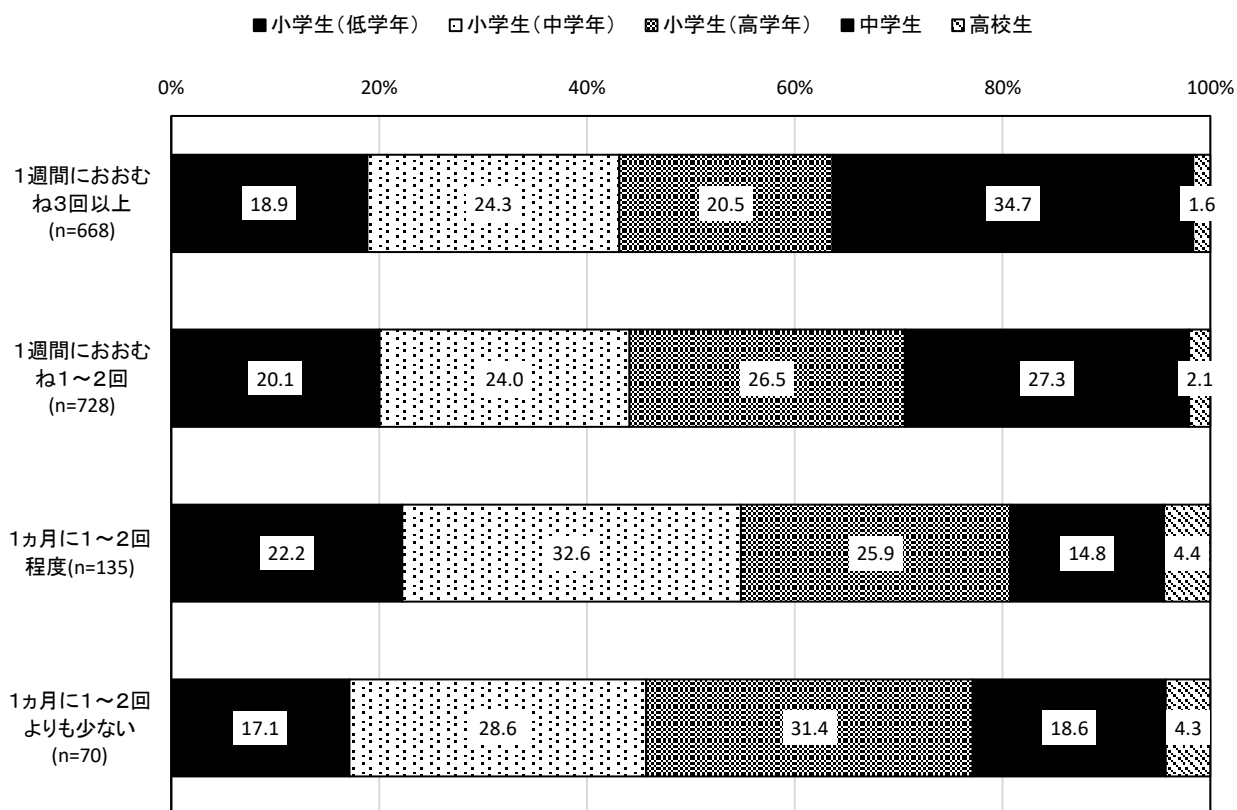


図 41. 居場所利用頻度別に見た、子どもの学年

居場所利用頻度別に子どもの学年を見ると、1週間におおむね3回以上利用する小学校低学年は18.9%、小学校中学年は24.3%、小学校高学年は20.5%、中学生は34.7%、高校生は1.6%であった。次に1週間におおむね1~2回利用する小学校低学年は20.1%、小学校中学年は24.0%、小学校高学年は26.5%、中学生は27.3%、高校生は2.1%であった。また、1か月に1~2回程度利用する小学校低学年は22.2%、小学校中学年は32.6%、小学校高学年は25.9%、中学生は14.8%、高校生は4.4%であった。さらに、1か月に1~2回よりも少ない利用である小学校低学年は17.1%、小学校中学年は28.6%、小学校高学年は31.4%、中学生は18.6%、高校生は4.3%であった。

このことから、一週間におおむね3回以上利用するという高頻度利用者の3割が中学生であることがわかる。高校生については、他の学校区分と比べて人数が少ないため、傾向が見えづらい。

居場所利用頻度別に見た、世帯構成 (問 4×問 3)

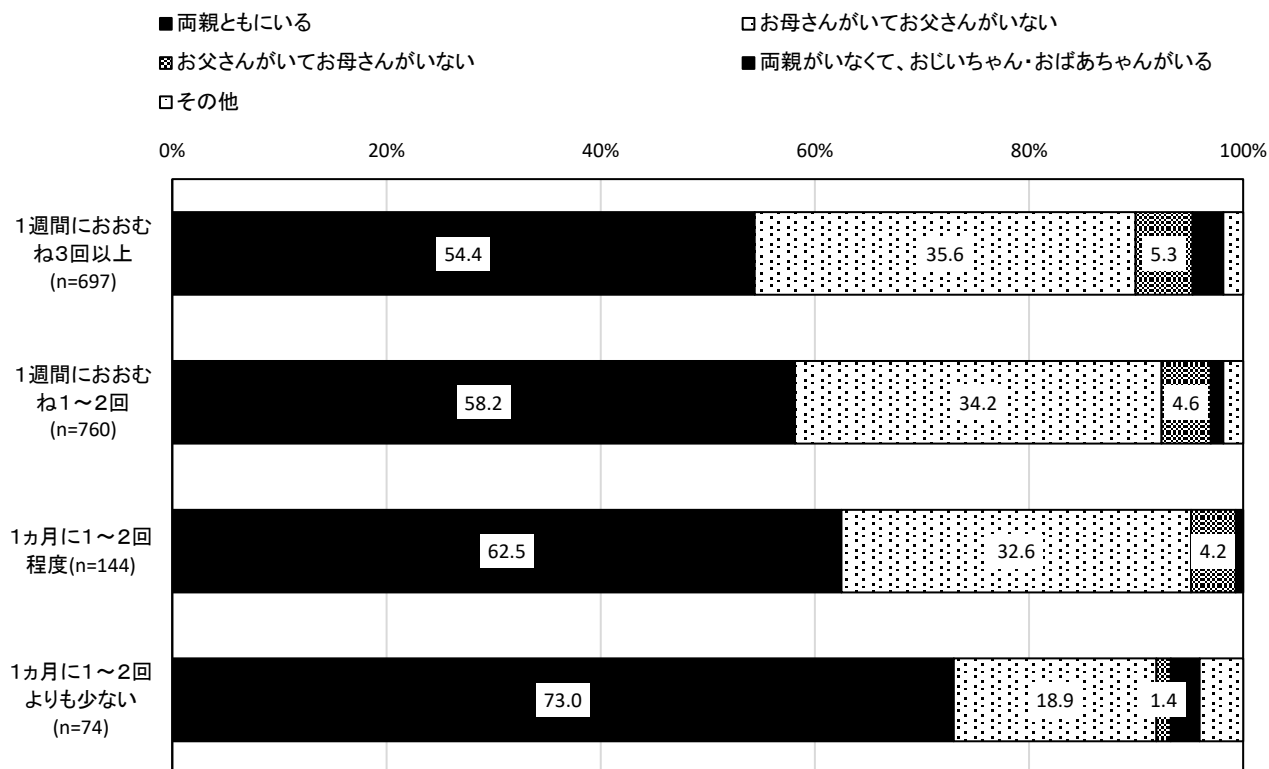


図 42. 居場所利用頻度別に見た、世帯構成

居場所利用頻度別の世帯構成を見ると、全体に占める母子家庭の割合は、利用頻度が高くなるにつれて高まり、一週間におおむね3回以上利用するという高頻度利用者の3割が母子家庭であることがわかる。一方、全体に占めるふたり親家庭の割合は、利用頻度が低くなるにつれて高まり、1か月に1～2回よりも少ないという低頻度利用者の7割がふたり親家庭である。ふたり親や母子家庭以外の家庭（父子家庭や祖父母のみ、その他）は、人数が少なく傾向が見えづらい。

居場所利用頻度別に見た、居場所に来た感想 (問4×問25)

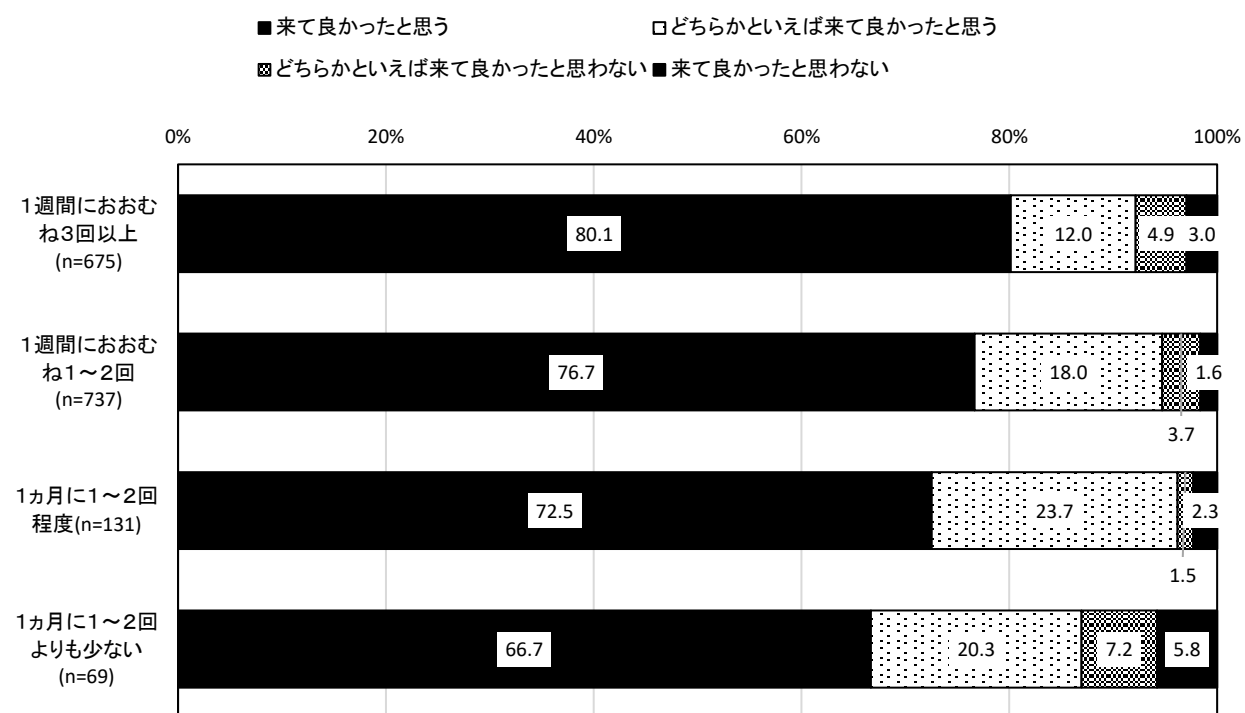


図 43. 居場所利用頻度別に見た、居場所に来た感想

居場所利用頻度別に居場所に来た感想を見ると、利用頻度が高くなるにつれ「来てよかったと思う」と回答した人の割合が高くなっている。また、「どちらかといえば来てよかったと思わない」と「来てよかったと思わない」と回答した人の合計は、利用頻度が1カ月に1~2回よりも少ないと回答した群で最も高く、群の約1割いる。来て良かったと思わないため利用頻度が少ないのか、それとも、利用頻度が少ないため来て良かったと思わないのかについては、この結果のみからは分からない。

(2) 利用頻度別に見た子どもの変化

①生活環境

居場所利用頻度別に見た、朝食の頻度（問4×問17）

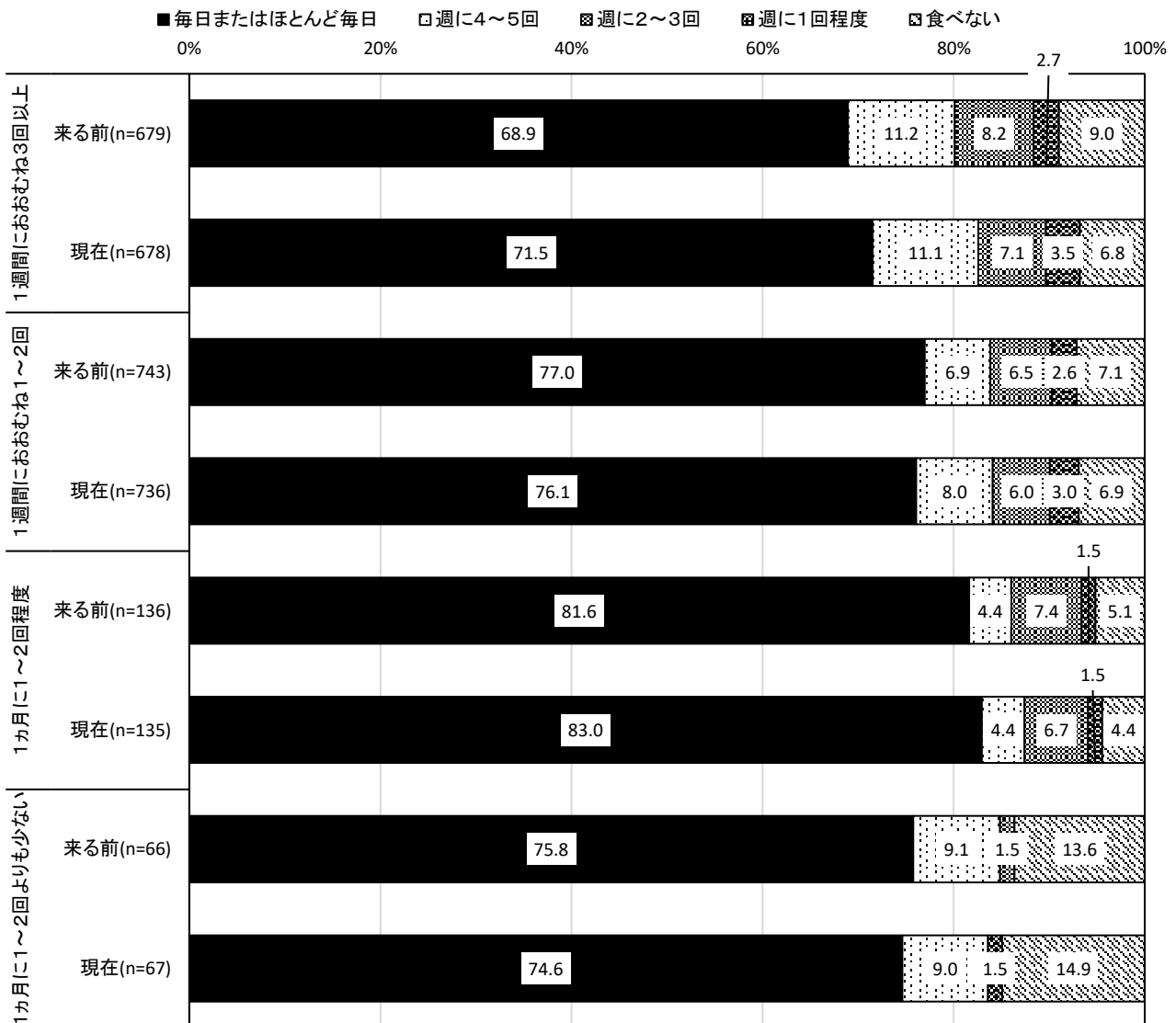


図 44. 居場所利用頻度別に見た、朝食の頻度

居場所利用頻度別に朝食の頻度を見ると、全体として、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べる回答が7割から8割と高くなっている。一方、居場所の利用が「1カ月に1~2回よりも少ない」における「食べない」割合は、他の群に比して高い。来る前と現在との変化を見ると、朝食を毎日またはほとんど毎日食べるでは、「1週間におおむね3回以上」、「1カ月に1~2回」の居場所利用群においては微増しているが、大きな差は見られない。

*以下、生活環境、教育環境の変化については、世帯別（ふたり親世帯、母子世帯）ではどのような違いがあるかを検討していく。本来ならば、利用頻度の実態とその変化を世帯別で検討することが望ましいが、そもそも本調査は、母子世帯の9割が高頻度利用者（「1週間におおむね3回以上」「1週間に1~2回」）であることから、各世帯の利用頻度による変化の分析は行わず、世帯別における変化の分析のみ検討する。世帯構成別においても、父子世帯、祖父母世帯、その他の世帯は人数が少ないため、ふたり親世帯と母子世帯に絞り、来る前と現在の変化について検討する。

世帯構成別に見た、朝食の頻度（問3×問17）

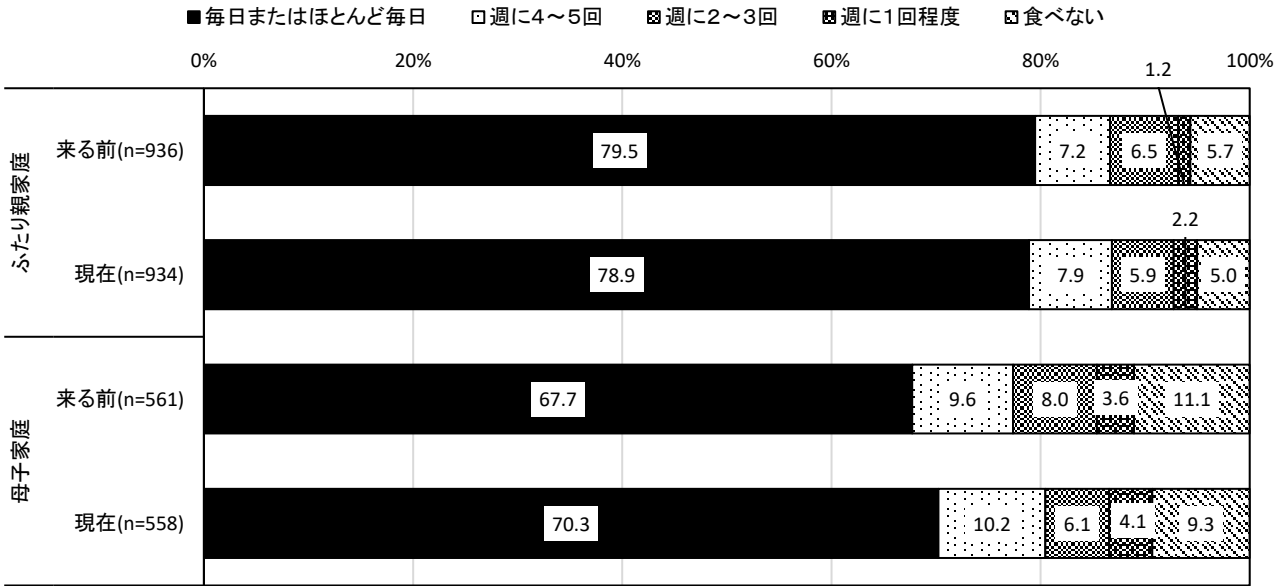


図 45. 世帯構成別に見た、朝食の頻度

世帯構成別に朝食の頻度をみると、ふたり親家庭に比べて母子家庭の方が、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べる割合は約10ポイント低く、「食べない」割合は約5ポイント高い。来る前と現在との変化を見ると、母子家庭において朝食を毎日またはほとんど毎日が2.6ポイント増加しているものの、大きな差は見られない。

居場所利用頻度別に見た、夕食の頻度（問4×問18）

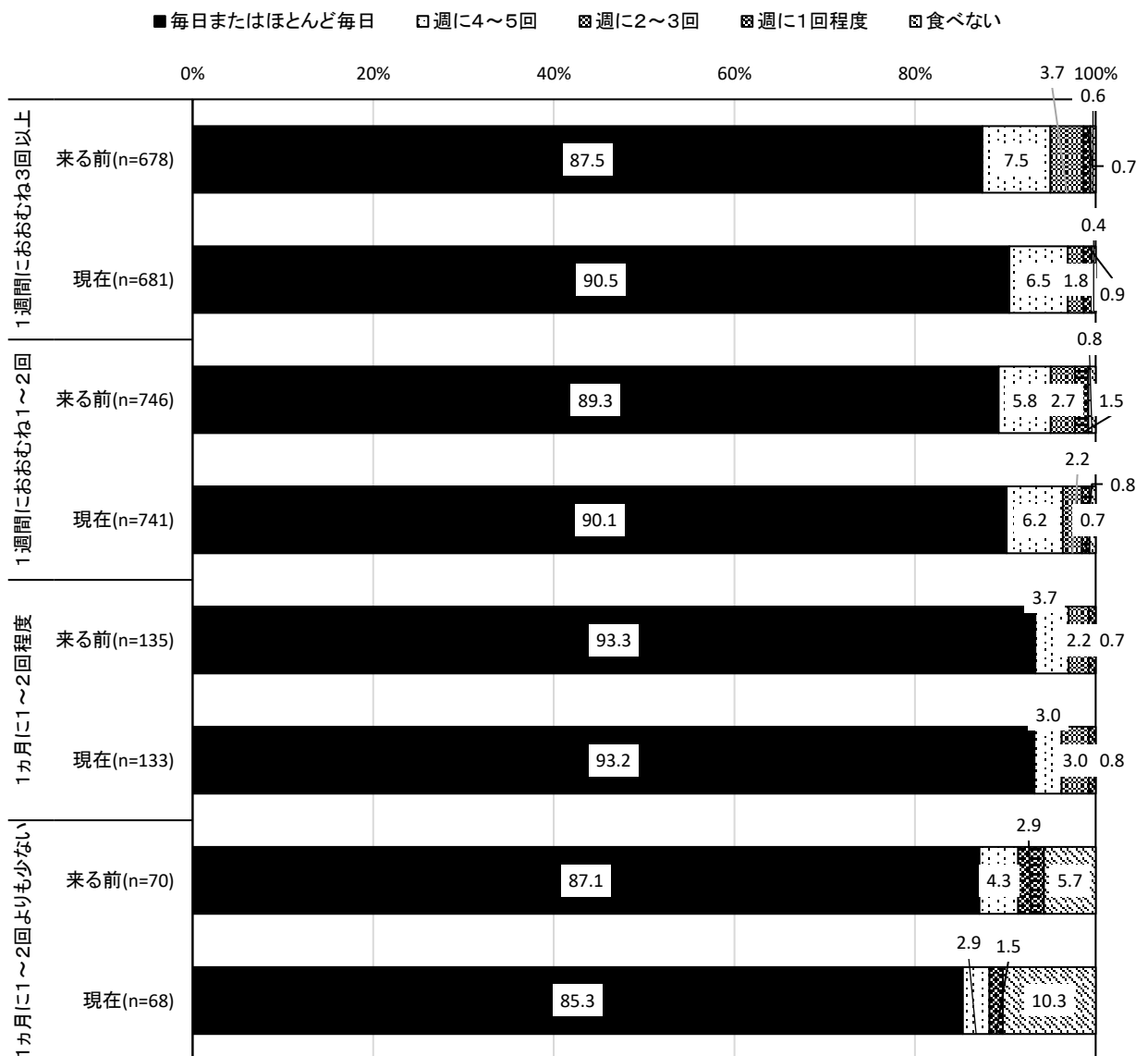


図 46. 居場所利用頻度別に見た、夕食の頻度

居場所利用頻度別に夕食の頻度を見ると、全体として、夕食を毎日またはほとんど毎日食べる回答が9割と高い。一方、居場所を1カ月に1～2回よりも少ない利用群では、夕食を食べない割合は、他の群に比べ高くなっている。来る前と現在との変化を見ると、居場所の利用が「1カ月に1～2回よりも少ない」における「食べない」割合は5.7%から10.3%と約2倍増加しているが、「1カ月に1～2回よりも少ない」は全体の人数が少なく、2倍と変化した要因は4名から7名の増加によるものである。一方、「1週間におおむね3回以上」の居場所利用群における夕食を毎日またはほとんど毎日食べるは、3ポイント増加しているが大きな差は見られない。

次に、世帯別（ふたり親世帯、母子世帯）では、どのような違いがみられるかを検討していく。

世帯構成別に見た、夕食の頻度（問3×問18）



図 47. 世帯構成別に見た、夕食の頻度

世帯構成別に夕食の頻度をみると、ふたり親家庭の方が夕食を毎日またはほとんど毎日食べる割合が若干多い。母子家庭では「週に4~5回」がふたり親家庭より、約2ポイント高くなっている。来る前と現在の変化を見ると、母子家庭では「毎日またはほとんど毎日」夕食をとる頻度が2.1ポイント増加しているが、大きな差は見られない。

②教育環境

居場所利用頻度別に見た、登校頻度（問4×問9）

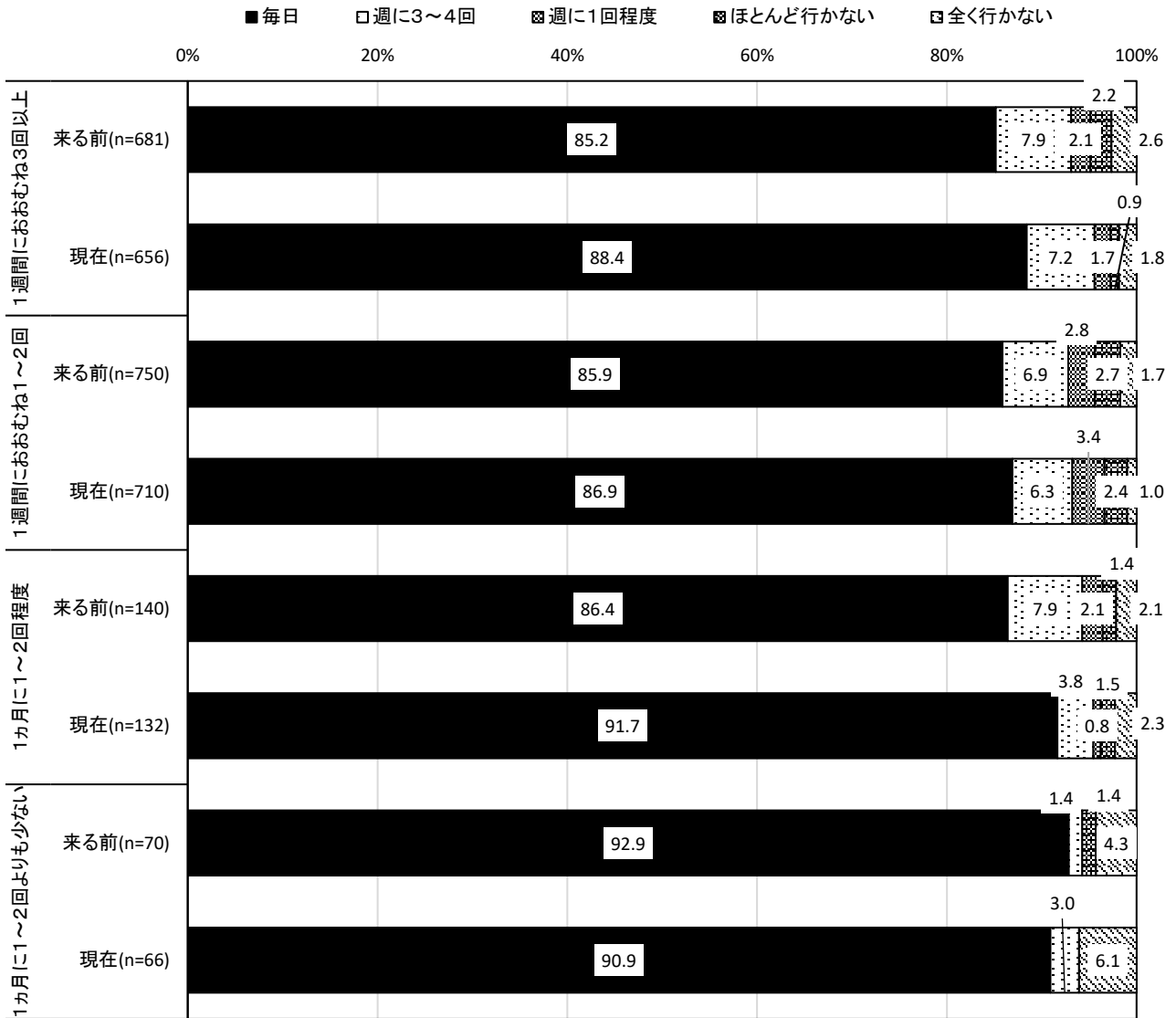


図 48. 居場所利用頻度別に見た、登校頻度

居場所利用頻度別に登校頻度を見ると、全体として、毎日登校する割合が9割いる。注目すべき点は、居場所の利用が「1週間におおむね3回以上」「1週間におおむね1~2回」群における週に3~4回の登校の割合が他に比べて高くなっていることである。来る前と現在との変化を見ると、「1カ月に1~2回」の利用群における毎日登校する割合は5.3ポイント増加している。

次に、世帯別（ふたり親世帯、母子世帯）では、どのような違いがみられるかを検討していく。

世帯構成別に見た、登校頻度（問3×問9）

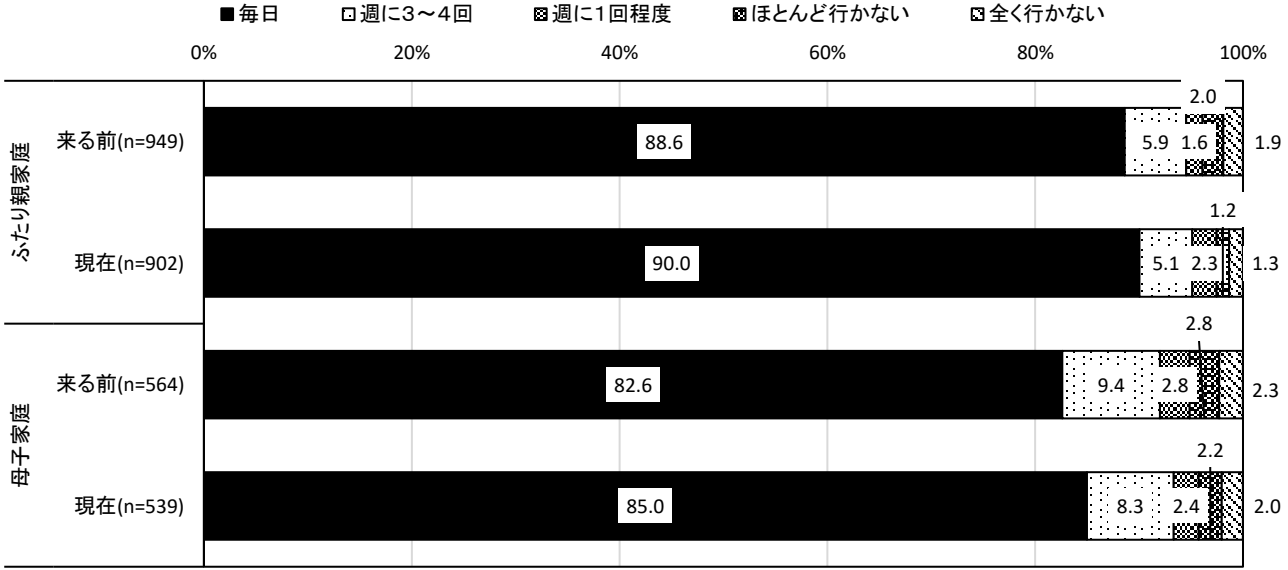


図 49. 世帯構成別に見た、登校頻度

世帯構成別に登校頻度をみると、母子家庭における「毎日登校する」の割合はふたり親家庭に比べて約5ポイント低くなっている。来る前と現在の変化をみると、母子家庭における「毎日登校する」の割合は2.4ポイント高くなっている。ふたり親家庭においては大きな差はみられない。

居場所利用頻度別に見た、学校への遅刻（問4×問10）

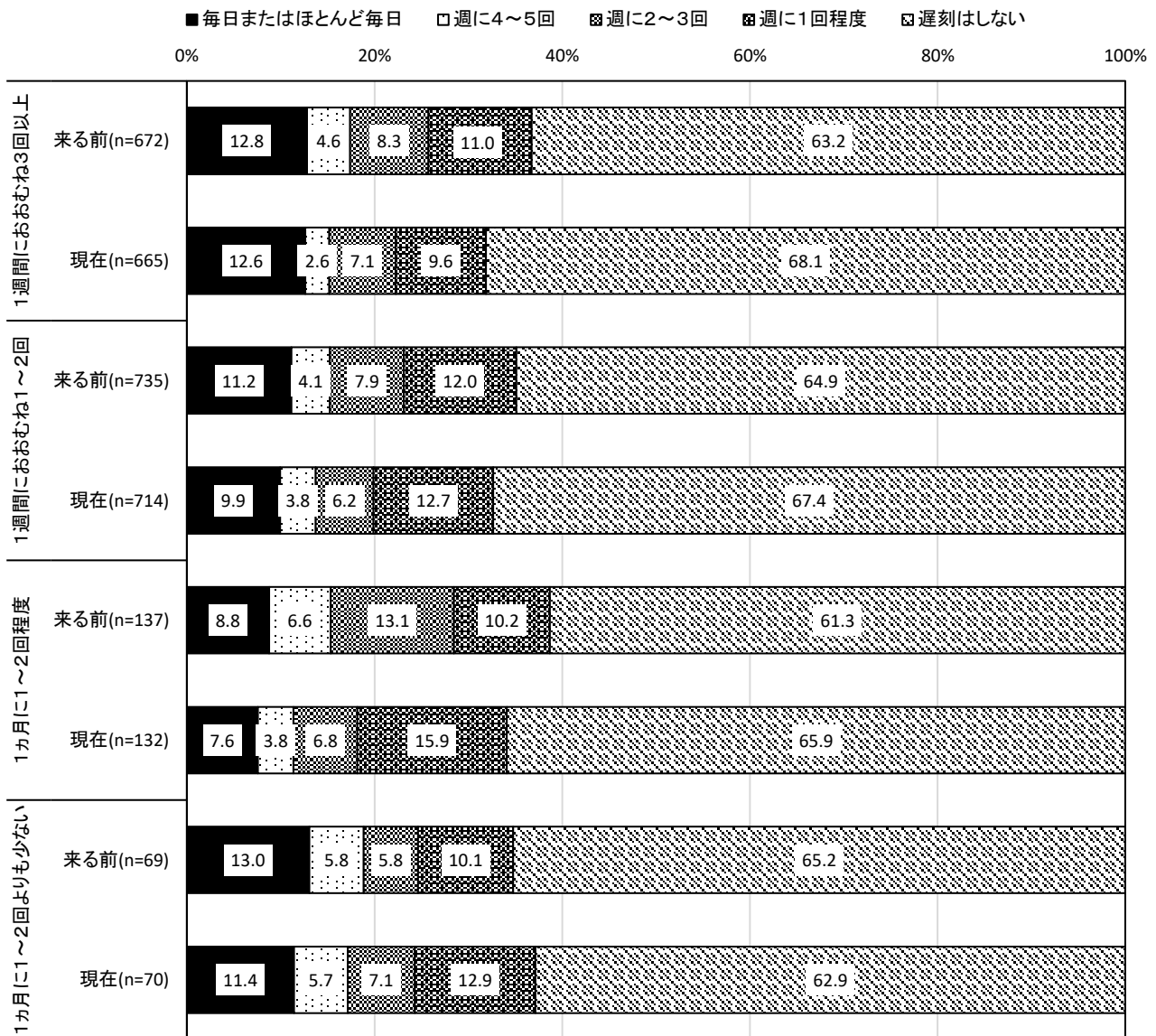


図 50. 居場所利用頻度別に見た、学校への遅刻

居場所利用頻度別に学校への遅刻をみると、全体として「遅刻しない」割合が6割を超えている。注目すべき点は、「1週間におおむね3回以上」「1週間におおむね1~2回」「1カ月に1~2回よりも少ない」居場所の利用において、毎日またはほとんど毎日遅刻する割合が1割程度存在していることである。来る前と現在との変化を見ると、「1週間におおむね3回以上」「1週間におおむね1~2回」「1カ月に1~2回程度」の居場所利用における「遅刻はしない」の割合は多少増えている。「1カ月に1~2回程度」の利用群では、「週に1回程度」「遅刻はしない」の割合が4~5ポイント増えている。

次に、世帯別（ふたり親世帯、母子世帯）では、どのような違いがみられるかを検討していく。

世帯構成別に見た、学校への遅刻（問 3×問 10）

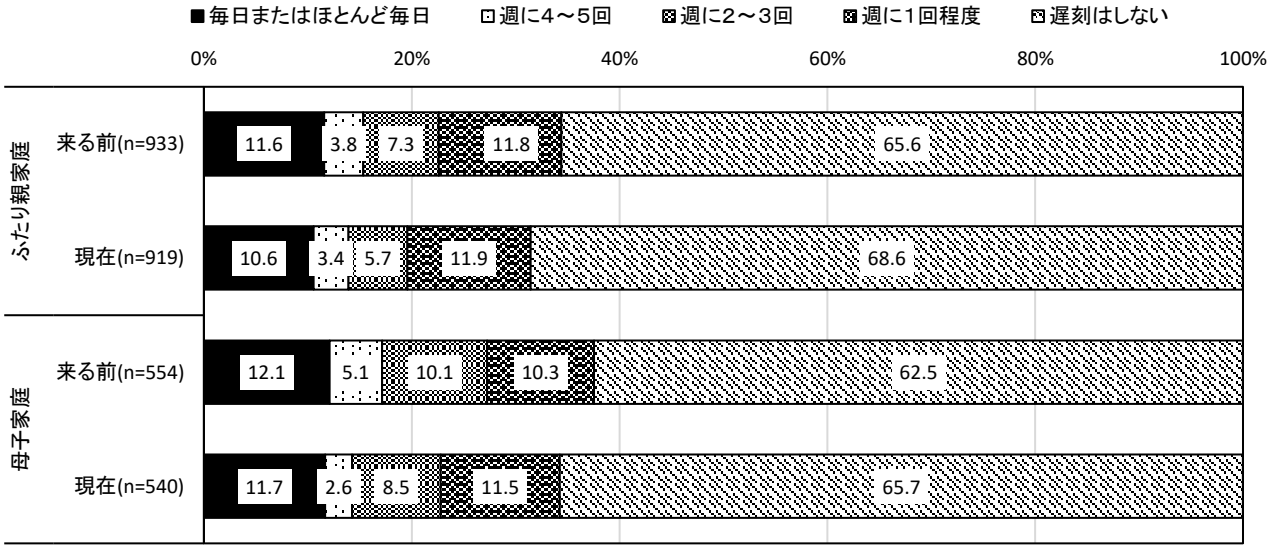


図 51. 世帯構成別に見た、学校への遅刻

世帯構成別に学校への遅刻を見ると、母子家庭の方が「週に 2~3 回」の割合が 3 ポイント程度高いが、二つの世帯において大きな差は見られない。来る前と現在の比較を見ると、どちらの家庭も「遅刻はしない」が 3 ポイント以上高くなっている。

居場所利用頻度別に見た、学校がある日の授業時間以外での勉強時間
(問4×問11)

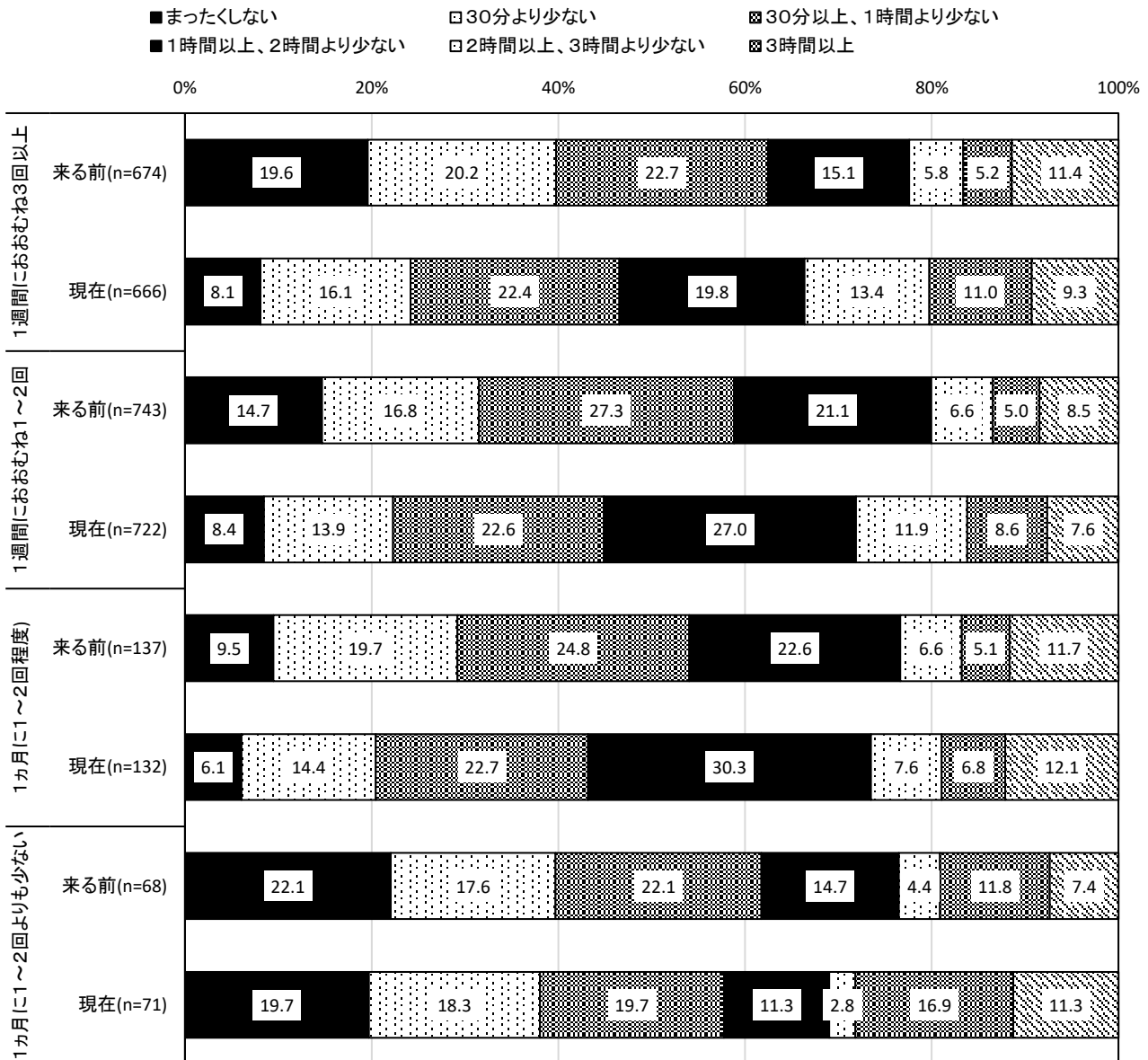


図 52. 居場所利用頻度別に見た、学校がある日の授業時間以外での勉強時間

居場所利用頻度別に学校がある日の授業時間以外での勉強時間について、来る前と現在の変化を見ると、1週間におおむね3回以上の利用や1週間におおむね1~2回の利用という群において、「まったくしない」と回答した人の割合が低くなっていることがわかる。しかし、1カ月に数回の利用者では、こうした傾向は顕著ではない。利用頻度の高さや勉強時間の関連を示す重要な手がかりである。

次に世帯別（ふたり親世帯、母子世帯）では、どのような違いがみられるかを検討していく。

世帯構成別に見た、学校がある日の授業時間以外での学習時間
(問3×問11)

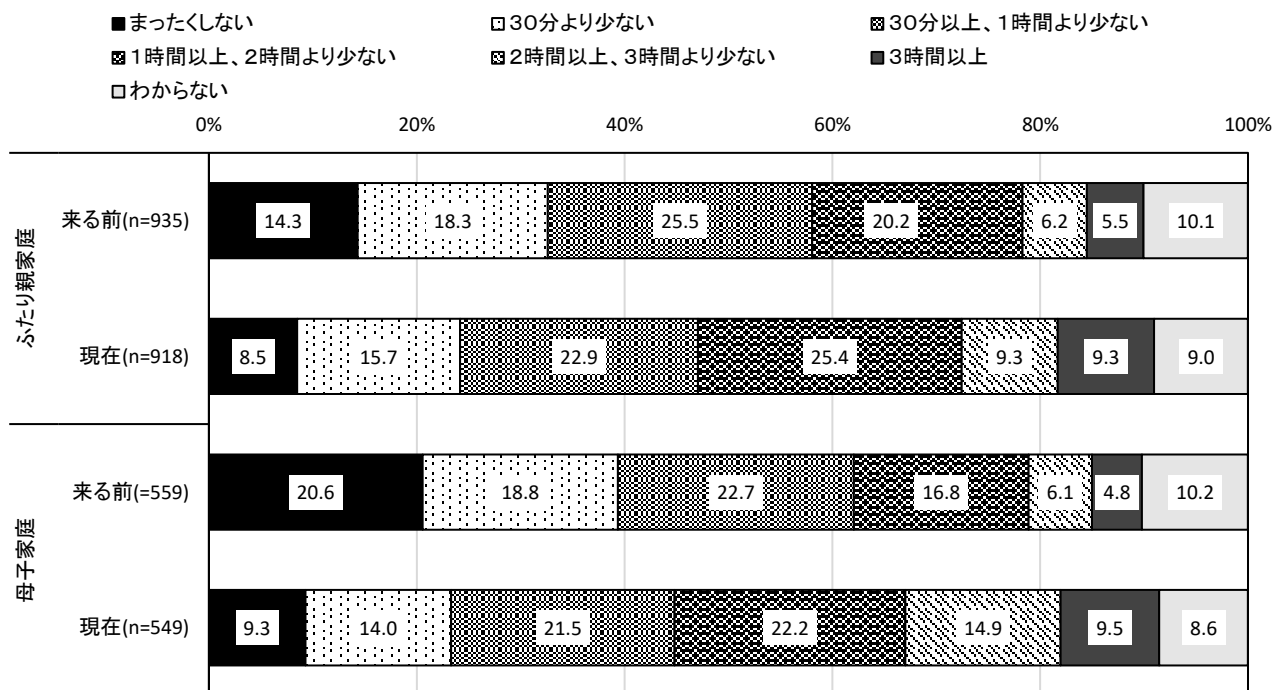


図 53. 世帯別に見た学習時間

世帯構成別に学校への遅刻を見ると、母子家庭では「まったくしない」の割合が来る前と現在では14.3ポイント減少し、「2時間以上、3時間より少ない」が8.8ポイントも増加している。

居場所利用頻度別に見た、学校の勉強についての気持ち（問4×問12）

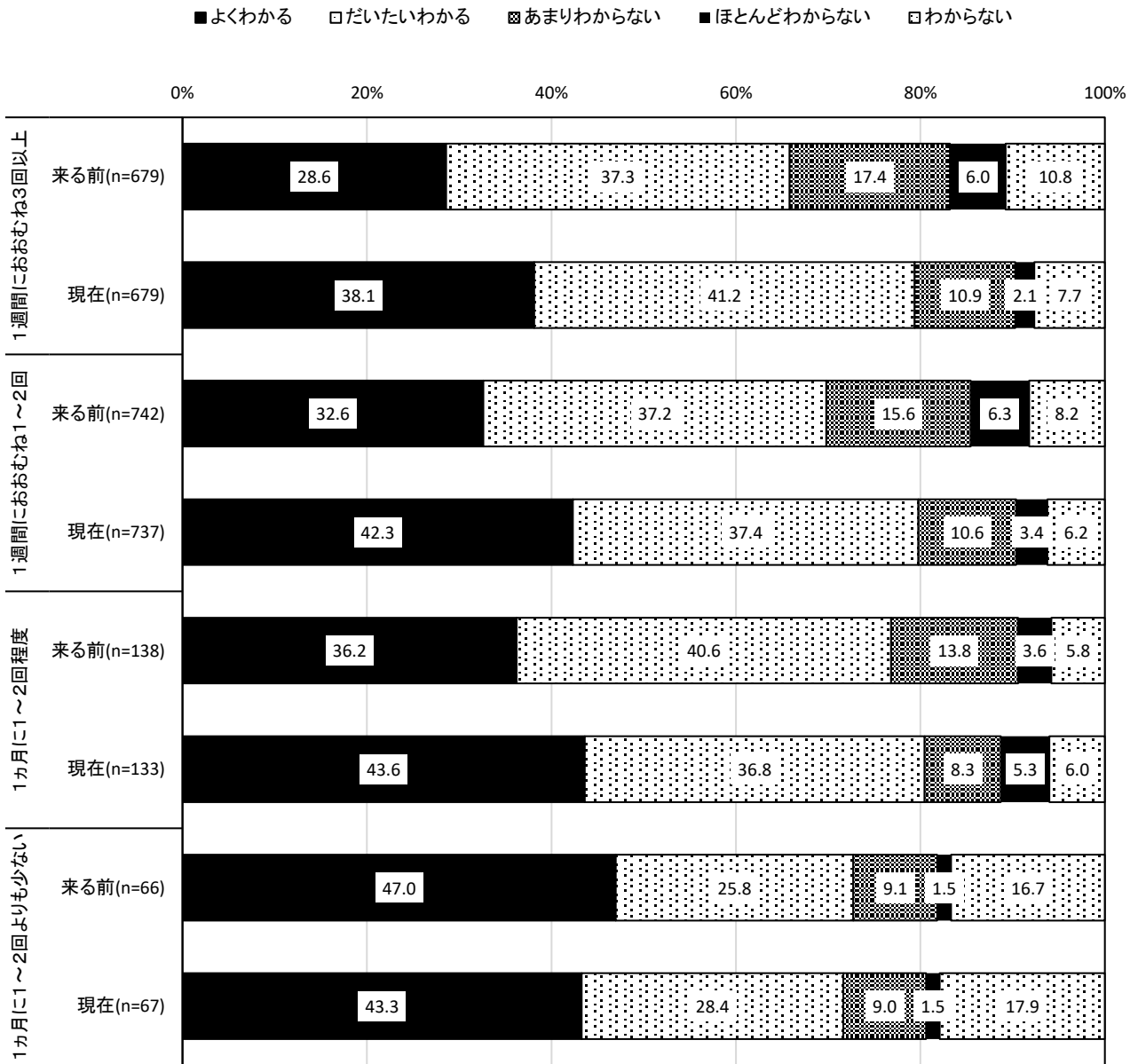


図 54. 居場所利用頻度別に見た、学校の勉強についての気持ち

居場所利用頻度別に学校の勉強についての気持ちについてみると、全体として「よくわかる」「だいたいわかる」という回答が多い。来る前と現在との変化を見ると、「1週間におおむね3回以上」、「1週間におおむね1~2回」といった1週間に数回利用する群では、来る前より現在の方が、「よくわかる」と回答する割合が高くなっている。「1カ月に1~2回程度」の群においても同様の傾向がみられる。こうした変化は、「1カ月に1~2回よりも少ない」利用の場合は、見られない。

次に世帯別（ふたり親世帯、母子世帯）では、どのような違いがみられるかを検討していく。

世帯構成別に見た、学校の勉強についての気持ち（問3×問12）

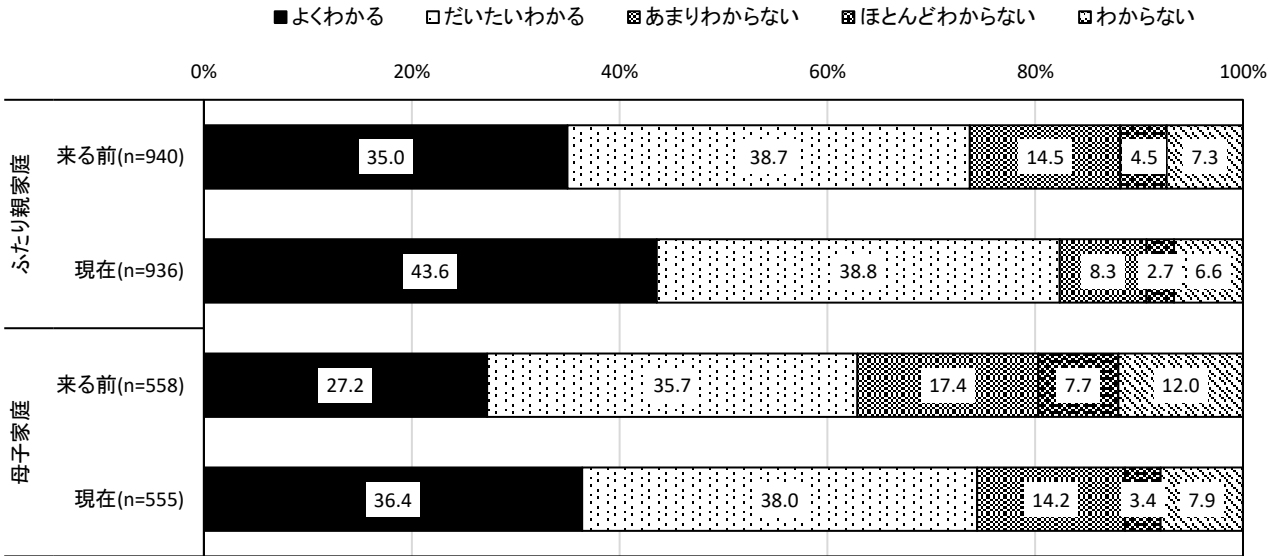


図 55. 世帯構成別に見た、学校の勉強についての気持ち

世帯構成別に学校の勉強についての気持ちを見ると、来る前と現在の変化では、どちらの家庭も「よくわかる」「だいたいわかる」の割合が増えている。特に、母子家庭（11.5ポイント増）の方が、ふたり親家庭（8.7ポイント増）よりも高くなっている。着目すべき点は、母子家庭の「わからない」が約4.1ポイント減っていることである。このことは、居場所に来る前は自身の学習理解度がわからなかったことが、現在では把握できていることを示し、学習に対する関心が高まっていることがうかがえる。

居場所利用頻度別に見た、希望する進学先（問4×問24）

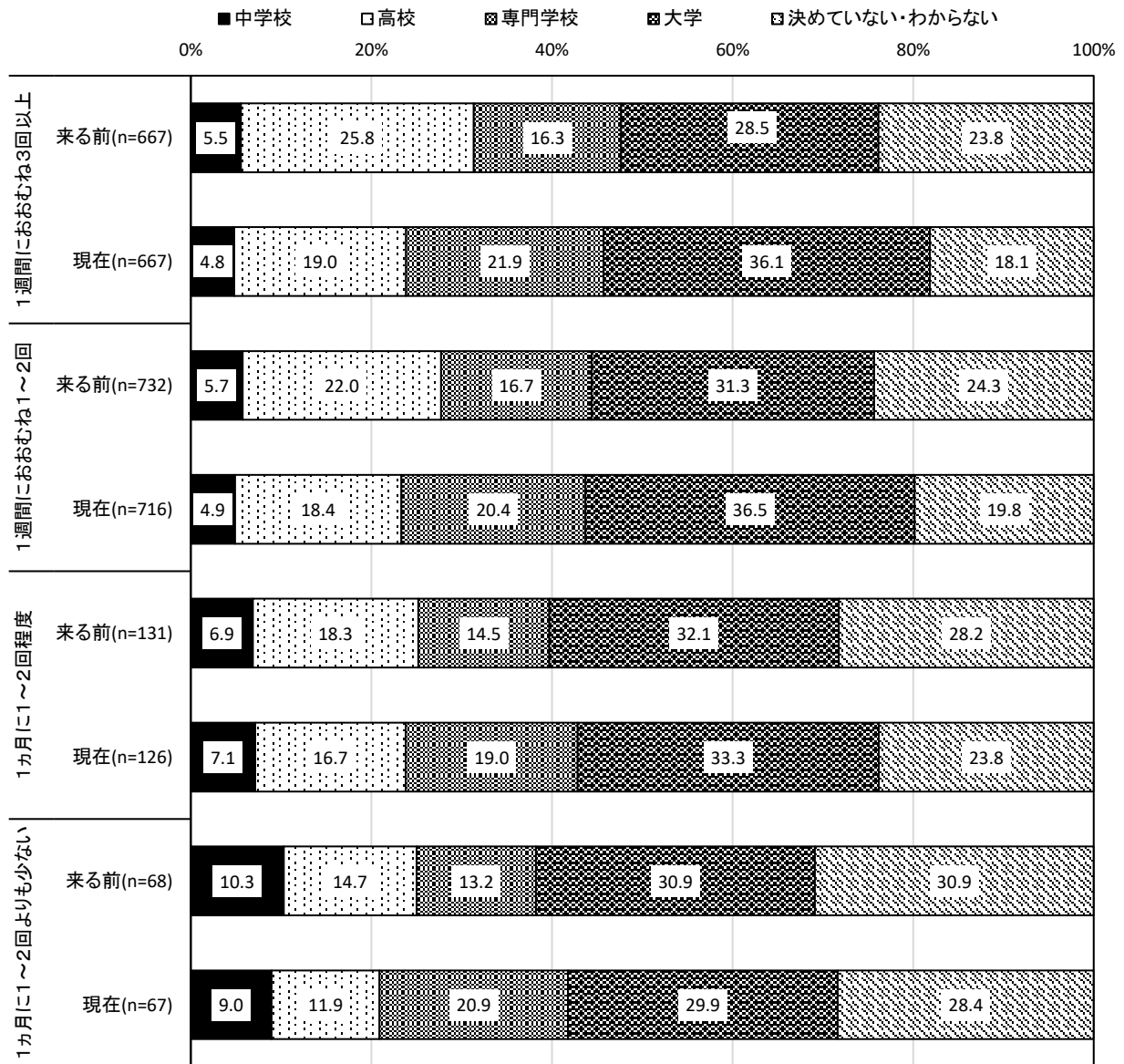


図 56. 居場所利用頻度別に見た、希望する進学先

居場所利用頻度別に希望する進学先における来る前と現在との変化を見ると、「1週間におおむね3回以上」において、高校までの希望は6.8ポイント減り、専門学校は5.6ポイント、大学は7.6ポイント増えている。大学への進学希望の増加は、高頻度利用者（1週間に3回、もしくは1週間に1~2回）において顕著である。

次に、世帯別（ふたり親世帯、母子世帯）では、どのような違いがみられるかを検討していく。

世帯構成別に見た、希望する進学先（問3×問24）

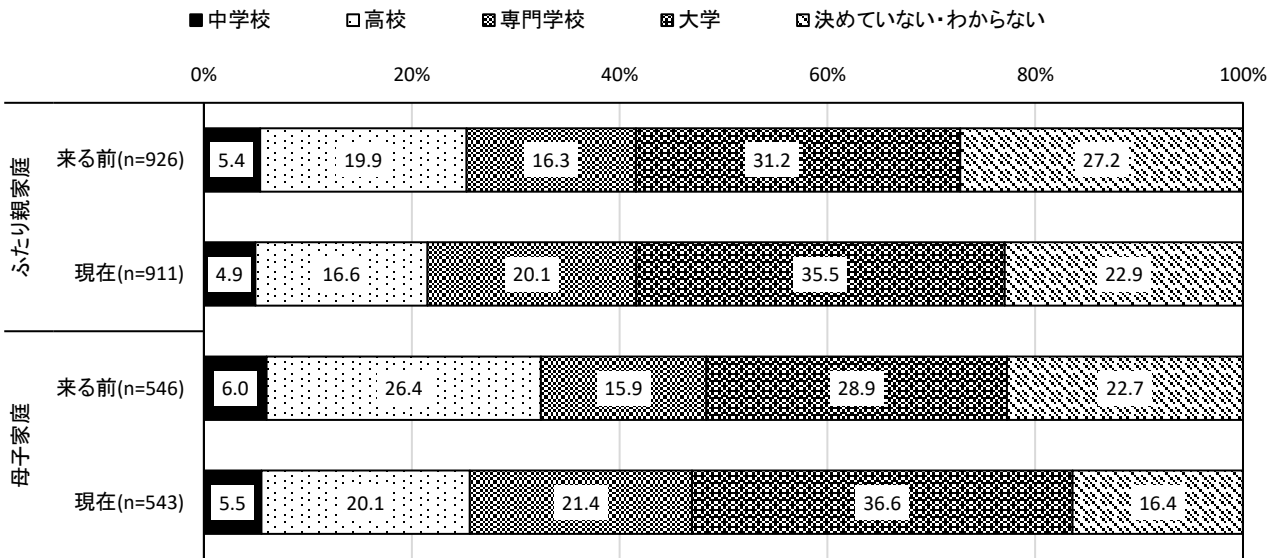


図 57. 世帯構成別に見た、希望する進学先

世帯構成別に希望する進学先を見ると、全体として、「高校」の割合が減り、「専門学校」「大学」の割合が増えている。特に、母子家庭の方が、こうした変化は顕著である。また、母子家庭の「決めていない・わからない」は来る前に比べ現在の方が約 6.3 ポイント低くなっている。

③ 社会環境

居場所利用頻度別に見た、何かに失敗したときにたすけてくれる人（問 4×問 22-1）

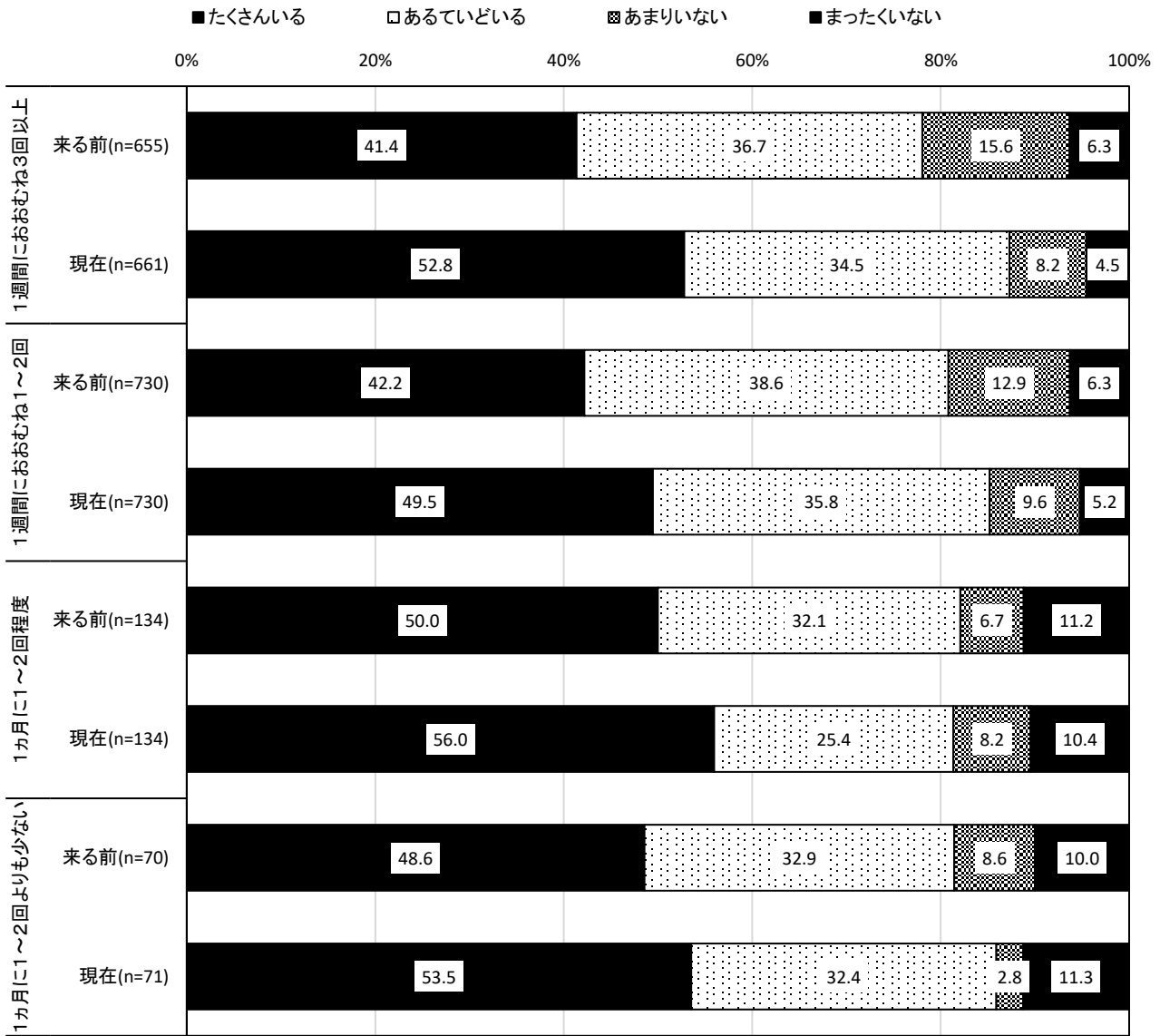


図 58. 居場所利用頻度別に見た、何かに失敗したときにたすけてくれる人

居場所利用頻度別に何かに失敗したときにたすけてくれる人について見ると、「たくさんいる」「あるていどいる」の割合が高い。全体として来る前に比べ現在では、「たくさんいる」と回答した人の割合が高くなっている。「まったくいない」と回答する割合は、1週間に数回利用群の方が、1カ月に数回利用群より低い。

居場所利用頻度別に見た、勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人
(問4×問22-2)

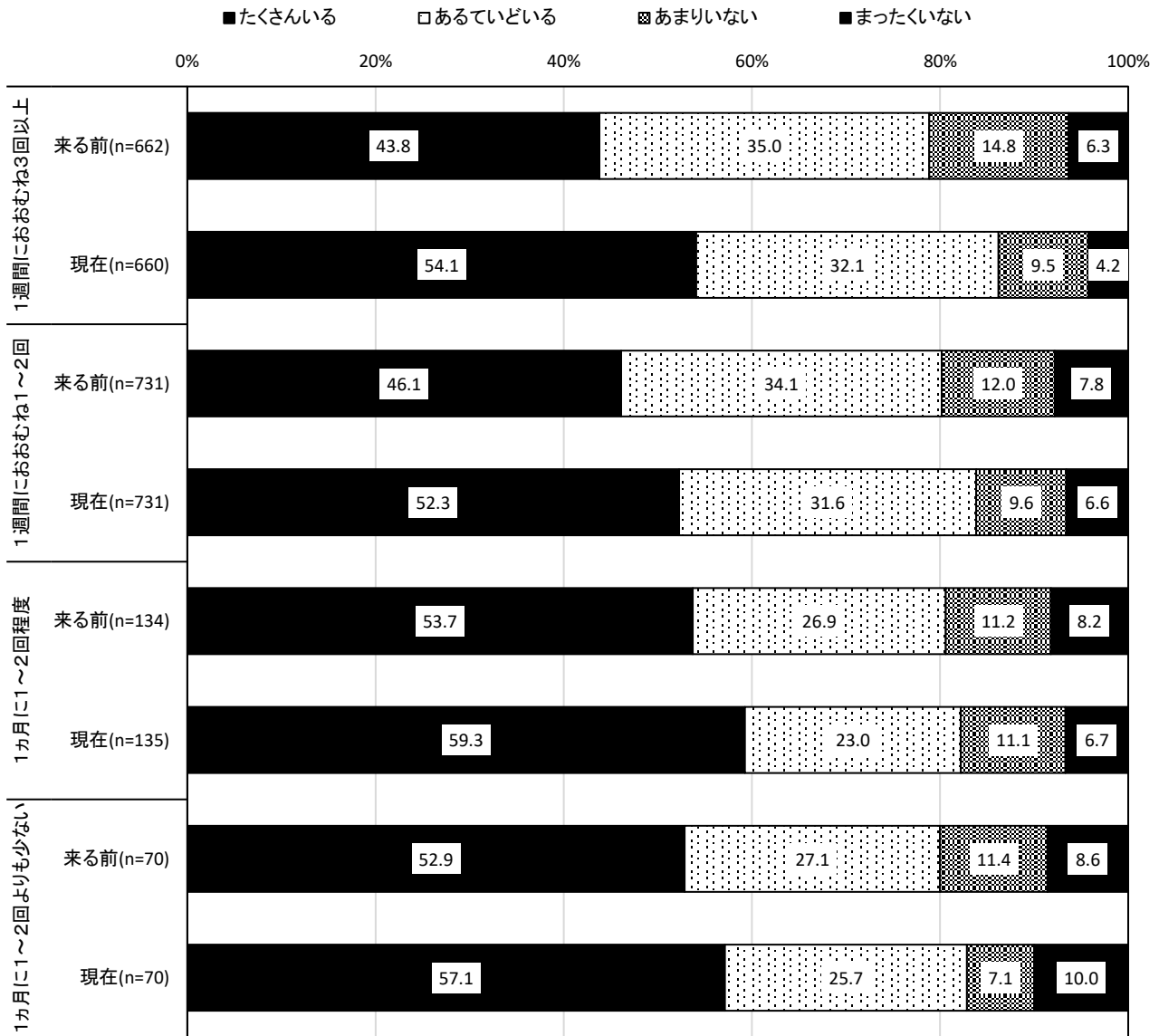


図 59. 居場所利用頻度別に見た、勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人

居場所利用頻度別に勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人について見ると、「たくさんいる」「あるていどいる」の割合が高い。全体として来る前に比べ現在では、「たくさんいる」と回答した人の割合が高くなっている。

居場所利用頻度別に見た、一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人
(問 4×問 22-3)

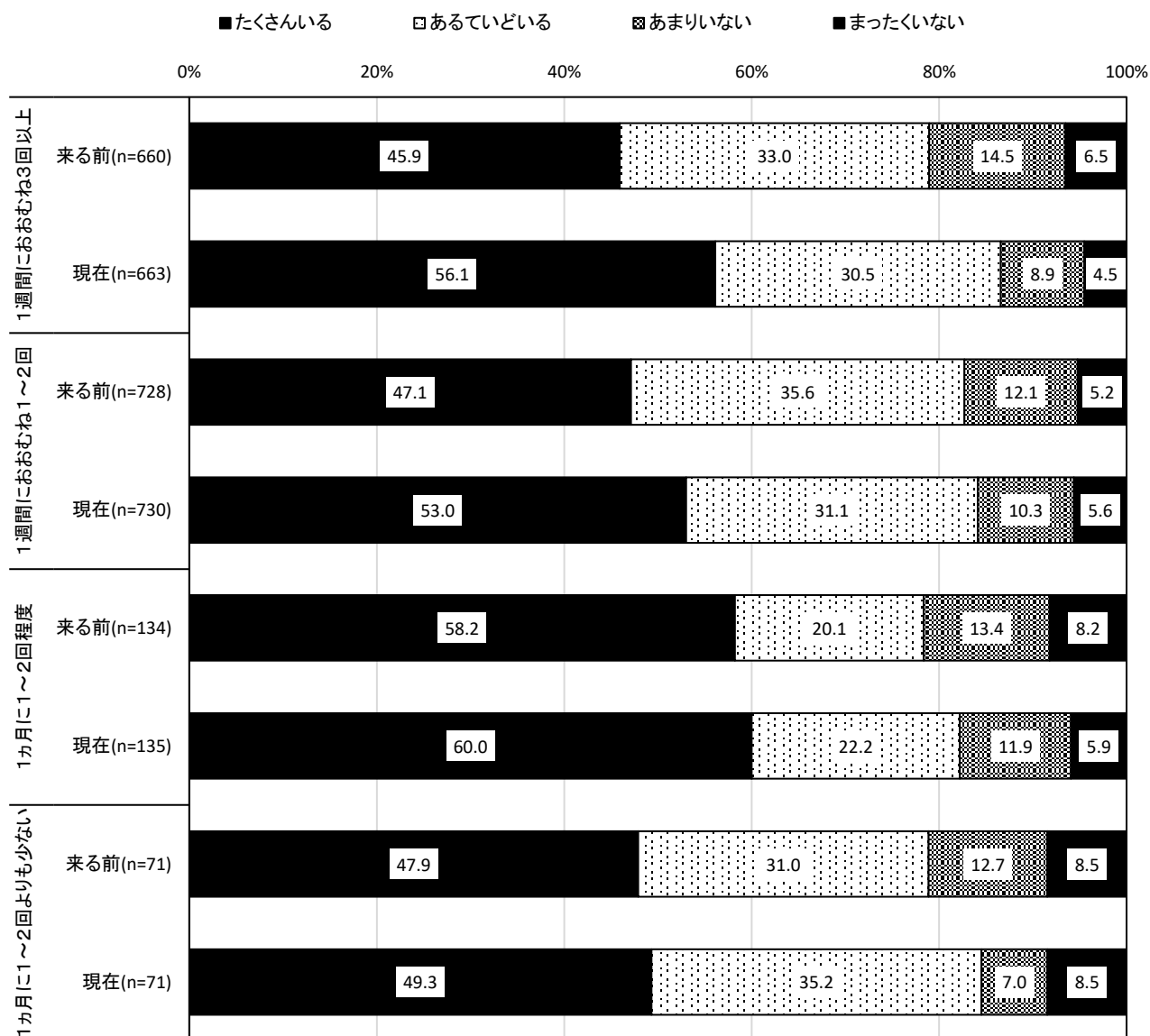


図 60. 居場所利用頻度別に見た、一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人

居場所利用頻度別に一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人について見ると、「たくさんいる」「あるていどいる」の割合が高い。全体として、来る前に比べ現在では、「たくさんいる」と回答した人の割合が高くなっている。こうした傾向は、1週間に数回利用群の方が、1か月に数回利用群より顕著である。

居場所利用頻度別に見た、悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人
(問 4×問 22-4)

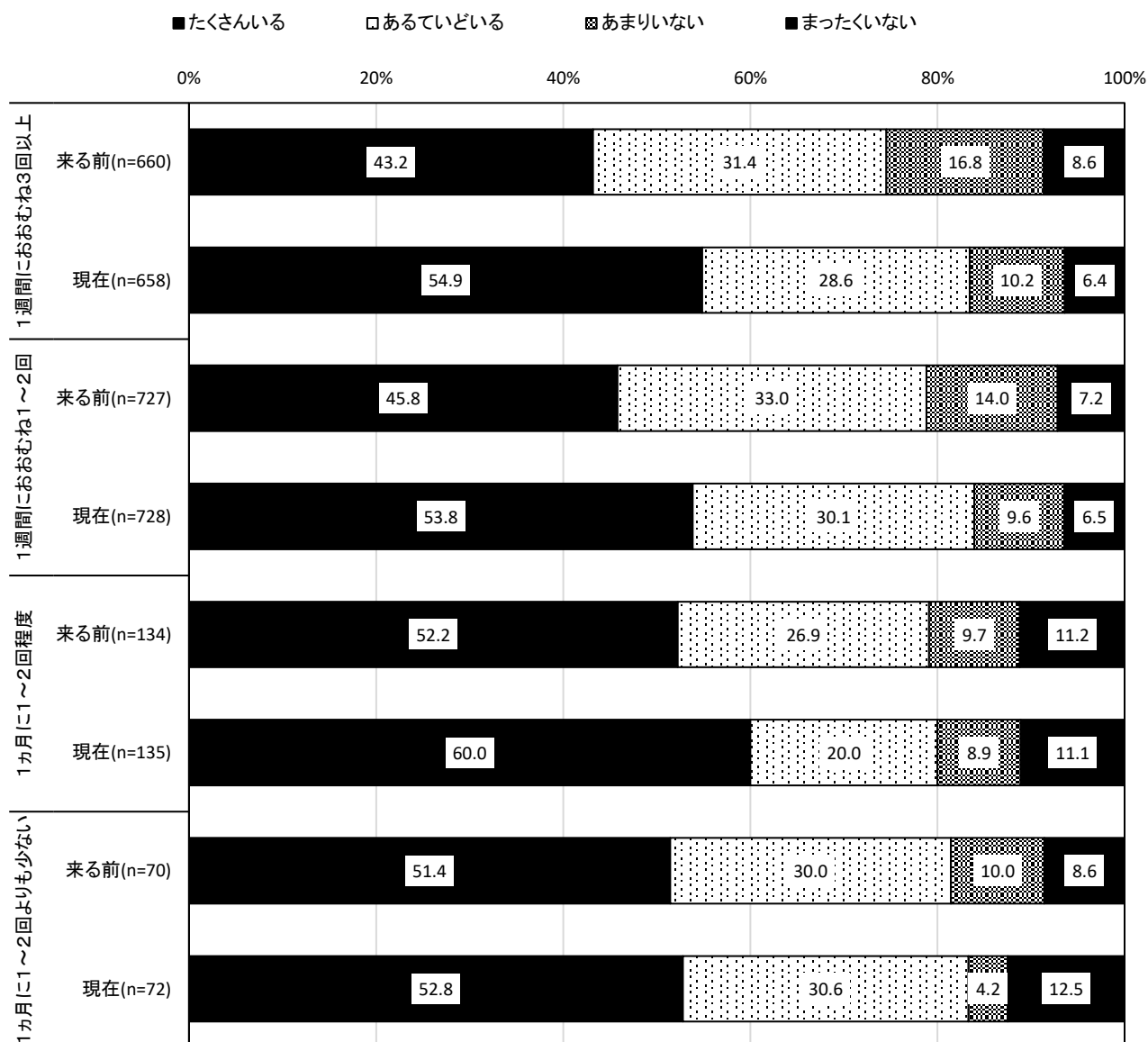


図 61. 居場所利用頻度別に見た、悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人

居場所利用頻度別に悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人について見ると、「たくさんいる」「あるていどいる」の割合が高い。全体として、来る前に比べ現在では、「たくさんいる」と回答した人の割合が高くなっている。「まったくいない」と回答する割合は、1週間に数回利用群より、1か月に数回利用群の方が高い。

居場所利用頻度別に見た、自分に自信がある（問4×問23-1）

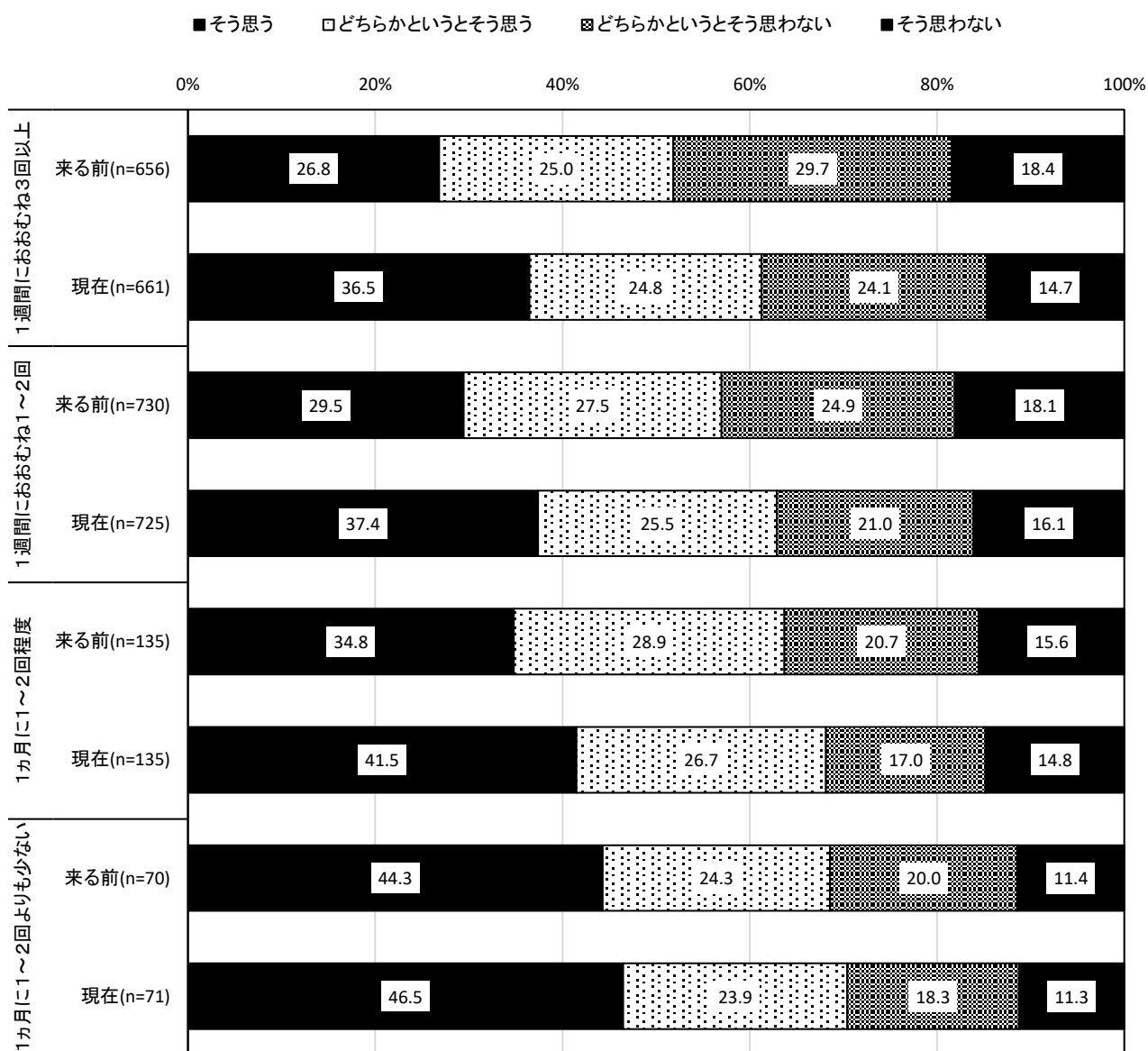


図 62. 居場所利用頻度別に見た、自分に自信がある

居場所利用頻度別に自分に自信があるかについて、来る前と現在の変化を見ると、全体として来る前に比べ「そう思う」と回答した人の割合が高くなっている。また、「どちらかというと思わない」、「そう思わない」と回答した人の割合が低くなっている。

居場所利用頻度別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる
(問4×問23-2)

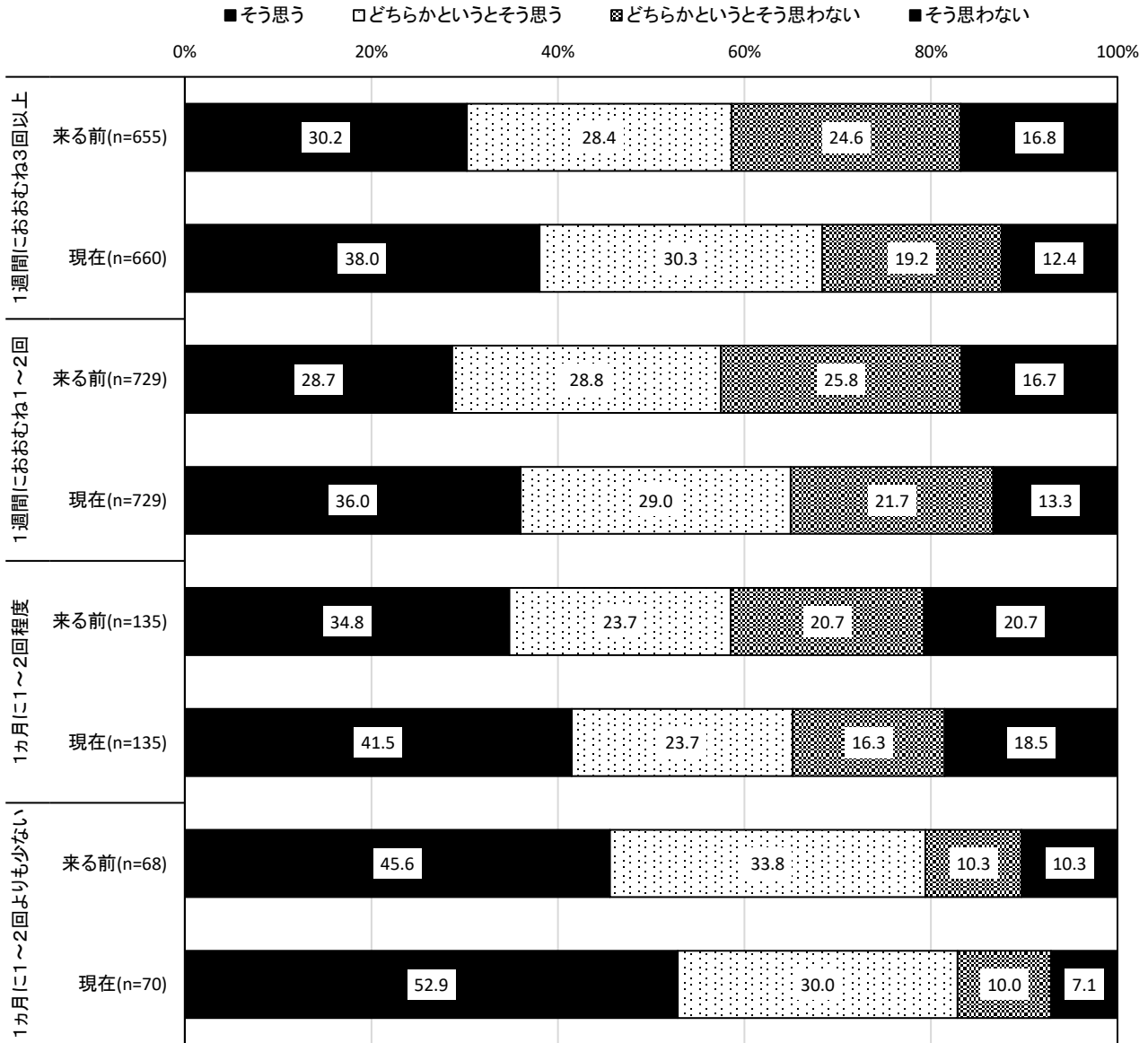


図 63. 居場所利用頻度別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

居場所利用頻度別に自分の考えをはっきり相手に伝えることができるかについて、来る前と現在の変化を見ると、全体として来る前に比べ現在は「そう思う」と回答した人の割合が高くなっている。また、「どちらかというと思わない」、「そう思わない」と回答した人の割合が低くなっている。

居場所利用頻度別に見た、大人を信用できる (問 4×問 23-3)

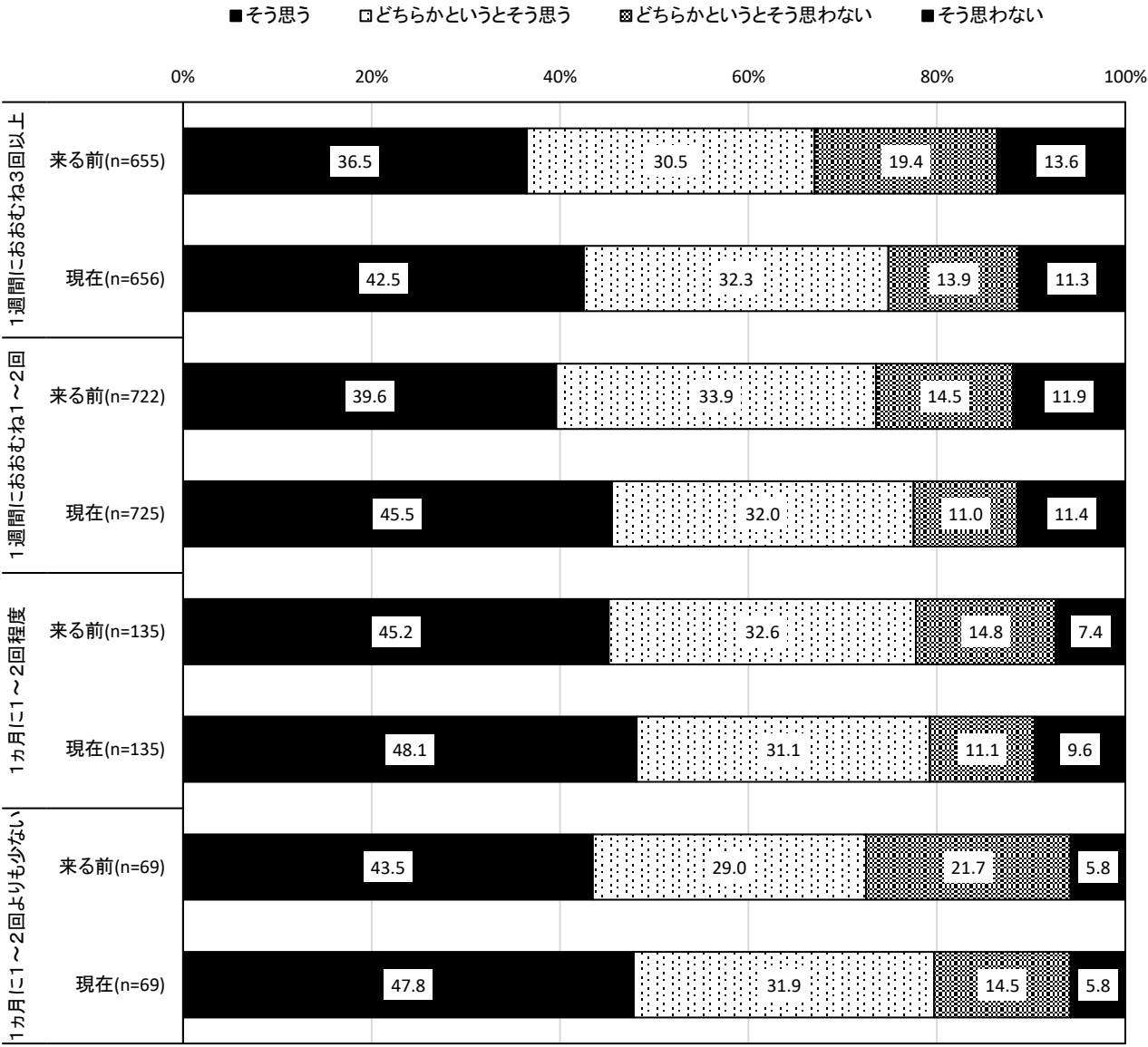


図 64. 居場所利用頻度別に見た、大人を信用できる

居場所利用頻度別に大人を信用できるかについて、来る前と現在の変化を見ると、全体として来る前に比べ「そう思う」と回答した人の割合が高くなっている。

居場所利用頻度別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている (問4×問23-4)

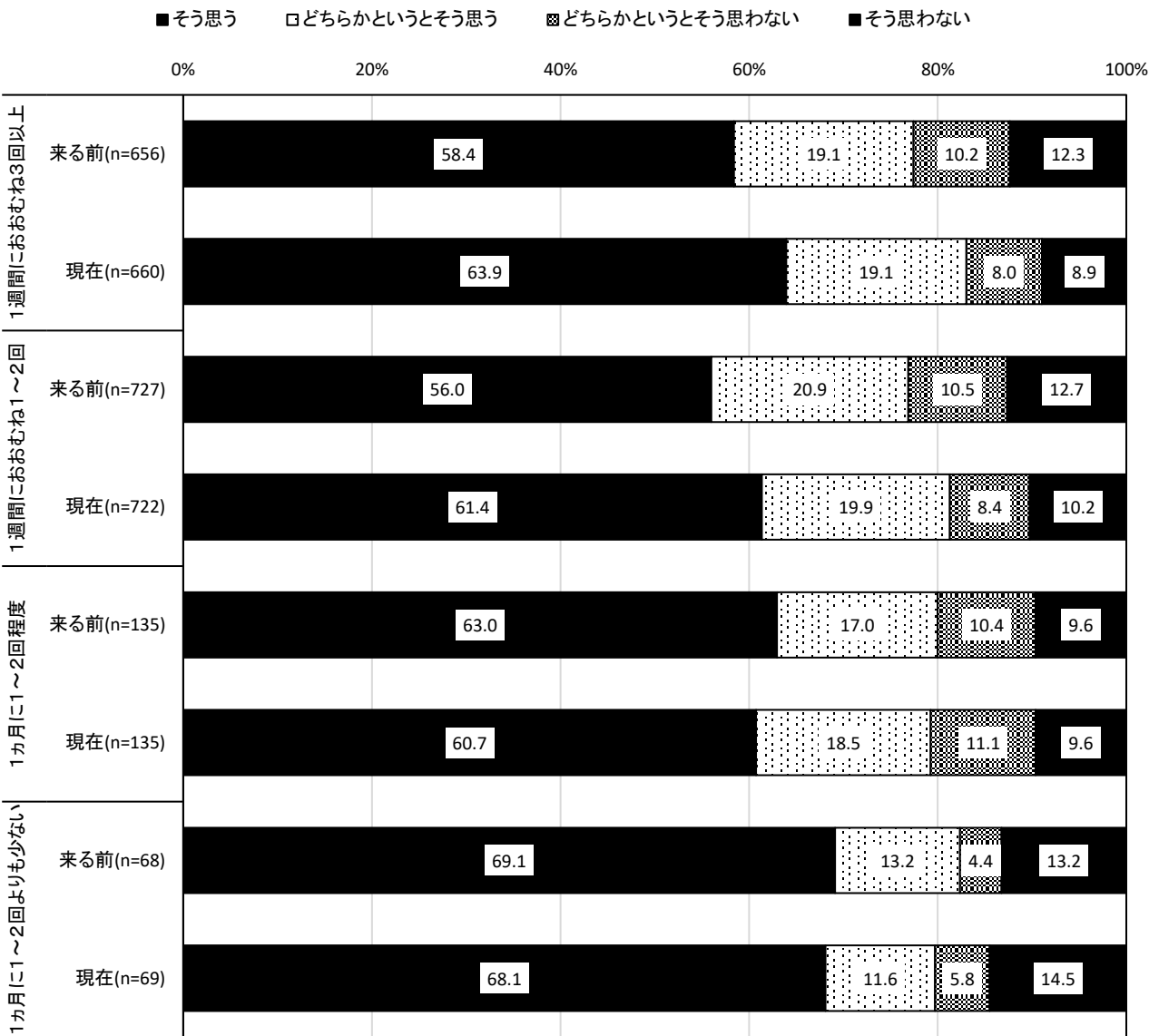


図 65. 居場所利用頻度別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている

居場所利用頻度別に自分の将来の夢や目標を持っているかについて見ると、全体として「そう思う」の割合が高い。来る前と現在の変化についてみると、一週間に1~2回以上利用している人の「そう思う」と回答する人の割合が高くなっている。

居場所利用頻度別に見た、将来のためにも今頑張りたいと思う (問4×問23-5)

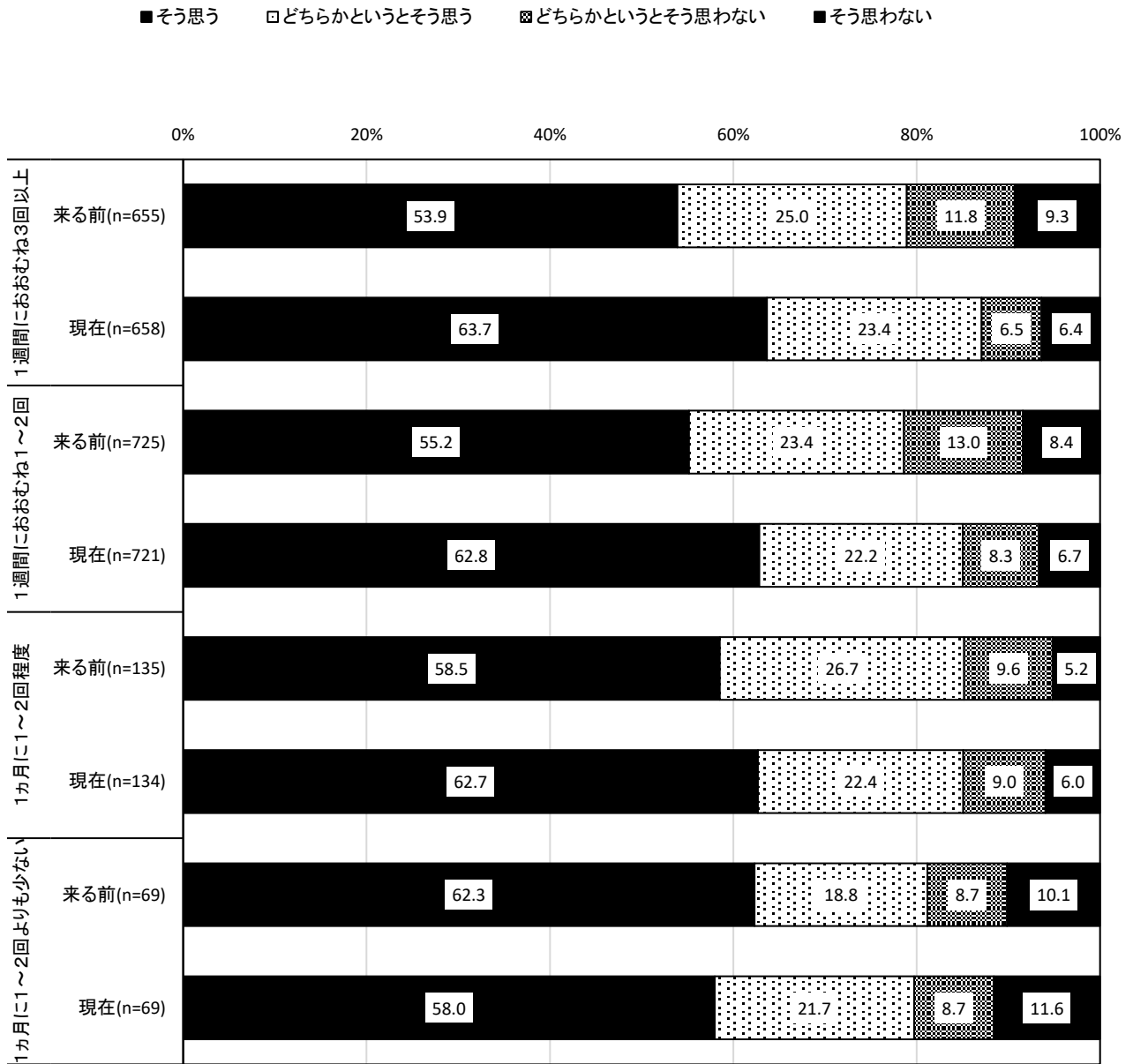


図 66. 居場所利用頻度別に見た、将来のためにも今頑張りたいと思う

居場所利用頻度別に将来のためにも今頑張りたいと思うかについて見ると、全体として、「そう思う」の割合が高い。来る前に比べ現在は、1週間におおむね3回以上の利用者において、「そう思う」と回答した人の割合が高くなっている。

居場所利用頻度別に見た、将来働きたいと思う（問4×問23-6）

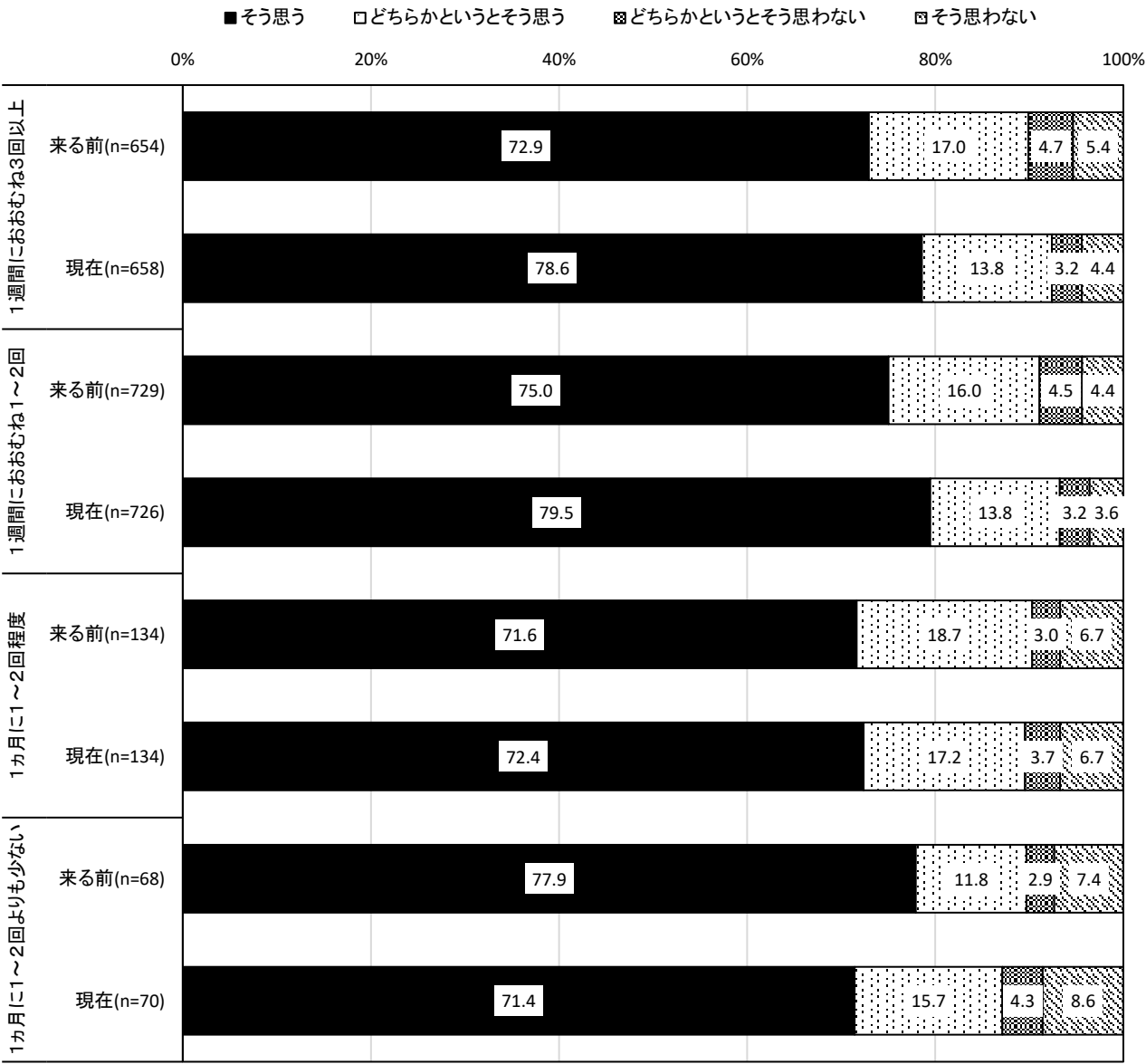


図 67. 居場所利用頻度別に見た、将来働きたいと思う

居場所利用頻度別に将来働きたいと思うかについて見ると、全体として、「そう思う」の割合が7割を超えている。1週間におおむね3回以上利用している人や、一週間に1~2回利用している人では、「そう思う」の割合が、来る前よりも現在の方が高くなっている。

居場所利用頻度別に見た、自己効力感（セルフエフィカシー得点）（問4×問23）

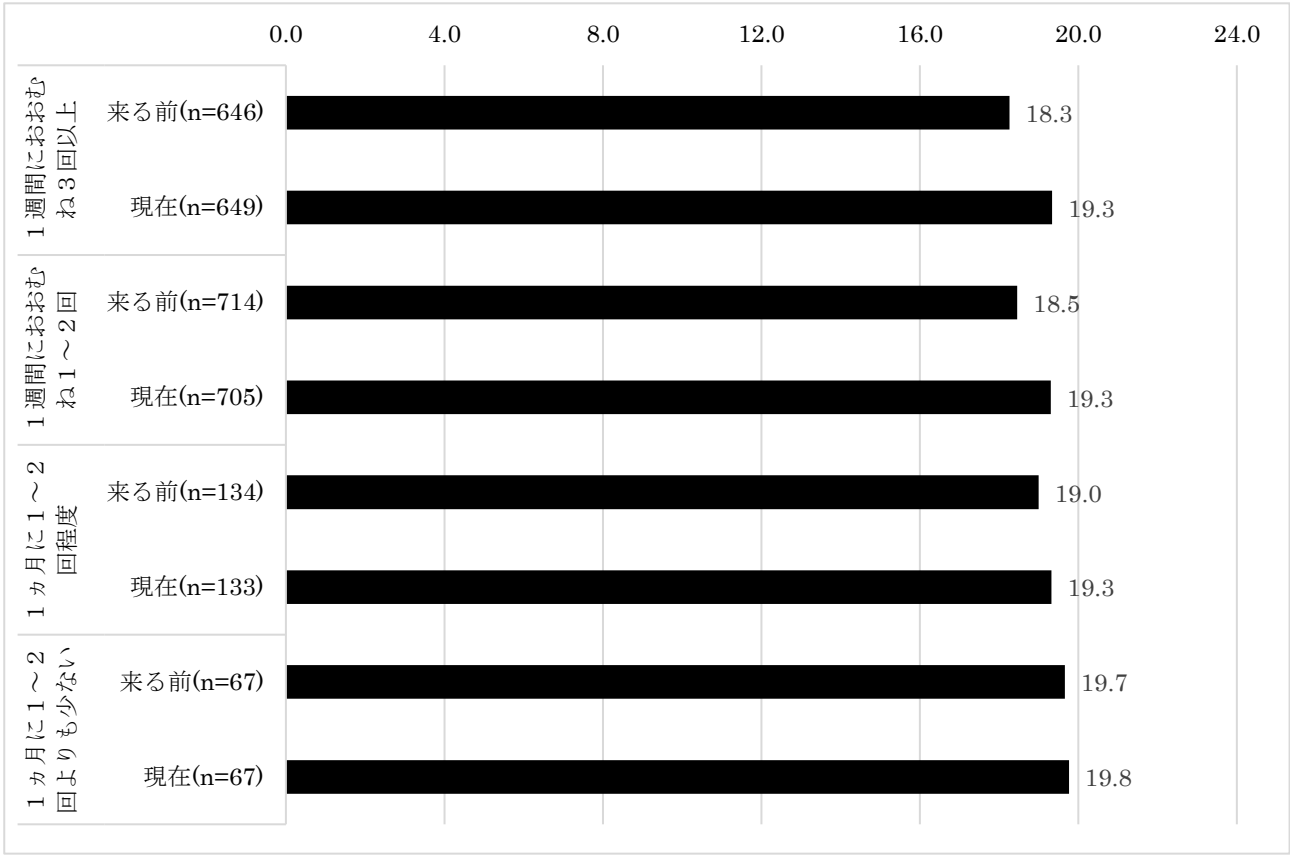


図 68. 居場所利用頻度別に見た、自己効力感

居場所利用頻度別に自己効力感（セルフエフィカシー得点）の変化を見ると、全体として、来る前に比べ得点がやや伸びている傾向がみられる。また、利用頻度が高くなるにつれ、得点の伸び幅が長くなっているようであるが、そもそも利用頻度の低い群に比べて利用頻度の高い群は、来る前の自己効力感がやや低いことから、伸びやすかったという可能性もあるかもしれない。

*子どもの自己効力感（セルフエフィカシー）については図 40 下の説明参照

4. 居場所に来て「良かったと思わない」子どもの特徴

ここからは居場所に来て良かったと思わない子どもに着目していく。

性別 問 25×問 1

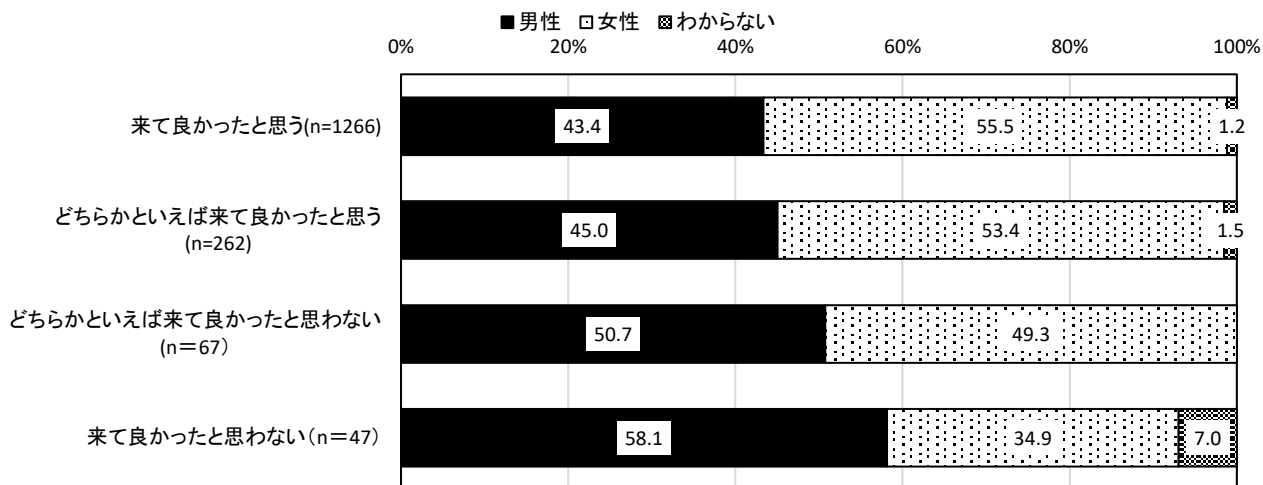


図 69. 居場所への感想と性別

居場所に「来て良かったと思わない」「どちらかといえば来て良かったと思わない」と回答した人の割合は、男性が過半数を超えており、特に「来て良かったと思わない」についての男性の割合は女性よりも 20 ポイントほど多い。

学年 問 25×問 2

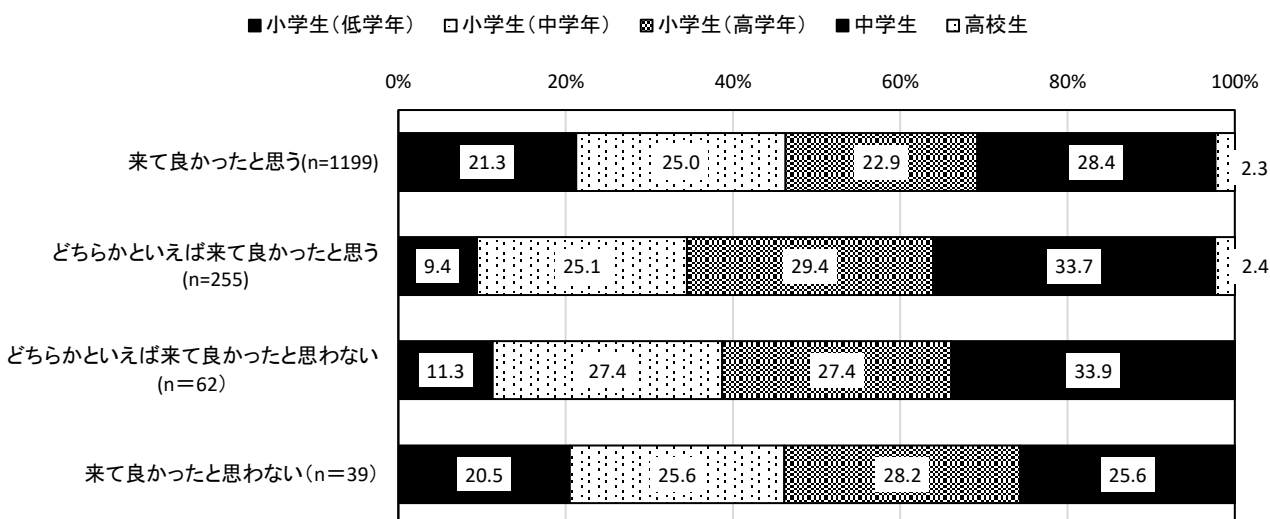


図 70. 居場所への感想と学年

小学生（低学年）は、「来て良かったと思わない」は 20.5%、小学生（中学年）は 25.6%、小学生（高学年）は 28.2%、中学生は 25.6%となっている。高校生では、「どちらかといえば来て良かったと思わない」・「来て良かったと思わない」と回答した人はいない。

現在の学習時間 問 25 × 問 11

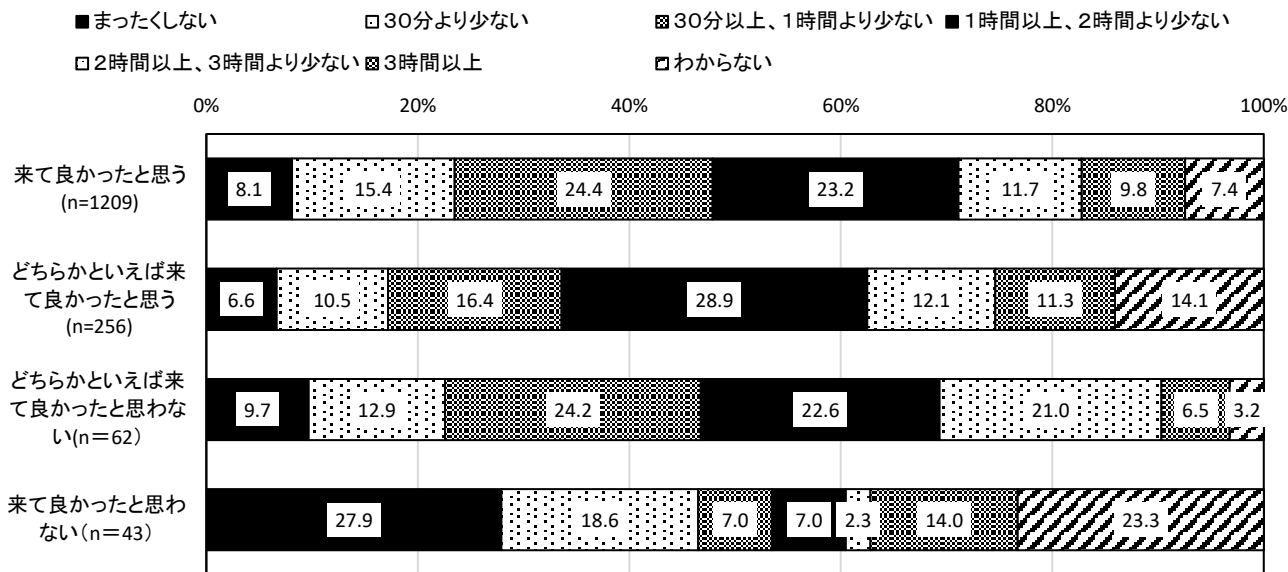


図 71. 居場所への感想と現在の学習時間

居場所に「来て良かったと思わない」と回答した人は、他の回答と比べて、学習時間が30分未満の回答率がかなり多い。「まったくしない」が27.9%で、他の群よりも20ポイント近く多い。「30分より少ない」が18.6%で、これらを合わせると46.5%になる。また、「わからない」と回答した人は23.3%である。ただし、「3時間以上」と回答した人が14.0%と一定程度いる。

学校の勉強についての気持ち 問 25 × 問 12

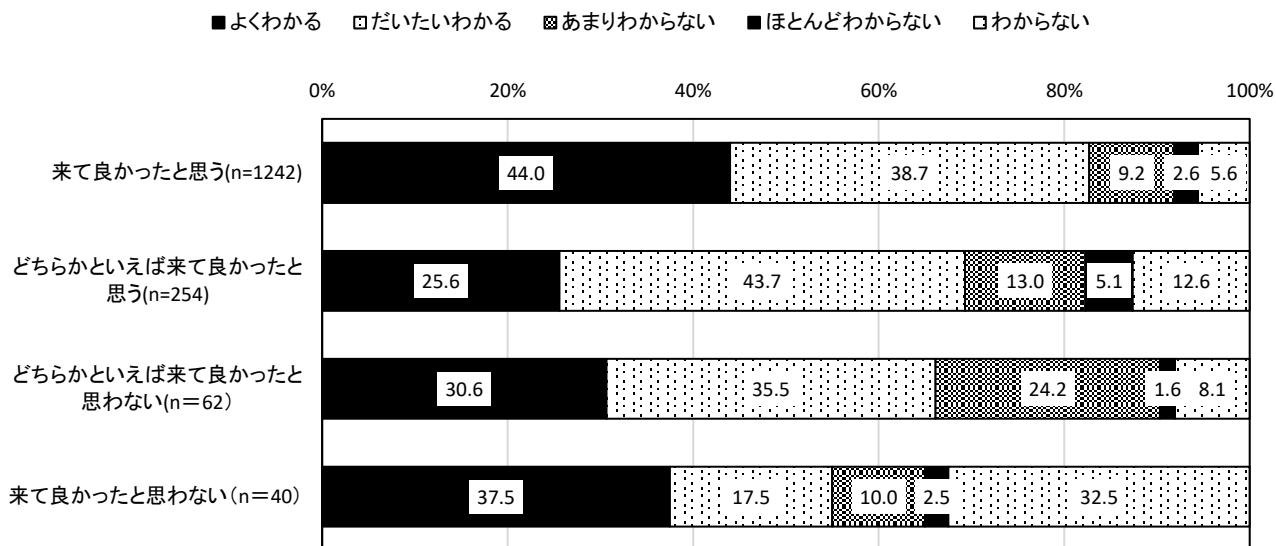


図 72. 居場所への感想と現在の学習時間

「よくわかる」「だいたいわかる」を選択した人の割合は、居場所に来たことに対して、好印象であればあるほど割合が高くなっている。

学校への登校頻度 問 25 × 問 9

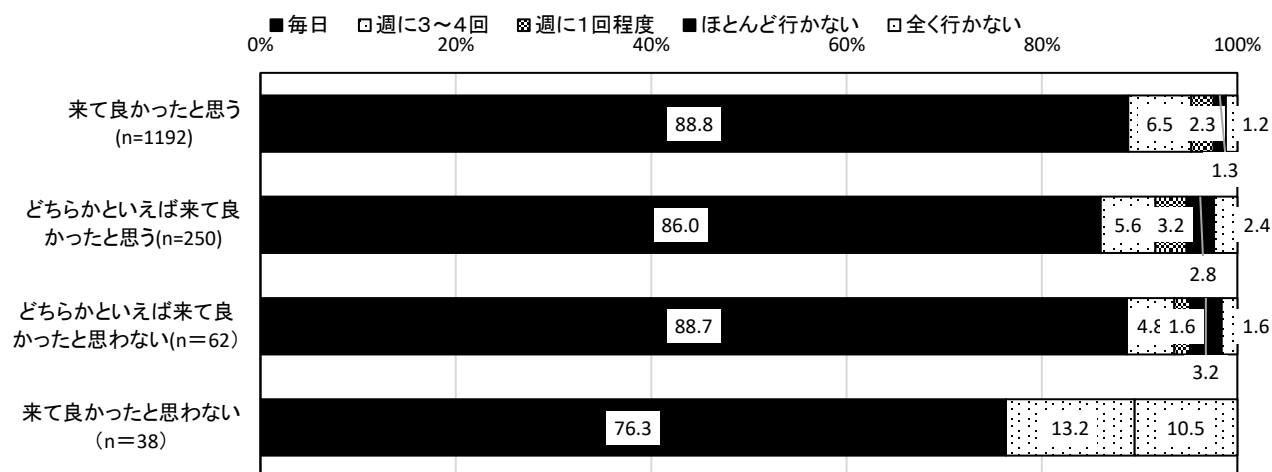


図 73. 居場所への感想と登校頻度

居場所に「来て良かったと思わない」と回答した人は76.3%であり、学校への登校頻度が「毎日」という人が、居場所について他の群よりも10ポイントほど少なく、「週に3~4回」という回答が13.2%、「全く行かない」という回答が10.5%となっている。

遅刻の頻度 問 25 × 問 10

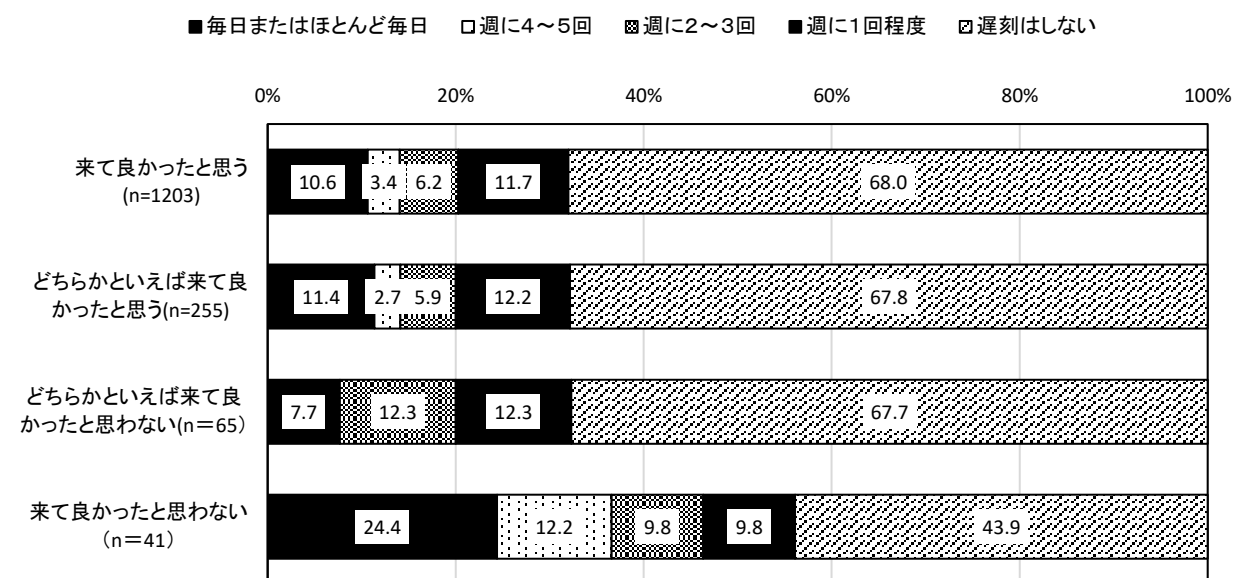


図 74. 居場所への感想と遅刻の頻度

居場所に「来て良かったと思わない」と回答した人は、「毎日またはほとんど毎日」遅刻すると回答した人が24.4%と、他群よりも10ポイント以上多い。また、「週に4~5回」遅刻するという回答も12.2%となっている。「週に2~3回遅刻する」と回答した人について、「どちらかといえば来て良かったと思わない」「来て良かったと思わない」と回答した人では10%前後となっている。

いままでの人生で、心から感動したことがある<現在> 問 25×問 21-1

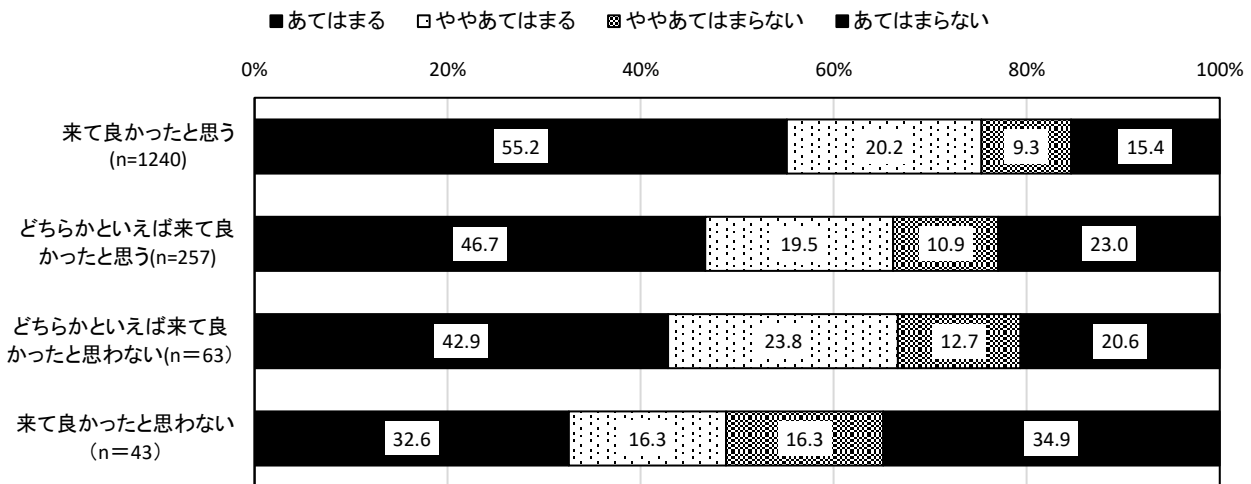


図 75. 居場所への感想といままでの人生で、心から感動したことがある<現在>

居場所に「来て良かったと思う」人ほど、「いままでの人生、心から感動したことがある」という項目に「あてはまる」と回答する傾向にあり、居場所に「来て良かったと思わない」と回答した人のうち、「ややあてはまらない」と「あてはまらない」の人を合わせると 51.2%となっている。特に「あてはまらない」への回答が 34.9%となっており、他群より多い。

夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある<現在> 問 25×問 21-2

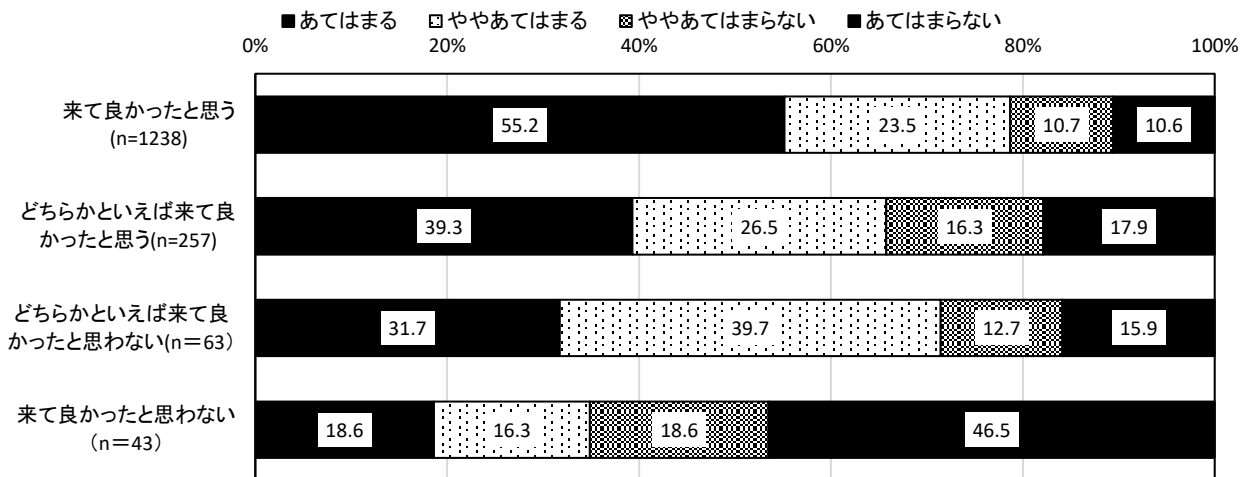


図 76. 居場所への感想と夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある<現在>

居場所に「来て良かったと思う」と回答した人ほど「夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある」に対して「あてはまる」と回答する傾向にある。居場所に「来て良かったと思わない」と回答した人のうち、「あてはまらない」が 46.5%であり、居場所に対する他群よりも非常に多くなっている。「あてはまらない」「ややあてはまらない」を合わせると、65.1%となっている。

小さい子やお年寄りがこまっているとき手助けをする<現在>

問 25×問 21-3

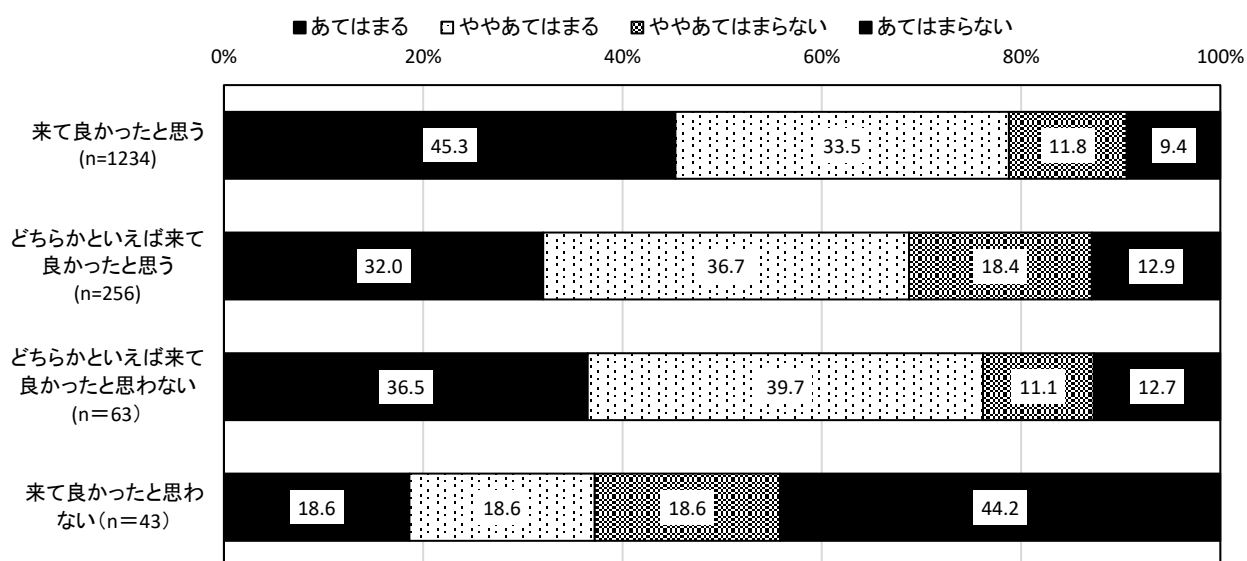


図 77. 居場所への感想と夢中になったり面白かった、やる気が出たという記憶に残っている授業がある<現在>

居場所に「来て良かったと思う」と回答した人は『小さい子やお年寄りがこまっているとき手助けをする』に対して「あてはまる」と回答した人が半数近くいるが、居場所に「来て良かったと思わない」と回答した人は 18.6%と、居場所に対する他の感想を回答した人よりも非常に少なく、「ややあてはまる」と合わせても 37.2%である。「あてはまらない」は 44.2%となっており、他群より高い割合となっている。

お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する<現在>

問 25×問 21-4

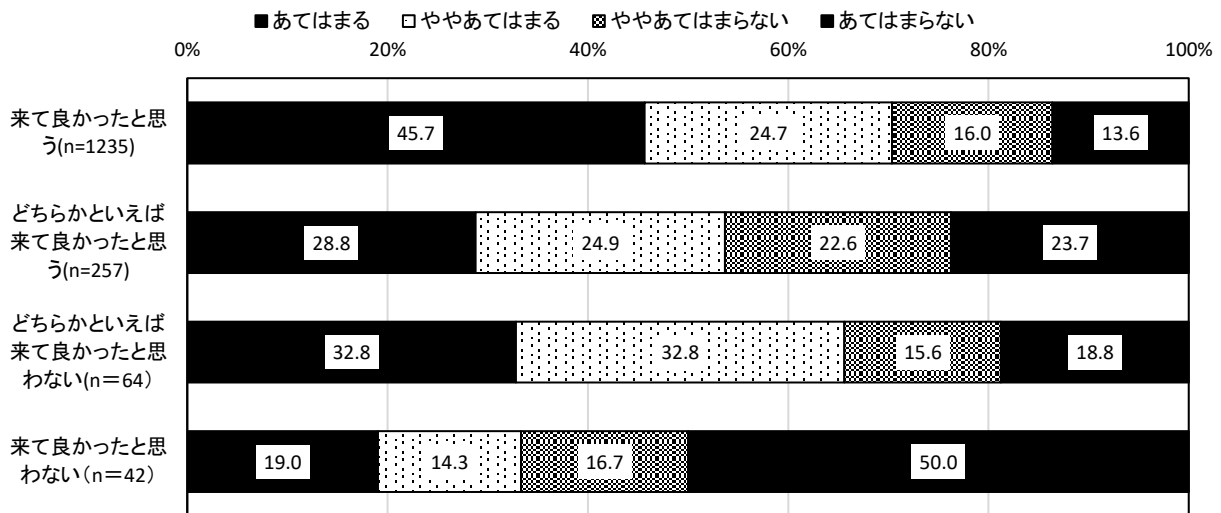


図 78. 居場所への感想とお祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する<現在>

居場所に「来て良かったと思う」と回答した人は、「お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する」に対して半数近くが「あてはまる」と回答している。一方、居場所に「来て良かったと思わない」と回答した人は「あてはまる」と回答した人は19.0%、「ややあてはまる」と合わせても33.3%にとどまる。また、居場所に「来て良かったと思わない」と回答した人は半数が「あてはまらない」と回答している。これは、他群よりも多くなっている。

自己効力感（セルフエフィカシー得点）（問 25×問 23）

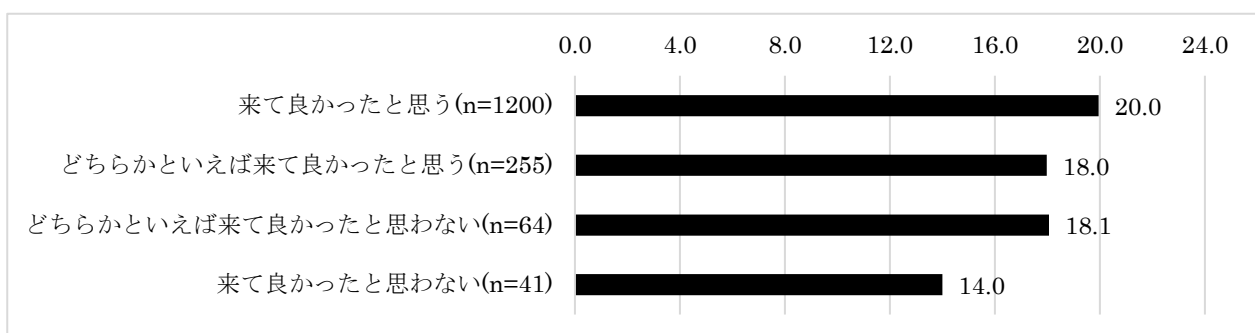


図 79. 居場所への感想とお祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する<現在>

居場所に「来て良かったと思わない」と回答した人は、自己効力感が最も低く、居場所に「来て良かったと思う」と回答した人に比べると6ポイント低くなっている。

*子どもの自己効力感（セルフエフィカシー）については図 40 下の説明参照

第2章 支援員に関する分析

1. 回答者の属性

(1) 基本情報

回答者の続柄

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

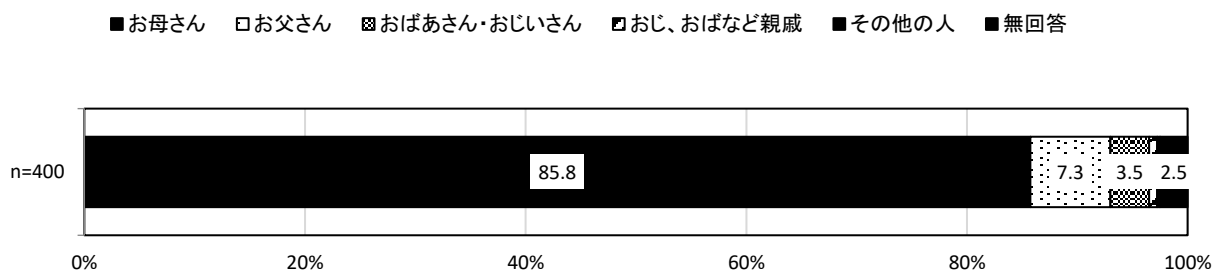


図 80. 回答者の続柄

回答者の有効サンプルは400名である。続柄は、「お母さん」が85.8%と最も多く、「お父さん」が7.3%、「おばあさん・おじいさん」が3.5%、「おじ、おばなど親戚」が0.8%、「その他の人」が0.3%、「無回答」が2.5%である。

回答者の性別

問2 あなたの性別、年齢及びお子さんの人数を教えてください。

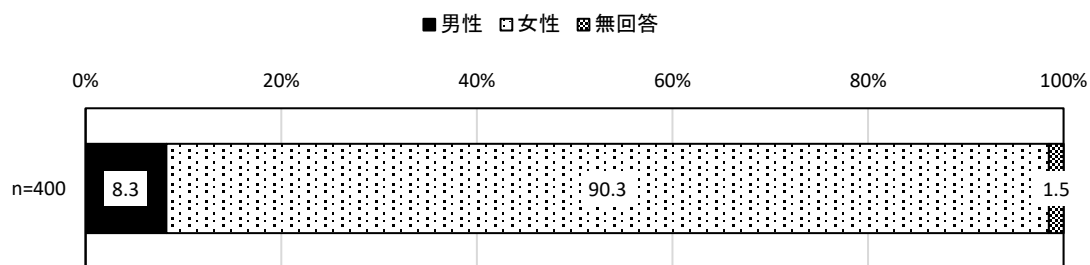


図 81. 回答者の性別

回答者の性別は「男性」が8.3%、「女性」が90.3%、「無回答」が1.5%であり、女性が大半を占めている。

回答者の年代

問2 あなたの性別、年齢及びお子さんの人数を教えてください。

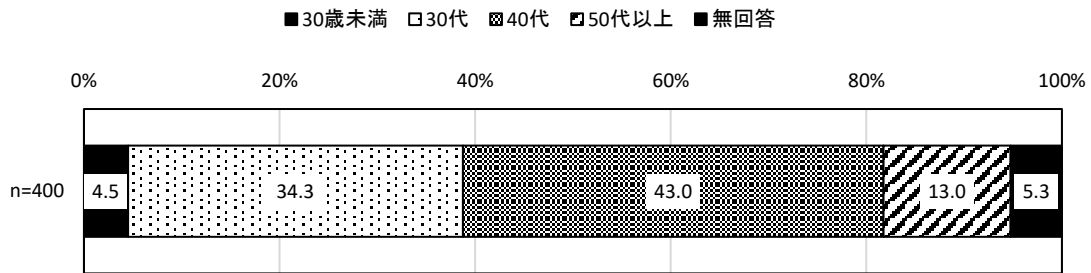
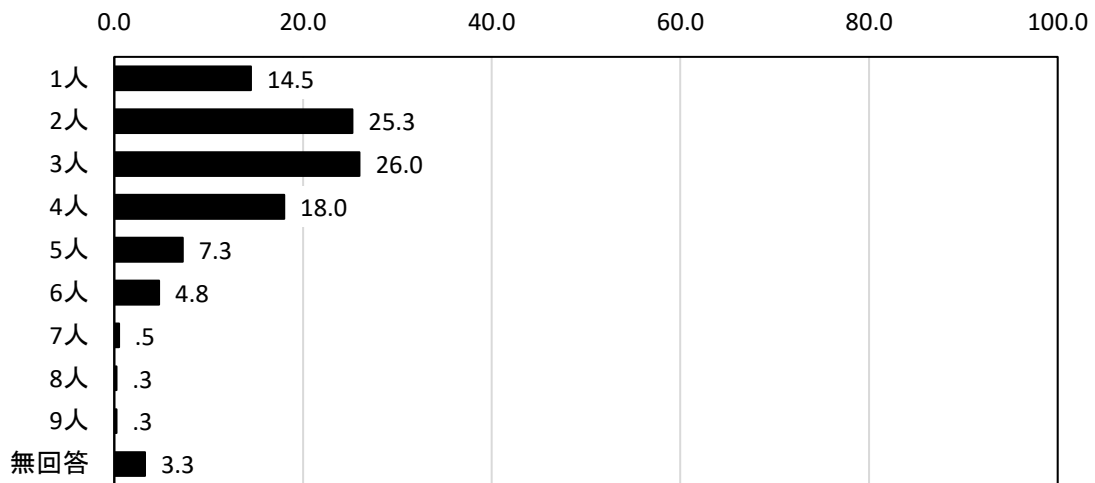


図 82. 回答者の年代

回答者の年代は、「30歳未満」が4.5%、「30代」が34.3%、「40代」が43.0%、「50代以上」13.0%、「無回答」が5.3%である。30代と40代で7割以上を占めている。

回答者の子どもの人数

問2 あなたの性別、年齢及びお子さんの人数を教えてください。



n=400

図 83. 回答者の子どもの人数

回答者の子どもの人数は、「1人」が14.5%、「2人」が25.3%、「3人」が26.0%、「4人」が18.0%、「5人」が7.3%、「6人」が4.8%、「7人」が0.5%、「8人」が0.3%、「9人」が0.3%、「無回答」が3.3%である。子どもの人数が2人または3人である回答者が全体の半数を占めている。

回答者の子どもから見た、世帯構成

問3 お子さんから見た同居家族の構成について教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

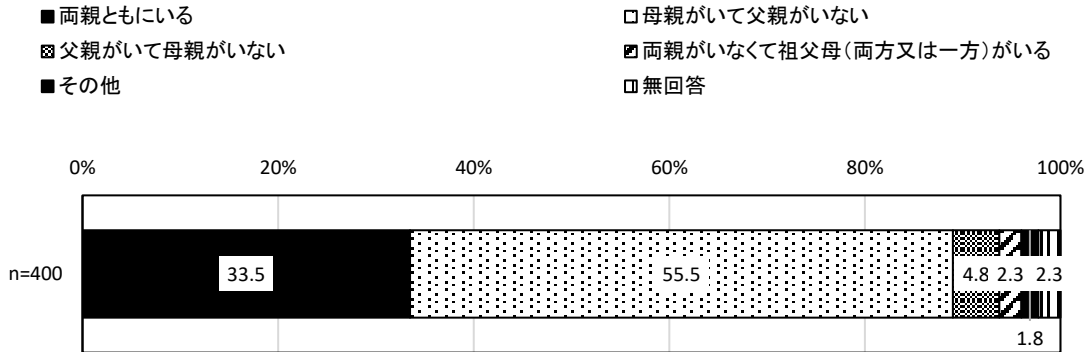


図 84. 回答者の子どもから見た、世帯構成

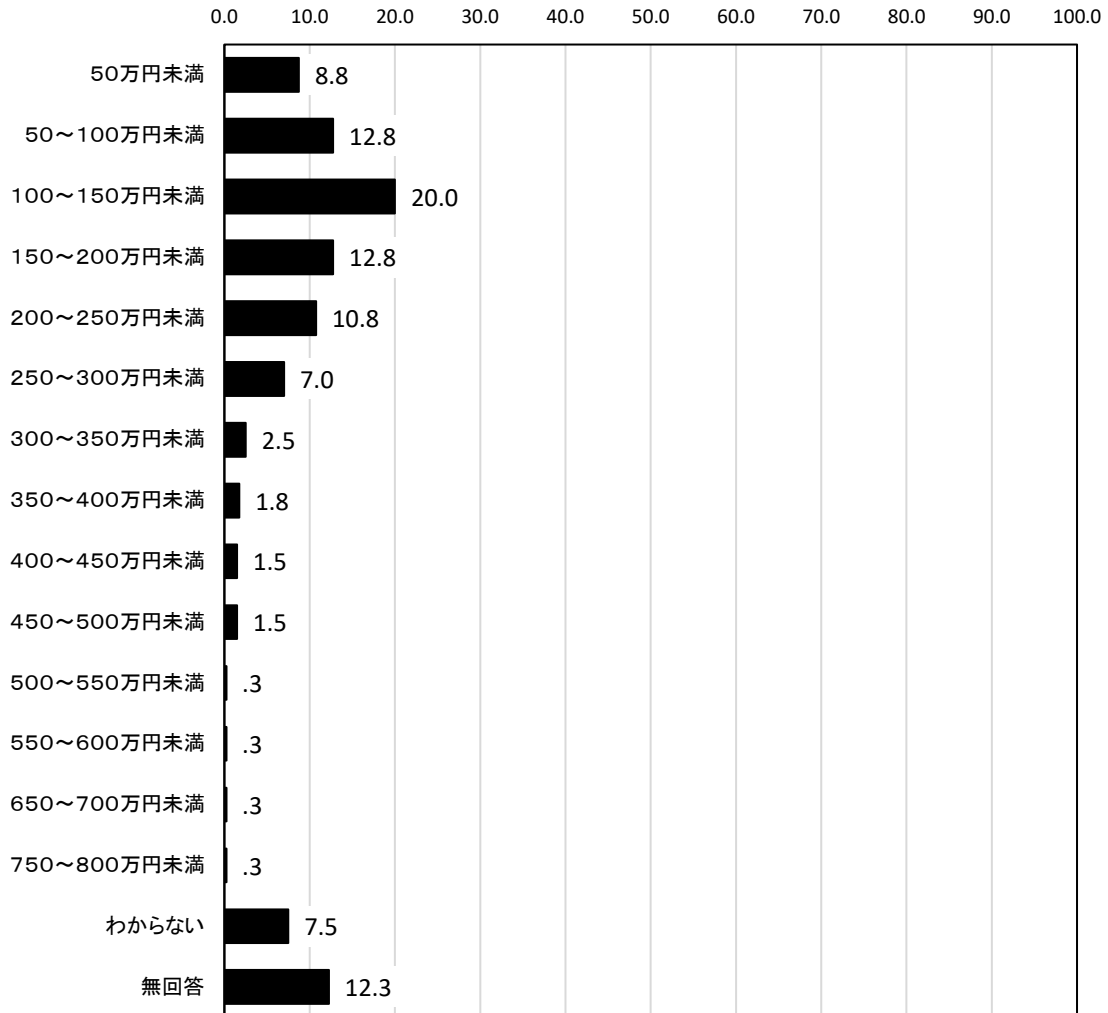
回答者の子どもから見た世帯構成は、「両親ともにいる」が33.5%、「母親がいて父親がいない」が55.5%、「父親がいて母親がいない」が4.8%、「両親がいなくて祖父母(両方または一方)がいる」が2.3%、「その他」が1.8%、「無回答」が2.3%である。ひとり親家庭は、全体の約6割を占めている。両親ともにいる世帯は3割であり、5割の世帯は母子家庭である。

(2) 経済状況

世帯収入額

問5 前年(2016年)のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)



n=400

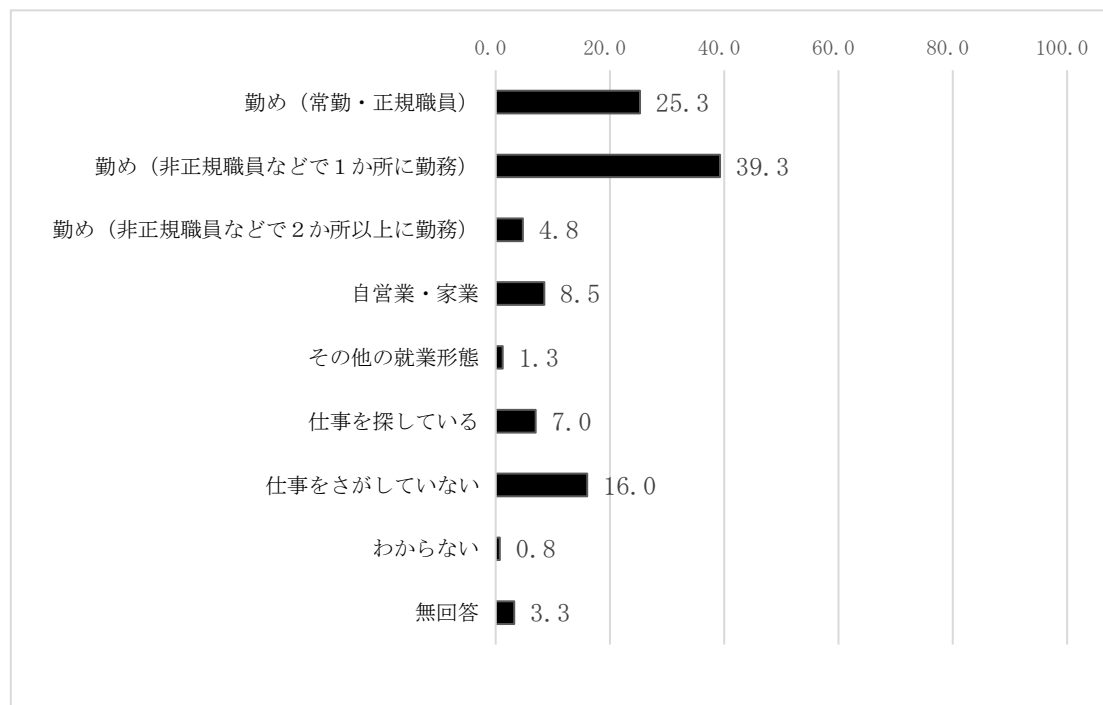
図 85. 世帯収入額

世帯収入額は、「50万円未満」が8.8%、「50~100万円未満」が12.8%、「100~150万円未満」が20.0%、「150~200万円未満」が12.8%、「200~250万円未満」が10.8%、「250~300万円未満」が7.0%、「300~350万円未満」が2.5%、「350~400万円未満」が1.8%、「400~450万円未満」が1.5%、「450~500万円未満」が1.5%、「500~550万円未満」が0.3%、「550~600万円未満」が0.3%、「600~650万円未満」が0.3%、「650~700万円未満」が0.3%、「750~800万円未満」が0.3%、「わからない」が7.5%、「無回答」が12.3%となっている。200万円未満は5割を超えている。回答数は少ないが、50万円未満が一定数いることも注目すべきことである。

就労状況

問7 お子さんの世帯で主に生計を支えている方の現在の就業状況についておたずねします。

(複数か所にお勤めされている方はあてはまる番号をすべて選んでください。)



n=400

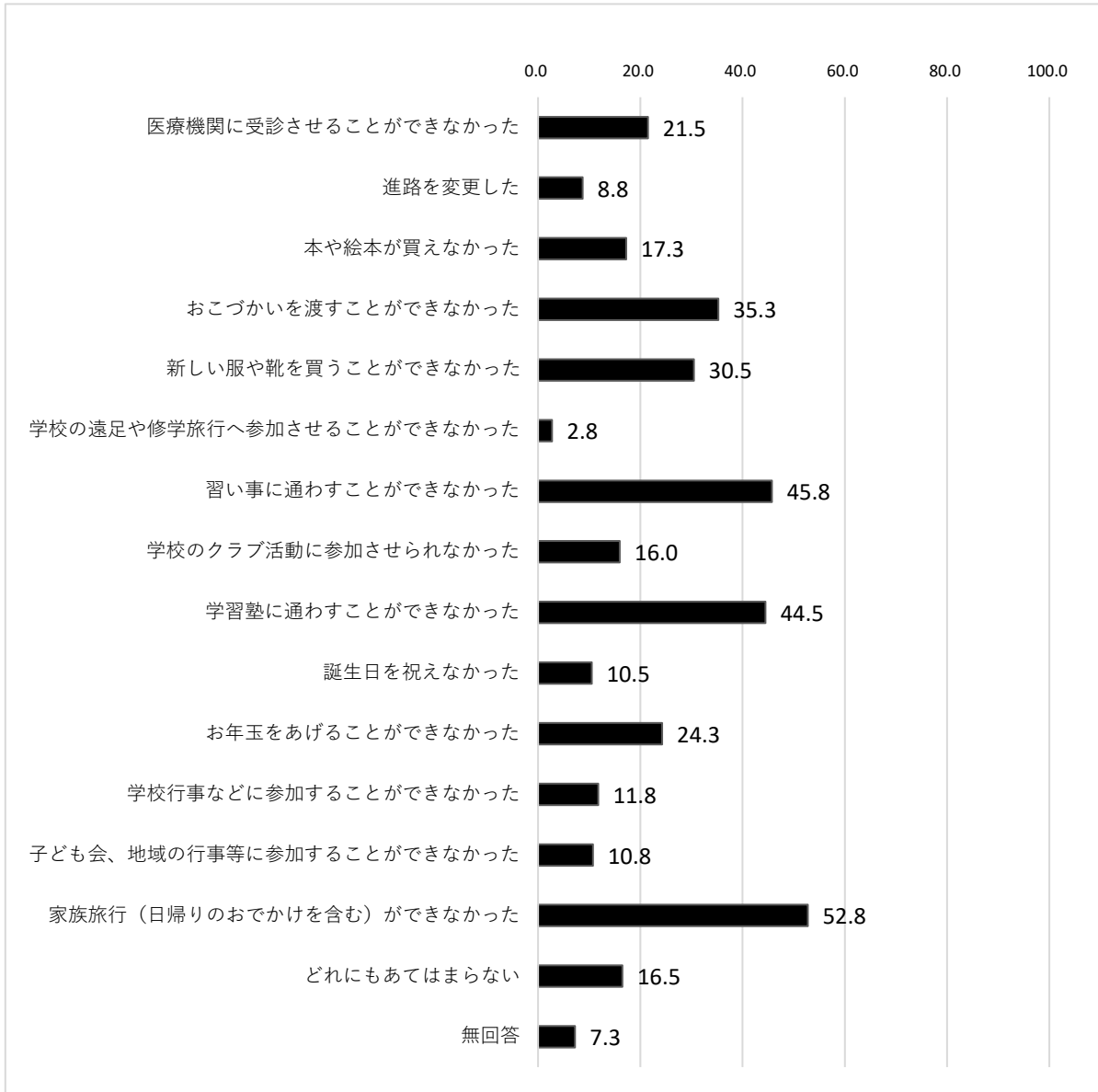
図 86. 就労状況

就労状況は、「勤め (常勤・正規職員)」が 25.3%、「勤め (非正規職員などで1か所に勤務)」が 39.3%、「勤め (非正規職員などで2か所以上に勤務)」が 4.8%、「自営業・家業」が 8.5%、「その他の就業形態」が 1.3%、「仕事を探している」が 7.0%、「仕事をさがしていない」が 16.0%、「わからない」が 0.8%、「無回答」が 3.3%である。非常勤の勤めは約4割となっている。一方、求職中であつたり仕事をさがしていないというケースは2割ある。

子どもへの経済的な理由による経験

問6 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。

(おおむね1年の間でお考えください。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)



n=400

図 87. 子どもへの経済的な理由による経験

子どもへの経済的な理由による経験は、「家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかった」が52.8%、「習いごとに通わすことができなかった」が45.8%、「学習塾に通わすことができなかった」が44.5%、「おこづかいを渡すことができなかった」が35.3%、「新しい服や靴を買うことができなかった」が30.5%の順に高くなっている。

児童手当

問 4 ① 児童手当（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

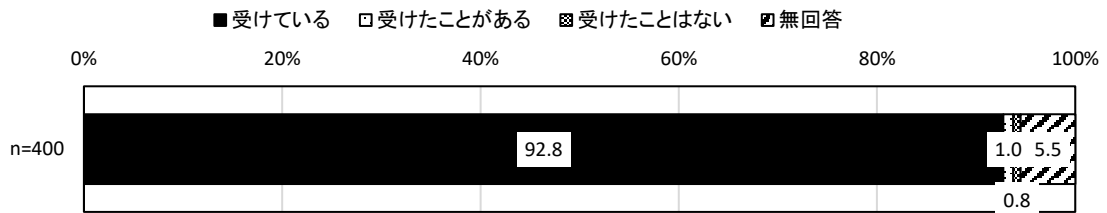


図 88. 児童手当

児童手当を「受けている」が 92.8%と大半を占めた。「受けたことがある」が 1.0%、「受けたことはない」が 0.8%、「無回答」が 5.5%である。

就学援助費

問 4 ② 就学援助費（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

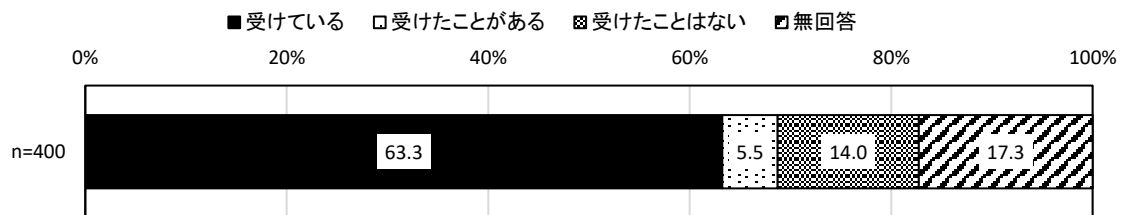


図 89. 就学援助費

就学援助費を「受けている」が 63.3%、「受けたことがある」が 5.5%、「受けたことはない」が 14.0%、「無回答」が 17.3%である。

児童扶養手当

問 4 ③ 児童扶養手当（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

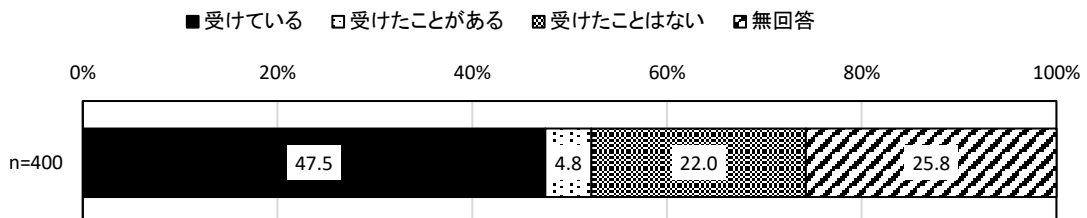


図 90. 児童扶養手当

児童扶養手当を「受けている」が 47.5%、「受けたことがある」が 4.8%、「受けたことはない」が 22.0%、「無回答」が 25.8%である。

障がいや難病の手当

問 4 ④ 障がいや難病の手当（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

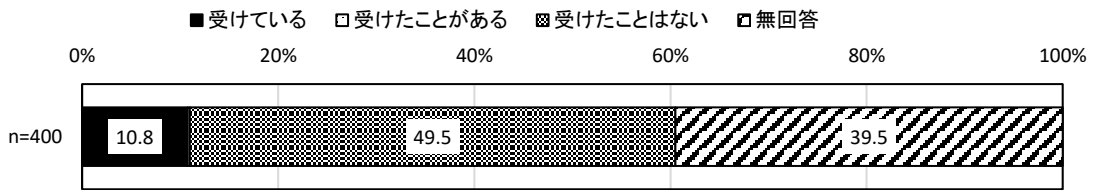


図 91. 障がいや難病の手当

障がいや難病の手当を「受けている」が 10.8%、「受けたことがある」が 0.3%、「受けたことはない」が 49.5%、「無回答」が 39.5%である。無回答が多くなっている。

生活保護

問 4 ⑤ 生活保護（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

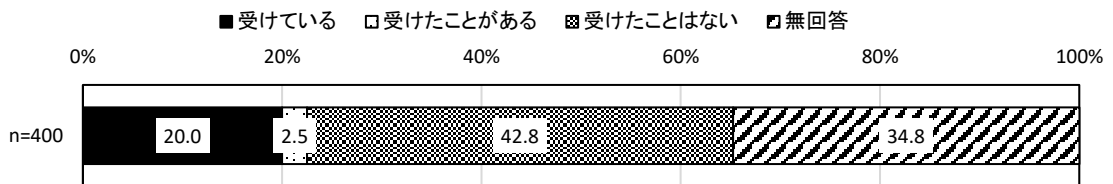


図 92. 生活保護

生活保護を「受けている」が 20.0%、「受けたことがある」が 2.5%、「受けたことはない」が 42.8%、「無回答」が 34.8%である。無回答が多い。

公的年金（老齢年金）

問 4 ⑥ 公的年金（老齢年金）（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

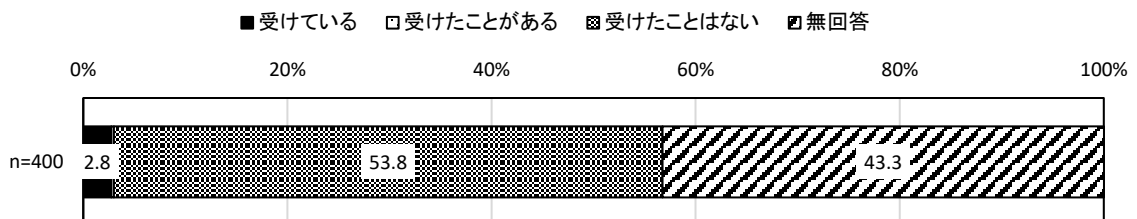


図 93. 公的年金（老齢年金）

公的年金（老齢年金）を「受けている」が 2.8%、「受けたことがある」が 0.3%、「受けたことはない」が 53.8%、「無回答」が 43.3%である。無回答が多い。

公的年金（遺族年金、障がい年金）

問 4 ⑦ 公的年金（遺族年金、障がい年金）（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

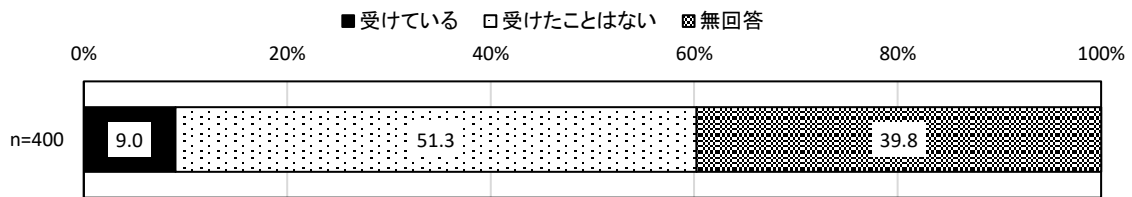


図 94. 公的年金（遺族年金、障がい年金）

公的年金（遺族年金、障がい年金）を「受けている」が9.0%、「受けたことはない」が51.3%、「無回答」が39.8%である。

雇用保険（失業保険）

問 4 ⑧ 雇用保険（失業保険）（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

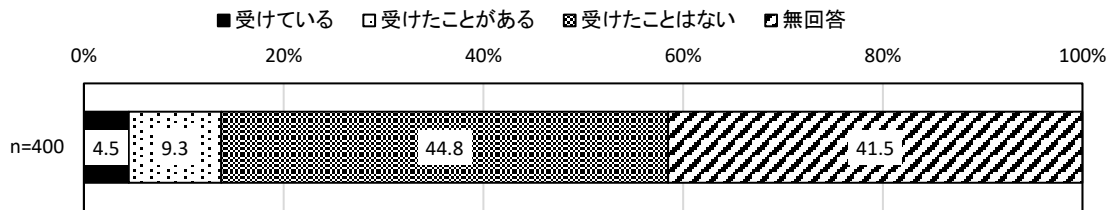


図 95. 雇用保険（失業保険）

雇用保険（失業保険）を「受けている」が4.5%、「受けたことがある」が9.3%、「受けたことはない」が44.8%、「無回答」が41.5%である。無回答が多い。

養育費

問 4 ⑨ 養育費（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

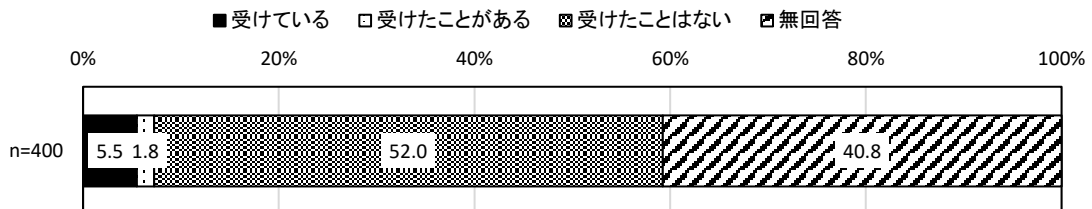


図 96. 養育費

養育費を「受けている」が5.5%、「受けたことがある」が1.8%、「受けたことはない」が52.0%、「無回答」が40.8%である。無回答が多い。

親・親族からの仕送り

問 4 ⑩ 親・親族からの仕送り（あてはまる番号1つに○をつけてください）

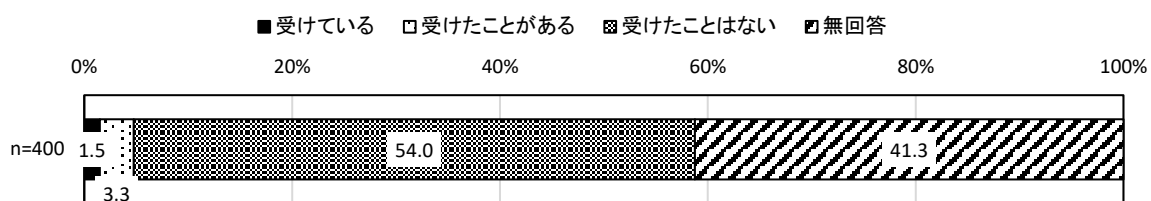


図 97. 親・親族からの仕送り

親・親族からの仕送りを「受けている」が1.5%、「受けたことがある」が3.3%、「受けたことはない」が54.0%、「無回答」が41.3%である。無回答が多い。

退職金

問 4 ⑪ 退職金（あてはまる番号1つに○をつけてください）

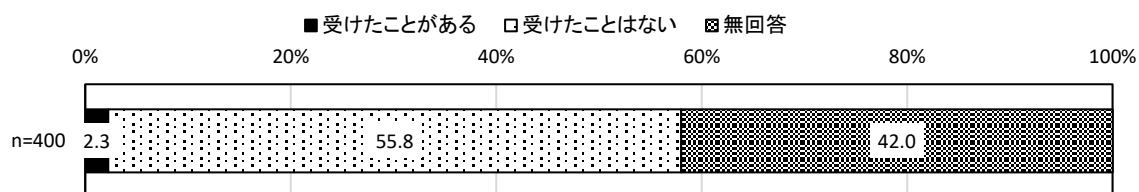


図 98. 退職金

退職金を「受けたことがある」が2.3%、「受けたことはない」が55.8%、「無回答」が42.0%である。無回答が多い。

その他、株式配当などの副収入

問 4 ⑫ その他、株式配当などの副収入（あてはまる番号1つに○をつけてください）

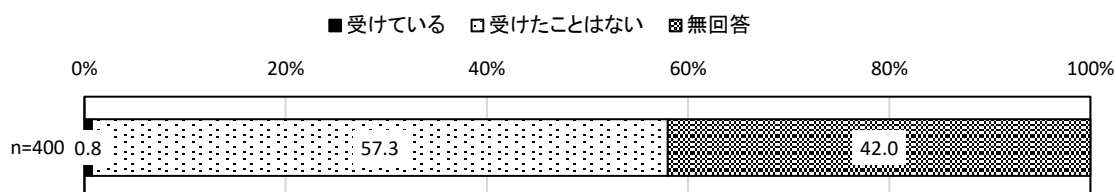


図 99. その他、株式配当などの副収入

その他、株式配当などの副収入を「受けている」が0.8%、「受けたことはない」が57.3%、「無回答」が42.0%である。無回答が多い。

2. 単純集計から見た分析結果

(1) 支援に関すること

支援員に会った回数

問 8 あなたは支援員と何回会いましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

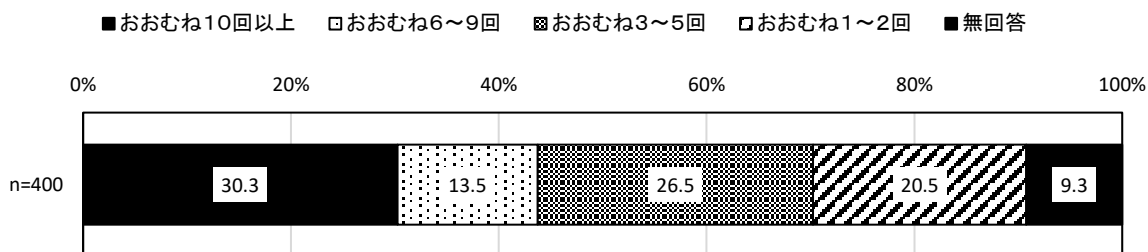


図 100. 支援員に会った回数

支援員に会った回数は、「おおむね 10 回以上」が 30.3%、「おおむね 6～9 回」が 13.5%、「おおむね 3～5 回」が 26.5%、「おおむね 1～2 回」が 20.5%、「無回答」が 9.3%である。おおむね 10 回以上が 3 割と最も多い。本項目は、期間を設定していないため、支援員に会った回数が多いことが、短い期間に頻繁に支援員と会ったのか、それとも、支援員とはたまにしか会っていないが支援員との交流期間が長いために回数が積み重なったのかについては、どちらとも言えない。また、理由は分からないが、無回答が約 1 割いることにも注目したい。

支援員に会って良かったか

問 19 支援員と会うようになって良かったと思うか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

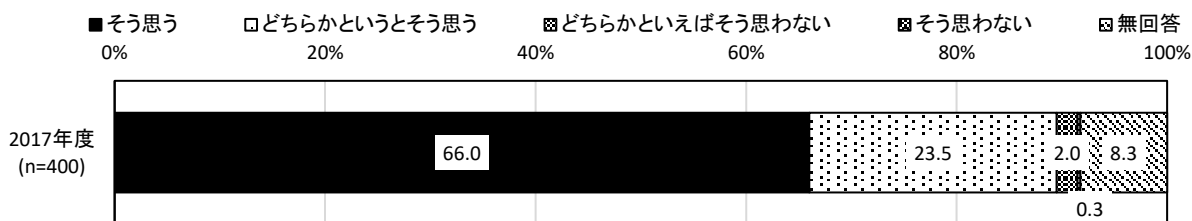


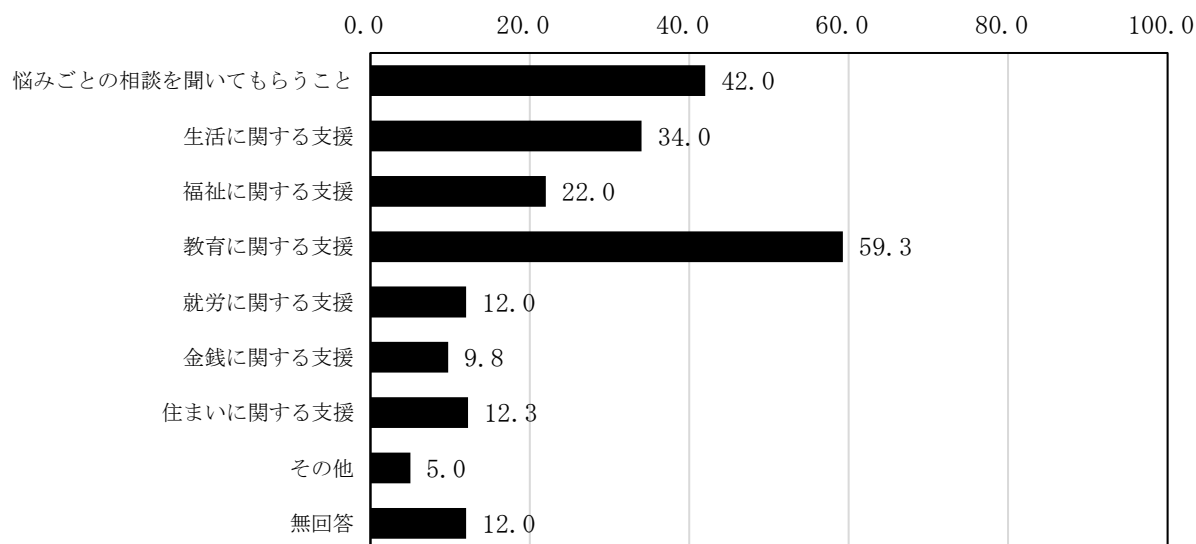
図 101. 支援員に会って良かったか

支援に会って良かったかをみると、「そう思う」が 66.0%、「どちらかというと思う」が 23.5%、「どちらかというと思う」が 2.0%、「そう思わない」が 0.3%、「無回答」が 8.3%となっている。「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせると 88.5%となり、肯定的な評価を得ていることがわかる。

役に立ったサポート

問 15 あなたは支援員からのどの分野のサポートが役立ちましたか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

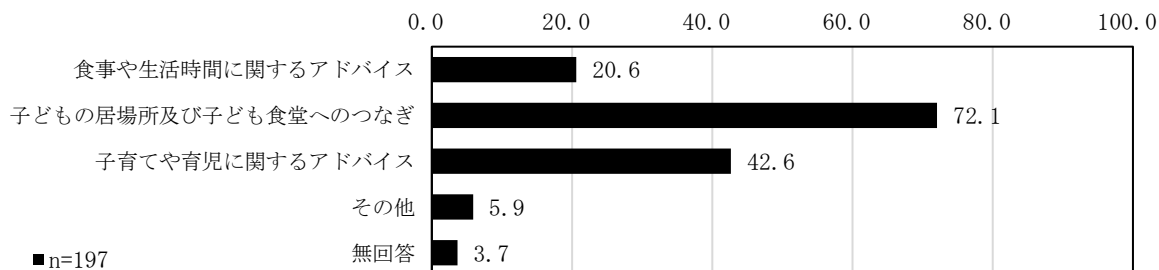


n=400

図 102. 役に立ったサポート

役に立ったサポートは、「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」が42.0%、「生活に関する支援」が34.0%、「福祉に関する支援」が22.0%、「教育に関する支援」が59.3%、「就労に関する支援」が12.0%、「金銭に関する支援」が9.8%、「住まいに関する支援」が12.3%、「その他」が5.0%、「無回答」が12.0%である。特に、教育に関する支援や悩みごとの相談を聞いてもらうことという回答が多い。

【生活に関する支援】



■ n=197

図 103. 生活に関する支援

生活に関する支援については、「食事や生活時間に関するアドバイス」は20.6%、「子どもの居場所及び子ども食堂へのつながり」は72.1%、「子育てや育児に関するアドバイス」は42.6%、「その他」は5.9%、「無回答」は3.7%である。子どもの居場所や子ども食堂へのつながりが多くなっている。

【福祉に関する支援】

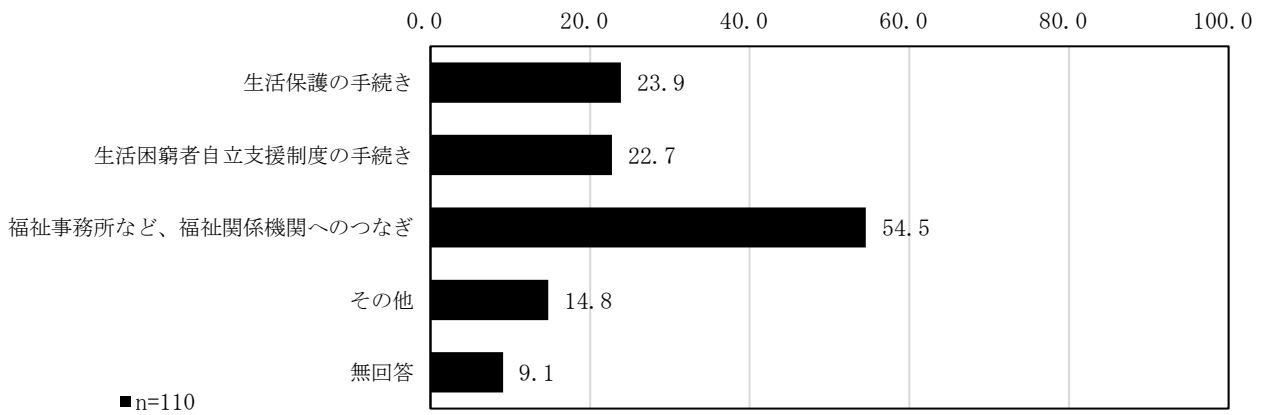


図 104. 福祉に関する支援

福祉に関する支援は、「生活保護の手続き」は 23.9%、「生活困窮者自立支援制度の手続き」は 22.7%、「福祉事務所など、福祉関係機関へのつながり」は 54.5%と多い。「その他」は 14.8%、「無回答」は 9.1%である。

【教育に関する支援】

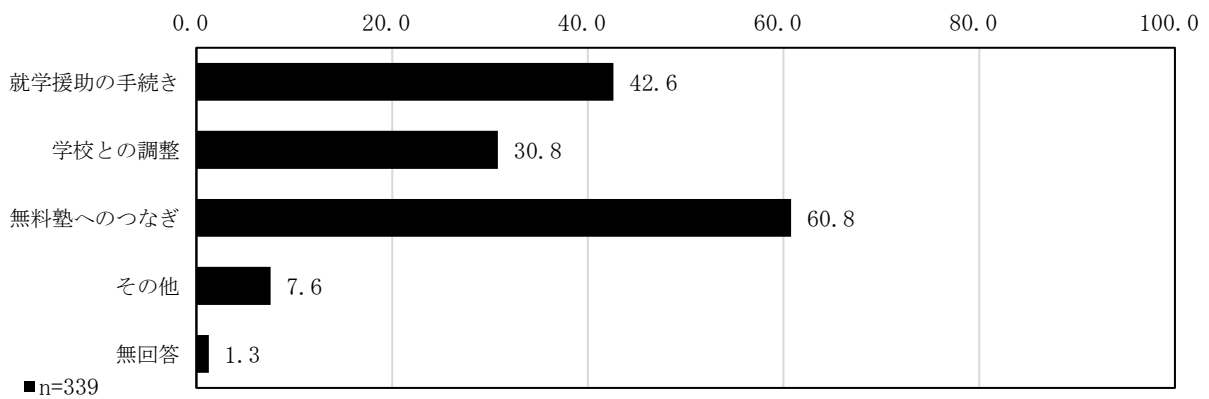


図 105. 教育に関する支援

教育に関する支援は「就学援助の手続き」は 42.6%、「学校との調整」は 30.8%、「無料塾へのつながり」は 60.8%と多い。「その他」は 7.6%、「無回答」は 1.3%である。

【就労に関する支援】



図 106. 就労に関する支援

就労に関する支援は、「職業安定所（ハローワーク）へのつなぎ」は 62.5%と多い。「就業訓練」は 29.2%、「その他」は 14.6%、「無回答」は 8.3%である。

【金銭に関する支援】

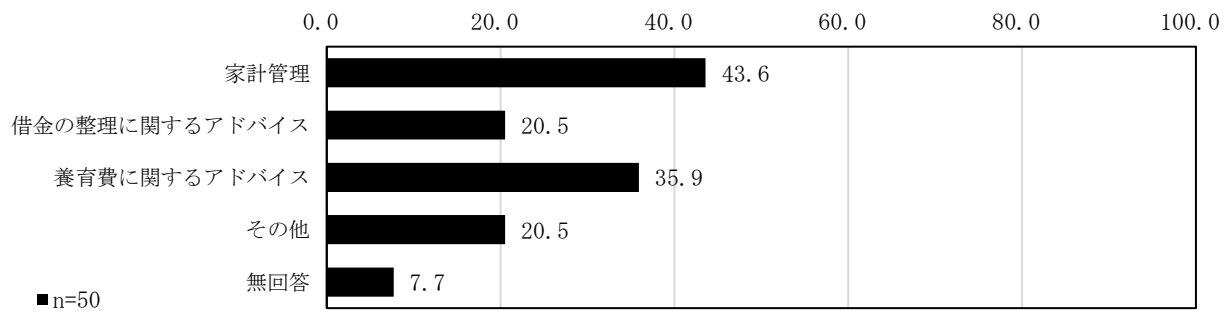


図 107. 金銭に関する支援

金銭に関する支援は、「家計管理」は 43.6%と最も多くなっている。「借金の整理に関するアドバイス」は 20.5%、「養育費に関するアドバイス」は 35.9%、「その他」は 20.5%、「無回答」は 7.7%である。

【住まいに関する支援】

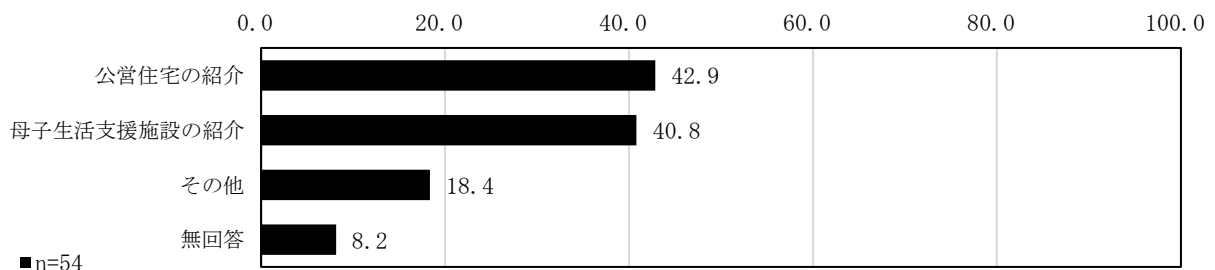


図 108. 住まいに関する支援

住まいに関する支援は、「公営住宅の紹介」は 42.9%、「母子生活支援施設の紹介」は 40.8%、「その他」は 18.4%、「無回答」は 8.2%である。

お子さんの食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況

問 16 あなたのお子さんは、地域で食事の提供や学習の支援などのサービスを利用していますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

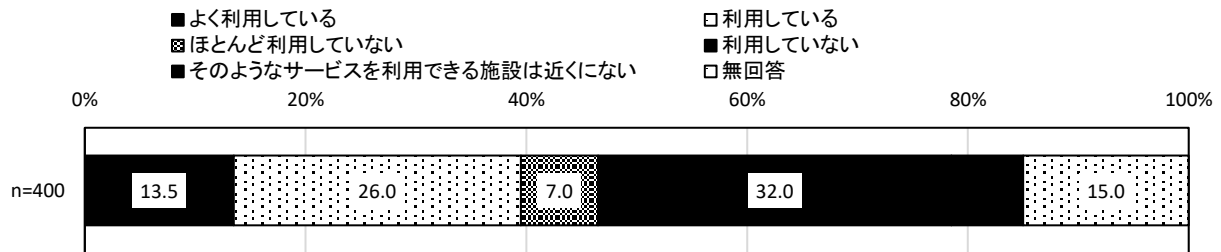


図 109. 子どもの食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況

お子さんの食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況は、「よく利用している」は 13.5%、「利用している」は 26.0%、「ほとんど利用していない」は 7.0%、「利用していない」は 32.0% と多い。「そのようなサービスを利用できる施設は近くにない」は 15.0% である。

保護者から見た子どもの変化

問 17 利用するようになってからのお子さんの変化についてあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

*以下問 17 の①～⑨は、無回答を除いた割合を算出している。また、問 16 で「よく利用している」または「利用している」に○をつけた回答者のみに聞いている。

① 同じ時刻に起きる

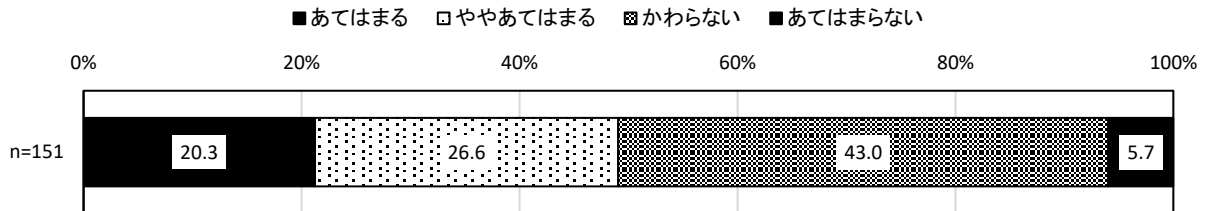


図 110. 同じ時刻に起きる

回答者全体では「あてはまる」が 21.2%、「ややあてはまる」が 27.8%、「かわらない」が 45.0%、「あてはまらない」が 6.0%である。

② 朝食を食べる

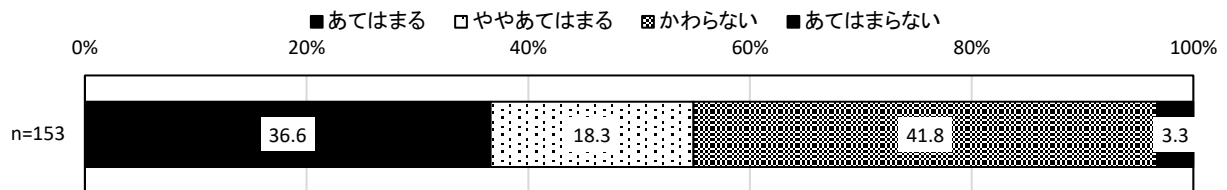


図 111. 朝食を食べる

回答者全体では「あてはまる」が 36.6%、「ややあてはまる」が 18.3%、「かわらない」が 41.8%、「あてはまらない」が 3.3%である。

③ 健康状態

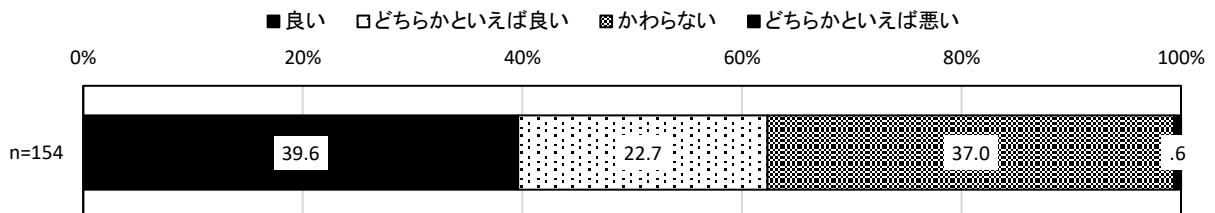


図 112. 健康状態

回答者全体では「良い」が 39.6%、「どちらかといえば良い」が 22.7%、「かわらない」が 37.0%、「どちらかといえば悪い」が 0.6%である。

④ 授業時間以外にも勉強する

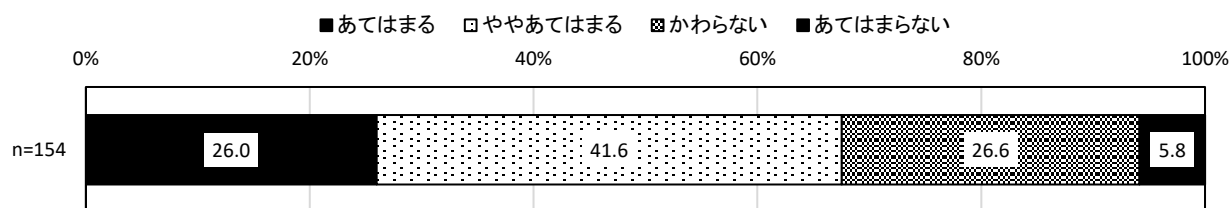


図 113. 授業時間以外にも勉強する

回答者全体では「あてはまる」が26.0%、「ややあてはまる」が41.6%、「かわらない」が26.6%、「あてはまらない」が5.8%である。

⑤ 授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る

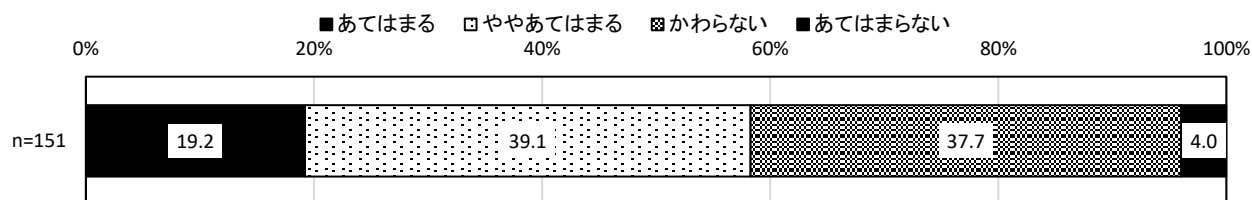


図 114. 授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る

回答者全体では「あてはまる」が19.2%、「ややあてはまる」が39.1%、「かわらない」が37.7%、「あてはまらない」が4.0%である。

⑥ お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する

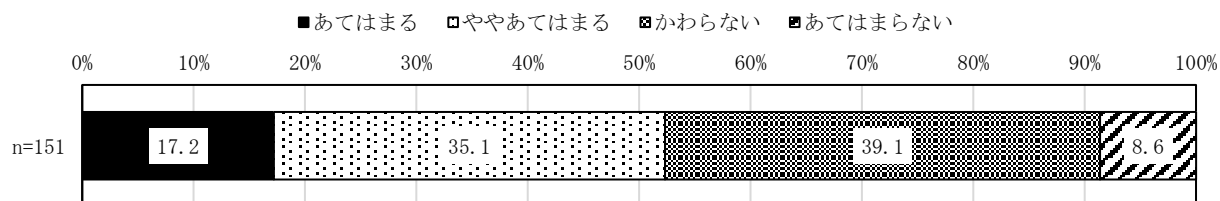


図 115. お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する

回答者全体では「あてはまる」が17.2%、「ややあてはまる」が35.1%、「かわらない」が39.1%、「あてはまらない」が8.6%である。

⑦ 勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人がいる

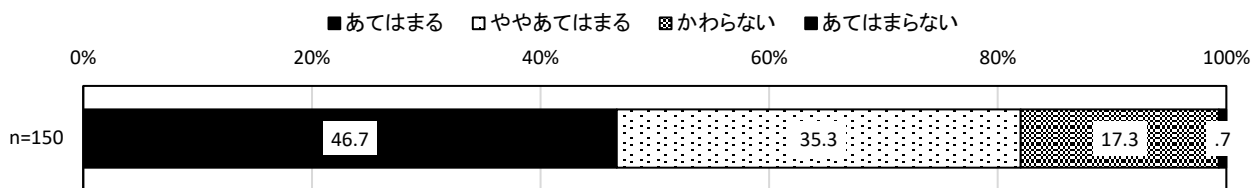


図 116. 勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人がいる

回答者全体では「あてはまる」が46.7%、「ややあてはまる」が35.3%、「かわらない」が17.3%、「あてはまらない」が0.7%である。

⑧ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

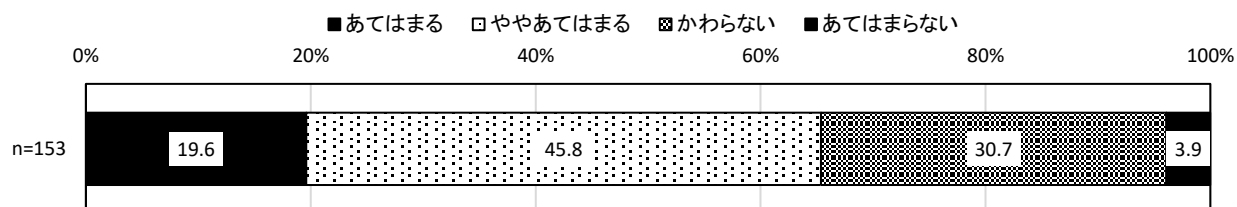


図 117. 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

回答者全体では「あてはまる」が19.6%、「ややあてはまる」が45.8%、「かわらない」が30.7%、「あてはまらない」が3.9%である。

⑨ 自分の将来の夢や目標を持っている

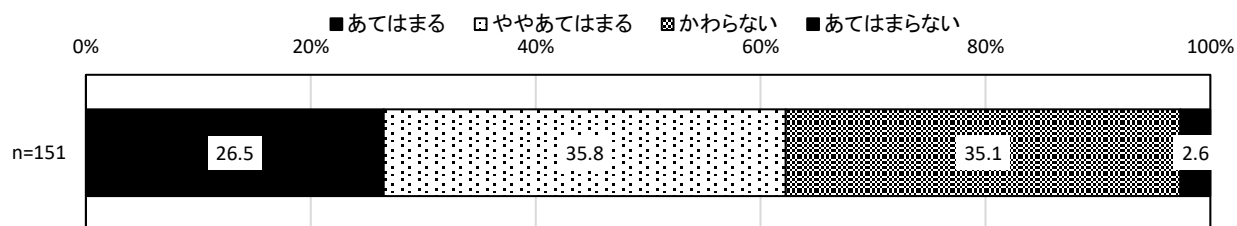


図 118. 自分の将来の夢や目標を持っている

回答者全体では「あてはまる」が26.5%、「ややあてはまる」が35.8%、「かわらない」が35.1%、「あてはまらない」が2.6%である。

⑩子どもが放課後に過ごす場所

(支援員に会う前)

(現在)

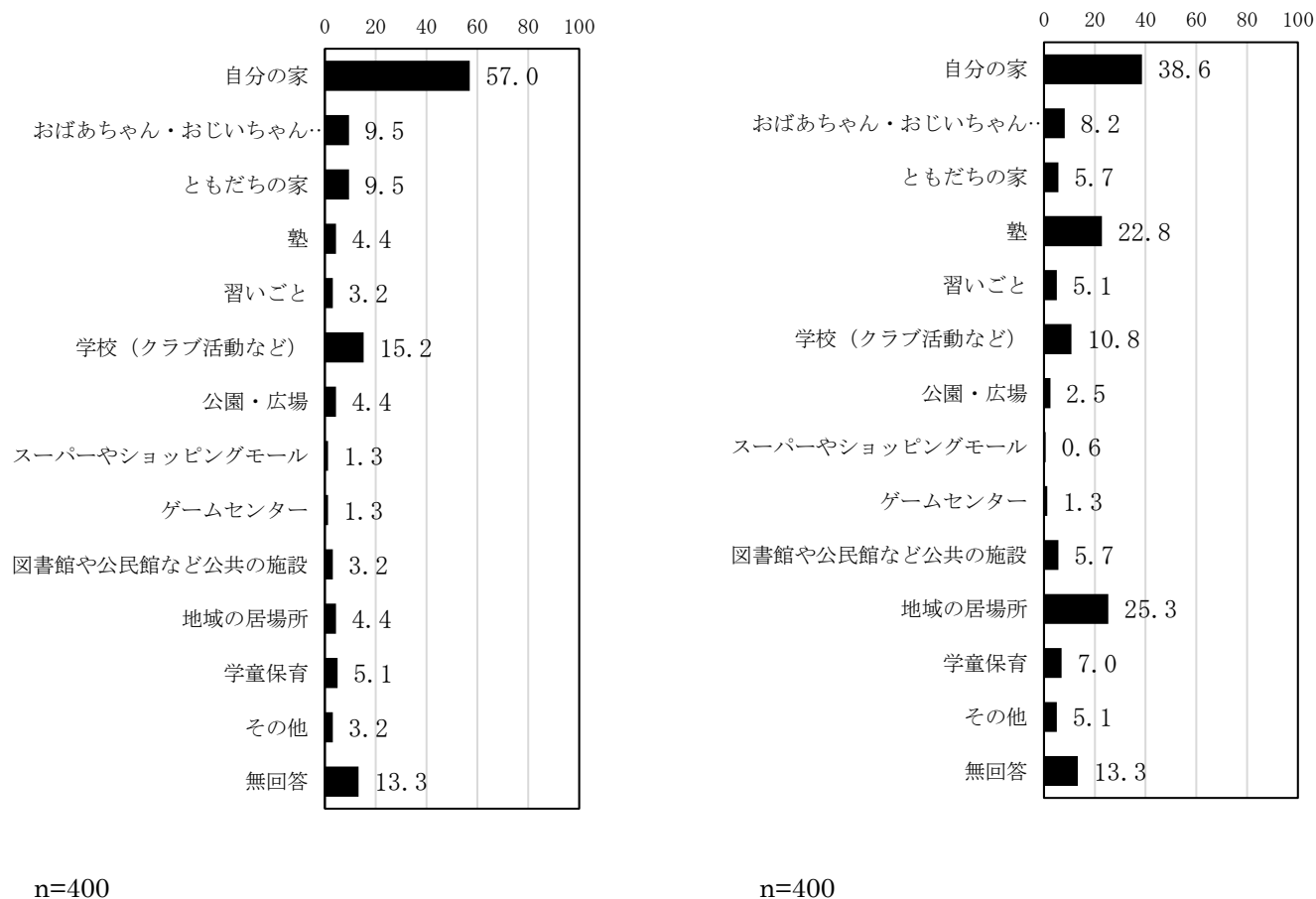


図 119. 子どもが放課後に過ごす場所の変化

子どもが放課後に過ごす場所は、支援員に会う前は、「自分の家」が57.0%、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」が9.5%、「ともだちの家」が9.5%、「塾」が4.4%、「習いごと」が3.2%、「学校 (クラブ活動など)」が15.2%、「公園・広場」が4.4%、「スーパーやショッピングモール」が1.3%、「ゲームセンター」が1.3%、「図書館や公民館など公共の施設」が3.2%、「地域の居場所」が4.4%、「学童保育」5.1%、「その他」が3.2%、「無回答」が13.3%である。

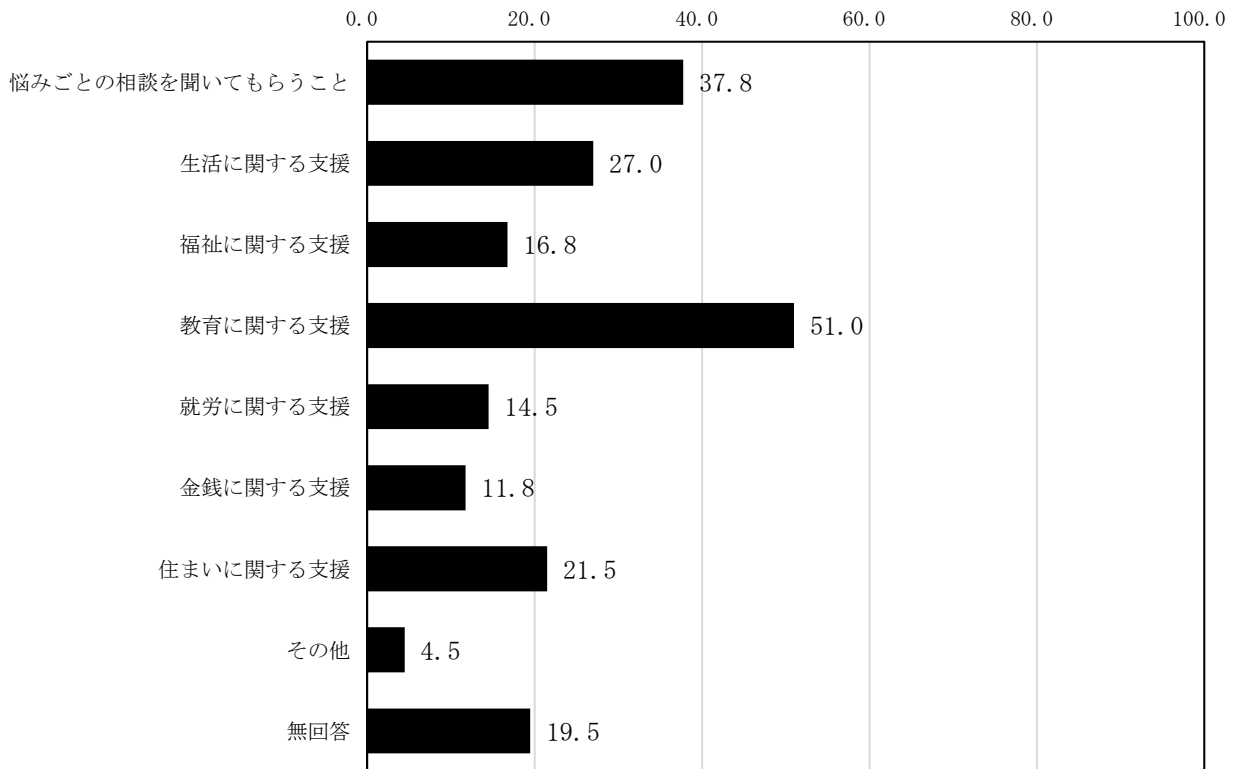
一方、現在では「自分の家」が38.6%、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」が8.2%、「ともだちの家」が5.7%、「塾」が22.8%、「習いごと」が5.1%、「学校 (クラブ活動など)」が10.8%、「公園・広場」が2.5%、「スーパーやショッピングモール」が0.6%、「ゲームセンター」が1.3%、「図書館や公民館など公共の施設」が5.7%、「地域の居場所」が25.3%、「学童保育」が7.0%、「その他」が5.1%、「無回答」が13.3%である。

支援員に会う前と現在の変化をみると、「自分の家」では18.4%、「学校 (クラブ活動など)」では4.4%減少しているのに対して、「塾」では18.4%、「地域の居場所」では20.9%増加している。支援員に会う前は、回答者の5割が自分の家でありその他の項目は少なかったが、現在では、自分の家、塾、地域の居場所という3か所に分散した傾向がみられる。

今後支援員から受けてみたいサポート

問 18 あなたは今後支援員からどの分野のサポートを受けたいですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。



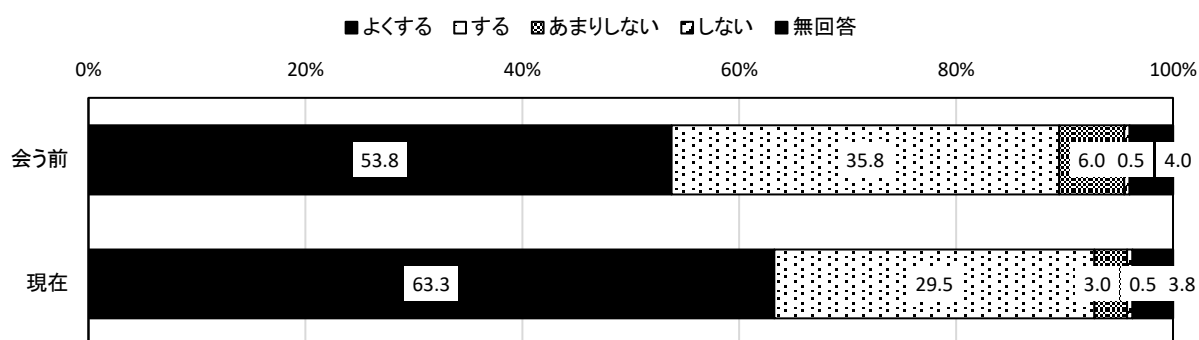
n = 400

図 120. 今後支援員から受けてみたいサポート

今後支援員から受けてみたいサポートは「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」が 37.8%、「生活に関する支援」が 27.0%、「福祉に関する支援」が 16.8%、「教育に関する支援」が 51.0%、「就労に関する支援」が 14.5%、「金銭に関する支援」が 11.8%、「住まいに関する支援」が 21.5%、「その他」が 4.5%、「無回答」が 19.5%である。悩みごとの相談と教育に関する支援が高い傾向がある。

(2) 生活環境・教育環境の変化

子どもと会話する
 問9 ① お子さんと会話をしますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

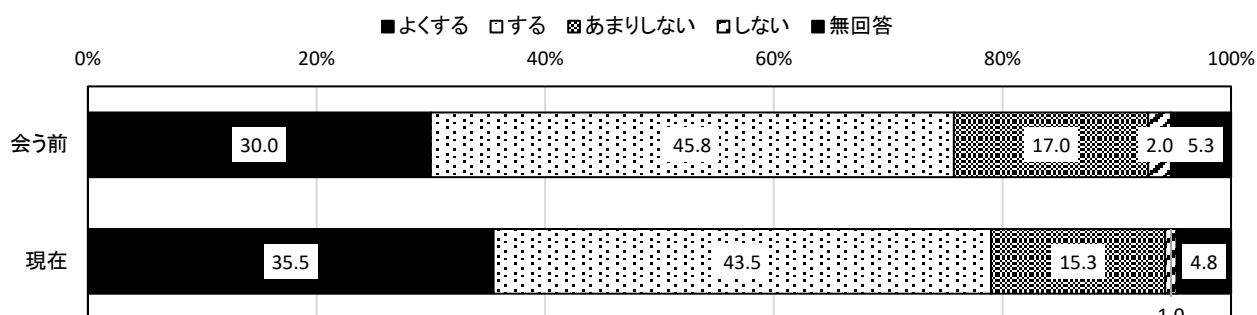


n=400

図 121. 子どもと会話する

子どもとの会話をみると、支援員に会う前は「よくする」が53.8%、「する」が35.8%、「あまりしない」が6.0%、「しない」が0.5%、「無回答」が4.0%になっている。現在では「よくする」が63.3%、「する」が29.5%、「あまりしない」が3.0%、「しない」が0.5%、「無回答」が3.8%になっている。会う前と現在の変化をみると、「よくする」において、8.5ポイントの差がみられる。

子どもと十分時間を過ごす
 問9 ② お子さんと十分時間を過ごしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)



n=400

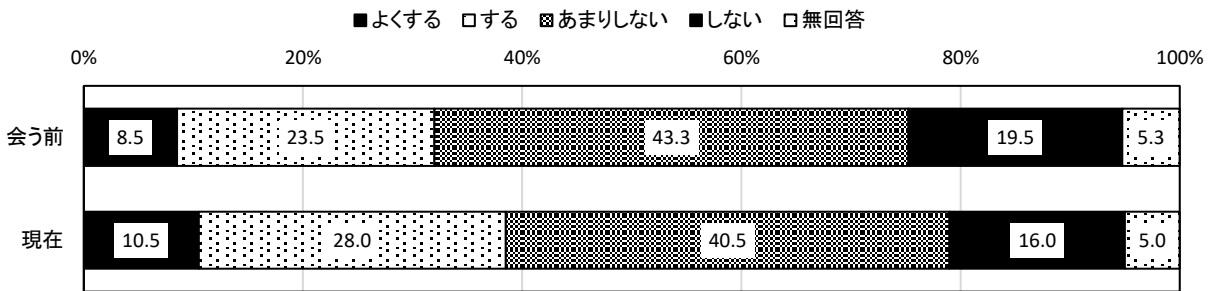
図 122. 子どもと十分時間を過ごす

子どもと十分時間を過ごすをみると、支援員に会う前は「よくする」が30.0%、「する」が45.8%、「あまりしない」が17.0%、「しない」が2.0%、「無回答」が5.3%になっている。現在では「よくする」が35.5%、「する」が43.5%、「あまりしない」が15.3%、「しない」が1.0%、「無回答」が4.8%になっている。会う前と現在の変化をみると、特に「よくする」において、5.5ポイントの差がみられる。

子どもと読んだ本の感想を話し合う

問9 ③お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)



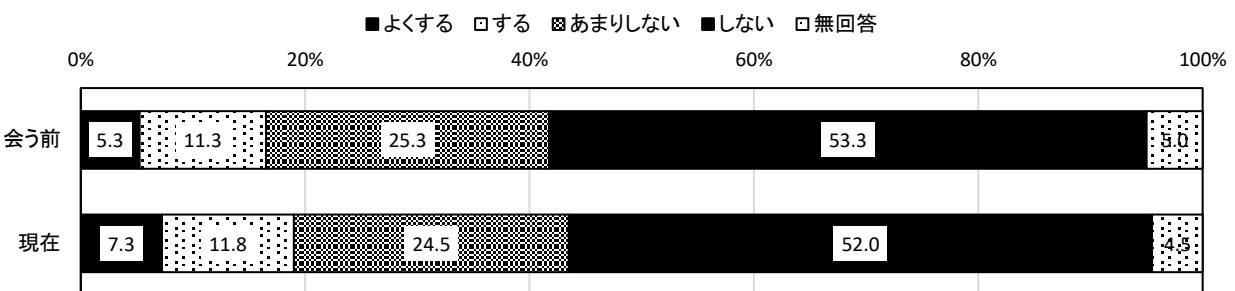
n=400

図 123. 子どもと読んだ本の感想を話し合う

お子さんと読んだ本の感想を話し合うかをみると、支援員に会う前は「よくする」が8.5%、「する」が23.5%、「あまりしない」が43.3%、「しない」が19.5%、「無回答」が5.3%になっている。現在では「よくする」が10.5%、「する」が28.0%、「あまりしない」が40.5%、「しない」が16.0%、「無回答」が5.0%になっている。会う前と現在の変化をみると、「よくする」「する」という回答が若干ではあるが増加している。

子どもと一緒に図書館に行く

問9 ④ お子さんと一緒に図書館に行きますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)



n=400

図 124. 子どもと一緒に図書館に行く

お子さんと一緒に図書館行くかをみると、支援員に会う前は「よくする」が5.3%、「する」が11.3%、「あまりしない」が25.3%、「しない」が53.3%、「無回答」が5.0%になっている。現在では「よくする」が7.3%、「する」が11.8%、「あまりしない」が24.5%、「しない」が52.0%、「無回答」が4.5%になっている。会う前と現在の変化をみると、大きく変化した項目はみられなかった。

子どもの将来の夢について話し合う

問9 ⑤ お子さんの将来の夢について話し合っていますか (あてはまる番号1つに○をつけてください)

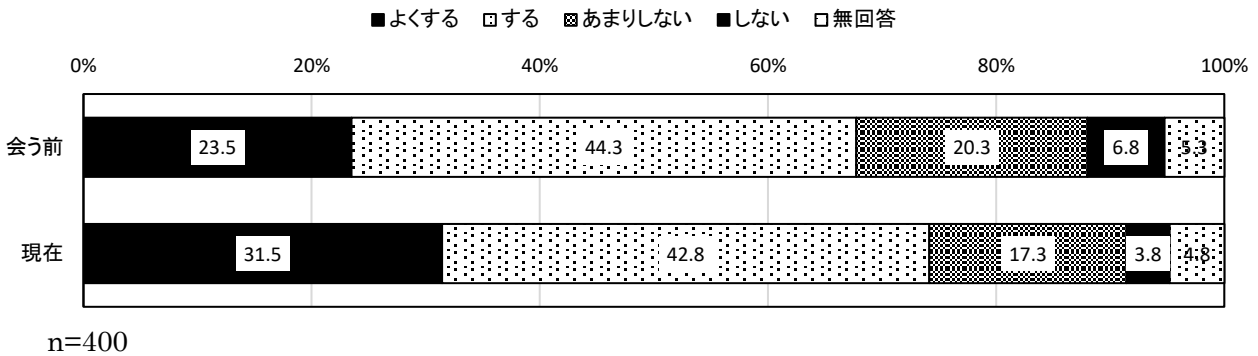


図 125. 子どもの将来の夢について話し合う

お子さんの将来の夢について話し合うかをみると、支援員に会う前は「よくする」が23.5%、「する」が44.3%、「あまりしない」が20.3%、「しない」が6.8%、「無回答」が5.3%になっている。現在では「よくする」が31.5%、「する」が42.8%、「あまりしない」が17.3%、「しない」が3.8%、「無回答」が4.8%になっている。会う前と現在の変化をみると、特に「よくする」において、8.0ポイントの差がみられる。

子どもを信頼している

問9 ⑥ お子さんを信頼していますか (あてはまる番号1つに○をつけてください)

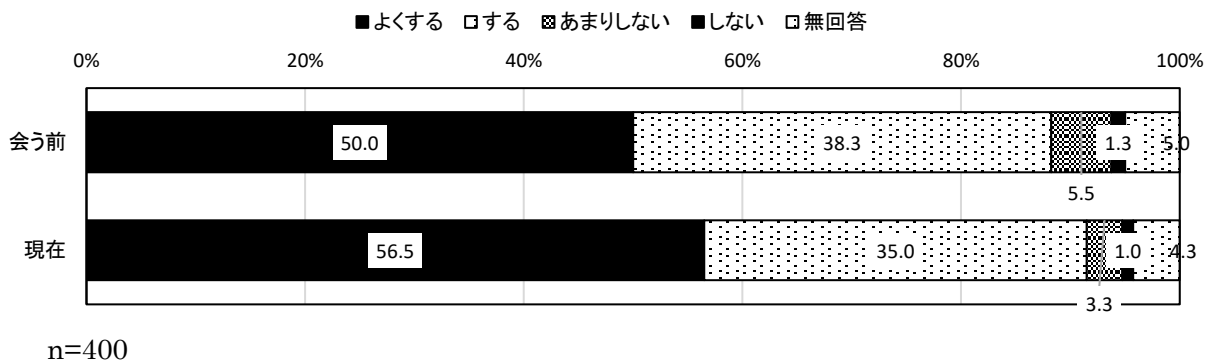
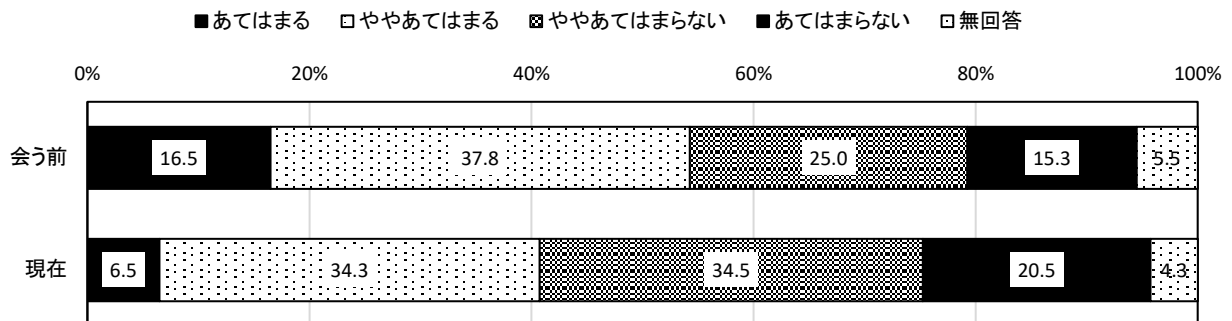


図 126. 子どもを信頼している

お子さんを信頼しているかをみると、支援員に会う前は「よくする」が50.0%、「する」が38.3%、「あまりしない」が5.5%、「しない」が1.3%、「無回答」が5.0%になっている。現在では「よくする」が56.5%、「する」が35.0%、「あまりしない」が3.3%、「しない」が1.0%、「無回答」が4.3%になっている。会う前と現在の変化をみると、特に「よくする」において、6.5ポイントの差がみられる。

つつい子どもにあたってしまう

問 10 ① つつい子どもにあたってしまう (あてはまる番号1つに○をつけてください)



n=400

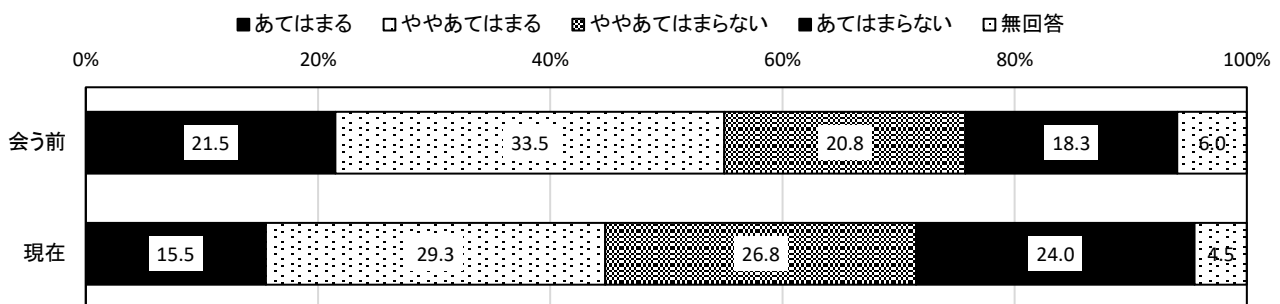
図 127. つつい子どもにあたってしまう

つつい子どもにあたってしまうかをみると、支援員に会う前は「あてはまる」が16.5%、「ややあてはまる」が37.8%、「ややあてはまらない」が25.0%、「あてはまらない」が15.3%、「無回答」が5.5%になっている。現在では「あてはまる」が6.5%、「ややあてはまる」が34.3%、「ややあてはまらない」が34.5%、「あてはまらない」が20.5%、「無回答」が4.3%になっている。

会う前と現在の変化をみると、特に「あてはまる」において、10ポイント減少しており、また「ややあてはまらない」においては9.5ポイント増加している。

子どもを育てるために我慢している

問 10 ② 子どもを育てるために我慢している (あてはまる番号1つに○をつけてください)



n=400

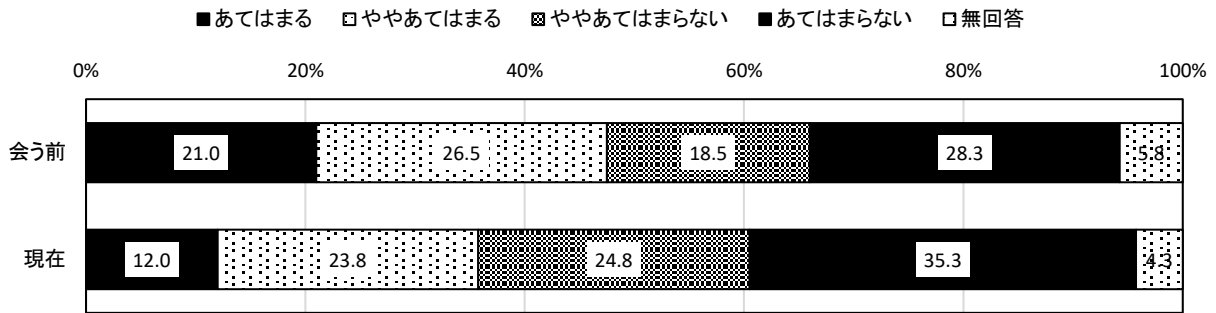
図 128. 子どもを育てるために我慢している

子どもを育てるために我慢しているかをみると、支援員に会う前は「あてはまる」が21.5%、「ややあてはまる」が33.5%、「ややあてはまらない」が20.8%、「あてはまらない」が18.3%、「無回答」が6.0%になっている。現在では「あてはまる」が15.5%、「ややあてはまる」が29.3%、「ややあてはまらない」が26.8%、「あてはまらない」が24.0%、「無回答」が4.5%になっている。

会う前と現在の変化をみると、特に「あてはまる」において、6ポイント減少している。

自分一人で育てているという圧迫感を感じる

問 10③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる（あてはまる番号1つに○をつけてください）



n=400

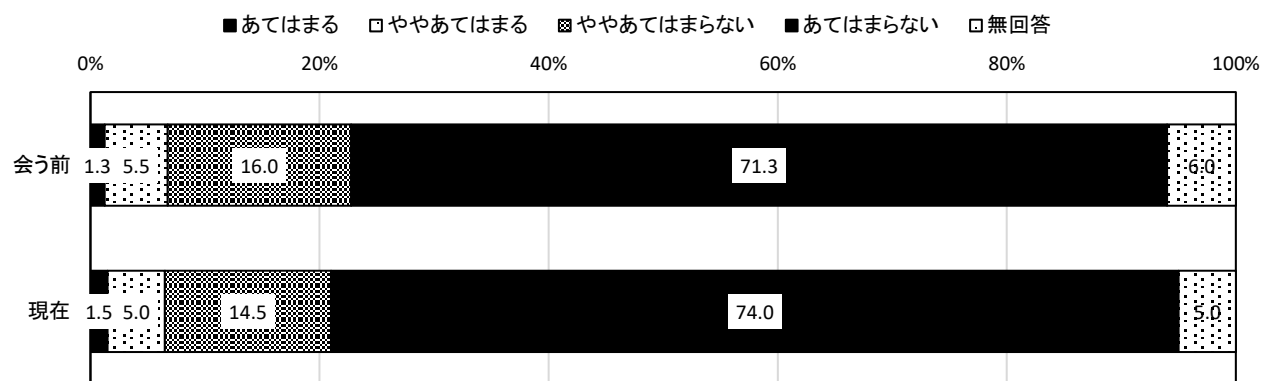
図 129. 自分一人で育てているという圧迫感を感じる

自分一人で育てているという圧迫感をみると、支援員に会う前は「あてはまる」が21.0%、「ややあてはまる」が26.5%、「ややあてはまらない」が18.5%、「あてはまらない」が28.3%、「無回答」が5.8%になっている。現在では「あてはまる」が12.0%、「ややあてはまる」が23.8%、「ややあてはまらない」が24.8%、「あてはまらない」が35.3%、「無回答」が4.3%になっている。

会う前と現在の変化をみると、特に「あてはまる」において、9ポイントの差がみられる。

子どもの世話にはあまり関心がない

問 10 ④子どもの世話にはあまり関心がない（あてはまる番号1つに○をつけてください）



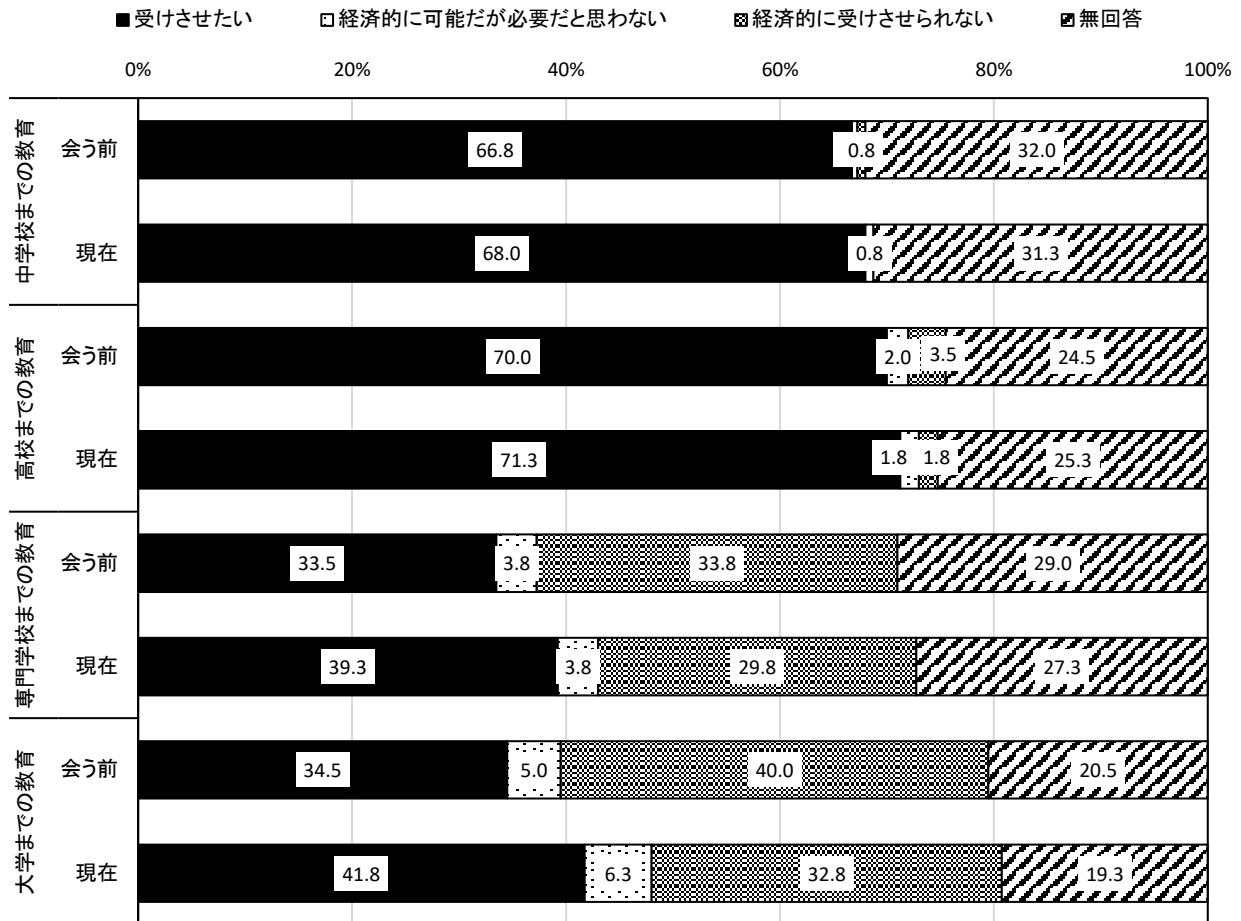
n=400

図 130. 子どもの世話にはあまり関心がない

子どもの世話にはあまり関心がないをみると、支援員に会う前は「あてはまる」が1.3%、「ややあてはまる」が5.5%、「ややあてはまらない」が16.0%、「あてはまらない」が71.3%、「無回答」が6.0%になっている。現在では「あてはまる」が1.5%、「ややあてはまる」が5.0%、「ややあてはまらない」が14.5%、「あてはまらない」が74.0%、「無回答」が5.0%になっている。会う前と現在の変化をみると、大きく変化した項目はみられなかった。

子どもに受けさせたい教育段階

問 11 あなたのご家庭では、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。
それぞれあなたが1番あてはまるところに○をつけてください。



n=400

図 131. 子どもに受けさせたい教育段階

中学校までの教育をみると、支援員に会う前は「受けさせたい」が66.8%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が0.5%、「経済的に受けさせられない」が0.8%、「無回答」が32.0%になっている。現在では「受けさせたい」が68.0%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が0.8%、「経済的に受けさせられない」が0.0%、「無回答」が31.3%になっている。会う前と現在の変化をみると、大きく変化した項目はみられなかった。

高校までの教育をみると、支援員に会う前は「受けさせたい」が70.0%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が2.0%、「経済的に受けさせられない」が3.5%、「無回答」が24.5%になっている。現在では「受けさせたい」が71.3%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が1.8%、「経済的に受けさせられない」が1.8%、「無回答」が25.3%になっている。会う前と現在の変化をみると、大きく変化した項目はみられなかった。

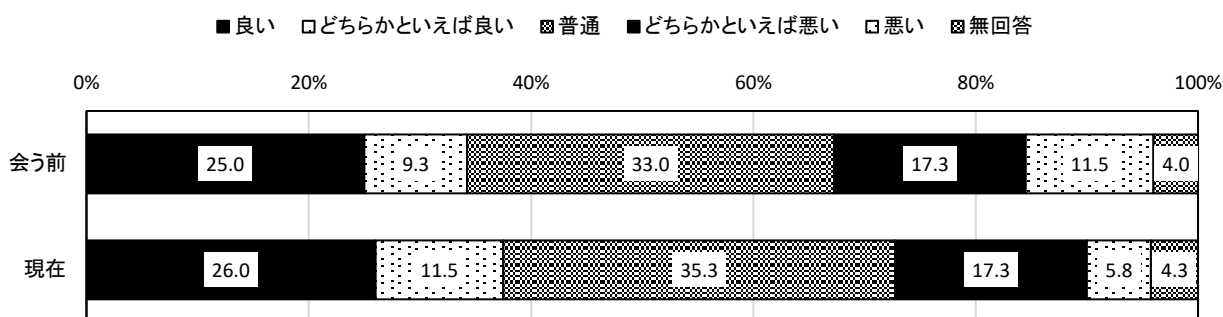
専門学校までの教育をみると、支援員に会う前は「受けさせたい」が33.5%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が3.8%、「経済的に受けさせられない」が33.8%、「無回答」が29.0%になっている。現

在では「受けさせたい」が39.3%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が3.8%、「経済的に受けさせられない」が29.8%、「無回答」が27.3%になっている。会う前と現在の変化をみると、特に「受けさせたい」において5.8ポイントの差がみられる。

大学までの教育をみると、支援員に会う前は「受けさせたい」が34.5%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が5.0%、「経済的に受けさせられない」が40.0%、「無回答」が20.5%になっている。現在では「受けさせたい」が41.8%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が6.3%、「経済的に受けさせられない」が32.8%、「無回答」が19.3%になっている。会う前と現在の変化をみると、特に「受けさせたい」において5.8ポイントの差がみられる。

全体として、支援員に会ったかどうかに関係なく、高校までは教育を受けさせたいが、それ以降の、専門学校や大学については、経済的に受けさせられないという意向が見られる。

健康状態
問12 あなたの健康状態についてお聞きします。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)



n=400

図 132. 健康状態

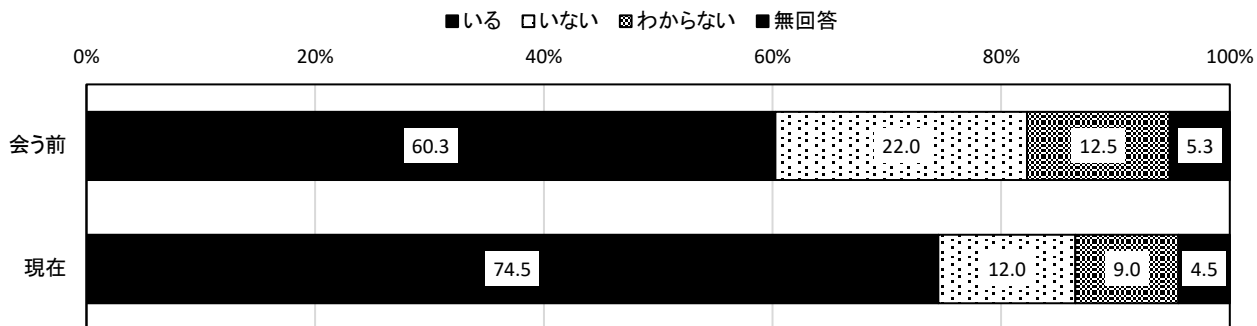
健康状態をみると、支援員に会う前は「良い」が25.0%、「どちらかといえば良い」が9.3%、「普通」が33.0%、「どちらかといえば悪い」が17.3%、「悪い」が11.5%、「無回答」が4.0%になっている。現在では「良い」が26.0%、「どちらかといえば良い」が11.5%、「普通」が35.3%、「どちらかといえば悪い」が17.3%、「悪い」が5.8%、「無回答」が4.3%になっている。会う前と現在の変化をみると、特に「悪い」において、5.7ポイントの減少がみられる。

(3) 社会環境の変化

心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

問 13 ① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)



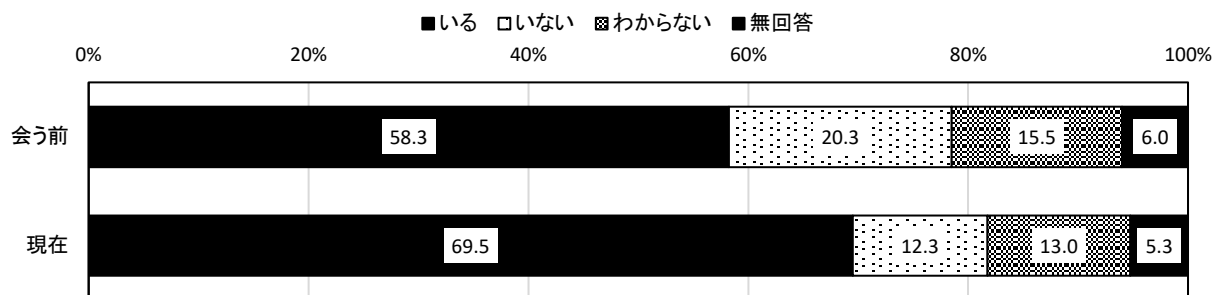
n=400

図 133. 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

心配ごとや悩み事を親身になって聞いてくれる人をみると、支援員に会う前は「いる」が60.3%、「いない」が22.0%、「わからない」が12.5%、「無回答」が5.3%になっている。現在では「いる」が74.5%、「いない」が12.0%、「わからない」が9.0%、「無回答」が4.5%になっている。会う前と現在の変化をみると、特に「いる」において14.2ポイントの増加がみられる。

あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

問 13 ② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)



n=400

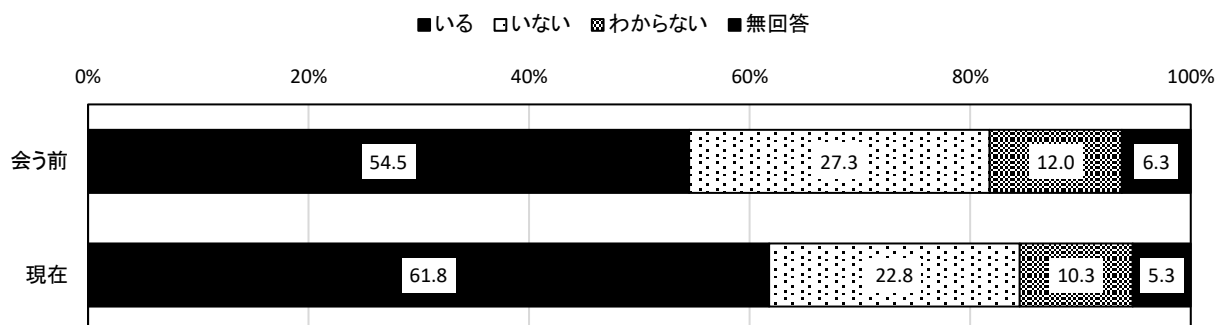
図 134. あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

あなたの気持ちを察して思いやってくれる人をみると、支援員に会う前は「いる」が58.3%、「いない」が20.3%、「わからない」が15.5%、「無回答」が6.0%になっている。現在では「いる」が69.5%、「いない」が12.3%、「わからない」が13.0%、「無回答」が5.3%になっている。会う前と現在の変化をみると、特に「いる」において11.2ポイントの増加がみられる。

趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

問 13 ③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)



n=400

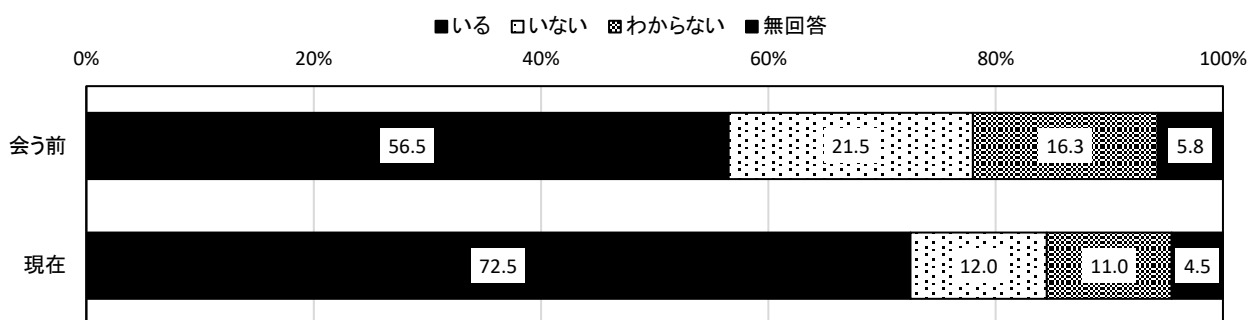
図 135. 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人を見ると、支援員に会う前は「いる」が54.5%、「いない」が27.3%、「わからない」が12.0%、「無回答」が6.3%になっている。現在では「いる」が61.8%、「いない」が22.8%、「わからない」が10.3%、「無回答」が5.3%になっている。会う前と現在の変化をみると、特に「いる」において7.3ポイントの増加がみられる。

子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

問 13 ④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)



n=400

図 136. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人を見ると、支援員に会う前は「いる」が56.5%、「いない」が21.5%、「わからない」が16.3%、「無回答」が5.8%になっている。現在では「いる」が72.5%、「いない」が12.0%、「わからない」が11.0%、「無回答」が4.5%になっている。会う前と現在の変化をみると、特に「いる」において16.0ポイントの増加がみられる。

子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人

問 13 ⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

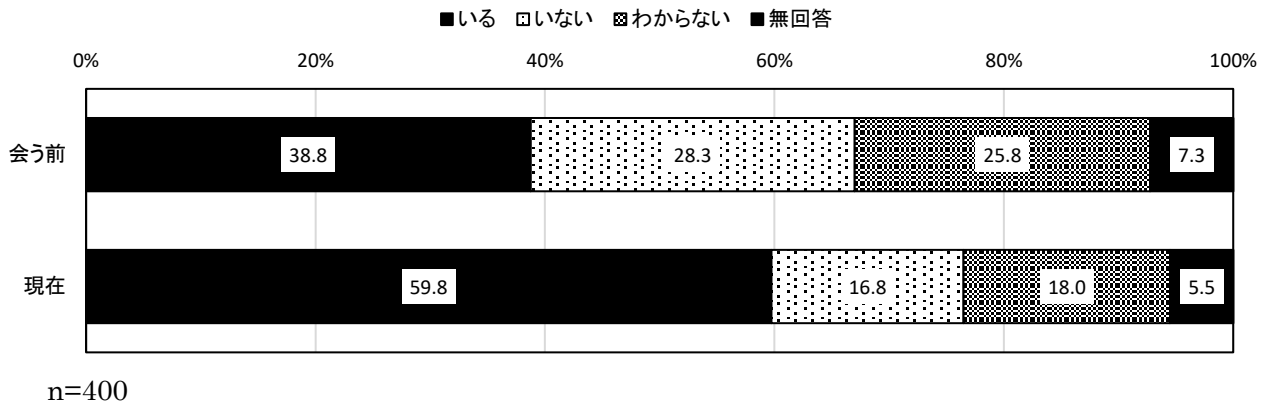


図 137. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人

子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人をみると、支援員に会う前は「いる」が38.8%、「いない」が28.3%、「わからない」が25.8%、「無回答」が7.3%になっている。現在では「いる」が59.8%、「いない」が16.8%、「わからない」が18.0%、「無回答」が5.5%になっている。会う前と現在の変化をみると、特に「いる」において21.0ポイントの増加がみられる。

子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

問 13 ⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

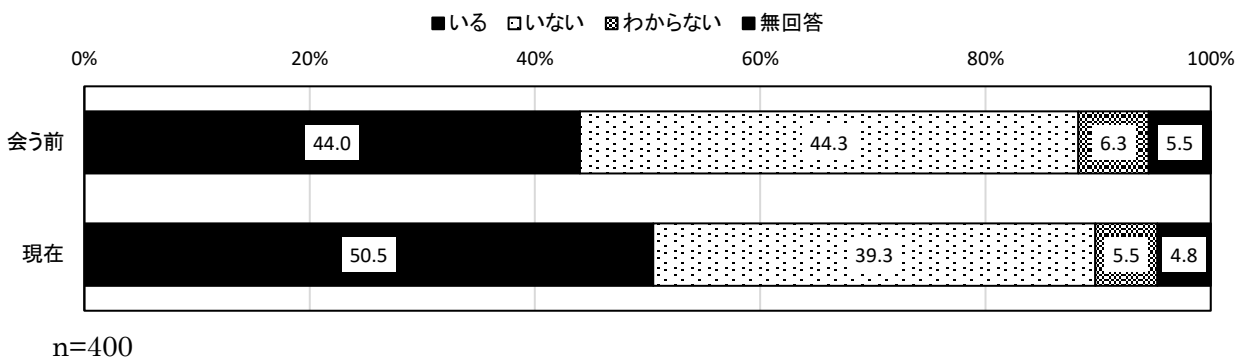
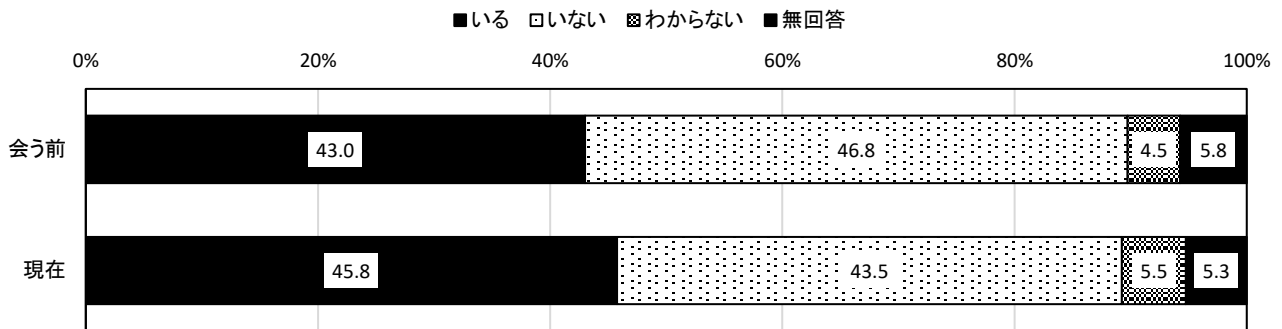


図 138. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人をみると、支援員に会う前は「いる」が44.0%、「いない」が44.3%、「わからない」が6.3%、「無回答」が5.5%になっている。現在では「いる」が50.5%、「いない」が39.3%、「わからない」が5.5%、「無回答」が4.8%になっている。会う前と現在の変化をみると、特に「いる」において6.5ポイントの増加がみられる。

留守を頼める人

問 13 ⑦ 留守を頼める人（あてはまる番号1つに○をつけてください）



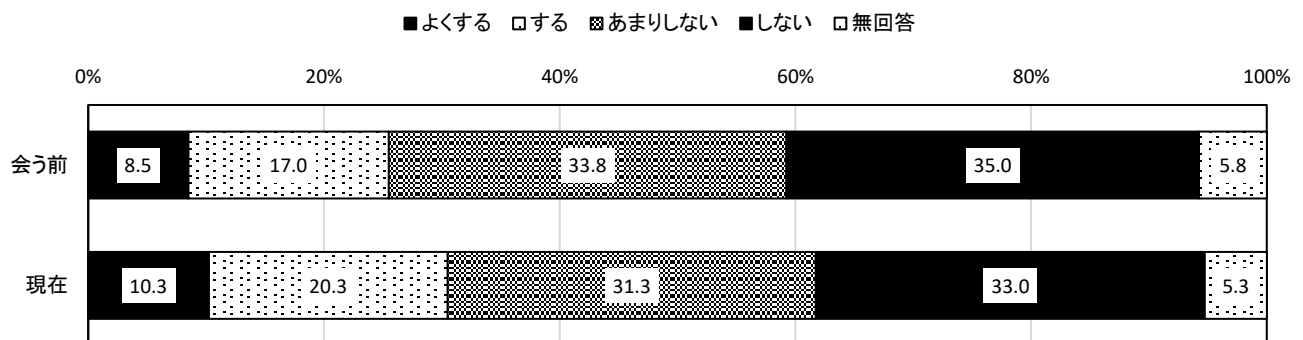
n=400

図 139. 留守を頼める人

留守を頼める人を見ると、支援員に会う前は「いる」が43.0%、「いない」が46.8%、「わからない」が4.5%、「無回答」が5.8%になっている。現在では「いる」が45.8%、「いない」が43.5%、「わからない」が5.5%、「無回答」が5.3%になっている。会う前と現在の変化をみると、大きく変化した項目はみられなかった。

地域の行事に参加する

問 14 ① 地域の行事に参加していますか（あてはまる番号1つに○をつけてください）



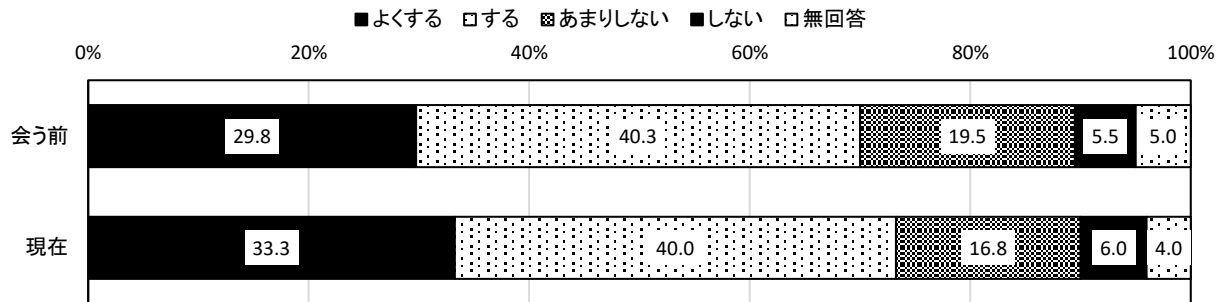
n=400

図 140. 地域の行事に参加する

地域の行事に参加しているかをみると、支援員に会う前は「よくする」が8.5%、「する」が17.0%、「あまりしない」が33.8%、「しない」が35.0%、「無回答」が5.8%になっている。現在では「よくする」が10.3%、「する」が20.3%、「あまりしない」が31.3%、「しない」が33.0%、「無回答」が5.3%になっている。会う前と現在の変化をみると、大きく変化した項目はみられなかった。

子どもが通う学校の行事に参加する

問 14 ② お子さんが通う学校の行事に参加していますか (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)



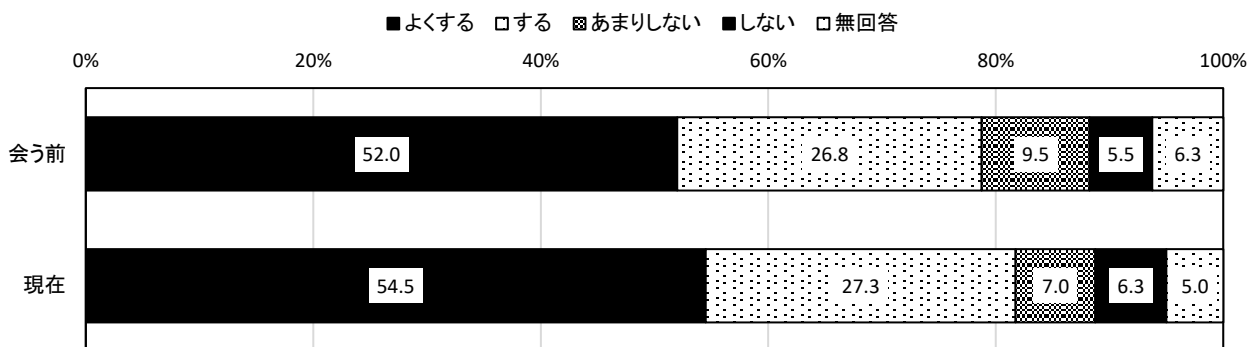
n=400

図 141. 子どもが通う学校の行事に参加する

子どもが通う学校の行事に参加しているかをみると、支援員に会う前は「よくする」が 29.8%、「する」が 40.3%、「あまりしない」が 19.5%、「しない」が 5.5%、「無回答」が 5.0%になっている。現在では「よくする」が 33.3%、「する」が 40.0%、「あまりしない」が 16.8%、「しない」が 6.0%、「無回答」が 4.0%になっている。会う前と現在の変化をみると、大きく変化した項目はみられなかった。

子どもを朝、学校に送り出す

問 14 ③ 子どもを朝、学校に送り出していますか (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)



n=400

図 142. 子どもを朝、学校に送り出す

子どもを朝、学校に送り出しているかをみると、支援員に会う前は「よくする」が 52.0%、「する」が 26.8%、「あまりしない」が 9.5%、「しない」が 5.5%、「無回答」が 6.3%になっている。現在では「よくする」が 54.5%、「する」が 27.3%、「あまりしない」が 7.0%、「しない」が 6.3%、「無回答」が 5.0%になっている。会う前と現在の変化をみると、大きく変化した項目はみられなかった。

3. 支援員に会った回数別に見た分析結果

(1) 支援回数別に見た保護者の特徴

支援員に会った回数別に見た、回答者の続柄（問 8×問 1）

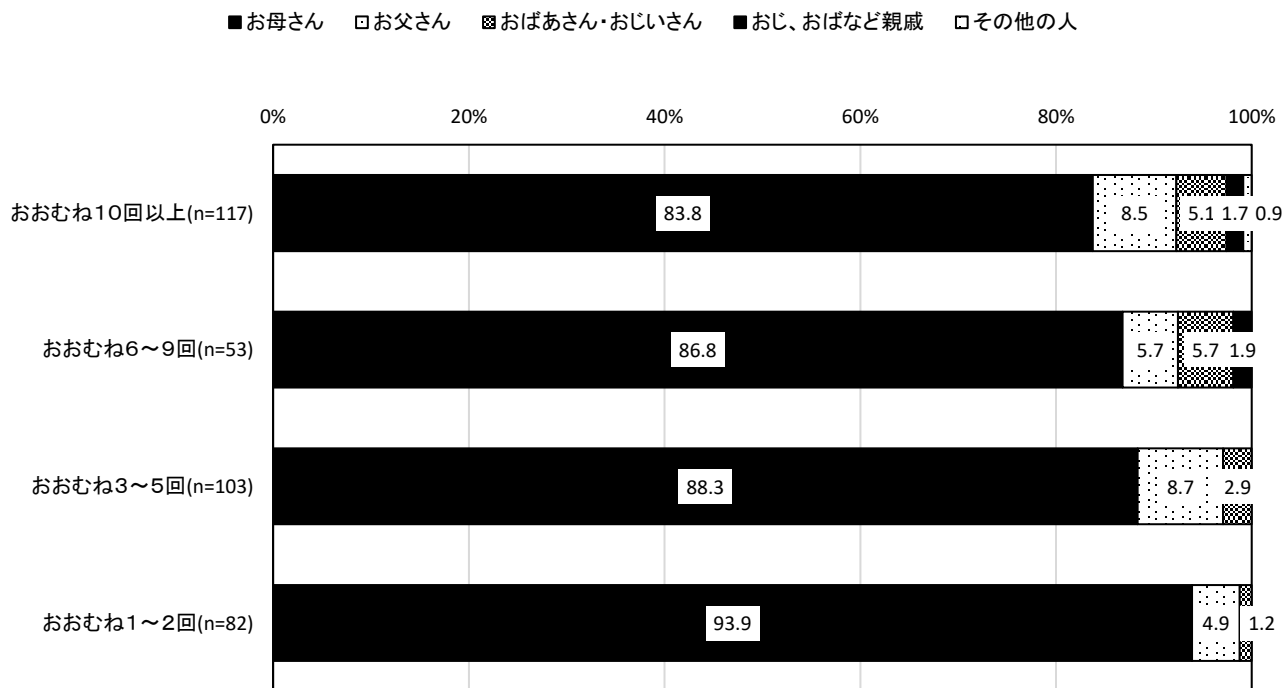


図 143. 支援員に会った回数別に見た、回答者の続柄

支援員に会った回数別に見た、回答者の続柄をみると、「おおむね 10 回以上」では、お母さんが 83.8%、お父さんが 8.5%、おばあさん・おじいさんが 5.1%、おじ・おばなど親戚が 1.7%、その他の人が 0.9%である。「おおむね 6～9 回」では、お母さんが 86.8%、お父さんが 5.7%、おばあさん・おじいさんが 5.7%、おじ・おばなど親戚が 1.9%、その他の人 0.0%である。「おおむね 3～5 回」では、お母さんが 88.3%、お父さんが 8.7%、おばあさん・おじいさんが 2.9%、おじ・おばなど親戚が 0.0%、その他の人が 0.0%である。「おおむね 1～2 回」では、お母さんが 93.9%、お父さんが 4.9%、おばあさん・おじいさんが 1.2%、おじ・おばなど親戚が 0.0%、その他の人が 0.0%である。支援員に会った回数の頻度にかかわらず、回答者の続柄は母親が大半を占めている。

支援員に会った回数別に見た、回答者の年代（問 8×問 2）

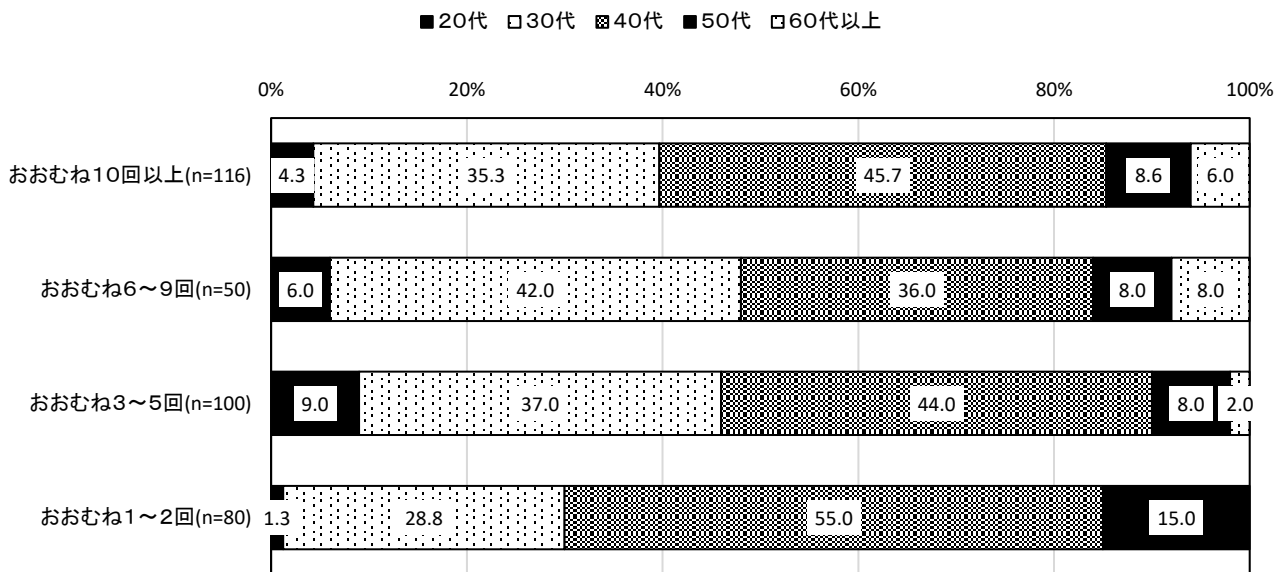


図 144. 支援員に会った回数別に見た、回答者の年代

支援員に会った回数別に見た、回答者の続柄をみると、「おおむね 10 回以上」では、20 代が 4.3%、30 代が 35.3%、40 代が 45.7%、50 代が 8.6%、60 代以上が 6.0%である。「おおむね 6～9 回」では、20 代が 6.0%、30 代が 42.0%、40 代が 36.0%、50 代が 8.0%、60 代以上が 8.0%である。「おおむね 3～5 回」では、20 代が 9.0%、30 代が 37.0%、40 代が 44.0%、50 代が 8.0%、60 代以上が 2.0%である。「おおむね 1～2 回」では、20 代が 1.3%、30 代が 28.8%、40 代が 55.0%、50 代が 15.0%、60 代以上が 0.0%である。どの群においても、30 代と 40 代の割合が高い。

支援員に会った回数別に見た、回答者の世帯構成（問 8×問 3）

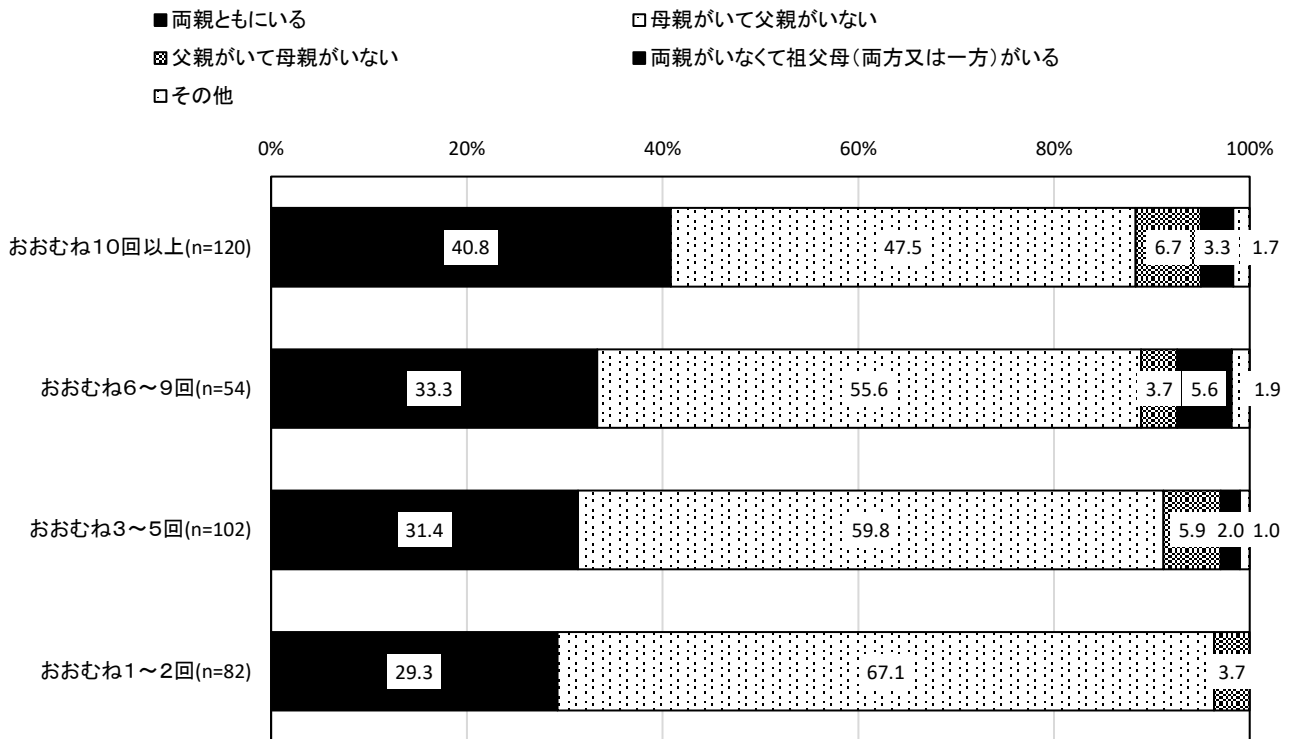


図 145. 支援員に会った回数別に見た、回答者の世帯構成

支援員に会った回数別に見た、回答者の世帯構成をみると、「おおむね 10 回以上」では、両親ともにいるが 40.8%、母親がいて父親がいないが 47.5%、父親がいて母親がいないが 6.7%、両親がいなくて祖父母（両方又は一方）がいるが 3.3%、その他が 1.7%である。「おおむね 6～9 回」では、両親ともにいるが 33.3%、母親がいて父親がいないが 55.6%、父親がいて母親がいないが 3.7%、両親がいなくて祖父母（両方又は一方）がいるが 5.6%、その他が 1.9%である。「おおむね 3～5 回」では、両親ともにいるが 31.4%、母親がいて父親がいないが 59.8%、父親がいて母親がいないが 5.9%、両親がいなくて祖父母（両方又は一方）がいるが 2.0%、その他が 1.0%である。「おおむね 1～2 回」では、両親ともにいるが 29.3%、母親がいて父親がいないが 67.1%、父親がいて母親がいないが 3.7%、両親がいなくて祖父母（両方又は一方）がいるが 0.0%、その他が 0.0%である。支援員に会った回数が増えるにつれて、両親ともにいる家庭の割合が増加し、母子家庭の割合が増加している。

支援員に会った回数別に見た、回答者の世帯収入（問 8×問 5）

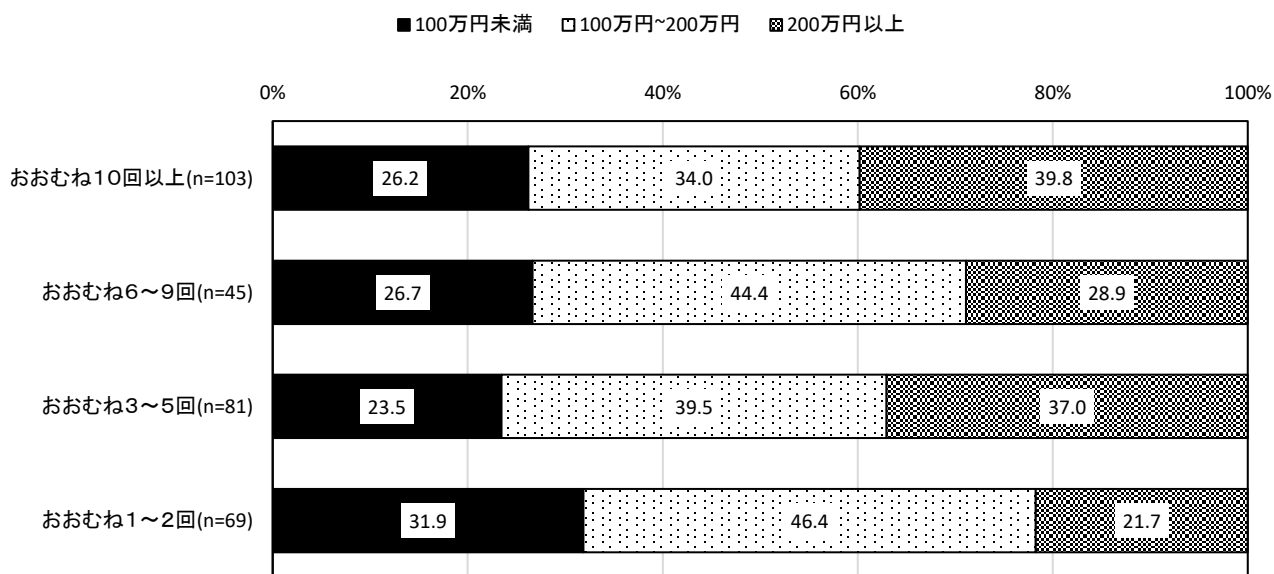


図 146. 支援員に会った回数別に見た、回答者の世帯収入

支援員に会った回数別に見た、回答者の世帯収入をみると、「おおむね 10 回以上」では、100 万円未満が 26.2%、100 万円～200 万円が 34.0%、200 万円以上が 39.8%である。「おおむね 6～9 回」では、100 万円未満が 26.7%、100 万円～200 万円が 44.4%、200 万円以上が 28.9%である。「おおむね 3～5 回」では、100 万円未満が 23.5%、100 万円～200 万円が 39.5%、200 万円以上が 37.0%である。「おおむね 1～2 回」では、100 万円未満が 31.9%、100 万円～200 万円が 46.4%、200 万円以上が 21.7%である。

支援員に会った回数別に見た、回答者の子どもへの経済的な理由による経験の該当数（問 8×問 6）

*子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均値は 3.3 個であり、検討した結果、1～3 個、4 個以上、該当なし（どれにもあてはまらない）、の 3 群に分けることができた。

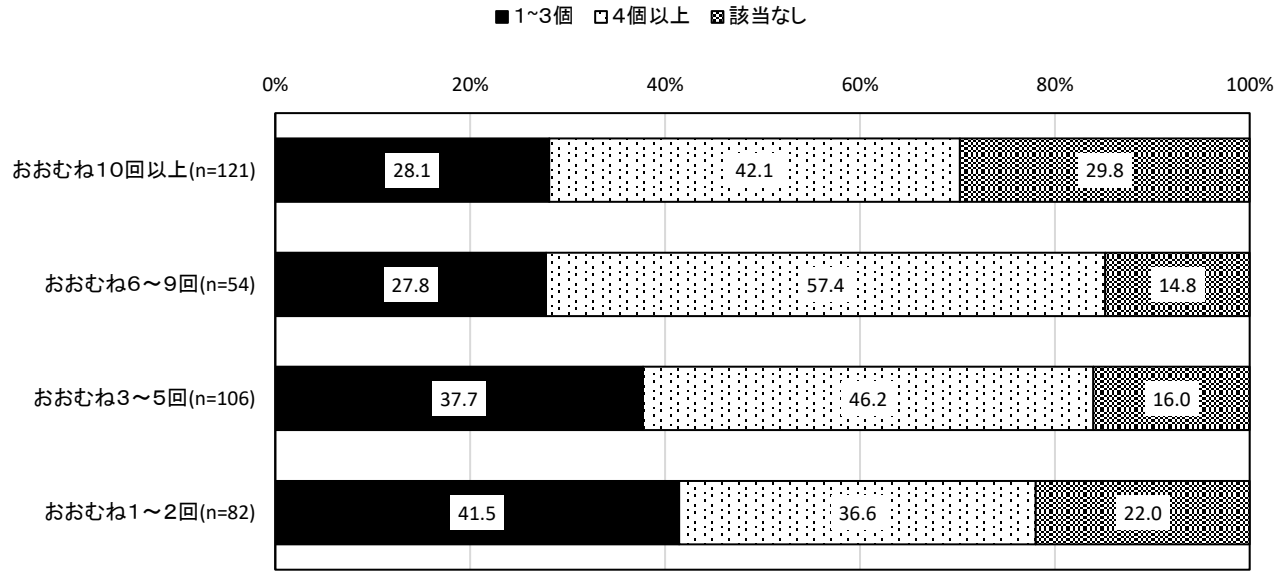


図 147. 支援員に会った回数別に見た、回答者の子どもへの経済的な理由による経験の該当数

支援員に会った回数別に見た、回答者の子どもへの経済的な理由による経験の該当数をみると、「おおむね 10 回以上」では、1～3 個が 28.1%、4 個以上が 42.1%、該当なしが 29.8%である。「おおむね 6～9 回」では、1～3 個が 27.8%、4 個以上が 57.4%、該当なしが 14.8%である。「おおむね 3～5 回」では、1～3 個が 37.7%、4 個以上が 46.2%、該当なしが 16.0%である。「おおむね 1～2 回」では、1～3 個が 41.5%、4 個以上が 36.6%、該当なしが 22.0%である。支援員に会った回数が減少するにつれて、1～3 個という回答の割合が増加している。

支援員に会った回数別に見た、役立ったサポートの個数（問 8×問 15-1）

*以下は、問 15-1「どの分野のサポートが役立ちましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。」において、回答者が役立ったと感じたサポートの個数をカウントし、その割合を出したものである。

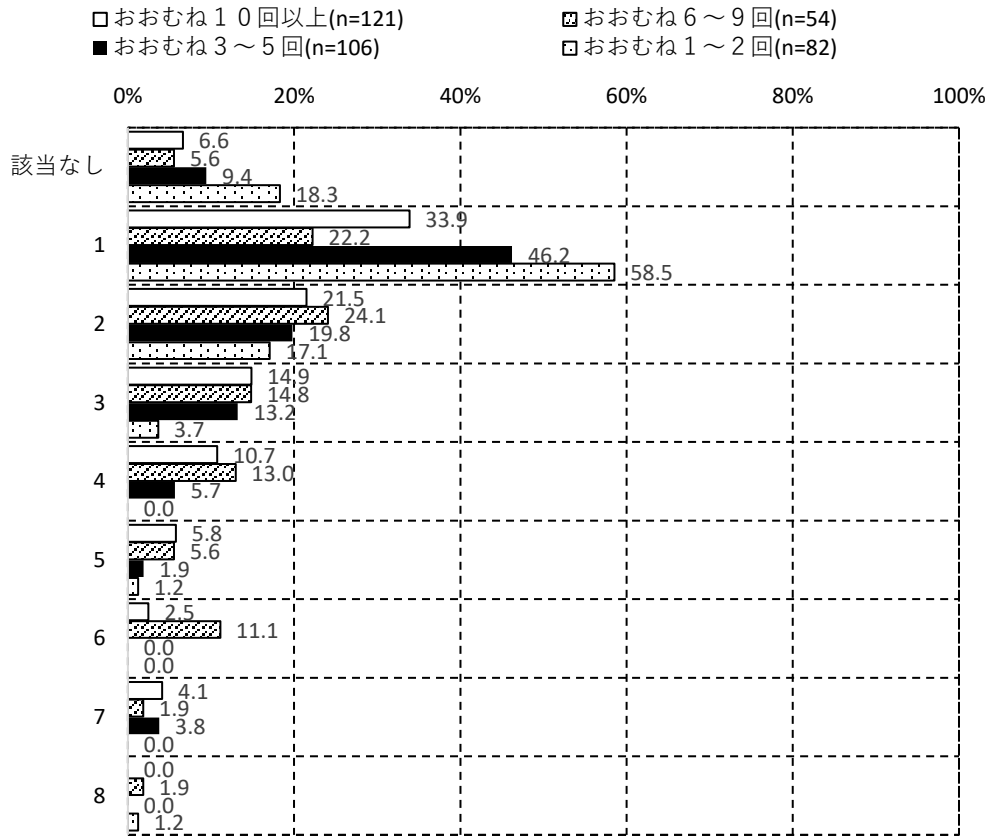


図 148. 支援員に会った回数別に見た、役立ったサポートの個数

支援員に会った回数別に見た役立ったサポートの個数をみると、「おおむね 10 回以上」では、該当なしが 6.6%、1 個が 33.9%、2 個が 21.5%である。「おおむね 6~9 回」では、該当なしが 5.6%、1 個が 22.2%、2 個が 24.1%である。「おおむね 3~5 回」では、該当なしが 9.4%、1 個が 46.2%、2 個が 19.8%である。「おおむね 1~2 回」では、該当なしが 18.3%、1 個が 58.5%、2 個が 17.3%である。

該当なしにおいては、「おおむね 1~2 回」（18.3%）と「おおむね 6~9 回」（5.6%）「おおむね 10 回以上」（6.6%）では、約 3 倍の差がみられた。また、「おおむね 10 回以上」「おおむね 6~9 回」では役立った個数が 1~2 個と回答した割合は約 5 割となっている。その一方で、3~6 個と複数答える割合も一定程度存在する。とくに「おおむね 6~9 回」において、6 個と回答した割合は 11.1%もいた。

支援員に会った回数が少ない回答者は、役立ったサポートの個数は少なく、「おおむね 1~2 回」では、該当なしが 18.3%、1 個が 58.5%の数値は他に比べて大きな差がみられた。

支援員に会った回数別に見た、回答者の子どもによる、地域での食事提供や学習支援の利用状況
(問 8×問 16)

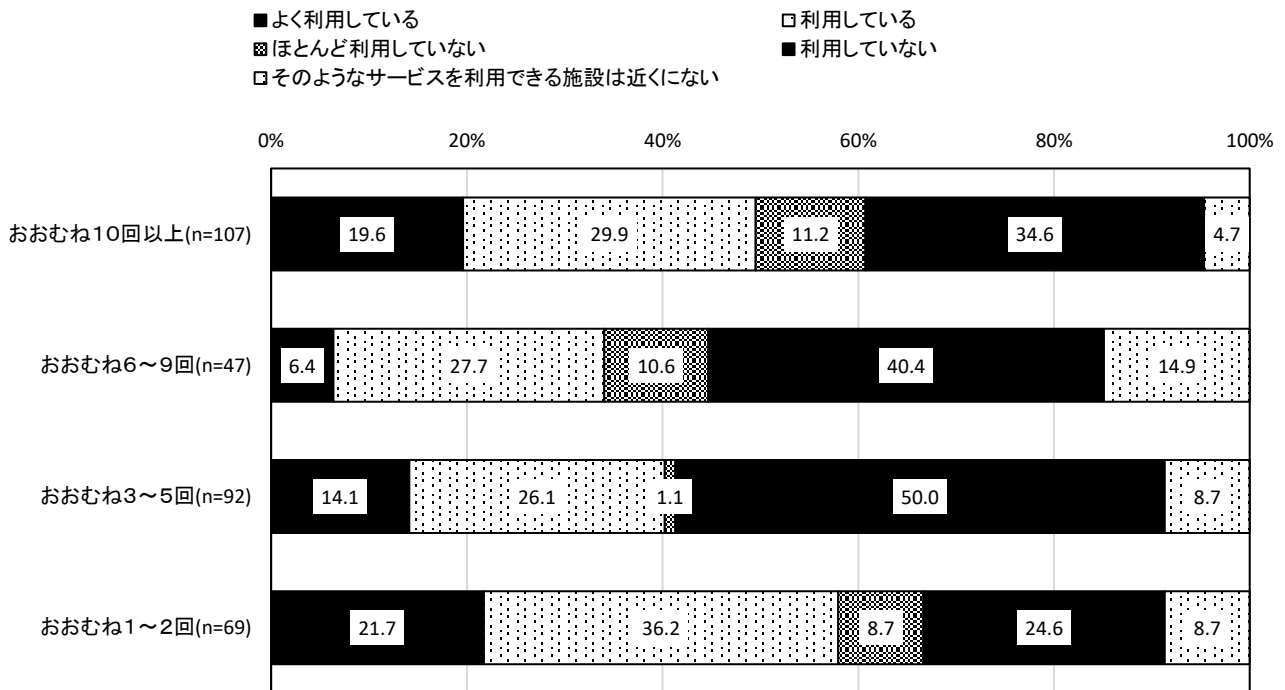


図 149. 支援員に会った回数別に見た、回答者の子どもが地域での食事提供や学習支援の利用状況

支援員に会った回数別に見た、回答者の子どもが地域での食事提供や学習支援の利用状況をみると、「おおむね10回以上」では、よく利用しているが19.6%、利用しているが29.9%、ほとんど利用していないが11.2%、利用していないが34.6%、そのようなサービスを利用できる施設は近くにないが4.7%である。「おおむね6～9回」では、よく利用しているが6.4%、利用しているが27.7%、ほとんど利用していないが10.6%、利用していないが40.4%、そのようなサービスを利用できる施設は近くにないが14.9%である。「おおむね3～5回」では、よく利用しているが14.1%、利用しているが26.1%、ほとんど利用していないが1.1%、利用していないが50.0%、そのようなサービスを利用できる施設は近くにないが8.7%である。「おおむね1～2回」では、よく利用しているが21.7%、利用しているが36.2%、ほとんど利用していないが8.7%、利用していないが24.6%、そのようなサービスを利用できる施設は近くにないが8.7%である。支援員に会った回数による傾向は見られない。

支援員に会った回数別に見た、支援員への感想（支援員と会って良かったか）

（問 8 × 問 19）

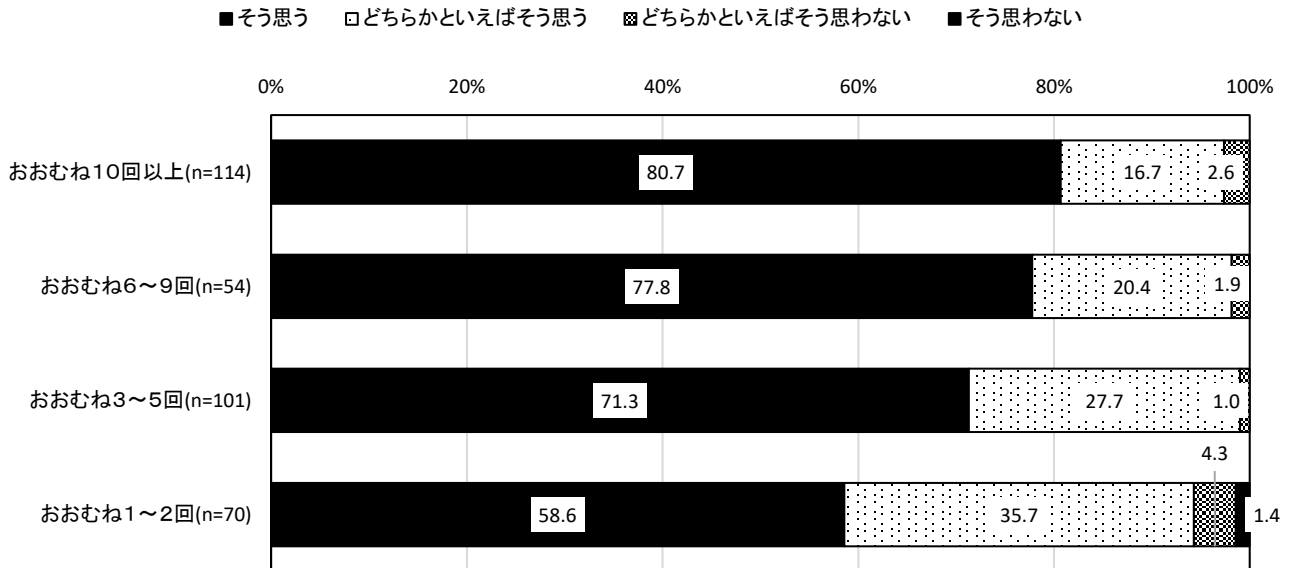


図 150. 支援員に会った回数別に見た、支援員への感想

支援員に会った回数別に見た、支援員への感想（支援員と会って良かったか）をみると、「おおむね10回以上」では、そう思うが80.7%、どちらかといえばそう思うが16.7%、どちらかといえばそう思わないが2.6%、そう思わないが0.0%である。「おおむね6～9回」では、そう思うが77.8%、どちらかといえばそう思うが20.4%、どちらかといえばそう思わないが1.9%、そう思わないが0.0%である。「おおむね3～5回」では、そう思うが71.3%、どちらかといえばそう思うが27.7%、どちらかといえばそう思わないが1.0%、そう思わないが0.0%である。「おおむね1～2回」では、そう思うが58.6%、どちらかといえばそう思うが35.7%、どちらかといえばそう思わないが4.3%、そう思わないが1.4%である。支援員に会った回数が増加するほど、「そう思う」という回答の割合が増加している。

(2) 支援回数別に見た保護者の変化

①生活環境・教育環境

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（子どもと会話する）
 (問 8×問 9-1)

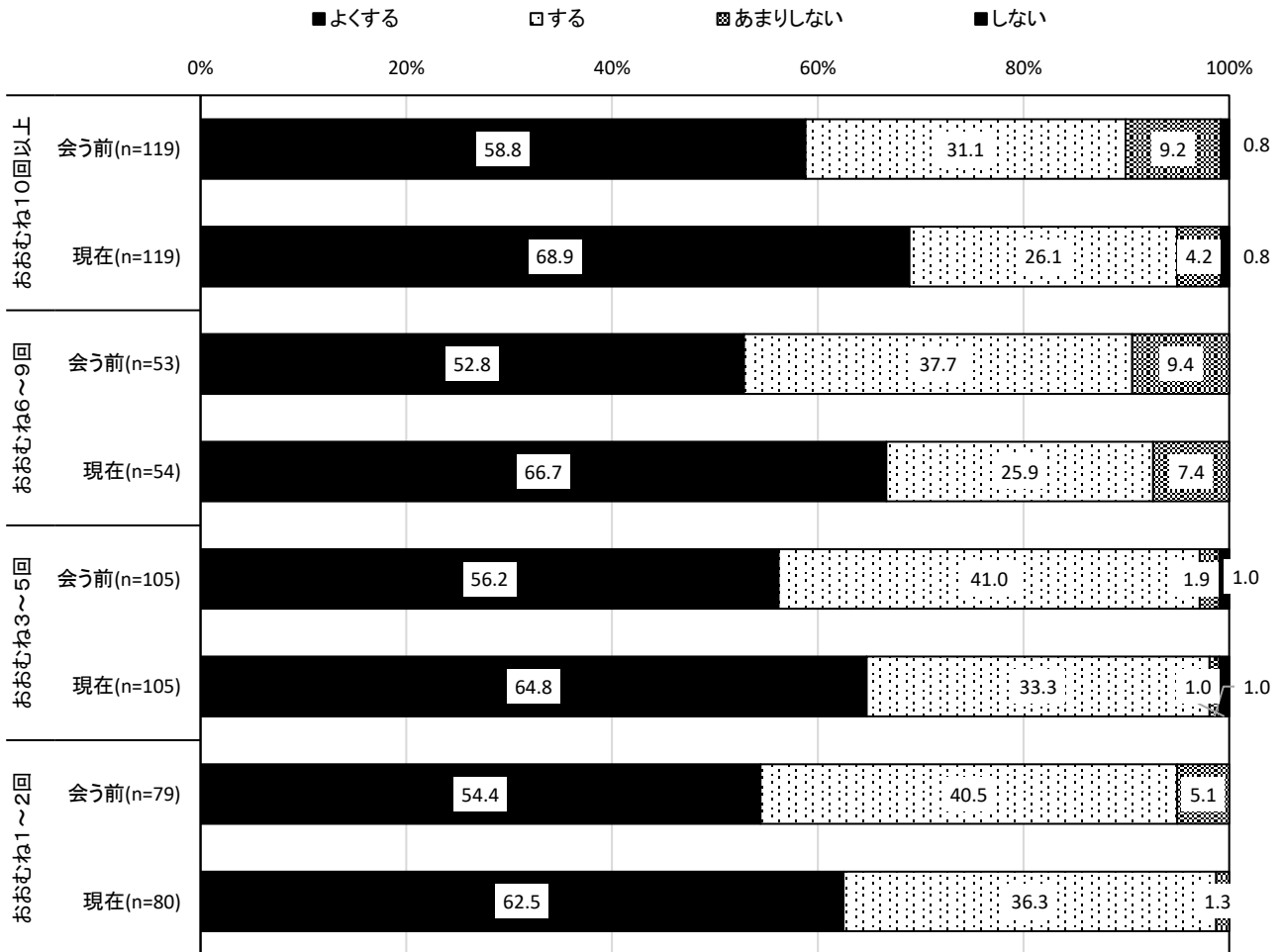


図 151. 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（子どもと会話する）

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（子どもと会話する）をみると、全体的に支援員に会う前よりも現在のほうが「よくする」と回答した割合が高くなっている。「おおむね6~9回」では13.9ポイント、「おおむね10回以上」では10.1ポイントの差が生じている。支援員に会った回数によらず、会う前よりも現在のほうが「よくする」と回答した割合が高くなっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（十分に子どもと過ごす）
 (問 8 × 問 9-2)

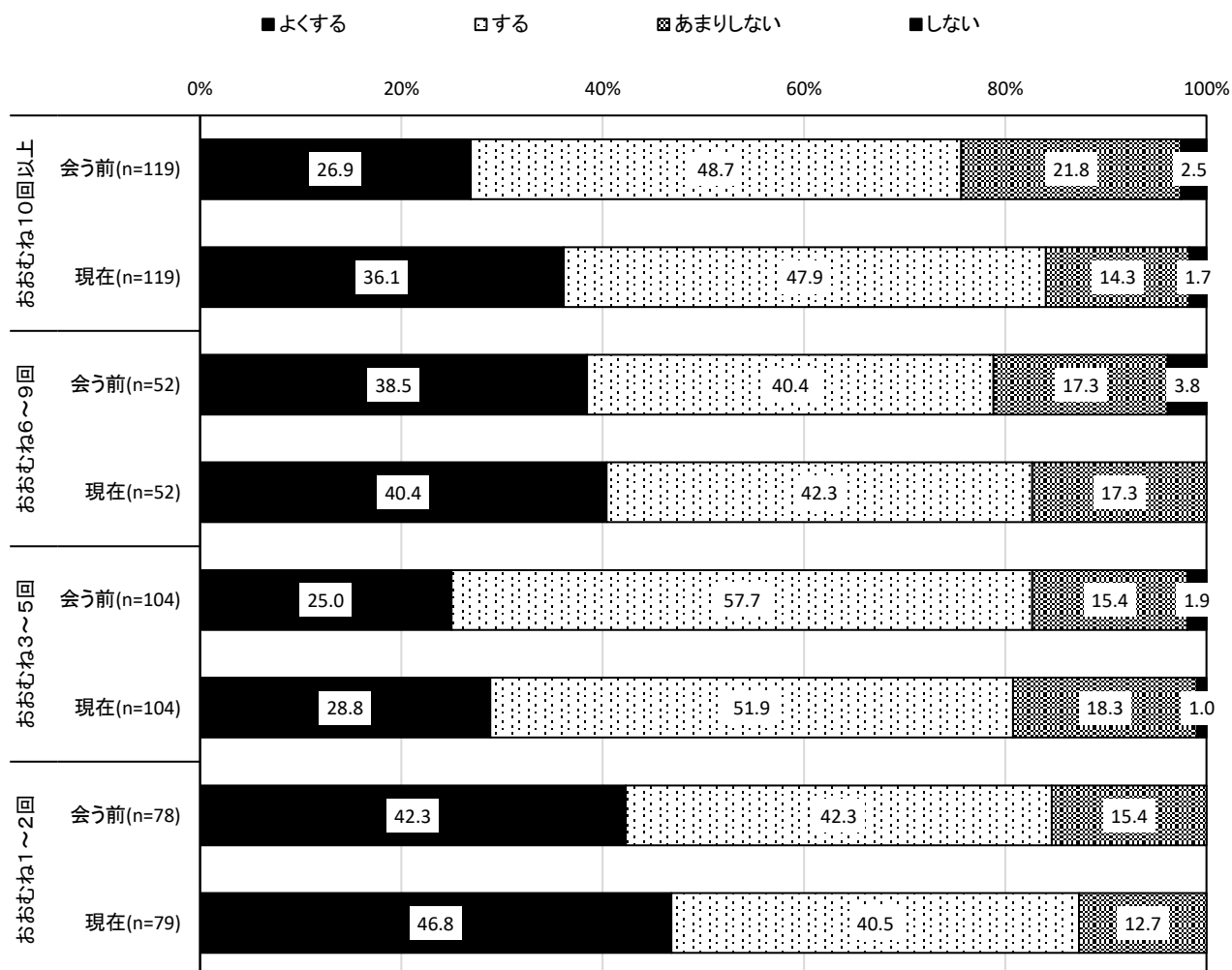


図 152. 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（十分に子どもと過ごす）

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（十分に子どもと過ごす）をみると、全体的に支援員に会う前よりも現在のほうが「よくする」と回答した割合が若干高くなっている。「おおむね3~5回」では3.8ポイント、「おおむね10回以上」では9.2ポイントの差が生じている。

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（絵本の感想を話し合う）
 （問 8×問 9-3）

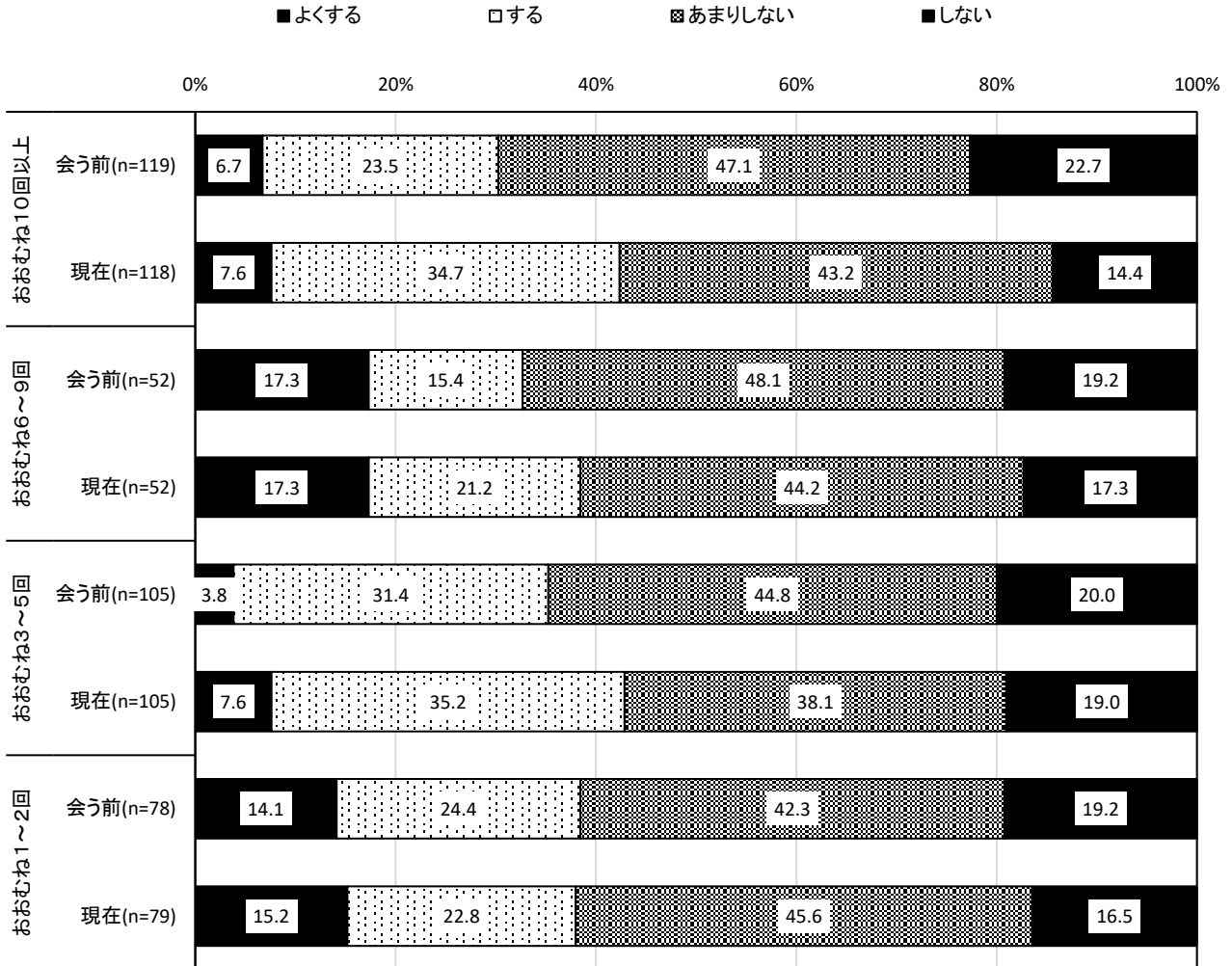


図 153. 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（絵本の感想を話し合う）

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（絵本の感想を話し合う）をみると、大きな差はみられないが、支援員に会う前よりも現在のほうが「する」と回答した割合が、「おおむね 6～9 回」では 5.8 ポイント、「おおむね 10 回以上」では 11.2 ポイント高くなっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（一緒に図書館に行く）

（問 8×問 9-4）

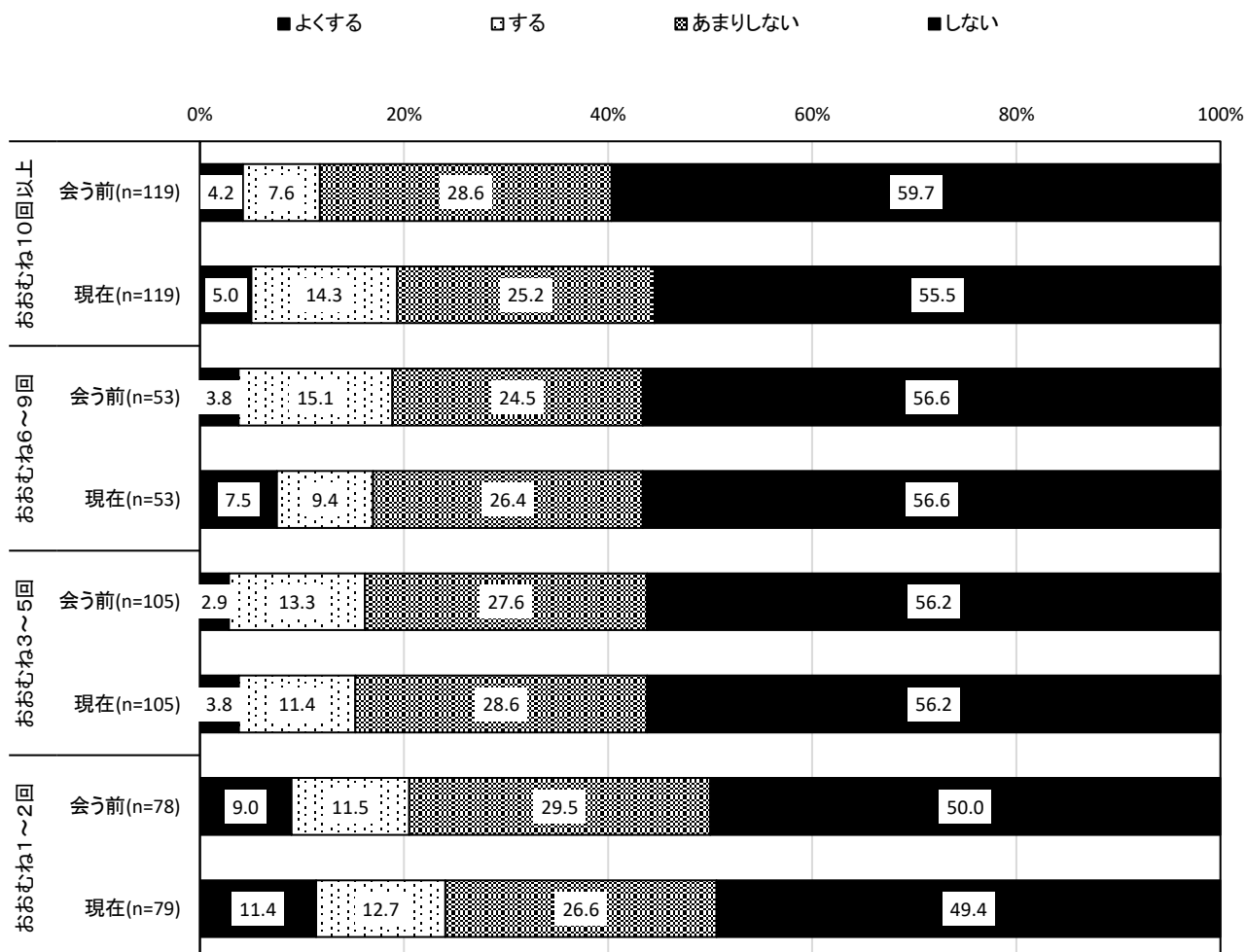


図 154. 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（一緒に図書館に行く）

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（一緒に図書館に行く）をみると、全体的に支援員に会う前よりも現在のほうが「よくする」と回答した割合が、若干ではあるが高くなっている。ただし、大きな差はみられない。

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（将来の夢について話し合う）
 （問 8 × 問 9-5）

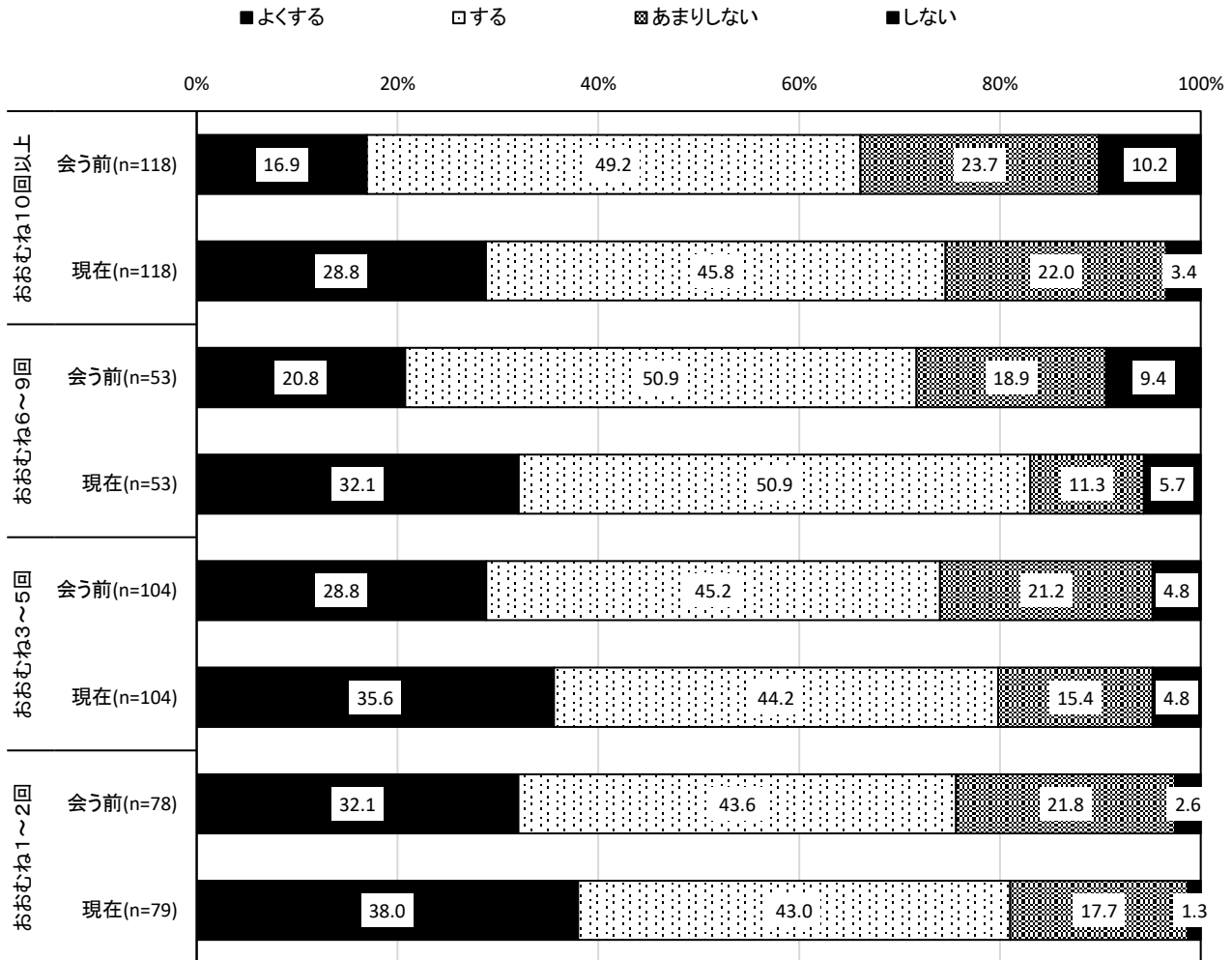


図 155. 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（将来の夢について話し合う）

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（将来の夢について話し合う）をみると、全体的に支援員に会う前よりも現在のほうが「よくする」と回答した割合が高くなっている。「おおむね3~5回」では6.8ポイント、「おおむね6~9回」では11.3ポイント、「おおむね10回以上」では11.9ポイントの差が生じている。

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（お子さんを信頼している）
 (問 8×問 9-6)

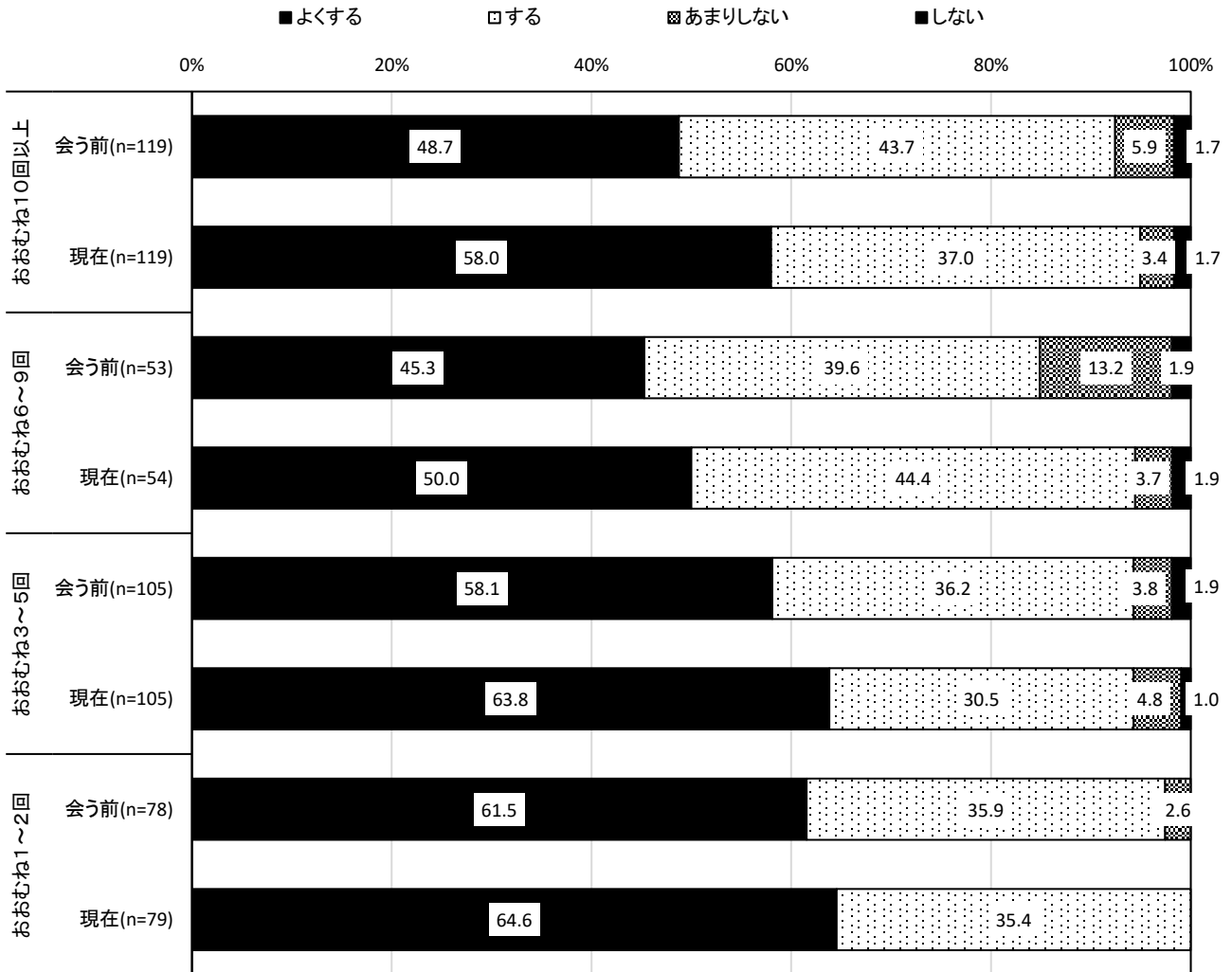


図 156. 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（お子さんを信頼している）

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（お子さんを信頼している）をみると、全体的に支援員に会う前よりも現在のほうが「よくする」と回答した割合が高くなっている。「おおむね3～5回」では5.7ポイント、「おおむね6～9回」では4.7ポイント、「おおむね10回以上」では9.3ポイントの差が生じている。

支援員に会った回数別に見た、子育ての変化（ついつい子どもにあたる）
 （問 8 × 問 10-1）

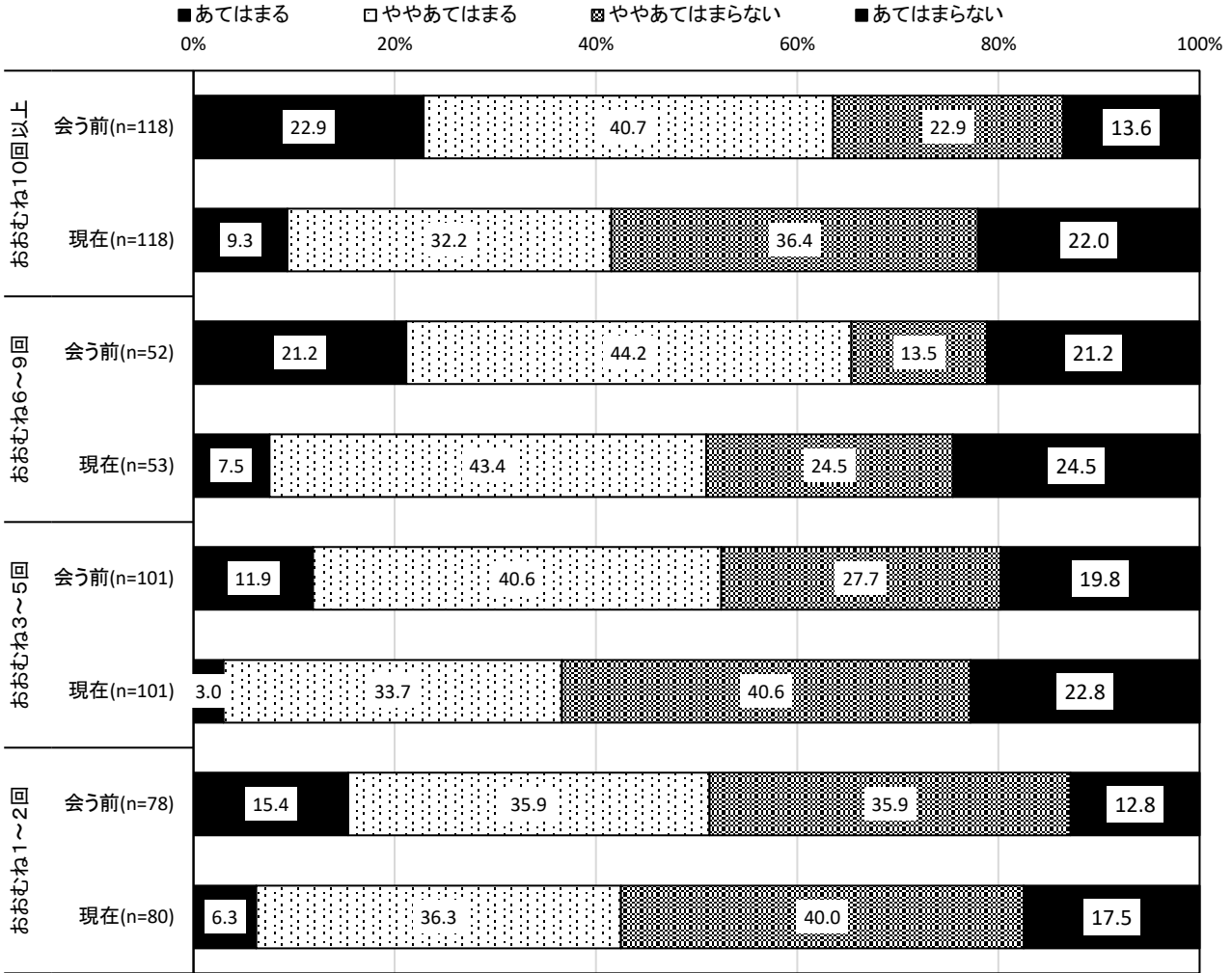


図 157. 支援員に会った回数別に見た、子育てについて（ついつい子どもにあたる）

支援員に会った回数別に見た、子育ての変化（ついつい子どもにあたる）をみると、全体的に支援員に会う前よりも現在のほうが「あてはまる」と回答した割合が低くなっている。「おおむね6~9回」では13.7ポイント、「おおむね10回以上」では13.6ポイントの差が生じている。

支援員に会った回数別に見た、子育ての変化（育てるために我慢している）
 （問 8×問 10-2）

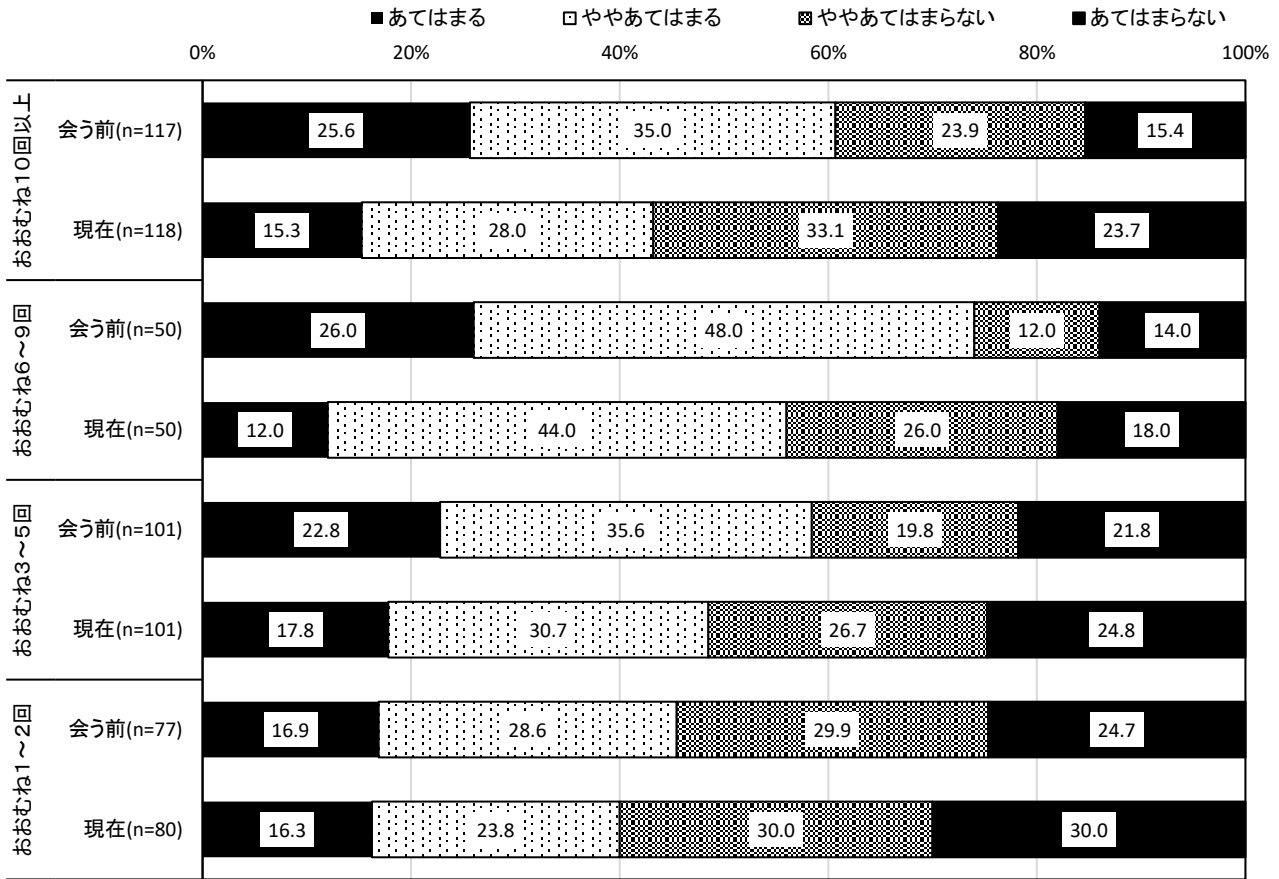


図 158. 支援員に会った回数別に見た、子育てについて（育てるために我慢している）

支援員に会った回数別に見た、子育ての変化（育てるために我慢している）をみると、特に、支援員に会った回数が多い場合に、支援員に会う前よりも現在のほうが「あてはまる」と回答した割合が低くなっている。「おおむね6～9回」では14.0ポイント、「おおむね10回以上」では10.3ポイントの差が生じている。こうした傾向は、支援員に会った回数が少ない群では見えない。

支援員に会った回数別に見た、子育ての変化（自分一人で育てているという圧迫感を感じる）
 （問 8 × 問 10-3）

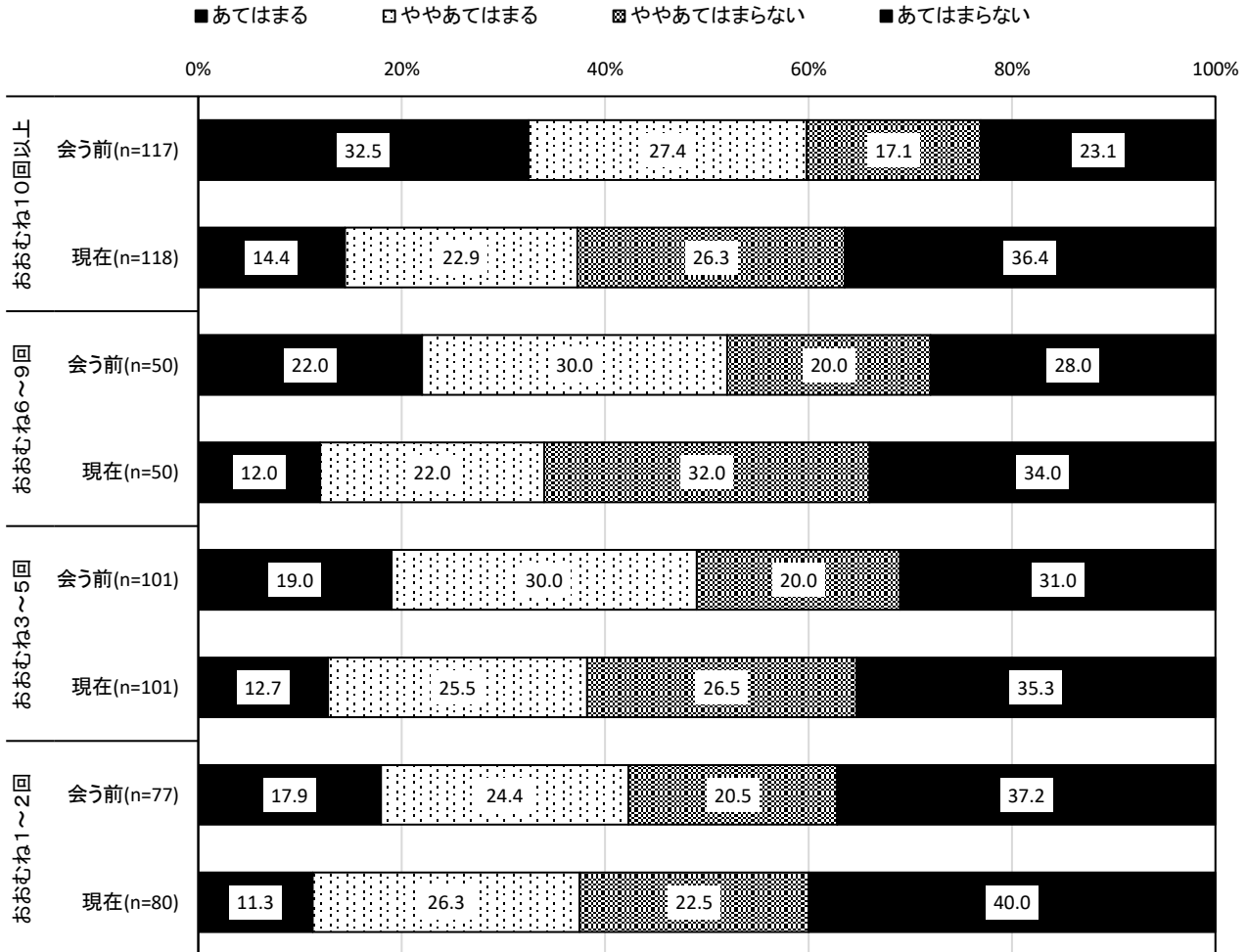


図 159. 支援員に会った回数別に見た、子育てについて（一人で育てているという圧迫感を感じる）

支援員に会った回数別に見た、子育ての変化（一人で育てているという圧迫感を感じる）をみると、特に、支援員に会った回数が多い場合に、支援員に会う前よりも現在のほうが「あてはまる」と回答した割合が低くなっている。「おおむね6~9回」では10.0ポイント、「おおむね10回以上」では18.1ポイントの差が生じている。こうした傾向は、支援員に会った回数が少ない群では見えづらい。

支援員に会った回数別に見た、子育ての変化（子どもの世話にはあまり関心がない）
 （問 8 × 問 10-4）

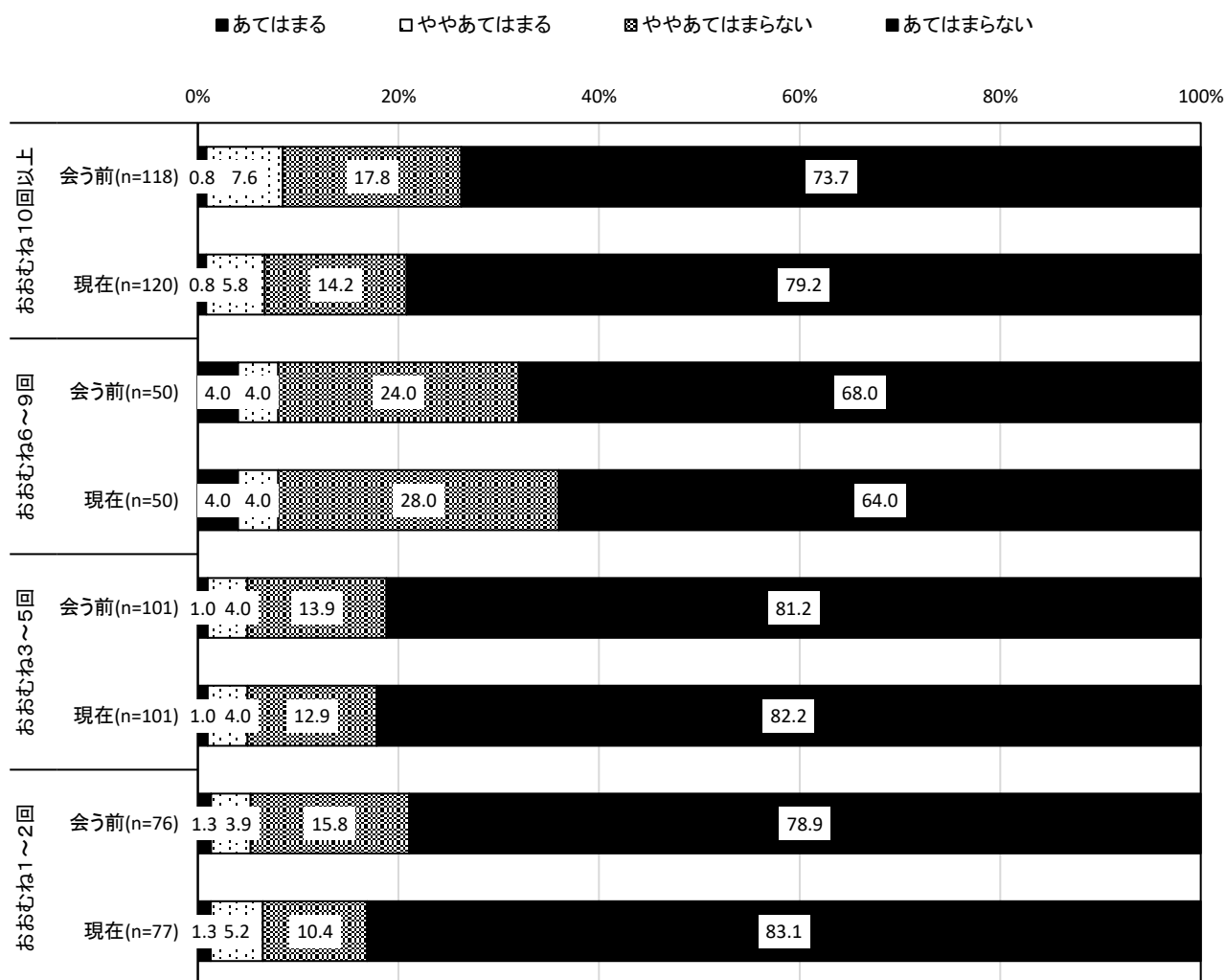


図 160. 支援員に会った回数別に見た、子育てについて（子どもの世話にはあまり関心がない）

支援員に会った回数別に見た、子育ての変化（子どもの世話にはあまり関心がない）をみると、全体的に支援員に会う前と現在共に、「あてはまらない」割合が高く、大きな変化は見られなかった。

②社会環境

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人）
（問 8×問 13-1）

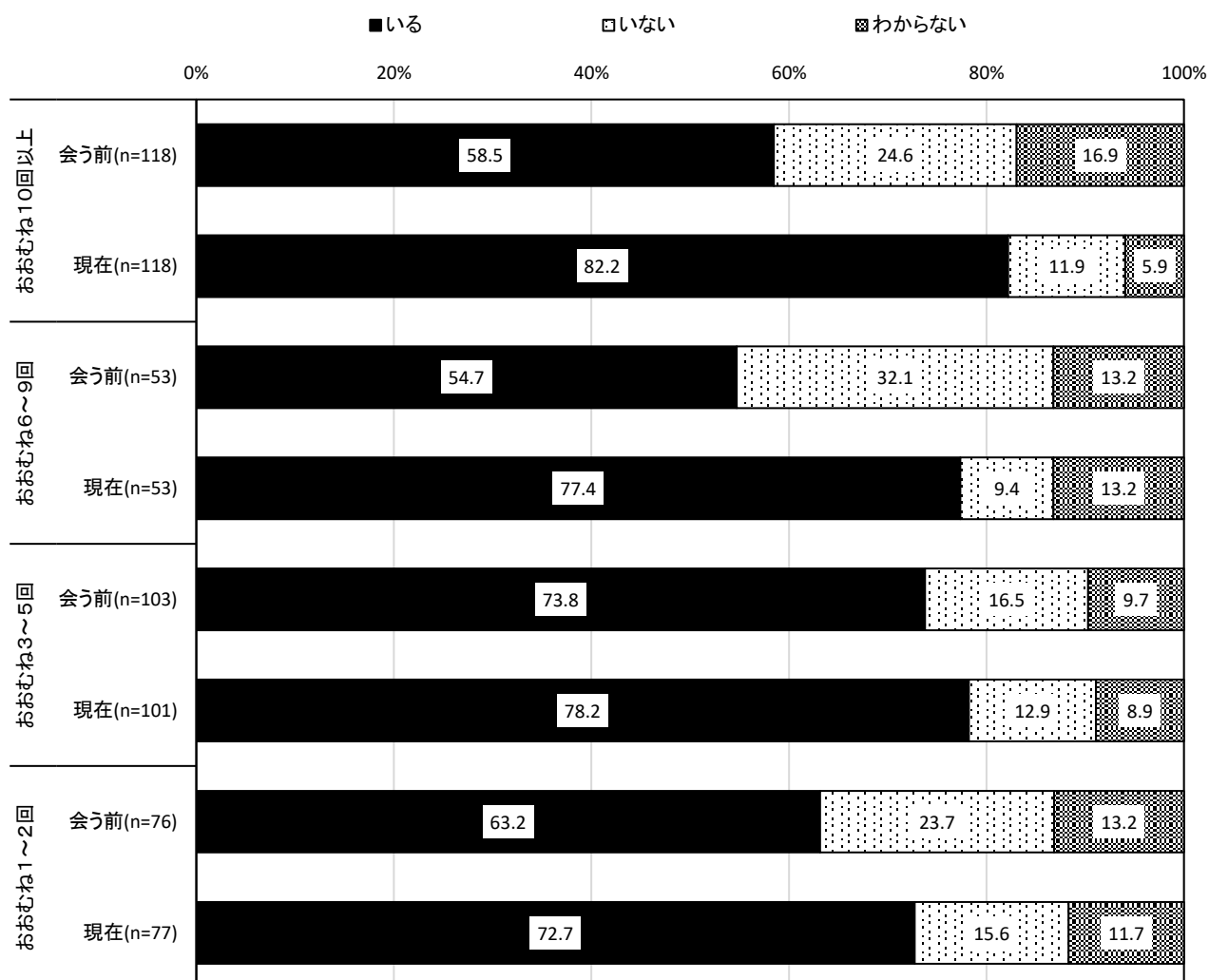


図 161. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化
（心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人）

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人）をみると、特に、支援員に会った回数が多い場合に、支援員に会う前よりも現在のほうが「いる」と回答した割合が高くなっている。「おおむね6~9回」では22.7ポイント、「おおむね10回以上」では23.7ポイントの差が生じている。

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（あなたの気持ちを察して思いやってくれる人）
 （問 8 × 問 13-2）

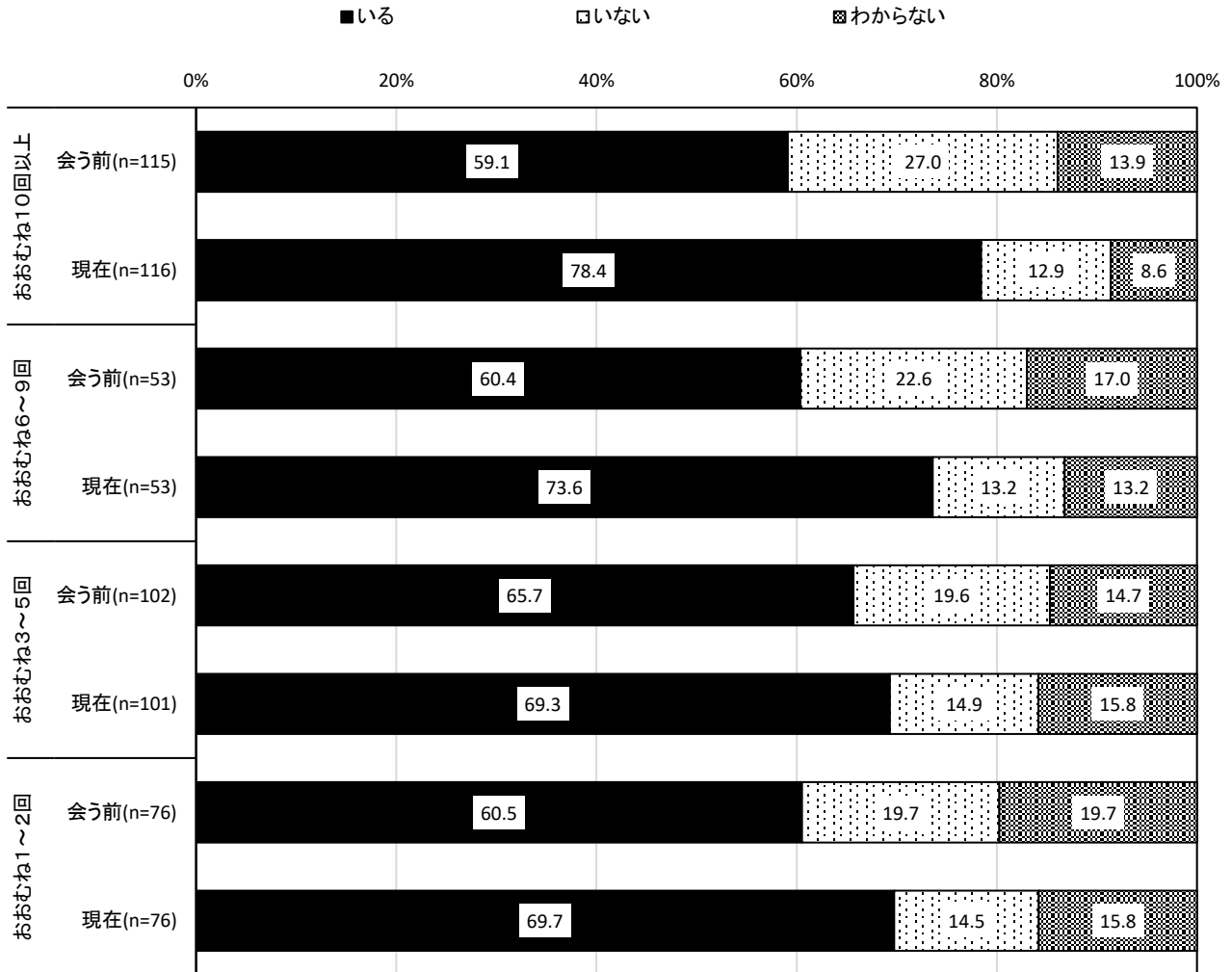


図 162. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化
 （あなたの気持ちを察して思いやってくれる人）

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（あなたの気持ちを察して思いやってくれる人）をみると、特に、支援員に会った回数が多い場合に、支援員に会う前よりも現在のほうが「いる」と回答した割合が高くなっている。「おおむね6～9回」では13.2ポイント、「おおむね10回以上」では19.3ポイントの差が生じている。

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人）（問 8×問 13-3）

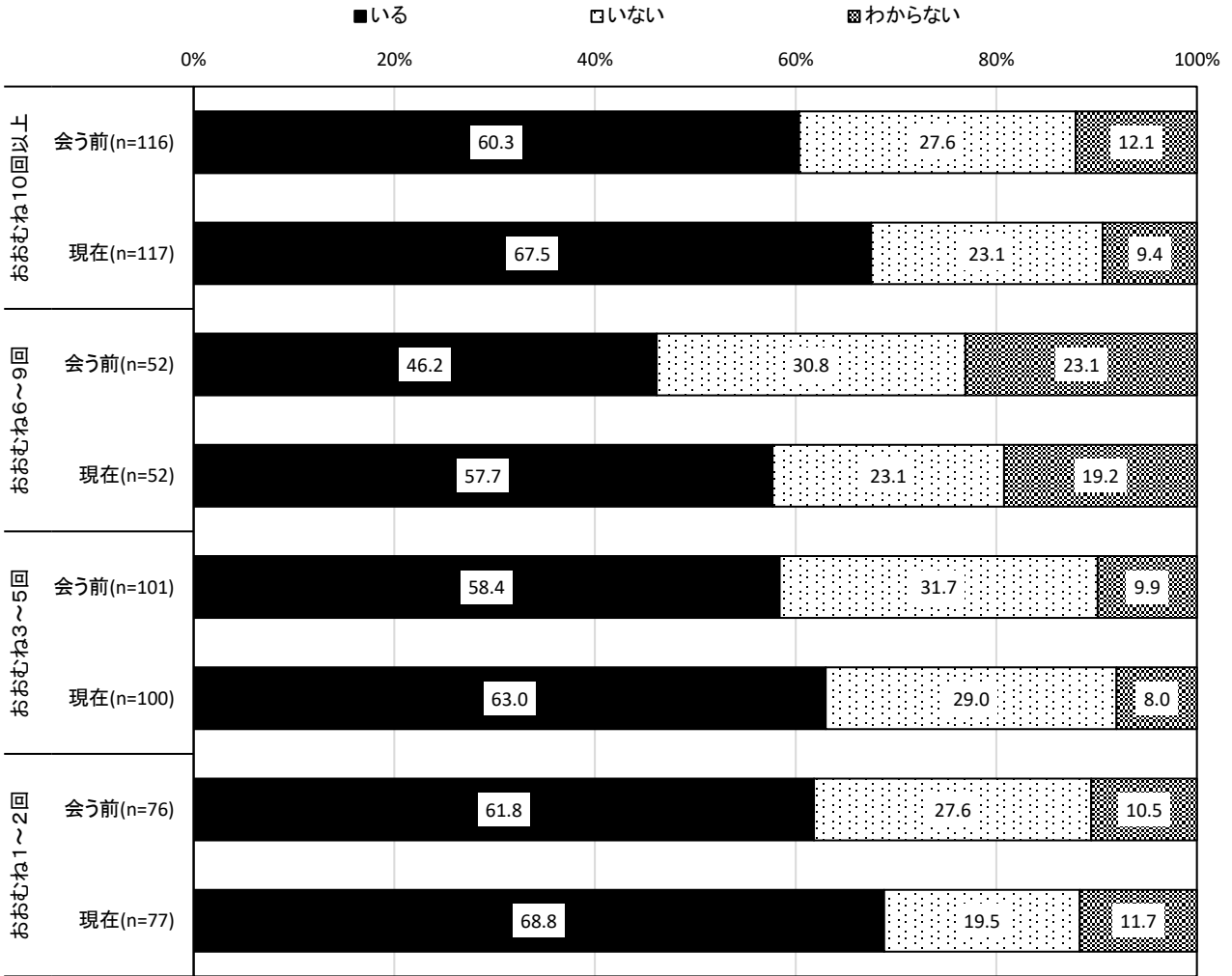


図 163. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化
（趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人）

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人）をみると、全体的に支援員に会う前よりも現在のほうが「いる」と回答した割合が若干ではあるが高くなっている。「おおむね6~9回」では11.5ポイント、「おおむね10回以上」では7.2ポイントの差が生じている。

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人）（問 8×問 13-4）

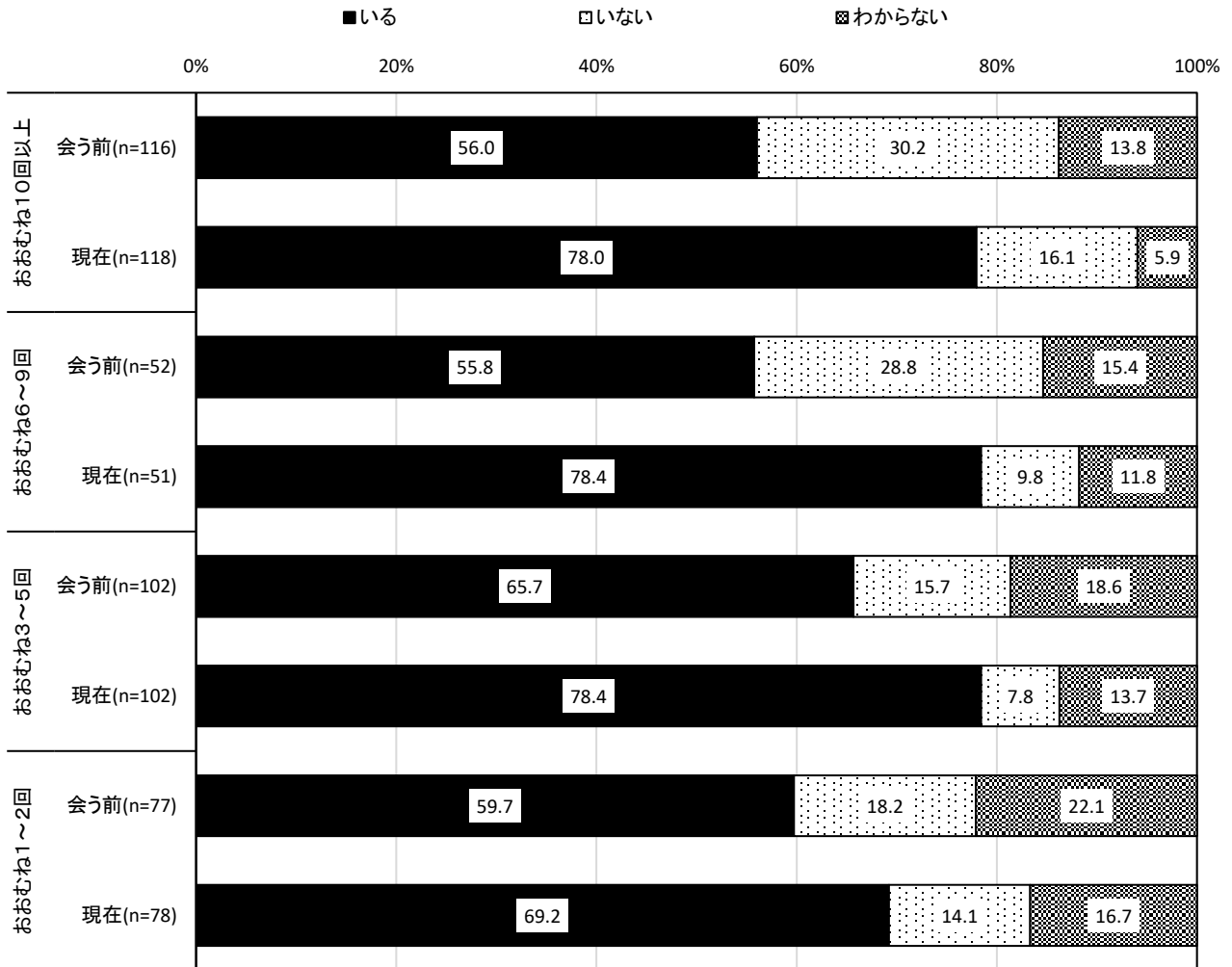


図 164. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化
（子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人）

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人）をみると、特に、支援員に会った回数が多い場合に、支援員に会う前よりも現在のほうが「いる」と回答した割合が高くなっている。「おおむね6～9回」では22.6ポイント、「おおむね10回以上」では22.0ポイントの差が生じている。

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人）（問 8×問 13-5）

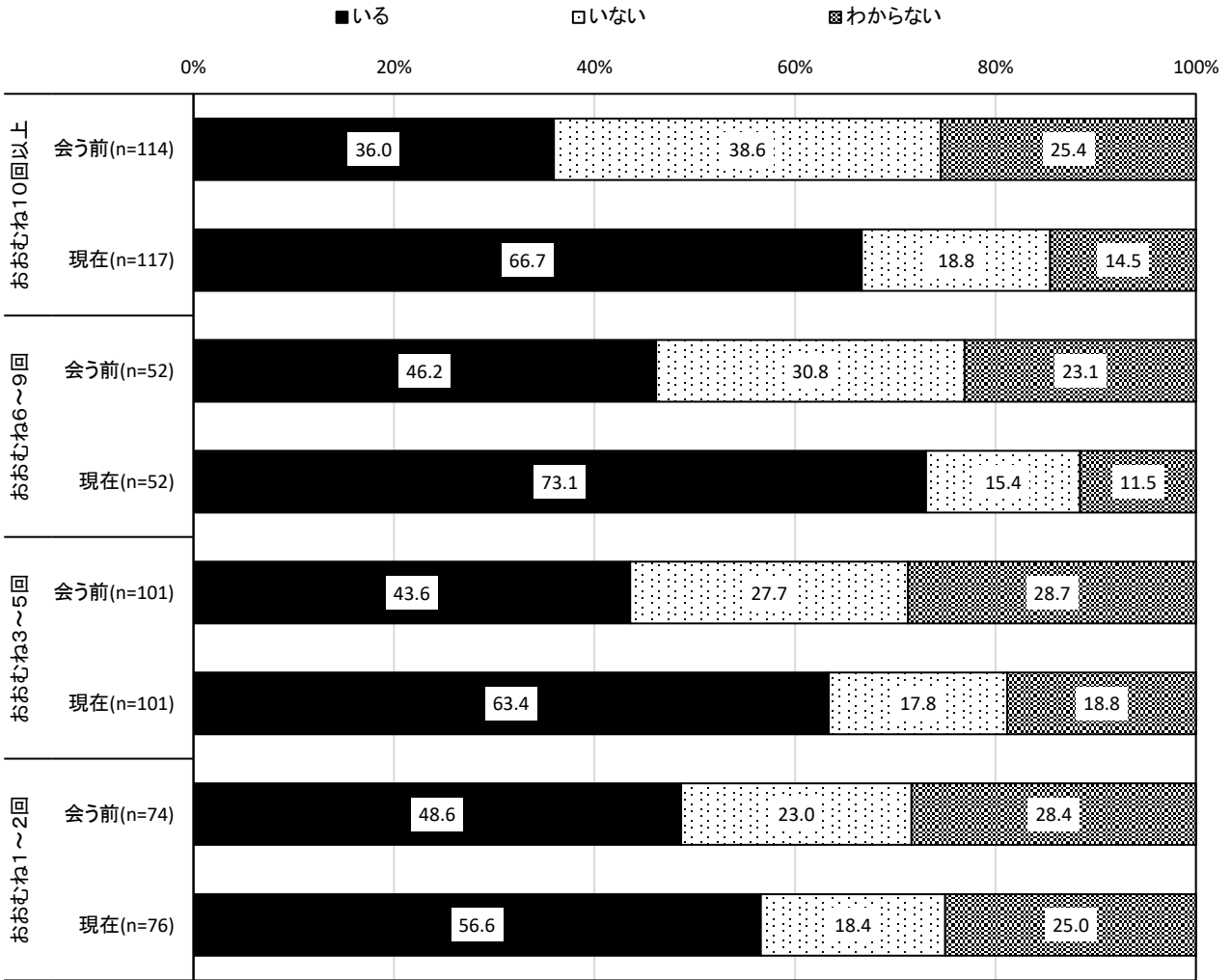


図 165. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化
（子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人）

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人）をみると、全体的に支援員に会う前よりも現在のほうが「いる」と回答した割合が高くなっている。「おおむね 6～9 回」では 26.9 ポイント、「おおむね 10 回以上」では 30.7 ポイントの差が生じている。

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行って
くれる人）（問 8×問 13-6）

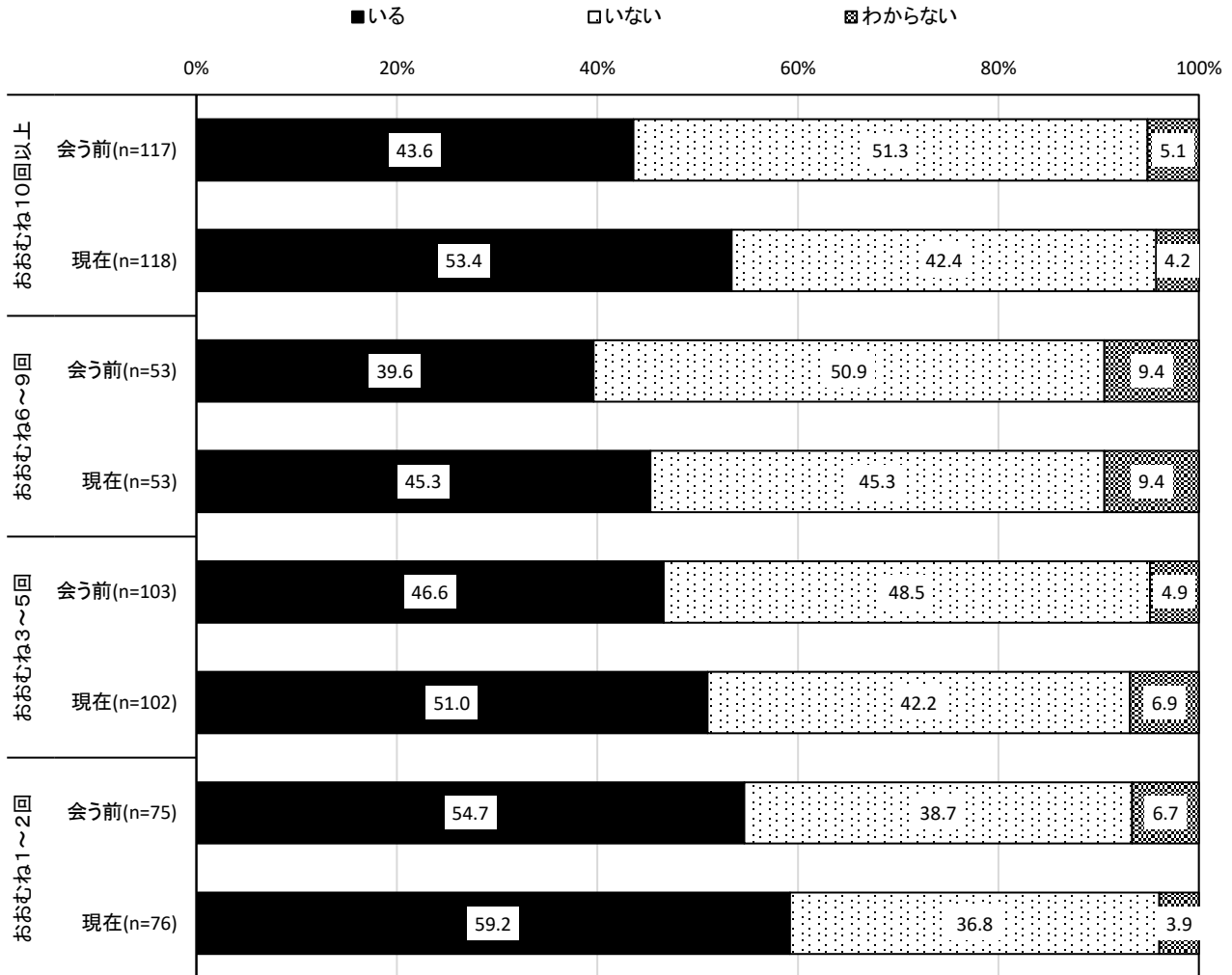


図 166. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化
（子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人）

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行って
くれる人）をみると、全体的に支援員に会う前よりも現在のほうが「いる」と回答した割合が若干
高くなっている。「おおむね 6～9 回」では 5.7 ポイント、「おおむね 10 回以上」では 9.8 ポイントの
差が生じている。

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（留守を頼める人）
 （問 8×問 13-7）

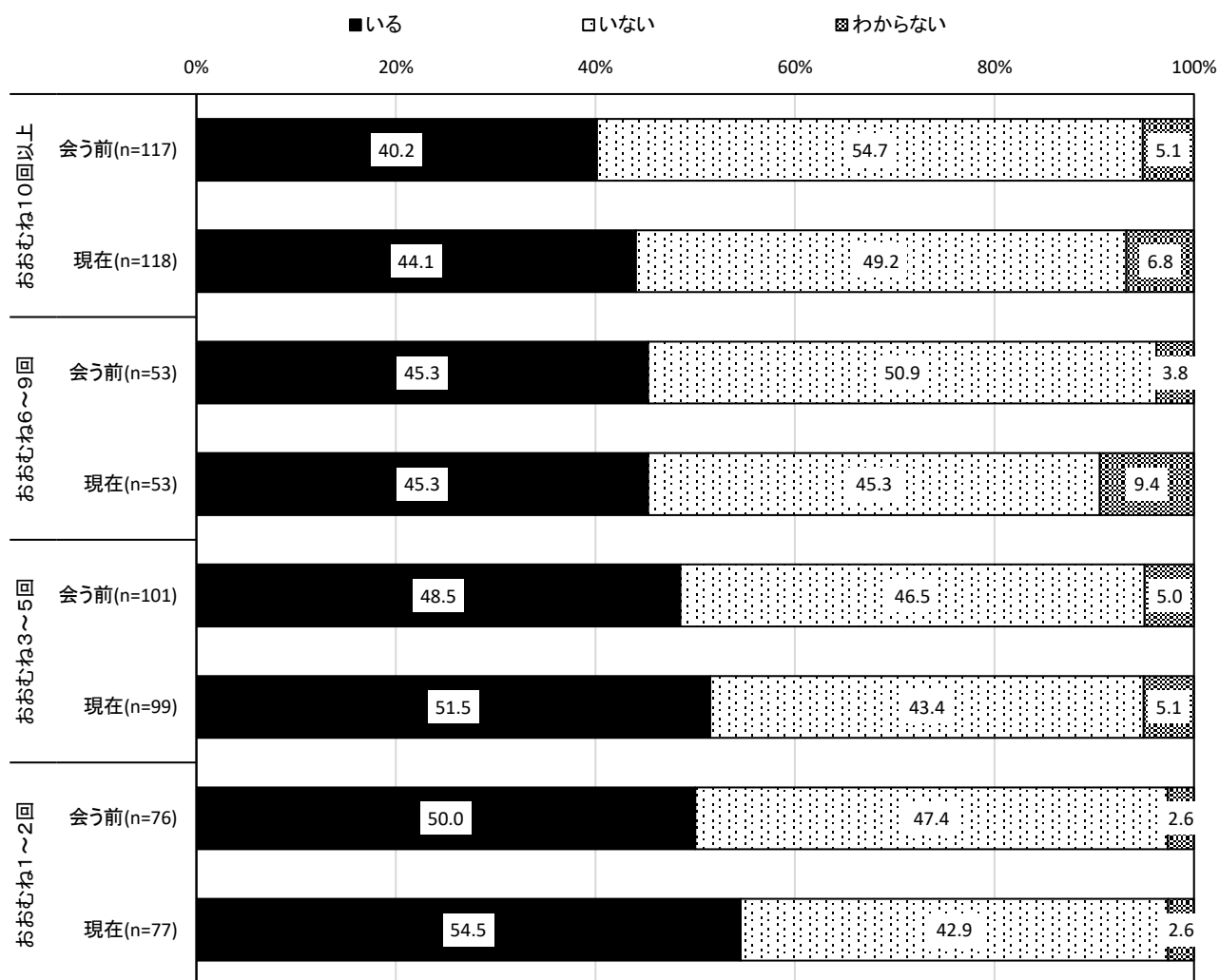


図 167. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（留守を頼める人）

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（留守を頼める人）をみると、全体的に支援員に会う前と現在共に、大きな変化は見られなかった。

(3) 保護者から見た子どもの変化

地域で食事の提供や学習の支援などのサービスを利用するようになってからのお子さんの変化について①～⑨まではあてはまる番号を1つに○をつけて下さい。⑩は以前と現在でそれぞれあてはまる番号を書いて下さい。

*この質問は、問16「あなたのお子さんは、地域で食事の提供や学習の支援などのサービス」を「よく利用している」「利用している」と回答した人のみに聞いている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（同じ時刻に起きる）
（問8×問17-1）

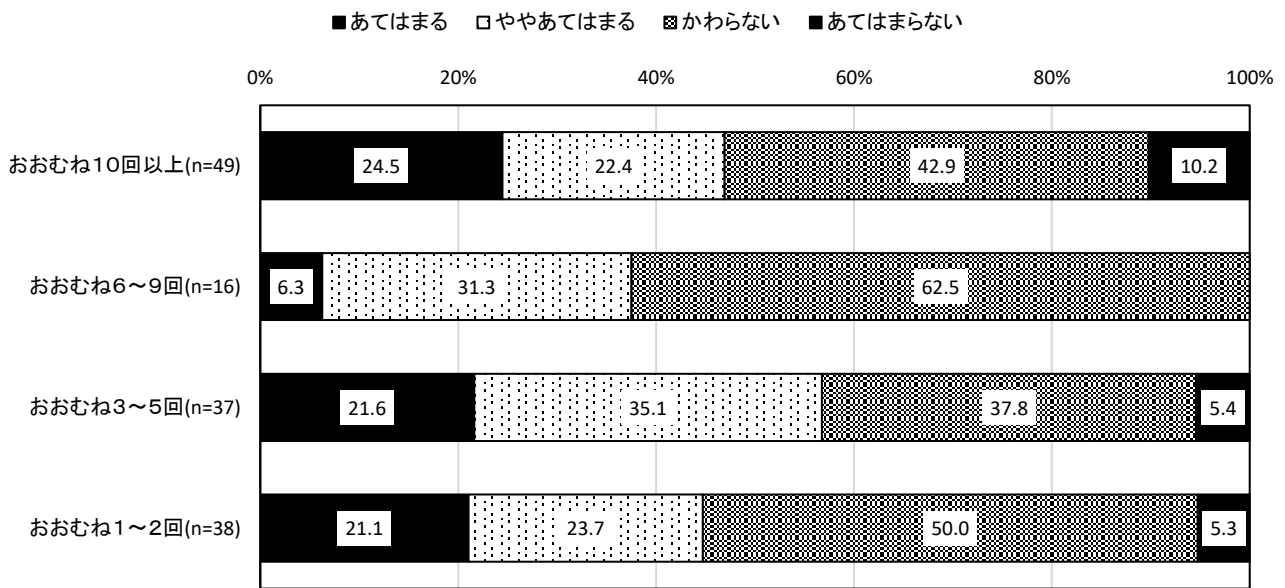


図 168. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（同じ時刻に起きる）

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（同じ時刻に起きる）をみると、「おおむね10回以上」では、「あてはまる」が24.5%、「ややあてはまる」が22.4%、「かわらない」が42.9%、「あてはまらない」が10.2%である。「おおむね6～9回」では、「あてはまる」が6.3%、「ややあてはまる」が31.3%、「かわらない」が62.5%である。「おおむね3～5回」では、「あてはまる」が21.6%、「ややあてはまる」が35.1%、「かわらない」が37.8%、「あてはまらない」が5.4%である。「おおむね1～2回」では、「あてはまる」が21.1%、「ややあてはまる」が23.7%、「かわらない」が50.0%、「あてはまらない」が5.3%である。人数が少ないことも影響しているように思われるが、支援員に会った回数の増加と子どもの変化の違いの関連は見られないように思われる。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（朝食を食べる）

（問 8×問 17-2）

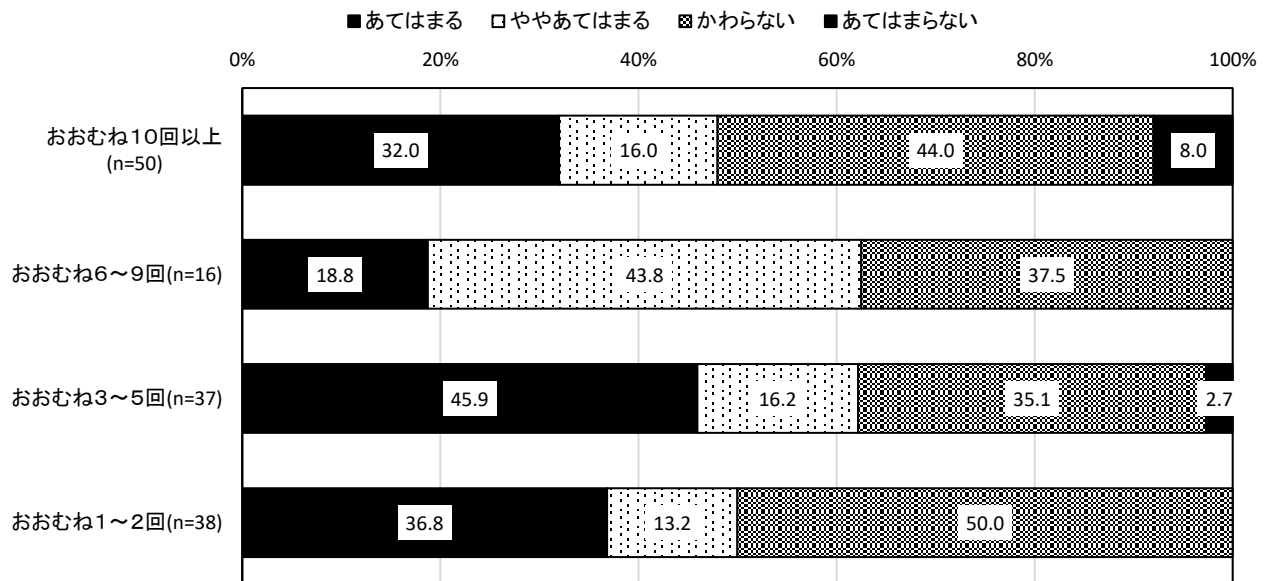


図 169. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（朝食を食べる）

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（朝食を食べる）をみると、「おおむね10回以上」では、「あてはまる」が32.0%、「ややあてはまる」が16.0%、「かわらない」が44.0%、「あてはまらない」が8.0%である。「おおむね6～9回」では、「あてはまる」が18.8%、「ややあてはまる」が43.8%、「かわらない」が37.5%である。「おおむね3～5回」では、「あてはまる」が45.9%、「ややあてはまる」が16.2%、「かわらない」が35.1%、「あてはまらない」が2.7%である。「おおむね1～2回」では、「あてはまる」が36.8%、「ややあてはまる」が13.2%、「かわらない」が50.0%である。

支援員に会った回数の増加と子どもの変化の違いの関連は見られないように思われる。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（健康状態）

（問 8 × 問 17-3）

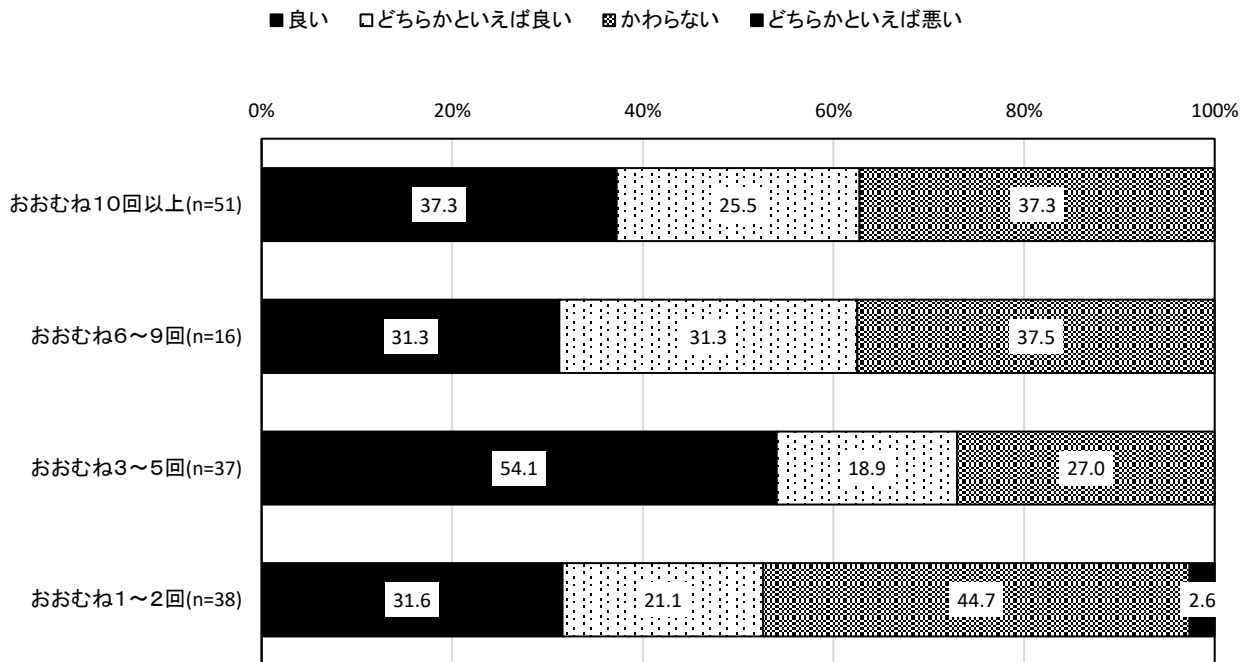


図 170. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（健康状態）

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（健康状態）をみると、「おおむね10回以上」では、「良い」が37.3%、「どちらかといえば良い」が25.5%、「かわらない」が37.3%である。「おおむね6~9回」では、「良い」が31.3%、「どちらかといえば良い」が31.3%、「かわらない」が37.5%である。「おおむね3~5回」では、「良い」が54.1%、「どちらかといえば良い」が18.9%、「かわらない」が27.0%である。「おおむね1~2回」では、「良い」が31.6%、「どちらかといえば良い」が21.1%、「かわらない」が44.7%、「どちらかといえば悪い」が2.6%である。

このことから「おおむね3~5回」において「良い」の割合が一番高くなっている。支援員に会った回数の増加と子どもの変化の違いの関連は見られないように思われる。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（授業時間以外にも勉強する）
 （問 8 × 問 17-4）

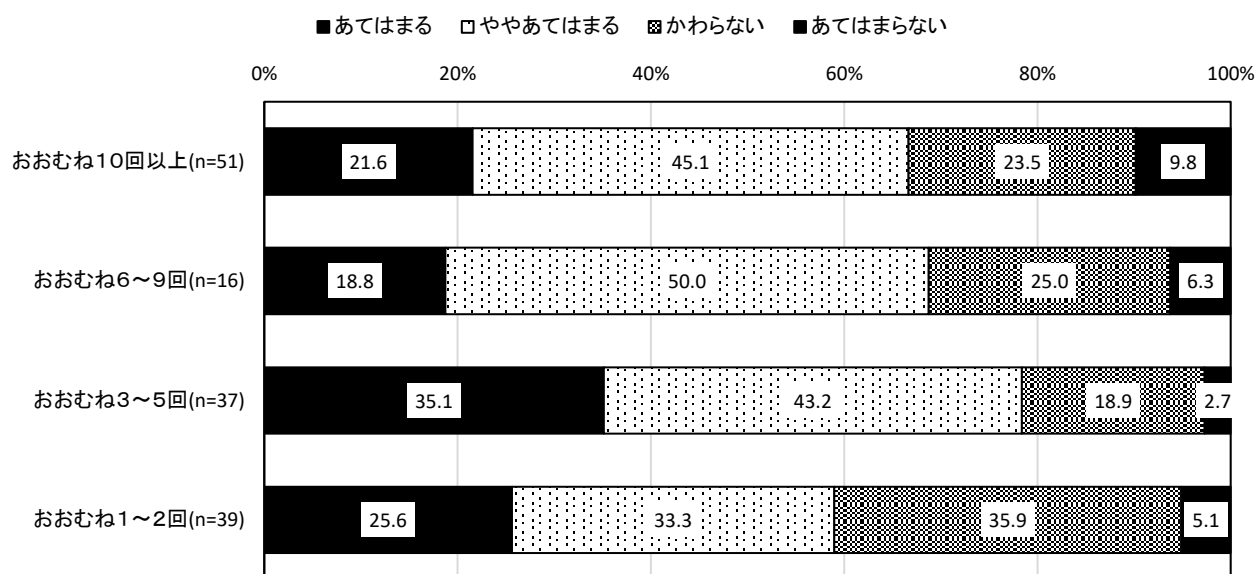


図 171. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（授業時間以外にも勉強する）

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（授業時間以外にも勉強する）をみると、「おおむね10回以上」では、「あてはまる」が21.6%、「ややあてはまる」が45.1%、「かわらない」が23.5%、「あてはまらない」が9.8%である。「おおむね6～9回」では、「あてはまる」が18.8%、「ややあてはまる」が50.0%、「かわらない」が25.0%、「あてはまらない」が6.3%である。「おおむね3～5回」では、「あてはまる」が35.1%、「ややあてはまる」が43.2%、「かわらない」が18.9%、「あてはまらない」が2.7%である。「おおむね1～2回」では、「あてはまる」が25.6%、「ややあてはまる」が33.3%、「かわらない」が35.9%、「あてはまらない」が5.1%である。

このことから「おおむね6～9回」において「ややあてはまる」の割合が一番高くなっている。支援員に会った回数の増加と子どもの変化の違いの関連は見られないように思われる。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気がでる）
（問 8×問 17-5）

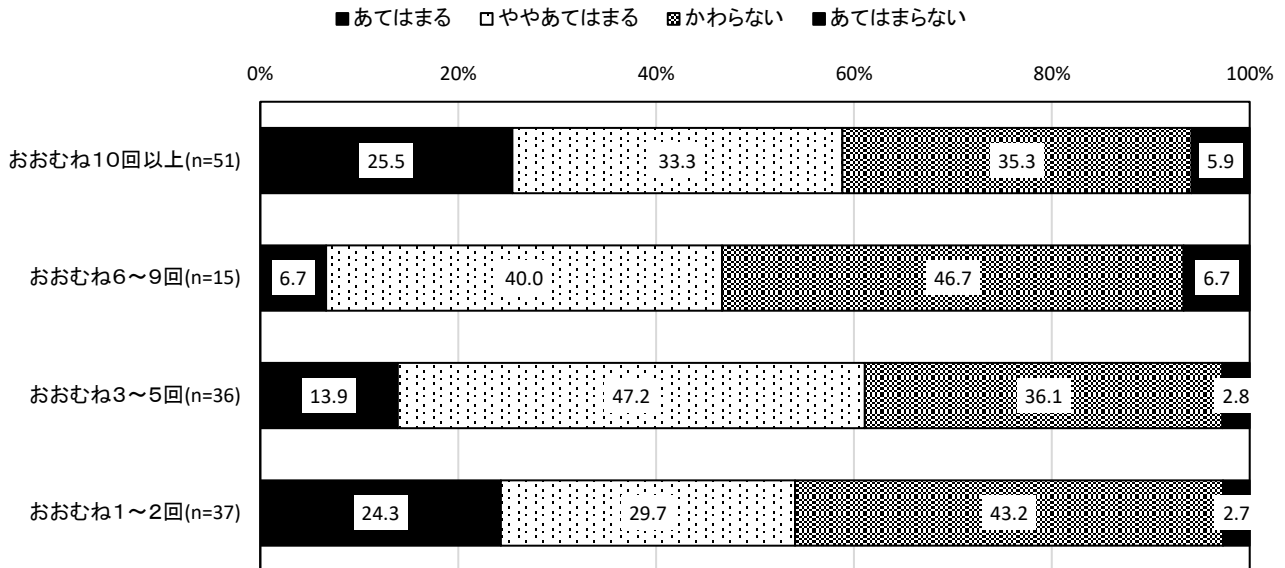


図 172. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化
（授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気がでる）

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気がでる）をみると、「おおむね10回以上」では、「あてはまる」が25.5%、「ややあてはまる」が33.3%、「かわらない」が35.3%、「あてはまらない」が5.9%である。「おおむね6～9回」では、「あてはまる」が6.7%、「ややあてはまる」が40.0%、「かわらない」が46.7%、「あてはまらない」が6.7%である。「おおむね3～5回」では、「あてはまる」が13.9%、「ややあてはまる」が47.2%、「かわらない」が36.1%、「あてはまらない」が2.8%である。「おおむね1～2回」では、「あてはまる」が24.3%、「ややあてはまる」が29.7%、「かわらない」が43.2%、「あてはまらない」が2.7%である。

このことから「おおむね3～5回」において「ややあてはまる」の割合が一番高くなっている。支援員に会った回数の増加と子どもの変化の違いの関連は見られないように思われる。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する）（問8×問17-6）

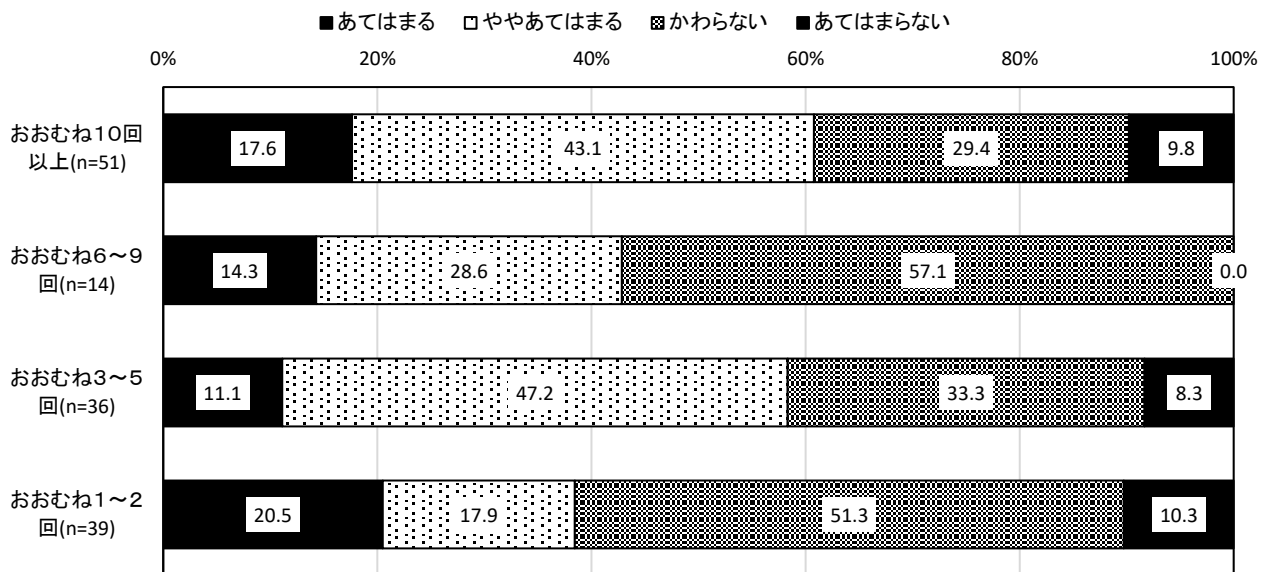


図 173. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化
（お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する）

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する）をみると、「おおむね10回以上」では、「あてはまる」が17.6%、「ややあてはまる」が43.1%、「かわらない」が29.4%、「あてはまらない」が9.8%である。「おおむね6～9回」では、「あてはまる」が14.3%、「ややあてはまる」が28.6%、「かわらない」が57.1%である。「おおむね3～5回」では、「あてはまる」が11.1%、「ややあてはまる」が47.2%、「かわらない」が33.3%、「あてはまらない」が8.3%である。「おおむね1～2回」では、「あてはまる」が20.5%、「ややあてはまる」が17.9%、「かわらない」が51.3%、「あてはまらない」が10.3%である。

このことから「おおむね6～9回」において「かわらない」の割合が一番高くなっている。支援員に会った回数の増加と子どもの変化の違いの関連は見られないように思われる。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人がいる）（問 8×問 17-7）

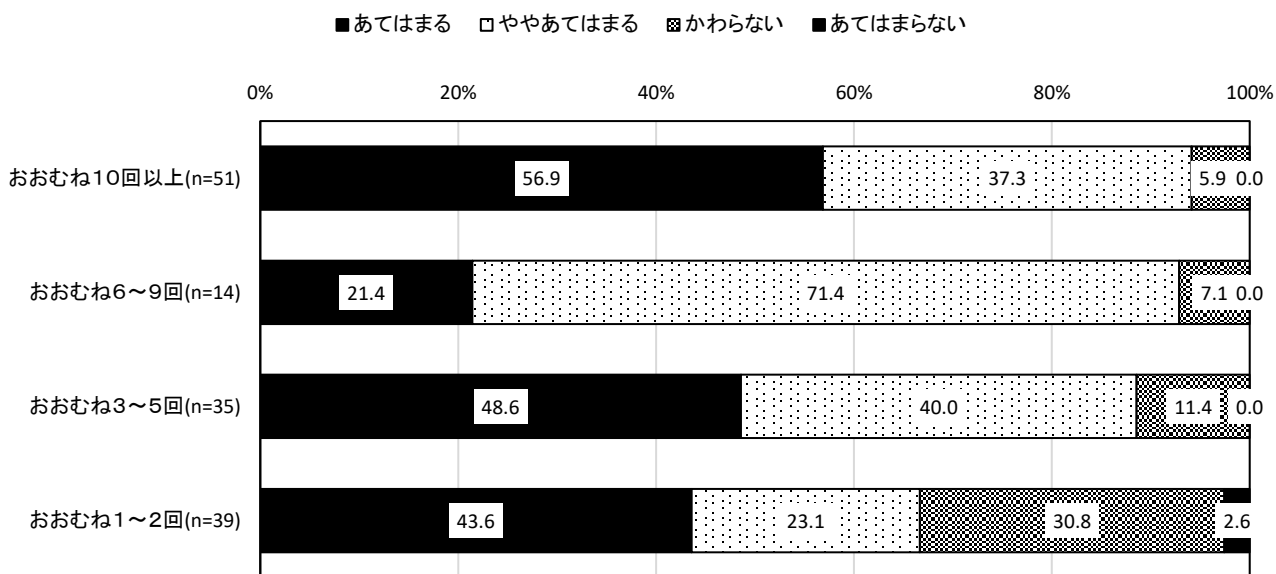


図 174. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化
（勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人がいる）

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人がいる）をみると、「おおむね10回以上」では、「あてはまる」が56.9%、「ややあてはまる」が37.3%、「かわらない」が5.9%である。「おおむね6～9回」では、「あてはまる」が21.4%、「ややあてはまる」が71.4%、「かわらない」が7.1%である。「おおむね3～5回」では、「あてはまる」が48.6%、「ややあてはまる」が40.0%、「かわらない」が11.4%である。「おおむね1～2回」では、「あてはまる」が43.6%、「ややあてはまる」が23.1%、「かわらない」が30.8%、「あてはまらない」が2.6%である。

このことから「おおむね6～9回」において「ややあてはまる」の割合が一番高くなっている。支援員に会った回数の増加と子どもの変化の違いの関連は見られないように思われる。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（自分の考えをはっきり相手に伝えることができる）
 （問 8 × 問 17-8）

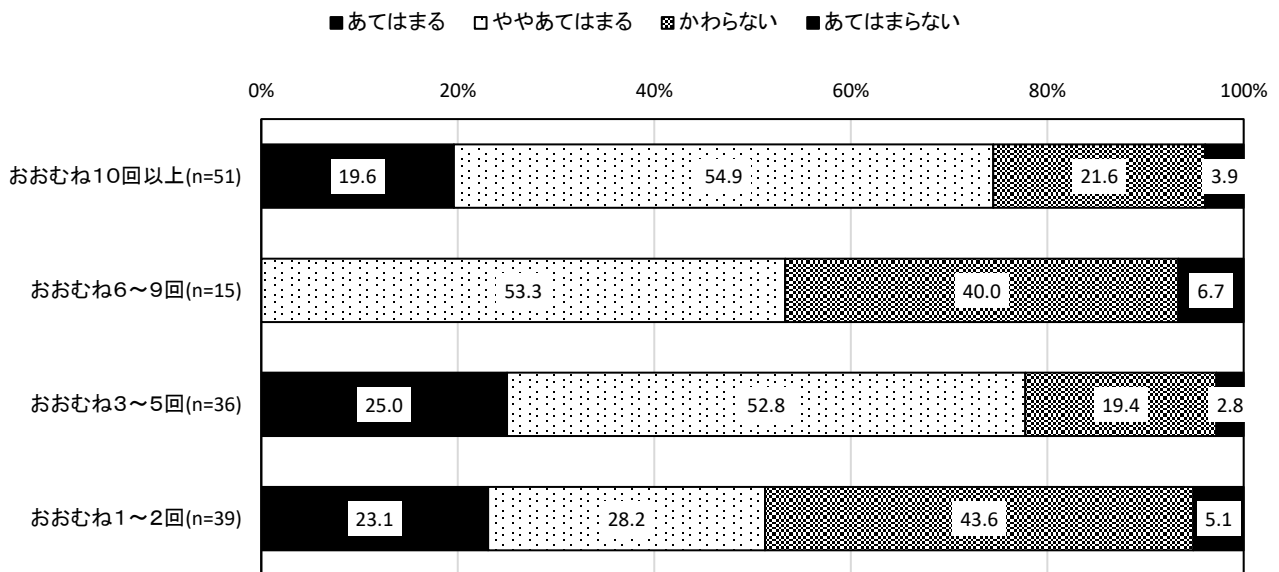


図 175. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化
 （自分の考えをはっきり相手に伝えることができる）

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（自分の考えをはっきり相手に伝えることができる）をみると、「おおむね 10 回以上」では、「あてはまる」が 19.6%、「ややあてはまる」が 54.9%、「かわらない」が 21.6%、「あてはまらない」が 3.9%である。「おおむね 6～9 回」では、「ややあてはまる」が 53.3%、「かわらない」が 40.0%、「あてはまらない」が 6.7%である。「おおむね 3～5 回」では、「あてはまる」が 25.0%、「ややあてはまる」が 52.8%、「かわらない」が 19.4%、「あてはまらない」が 2.8%である。「おおむね 1～2 回」では、「あてはまる」が 23.1%、「ややあてはまる」が 28.2%、「かわらない」が 43.6%、「あてはまらない」が 5.1%である。支援員に会った回数の増加と子どもの変化の違いの関連は見られないように思われる。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（自分の将来の夢や目標を持っている）

（問 8 × 問 17-9）

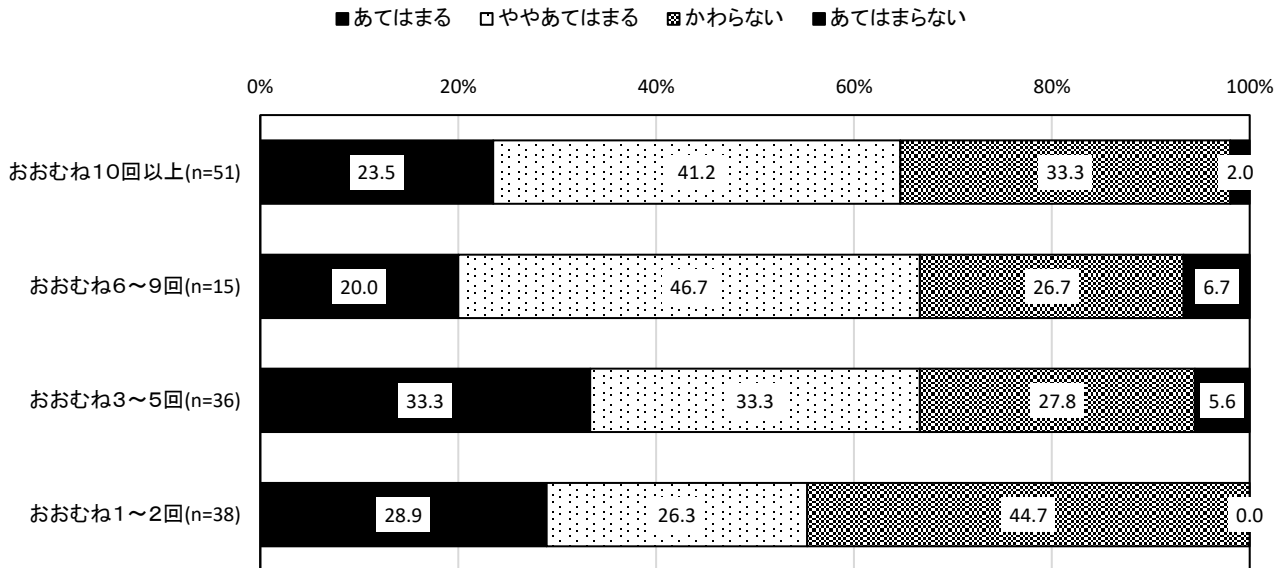


図 176. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（自分の将来の夢や目標を持っている）

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（自分の将来の夢や目標を持っている）をみると、「おおむね 10 回以上」では、「あてはまる」が 23.5%、「ややあてはまる」が 41.2%、「かわらない」が 33.3%、「あてはまらない」が 2.0%である。「おおむね 6～9 回」では、「あてはまる」が 20.0%、「ややあてはまる」が 46.7%、「かわらない」が 26.7%、「あてはまらない」が 6.7%である。「おおむね 3～5 回」では、「あてはまる」が 33.3%、「ややあてはまる」が 33.3%、「かわらない」が 27.8%、「あてはまらない」が 5.6%である。「おおむね 1～2 回」では、「あてはまる」が 28.9%、「ややあてはまる」が 26.3%、「かわらない」が 44.7%である。支援員に会った回数の増加と子どもの変化の違いの関連は見られないように思われる。

支援員に会った回数別に見た、子どもが放課後に過ごす場所の変化

(問 8×問 17-10)

□ おおむね 10 回以上(n=53) ▨ おおむね 6～9 回(n=16)
 ■ おおむね 3～5 回(n=37) □ おおむね 1～2 回(n=40)

□ おおむね 10 回以上(n=53) ▨ おおむね 6～9 回(n=16)
 ■ おおむね 3～5 回(n=37) □ おおむね 1～2 回(n=40)

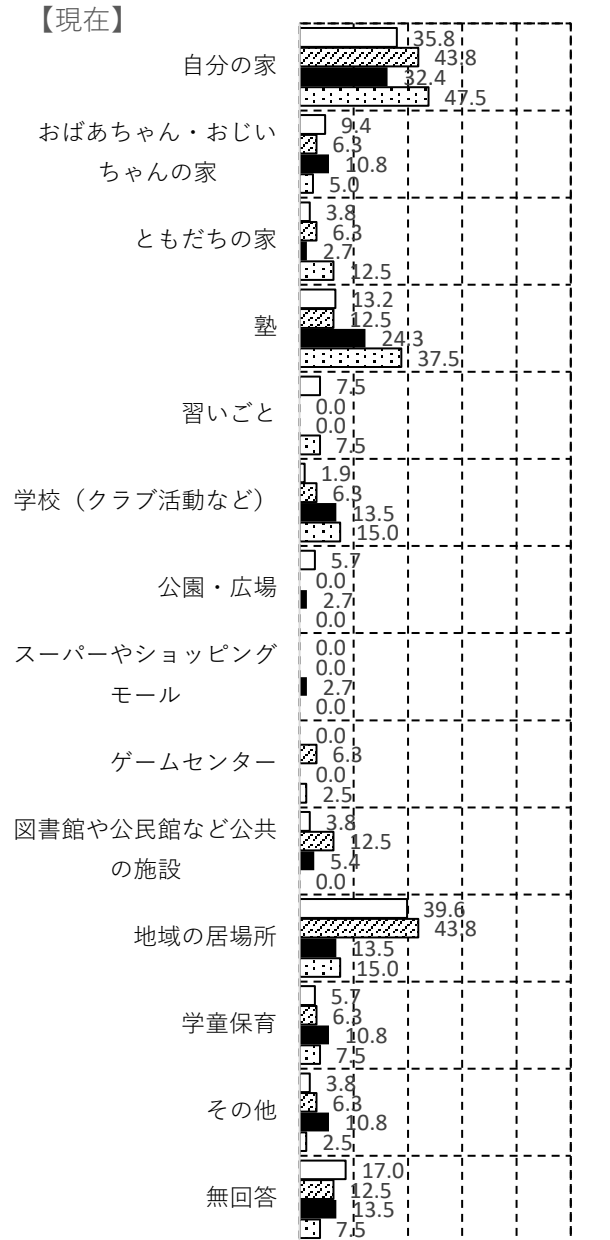
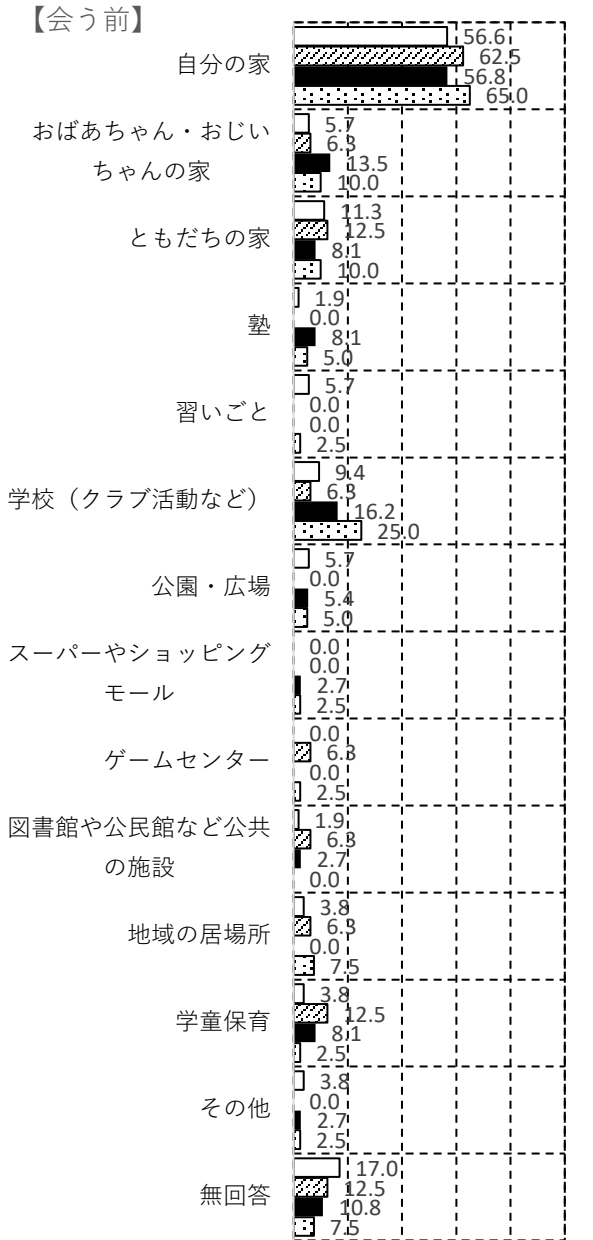


図 177. 支援員に会った回数別に見た、子どもが放課後に過ごす場所の変化

支援員に会った回数別に見た、子どもが放課後に過ごす場所の変化をみると、会う前では、全体的に「自分の家」の割合が高かった。現在では、「おおむね10回以上」と「おおむね6～9回」は「地域の居場所」が、「おおむね3～5回」と「おおむね1～2回」は、「塾」がそれぞれ会う前と比較して若干ではあるが割合が高くなっている。しかし、支援員に会った回数の増加と子どもが放課後に過ごす場所の変化についての関連は見られないように思われる。

第3章 2016年度との比較

ここでは、2016年度と今回の調査（以下、2017年度調査）との比較を行う。2016年度と2017年度では、調査に用いた質問の選択肢が部分的に異なる場合があることから単純に比較はできないが、2つの調査で比較可能な点やこうした比較により分かることもあると思われることから、以下のような全体傾向のみを比較考察を行った。比較にあたり、2016年度調査は、データの再集計を行った。多重回答の項目についてはデータが利用できなかったことから、内閣府による「沖縄子供の貧困緊急対策事業アンケート結果の公表について」¹からデータを引用した。

1. 居場所

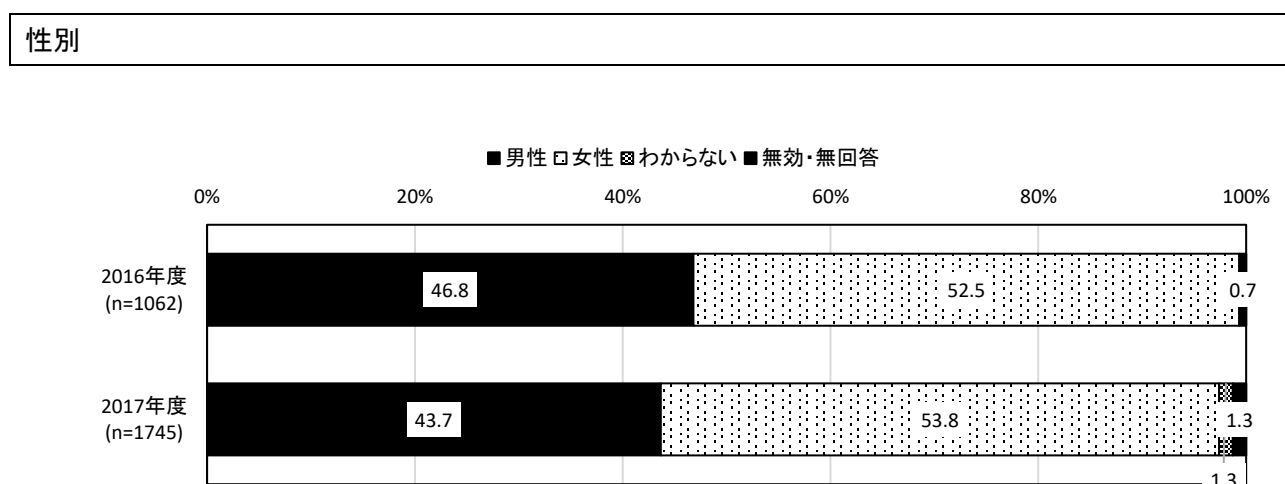


図 178. 2016年度と2017年度における回答者の性別

性別をみると、2016年度では「男性」が46.8%、「女性」が52.5%、「無効・無回答」が0.7%となっている。2017年度では、「男性」が43.7%、「女性」が53.8%、「わからない」が1.3%、「無回答」が1.3%となっている。男女の比率に大きな差は見られない。

※2016年度においては「わからない」は選択肢になかったため該当なし

¹ http://www8.cao.go.jp/okinawa/8/2017/0620_hinkon.pdf

居場所に来る回数

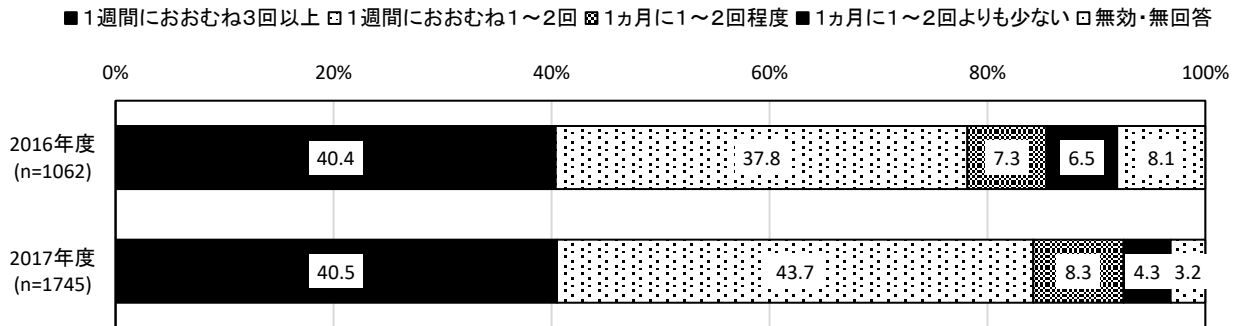


図 179. 2016 年度と 2017 年度の居場所に来る回数

全体における居場所に来る頻度をみると、2016 年度では「1 週間におおむね 3 回以上」が 40.4%、「1 週間におおむね 1～2 回」が 37.8%、「1 か月に 1～2 回程度」が 7.3%、「1 か月に 1～2 回より少ない」が 6.5%、「無効・無回答」が 8.1%となっている。2017 年度では、「1 週間におおむね 3 回以上」が 40.5%、「1 週間におおむね 1～2 回」が 43.7%、「1 か月に 1～2 回程度」が 8.3%、「1 か月に 1～2 回より少ない」が 4.3%、「無回答」は 3.2%となっている。

居場所に来てから友達ができたか

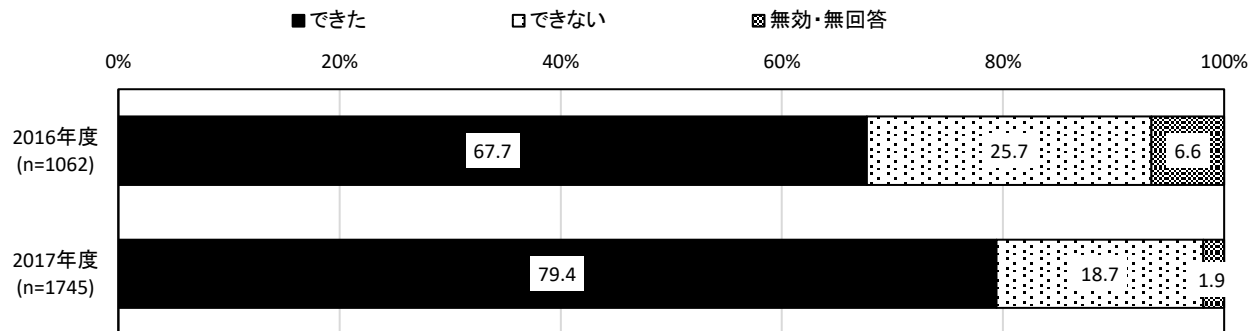


図 180. 2016 年度と 2017 年度における「居場所に来てから友達ができたか」

新しい友達ができただかをみると、2016 年度では、「できた」が 67.7%、「できない」が 25.7%、「無効・無回答」が 6.6%となっている。2017 年度では、「できた」が 79.4%、「できない」が 18.7%となっている。このことから、2016 年度と比較すると、全体において「できた」の割合が 11.7 ポイント高くなっている。

居場所に来てから友達ができただか

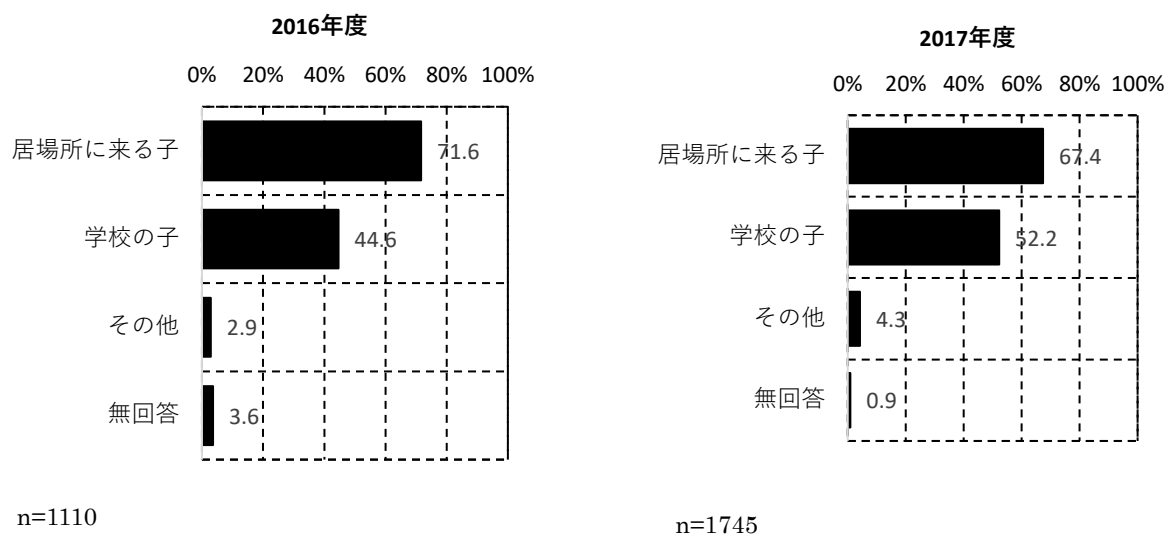


図 181. 2016年度と2017年度における「どういう友達ができただか」

どういふ友達ができただかをみると、2016年度では「居場所に来る子」が71.6%、「学校の子」が44.6%、「その他」が2.9%、「無回答」が3.6%となっている。2017年度では、「居場所に来る子」が67.4%、「学校の子」が52.2%、「その他」が4.3%、「無回答」が0.9%となっている。このことから、2016年度と比較すると、「学校の子」の割合が7.6ポイント高くなっている。

希望する進学先

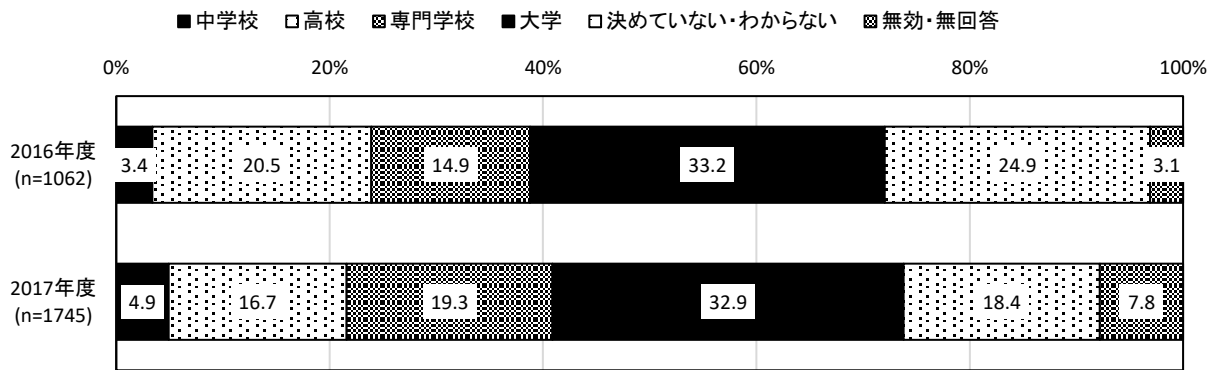


図 182. 2016 年度と 2017 年度の希望する進学先

将来の進路希望をみると、2016 年度では「中学校」が 3.4%、「高校」が 20.5%、「専門学校」が 14.9%、「大学」が 33.2%、「決めていない・わからない」が 24.9%、「無効・無回答」が 3.1%となっている。2017 年度では、「中学校」が 4.9%、「高校」が 16.7%、「専門学校」が 19.3%、「大学」が 32.9%、「決めていない・わからない」が 18.4%、「無回答」が 7.8%となっている。

居場所に来た感想

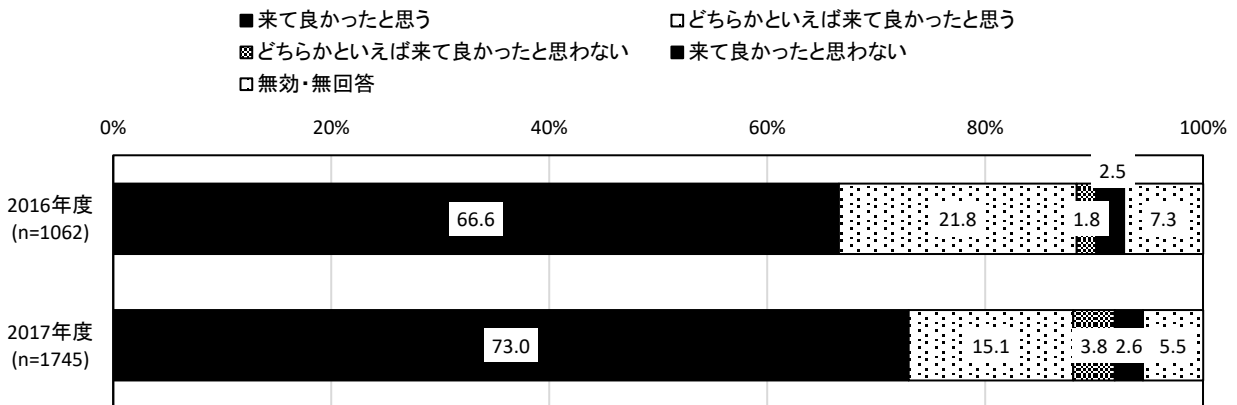


図 183. 2016 年度と 2017 年度の居場所に来た感想

居場所に来た感想をみると、2016 年度では「来て良かったと思う」が 66.6%、「どちらかといえば来て良かったと思う」が 21.8%、「どちらかといえば来て良かったと思わない」が 1.8%、「来て良かったと思わない」が 2.5%、「無効・無回答」が 7.3%となっている。

2017 年度では、「来て良かったと思う」が 73.0%、「どちらかといえば来て良かったと思う」が 15.1%、「どちらかといえば来て良かったと思わない」が 3.8%、「来て良かったと思わない」が 2.6%、「無回答」が 5.5%となっている。

このことから、2016 年度と比較すると、全体において「来て良かったと思う」の割合が 6.4 ポイント高くなっている。

2. 支援員

回答者の性別

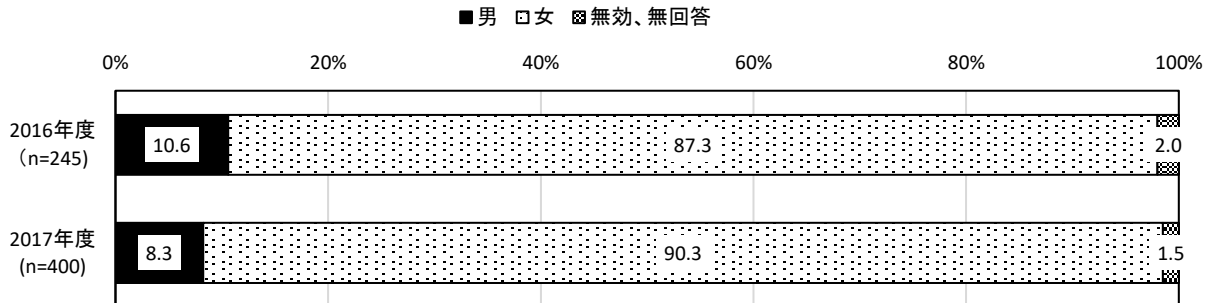


図 184. 2016 年度と 2017 年度の回答者の性別

性別をみると、2016 年度では、「男」が 10.6%、「女」が 87.3%、「無効、無回答」が 2.0%となっている。2017 年度では、「男」が 8.3%、「女」が 90.3%、「無効、無回答」が 1.5%となっている。2 年の結果に大きな差は見られないようである。

回答者の子どもの人数

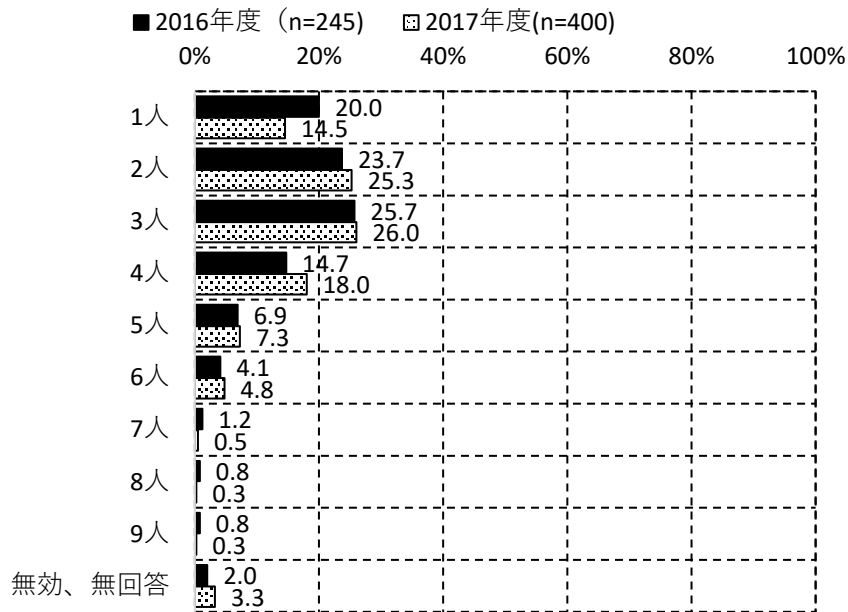


図 185. 2016 年度と 2017 年度における回答者の子どもの人数

子どもの人数をみると、2016 年度では、「1 人」が 20.0%、「2 人」が 23.7%、「3 人」が 25.7%、「4 人」が 14.7%、「5 人」が 6.9%、「6 人」が 4.1%、「7 人」が 1.2%、「8 人」が 0.8%、「9 人」が 0.8%、「無効・無回答」が 2.0%となっている。2017 年度では、「1 人」が 14.5%、「2 人」が 25.3%、「3 人」が 26.0%、「4 人」が 18.0%、「5 人」が 7.3%、「6 人」が 4.8%、「7 人」が 0.5%、「8 人」が 0.3%、「9 人」が 0.3%、「無効・無回答」が 3.3%となっている。2 年の結果に大きな差は見られないようである。

回答者の年代

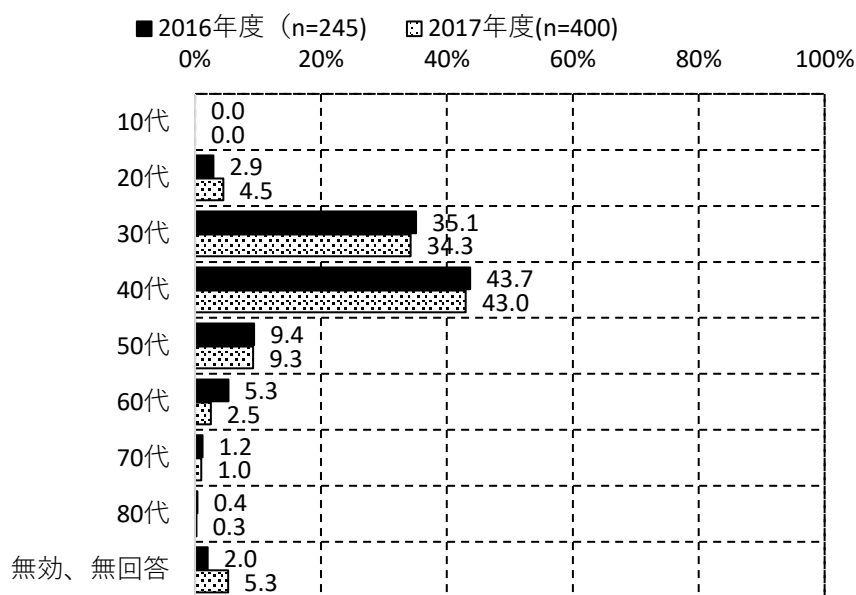


図 186. 2016 年度と 2017 年度における回答者の年代

年代をみると、2016 年度では、「10 代」が 0.0%、「20 代」が 2.9%、「30 代」が 35.1%、「40 代」が 43.7%、「50 代」が 9.4%、「60 代」が 5.3%、「70 代」が 1.2%、「80 代」が 0.4%、「無効、無回答」が 2.0%となっている。2017 年度では、「10 代」が 0.0%、「20 代」が 4.5%、「30 代」が 34.3%、「40 代」が 43.0%、「50 代」が 9.3%、「60 代」が 2.5%、「70 代」が 1.0%、「80 代」が 0.3%、「無効、無回答」が 5.3%となっている。2 年の結果に大きな差は見られないようである。

子育て：ついつい子どもにあたってしまう

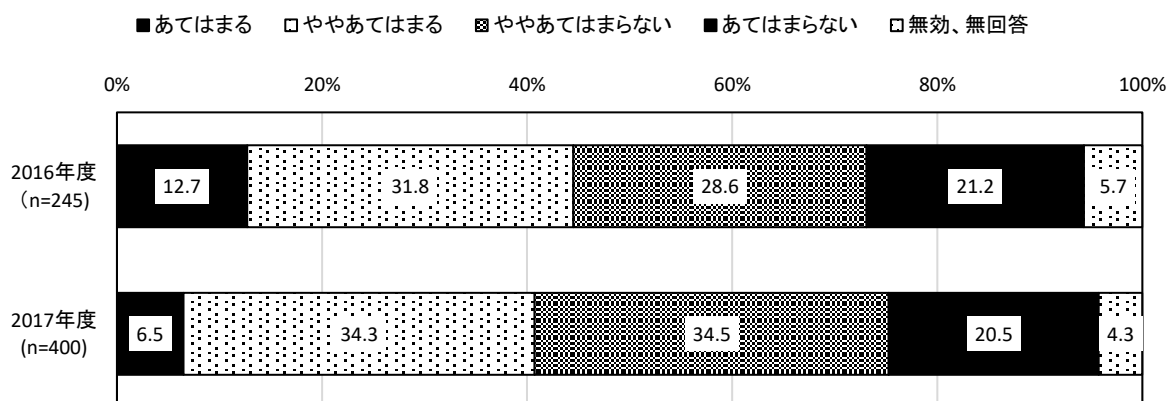


図 187. 2016 年度と 2017 年度の子育て：ついつい子どもにあたってしまう

ついつい子どもにあたってしまうかどうかについてみると、2016 年度では「あてはまる」が 12.7%、「ややあてはまる」が 31.8%、「ややあてはまらない」が 28.6%、「あてはまらない」が 21.2%、「無効、無回答」が 5.7%となっている。2017 年度では「あてはまる」が 6.5%、「ややあてはまる」が 34.3%、「ややあてはまらない」が 34.5%、「あてはまらない」が 20.5%、「無効、無回答」が 4.3%となっている。このことから、2016 年度と比較すると 2017 年度の「あてはまる」の割合がやや低くなっている。

子育て：子どもを育てるために我慢している

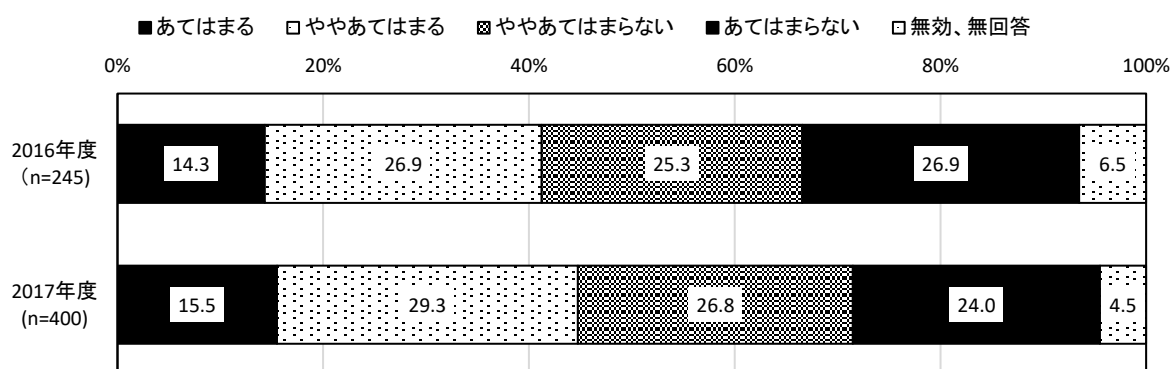


図 188. 2016 年度と 2017 年度の子育て：子どもを育てるために我慢している

子どもを育てるために我慢しているかをみると、2016 年度では「あてはまる」が 14.3%、「ややあてはまる」が 26.9%、「ややあてはまらない」が 25.3%、「あてはまらない」が 26.9%、「無効、無回答」が 6.5%となっている。2017 年度では「あてはまる」が 15.5%、「ややあてはまる」が 29.3%、「ややあてはまらない」が 26.8%、「あてはまらない」が 24.0%、「無効、無回答」が 4.5%となっている。このことから、2016 年度と比較して、大きく異なる項目はみられなかった。

子育て：自分一人で育てているという圧迫感を感じる

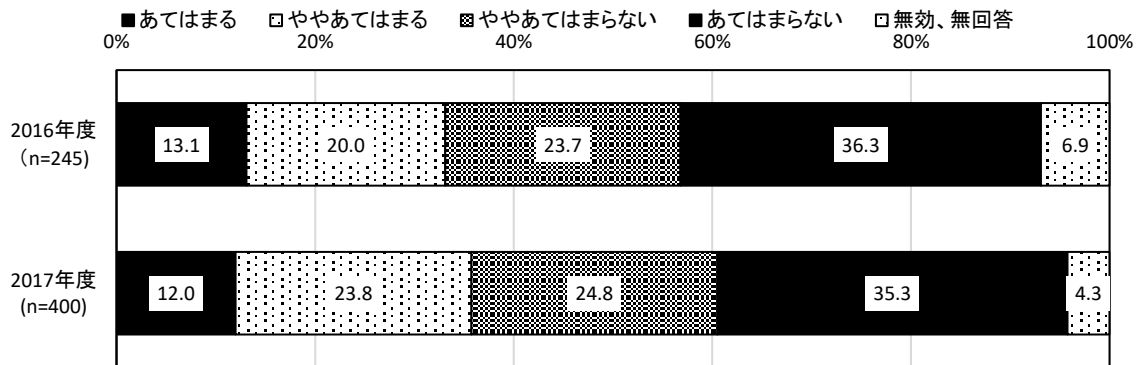


図 189. 2016 年度と 2017 年度の子育て：自分一人で育てているという圧迫感を感じる

自分一人で育てているという圧迫感を感じるかをみると、2016 年度では「あてはまる」が 13.1%、「ややあてはまる」が 20.0%、「ややあてはまらない」が 23.7%、「あてはまらない」が 36.3%、「無効、無回答」が 6.9%となっている。2017 年度では「あてはまる」が 12.0%、「ややあてはまる」が 23.8%、「ややあてはまらない」が 24.8%、「あてはまらない」が 35.3%、「無効、無回答」が 4.3%となっている。このことから、2016 年度と比較して大きく異なる項目はみられなかった。

子育て：子どもの世話にはあまり関心がない

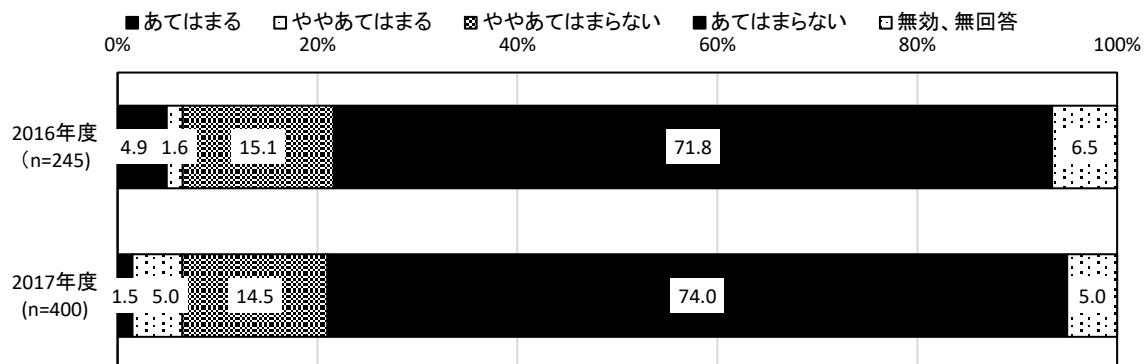


図 190. 2016 年度と 2017 年度の子育て：子どもの世話にはあまり関心がない

子どもの世話にはあまり関心がないかをみると、2016 年度では「あてはまる」が 4.9%、「ややあてはまる」が 1.6%、「ややあてはまらない」が 15.1%、「あてはまらない」が 71.8%、「無効、無回答」が 6.5%となっている。2017 年度では「あてはまる」が 1.5%、「ややあてはまる」が 5.0%、「ややあてはまらない」が 14.5%、「あてはまらない」が 74.0%、「無効、無回答」が 5.0%となっている。

このことから、2016 年度と比較すると 2017 年度の「あてはまる」の割合が 3.4 ポイント低くなっているものの、大きく異なるような傾向はみられない。

支援員と会った回数

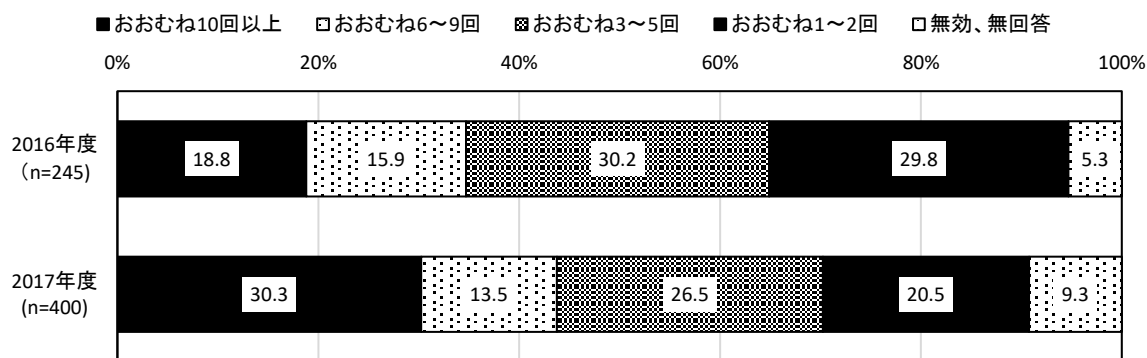


図 191. 2016 年度と 2017 年度における支援員と会った回数

支援員と会った回数をみると、2016 年度では「おおむね 10 回以上」が 18.8%、「おおむね 6～9 回」が 15.9%、「おおむね 3～5 回」が 30.2%、「おおむね 1～2 回」が 29.8%、「無効、無回答」が 5.3%となっている。2017 年度では「おおむね 10 回以上」が 30.3%、「おおむね 6～9 回」が 13.5%、「おおむね 3～5 回」が 26.5%、「おおむね 1～2 回」が 20.5%、「無効、無回答」が 9.3%となっている。

このことから、2016 年度と比較すると 2017 年度の「おおむね 10 回以上」の割合が 11.5 ポイント高くなっている。異なる調査であるため単純に比較はできないが、2 回の調査の間に会った回数が影響している可能性もあるかもしれない。

支援員と会ってよかったか

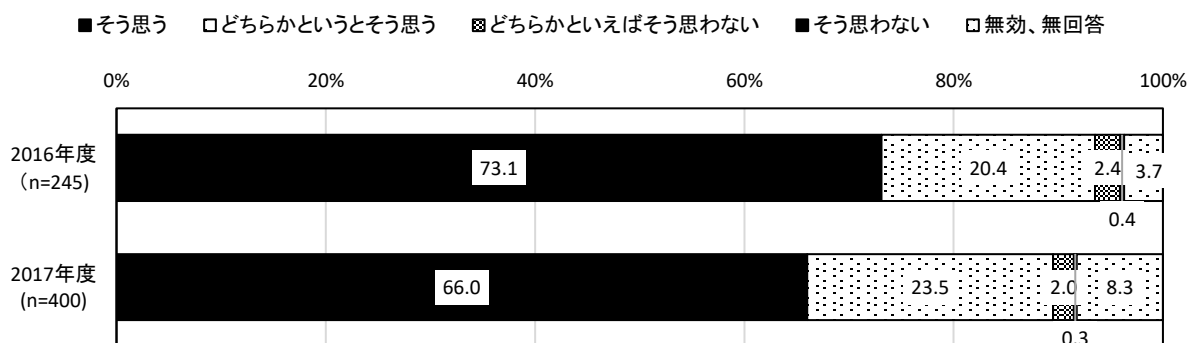


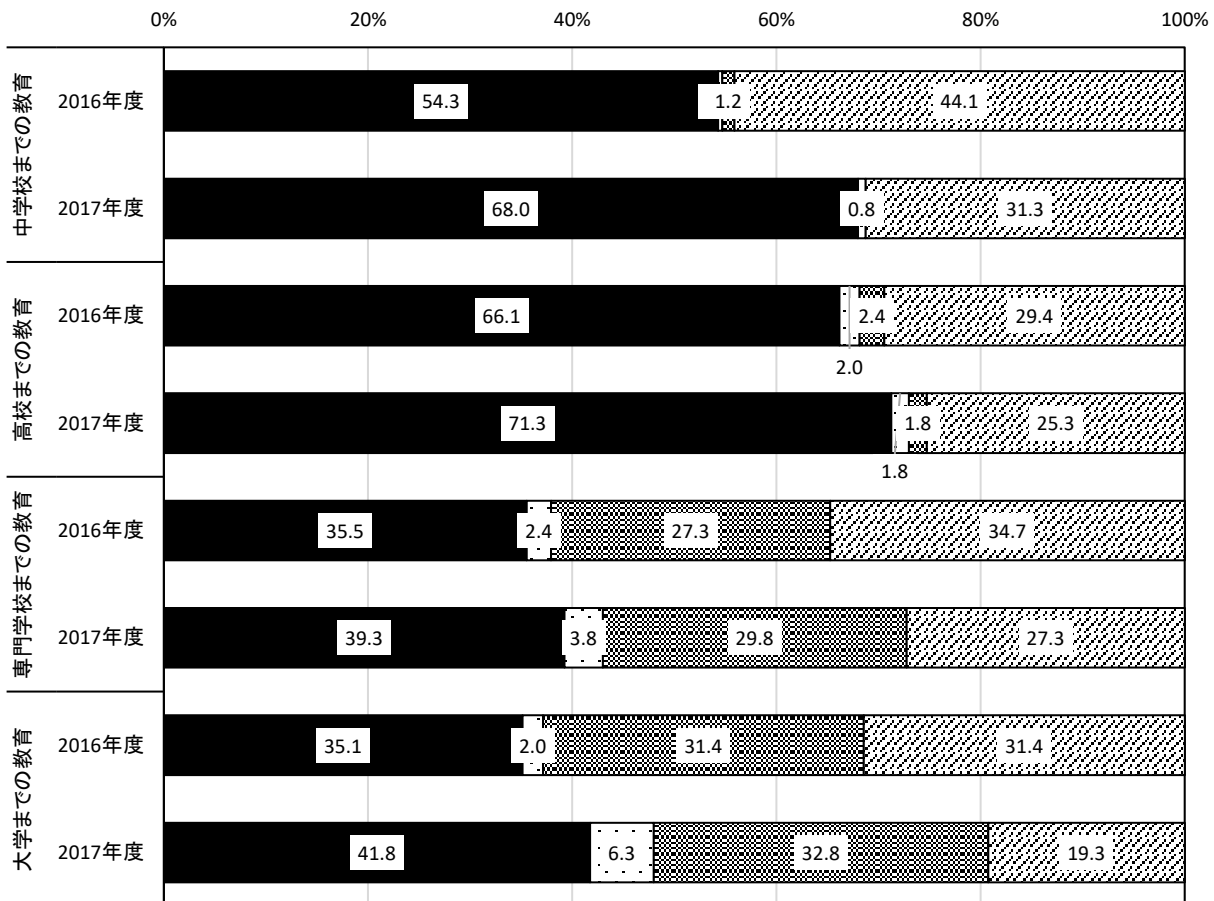
図 192. 2016 年度と 2017 年度における「支援員と会ってよかったか」

支援員と会ってよかったかをみると、2016 年度では「そう思う」が 73.1%、「どちらかというと思う」が 20.4%、「どちらかといえばそう思わない」が 2.4%、「そう思わない」が 0.4%、「無効、無回答」が 3.7%となっている。2017 年度では「そう思う」が 66.0%、「どちらかというと思う」が 23.5%、「どちらかといえばそう思わない」が 2.0%、「そう思わない」が 0.3%、「無効、無回答」が 8.3%となっている。このことから、2016 年度と比較すると 2017 年度の「そう思う」の割合が 7.1 ポイント低くなっているものの、どちらの調査においても「そう思う」が多数を占めており、傾向が大きく異なるとは言えない。

子どもの進路について

「あなたのご家庭では、子どもにどの段階までの教育を受けさせたいか」

■ 受けさせたい □ 経済的に可能だが必要だと思わない ▨ 経済的に受けさせられない ▩ 無効、無回答



(2016年度 n=245, 2017年度 n=400)

図 193. 2016年度と2017年度における子どもの進路について

中学校までの教育をみると、2016年度では、「受けさせたい」が54.3%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が0.4%、「経済的に受けさせられない」が1.2%、「無効、無回答」が44.1%となっている。2017年度では「受けさせたい」が68.0%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が0.8%、「経済的に受けさせられない」が0.0%、「無効、無回答」が31.3%となっている。このことから、2016年度と比較すると、2017年度の「受けさせたい」の割合が13.7ポイント高くなっている。

高校までの教育をみると、2016年度では、「受けさせたい」が66.1%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が2.0%、「経済的に受けさせられない」が2.4%、「無効、無回答」が29.4%となっている。2017年度では「受けさせたい」が71.3%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が1.8%、「経済的に受けさせられない」が1.8%、「無効、無回答」が25.3%となっている。このことから、2016年度と比較すると、2017年度の「受けさせたい」の割合が5.2ポイント高くなっている。

専門学校までの教育をみると、2016年度では、「受けさせたい」が35.5%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が2.4%、「経済的に受けさせられない」が27.3%、「無効、無回答」が34.7%となっている。2017年度では「受けさせたい」が39.3%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が3.8%、「経済的に受けさせられない」が29.8%、「無効、無回答」が27.3%となっている。

けさせられない」が 29.8%、「無効、無回答」が 27.3%となっている。このことから、2016 年度と比較して大きく変化した項目はみられなかった。

大学までの教育をみると、2016 年度では、「受けさせたい」が 35.1%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が 2.0%、「経済的に受けさせられない」が 31.4%、「無効、無回答」が 31.4%となっている。2017 年度では「受けさせたい」が 41.8%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が 6.3%、「経済的に受けさせられない」が 32.8%、「無効、無回答」が 19.3%となっている。このことから、2016 年度と比較すると、2017 年度の「受けさせたい」の割合が 6.7 ポイント高くなっている。

しかしながら、全体を見れば、高校までの教育は受けさせたいが、専門学校や大学は経済的に受けさせられないとする傾向は、どちらの調査にも共通しており、両調査の傾向に大きな差があるとは言えない。

どのサポートが役に立ったか

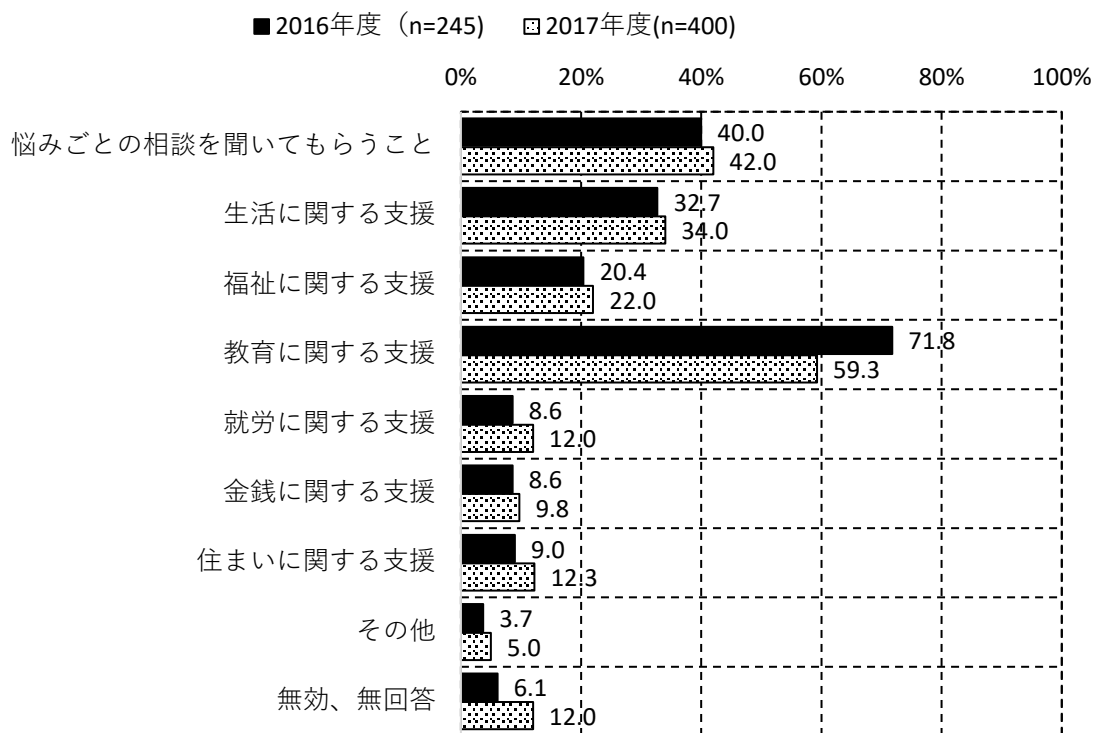


図 194. 2016 年度と 2017 年度における役に立ったサポート

どのサポートが役に立ったかをみると、2016 年度では、「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」が 40.0%、「生活に関する支援」が 32.7%、「福祉に関する支援」が 20.4%、「教育に関する支援」が 71.8%、「就労に関する支援」が 8.6%、「金銭に関する支援」が 8.6%、「住まいに関する支援」が 9.0%、「その他」が 3.7%、「無回答」が 6.1%となっている。2017 年度では、「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」が 42.0%、「生活に関する支援」が 34.0%、「福祉に関する支援」が 22.0%、「教育に関する支援」が 59.3%、「就労に関する支援」が 12.0%、「金銭に関する支援」が 9.8%、「住まいに関する支援」が 12.3%、「その他」が 5.0%、「無回答」が 12.0%となっている。

このことから、2016 年度と比較すると、2017 年度の「教育に関する支援」の割合が 12.5 ポイント低くなっている。しかしながら、その他の項目と比して教育に関する支援が高いという点は、両調査に共通するものである。

生活支援

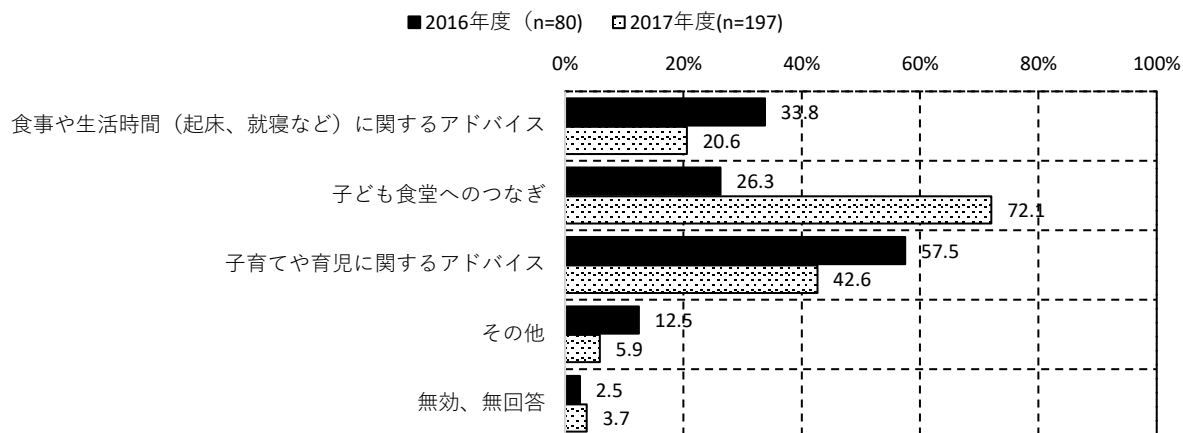


図 195. 2016 年度と 2017 年度の生活支援

生活支援をみると、2016 年度では、「食事や生活時間（起床、就寝など）に関するアドバイス」が 33.8 %、「子ども食堂へのつながり」が 26.3%、「子育てや育児に関するアドバイス」が 57.5%、「その他」が 12.5%、「無効、無回答」が 2.5%となっている。2017 年度では、「食事や生活時間（起床、就寝など）に関するアドバイス」が 20.6%、「子ども食堂へのつながり」が 72.1%、「子育てや育児に関するアドバイス」が 42.6%、「その他」が 5.9%、「無効、無回答」が 3.7%となっている。2016 年度と比較すると、2017 年度の「子育てや育児に関するアドバイス」の割合が 14.9 ポイント低い。また、「子ども食堂へのつながり」の割合が 45.8 ポイント高くなっており、2017 年度調査の特徴であるかもしれない。

福祉支援

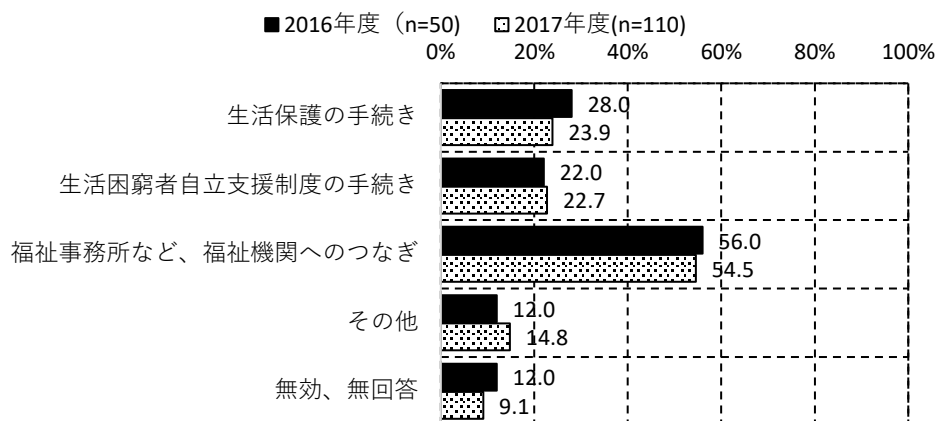


図 196. 2016 年度と 2017 年度の福祉支援

福祉支援をみると、2016 年度では、「生活保護の手続き」が 28.0%、「生活困窮者自立支援制度の手続き」が 22.0%、「福祉事務所など、福祉機関へのつながり」が 56.0%、「その他」が 12.0%、「無効、無回答」が 12.0%となっている。2017 年度では、「生活保護の手続き」が 23.9%、「生活困窮者自立支援制度の手続き」が 22.7%、「福祉事務所など、福祉機関へのつながり」が 54.5%、「その他」が 14.8%、「無効、無回答」が 9.1%となっている。このことから、2016 年度と比較して大きく異なる項目はみられなかった。

教育支援

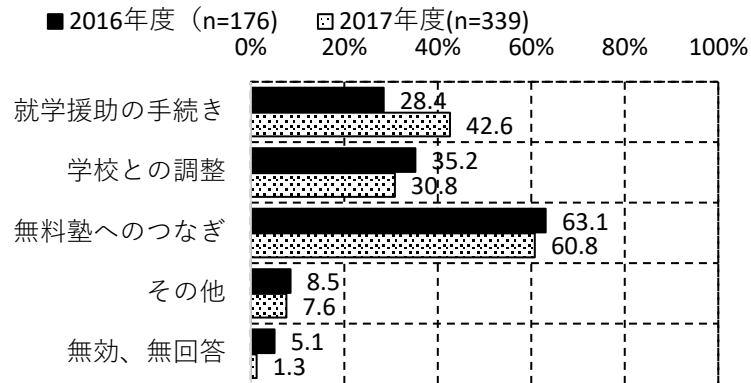


図 197. 2016 年度と 2017 年度の教育支援

教育支援をみると、2016 年度では、「就学援助の手続き」が 28.4%、「学校との調整」が 35.2%、「無料塾へのつなぎ」が 63.1%、「その他」が 8.5%、「無効、無回答」が 5.1%となっている。2017 年度では、「就学援助の手続き」が 42.6%、「学校との調整」が 30.8%、「無料塾へのつなぎ」が 60.8%、「その他」が 7.6%、「無効、無回答」が 1.3%となっている。このことから、2016 年度と比較すると、2017 年度の「就学援助の手続き」の割合が 14.2 ポイント高くなっている。「無料塾へのつなぎ」が高い点は両調査で共通している。

就労支援

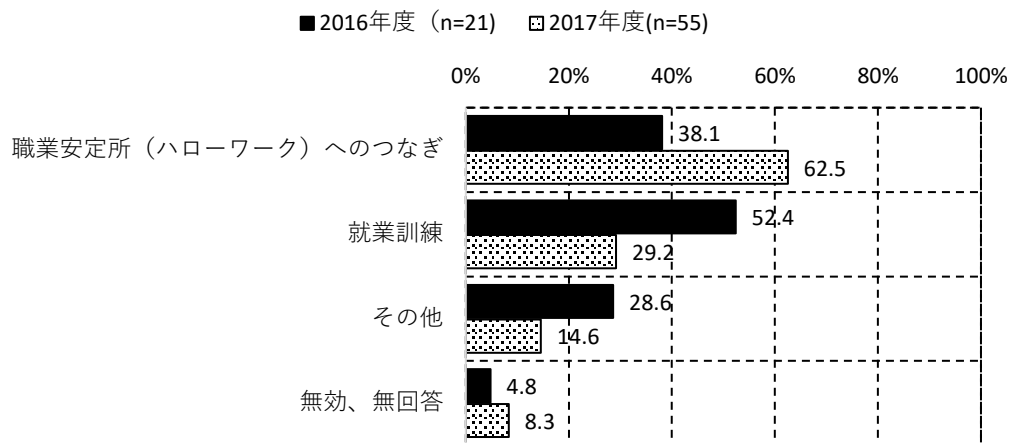


図 198. 2016 年度と 2017 年度の就労支援

就労支援をみると、2016 年度では、「職業安定所（ハローワーク）へのつなぎ」が 38.1%、「就業訓練」が 52.4%、「その他」が 28.6%、「無効、無回答」が 4.8%となっている。2017 年度では、「職業安定所（ハローワーク）へのつなぎ」が 62.5%、「就業訓練」が 29.2%、「その他」が 14.6%、「無効、無回答」が 8.3%となっている。このことから、2016 年度と比較すると、2017 年度の「職業安定所（ハローワーク）へのつなぎ」の割合が 24.4 ポイント高くなり、「就業訓練」の割合が 23.2 ポイント低くなっており、2017 年度調査の特徴であるかもしれない。

金銭に関する支援

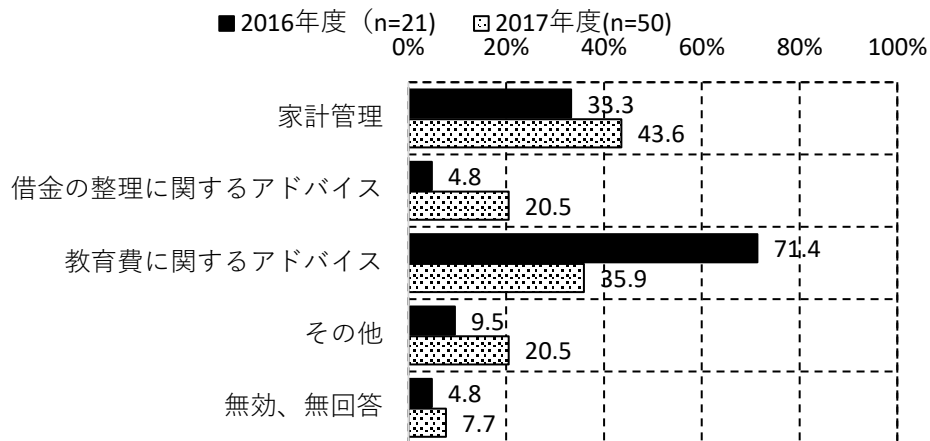


図 199. 2016 年度と 2017 年度の金銭に関する支援

金銭に関する支援をみると、2016 年度では、「家計管理」が 33.3%、「借金の整理に関するアドバイス」が 4.8%、「教育費に関するアドバイス」が 71.4%、「その他」が 9.5%、「無効、無回答」が 4.8%となっている。2017 年度では、「家計管理」が 43.6%、「借金の整理に関するアドバイス」が 20.5%、「教育費に関するアドバイス」が 35.9%、「その他」が 20.5%、「無効、無回答」が 7.7%となっている。

このことから、2016 年度と比較すると、2017 年度の「家計管理」の割合が 10.3 ポイント、「借金の整理に関するアドバイス」の割合が 15.7 ポイント高くなっている。「教育費に関するアドバイス」の割合が 35.5 ポイント低くなっている。教育費のに関するアドバイスが高い点は、2017 年度調査の特徴であるかもしれない。

住まいに関する支援

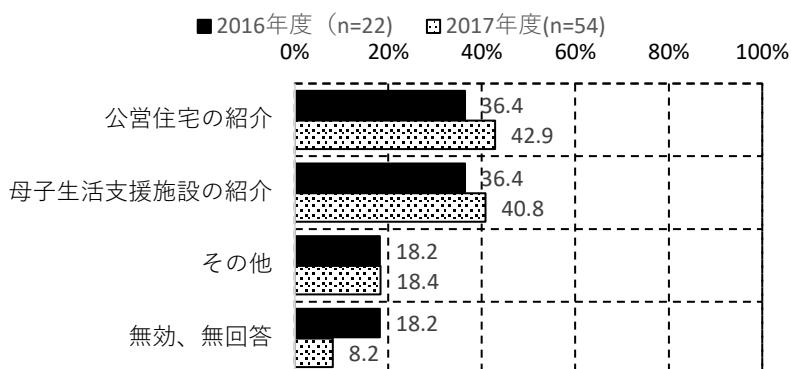


図 200. 2016 年度と 2017 年度の住まいに関する支援

住まいに関する支援をみると、2016 年度では、「公営住宅の紹介」が 36.4%、「母子生活支援施設の紹介」が 36.4%、「その他」が 18.2%、「無効、無回答」が 18.2%となっている。2017 年度では、「公営住宅の紹介」が 42.9%、「母子生活支援施設の紹介」が 40.8%、「その他」が 18.4%、「無効、無回答」が 8.2%となっている。このことから、2016 年度と比較すると、2017 年度の「公営住宅の紹介」の割合が 6.5 ポイント高くなっているものの、大きく異なる項目は見られない。

今後支援員からどの分野のサポートを受けたいか

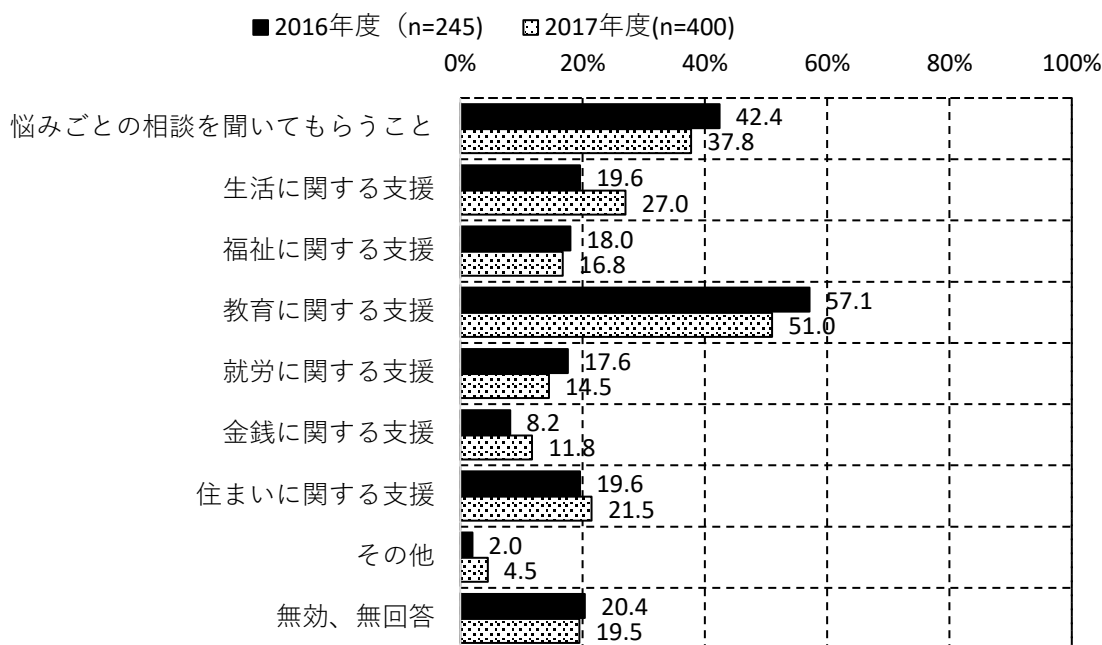


図 201. 2016 年度と 2017 年度における「今後支援員からどの分野のサポートを受けたいか」

今後支援員からその分野のサポートを受けたいかをみると、2016 年度では、「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」が 42.4%、「生活に関する支援」が 19.6%、「福祉に関する支援」が 18.0%、「教育に関する支援」が 57.1%、「就労に関する支援」が 17.6%、「金銭に関する支援」が 8.2%、「住まいに関する支援」が 19.6%、「その他」が 2.0%、「無回答」が 20.4%となっている。2017 年度では、「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」が 37.8%、「生活に関する支援」が 27.0%、「福祉に関する支援」が 16.8%、「教育に関する支援」が 51.0%、「就労に関する支援」が 14.5%、「金銭に関する支援」が 11.8%、「住まいに関する支援」が 21.5%、「その他」が 4.5%、「無回答」が 19.5%となっている。

このことから、2016 年度と比較すると、2017 年度の「生活に関する支援」の割合が 7.4 ポイント高くなっている。しかしながら、教育に関する支援と悩みごとの相談が高い点は、両調査に共通の傾向である。

Ⅲ 考察

1. 居場所に関する分析結果のまとめ

1) 居場所に来る子どもの特徴

子どもの回答人数

はじめに、居場所に来る子どもの特徴についてまとめる。本調査の回答者は1745名であり、その内訳は、「小学生低学年」が326名、「小学生中学年」が408名、「小学生高学年」が394名、「中学生」が470名、「高校生」が35名、「無回答」が112名である。2016年度に実施した沖縄調査（以下、2016年度調査）と比較すると、居場所が増えたことから、回答者は700名も増加し、特に小学校低学年（61名→326名）と中学生（272名→470名）において顕著である。

居場所に対する評価

2016年度調査と比較すると、居場所に来て「良かったと思う」は、6.4ポイント増え、「良かったと思う」「どちらかと言えば来て良かったと思う」の合計は88.1%と、2016年度と同程度であった。居場所への肯定的な評価が2年間にわたり得られていることがわかる。さらに、昨年度と比べ、居場所に来て「新しい友だちができた」の割合が約12ポイント増えている。居場所への新規参加者を含め、他の校区や様々な年代の子ども同士の交流が活発化したことがうかがえる。

居場所に来る理由

居場所に来る理由は、小学生では「友だちと遊ぶため」、中学生、高校生では「勉強するため」が多かった。高校生では「その他」という回答も多く、他の子どもに「勉強を教えるため」であったり、「仕事」「ボランティア」も兼ねて利用したりしている高校生が現れている。「その他」と回答した高校生について、「居場所の良いところ」に関する自由記述をみると、「いい大人がたくさんいる」「小さい子とかいろんな子に出会うから」のように多様な大人や子どもなど人との交流の場として機能している。また、全学年の子どもに共通することであるが、居場所では「バスケができる」「遊び道具がある／借りられる」といった回答が多く、十分家庭で用意できないことが可能になる家庭の補完機能をなしているといえよう。

居場所に来る子どもの世帯構成

居場所に来る子どもの世帯構成を見ると、ふたり親家庭が6割弱、母子家庭が3割強である。学年別では、中学生において母子家庭の割合が5割弱であり、他の校種区分における母子家庭の割合と比べ最も多くなっている。また、居場所の高頻度利用者（1週間に3回以上）の3割が母子家庭である。一定本事業が役割を果たしているにとらえられる。さらにいうと、子どもの貧困対策であることや沖縄県の母子世帯の割合が高いことを考慮するとこの割合が増えるように働きかけも必要であろう。

放課後過ごす場所

本調査では、沖縄県において、自分の家で過ごす子どもは約60%、地域の居場所については小学校で20%弱、中学生、高校生で10%弱であった。この割合は先行自治体に比べると、高い方であり、居場所を多く配置した効果といえよう。

経済状況

本調査において等価可処分所得など収入面を聞いていないため、経済面については、子どもが持っているもの、使うことができるものから推し量る。沖縄の数値をどう判断していいかわかりにくいため、参考までに2016年調査における大阪府の小学校5年生のデータと、本調査における沖縄県の小学校高学年を比較する。子どもたちが持っているもの、使うことができるものの割合は、大阪府よりも沖縄県で全体的に低かった。大阪府に比して20ポイント以上の差がみられたものをあげていくと、自転車が44.1ポイント（大阪府92.3%、沖縄県48.2%）、習いごとなどの道具が34.2ポイント（大阪府62.1%、沖縄県27.9%）、子ども部屋が26ポイント（大阪府70.7%、沖縄県44.4%）、ゲーム機が20ポイント（大阪府84.2%、沖縄県64.2%）となっている。

また、大阪府の中学2年生のデータと沖縄県の中学生を比較すると、自転車が54.6ポイント（大阪府92.3%、沖縄県37.7%）、子ども部屋が31.5ポイント（大阪府77.5%、沖縄県46.0%）、習いごとの道具が24.0ポイント（大阪府43.6%、沖縄県19.6%）、運動用具が23.6ポイント（大阪府73.8%、沖縄県50.2%）、ゲーム機が23.6ポイント（大阪府80.0%、沖縄県56.4%）となっており、小学生高学年と同様の項目で大きな差がみられた。

それぞれの地域の文化の違い、生活様式の違いがあるかもしれないが、冒頭定義を示した①所得や資産など経済的資本（capital）の欠如、つまり物質的な欠如が明らかであるといえる。特に、習いごとの道具や運動用具などの剥奪状況は、子どもたちが得られる経験・機会を失わせる可能性がある。

2) 子どもの変化について

◆学年別に見た変化

ここでは、生活環境、教育環境、社会環境について、「居場所に来る前」と「現在」（厳密には、現在ではなく回答当時）との変化について校種別に見ていく。

生活環境

生活環境については以下の通りである。食事の頻度は変わらなかった。高校生では、就寝時間が早まり（「午後11時台」が8.9ポイント増加し、「午前1時より後」が8.9ポイント減少）、睡眠時間が増加した（6時間未満が8.8ポイント減少し、6時間台が8.8ポイント増加し、7時間台が5.8ポイント増加）。健康状態は、来る前より現在の方が「良い」と答えた割合が多少増加している（小学生低学年は3.3ポイント増、小学生高学年は5.8ポイント増、高校生は8.8ポイント増）。これらのことから、生活環境については、部分的に、多少ではあるが改善されていると思われる。

教育環境

教育環境について、特徴的な変化がみられたものは、学校のある日の勉強時間である。例えば、中学生では「まったくしない」が18.3ポイント減り、「3時間以上」が10.1ポイント、「2時間以上、3時間より少ない」が16.8ポイント増えている。高校生では、「全くしない」が23ポイント減少し、「1時間以上、2時間より少ない」が12.4ポイント増加している。読書時間は、全群において「まったくしない」の割合が減少している。さらに、学習理解度について、学校の勉強が「よくわかる」が小学生中学年12.2ポイント、小学生高学年8.8ポイント、「だいたいわかる」が中学生13.0ポイント、高校生15.2ポイントがそれぞれ増え、居場所に来る前より現在の方が学校の勉強を理解できているという意識変化の傾向がみられる。こうした学習時間・読書時間の増加は、学習理解度の向上は、居場所に来ることの成果

と言えよう。

希望する進学先については、どの学年の子どもたちも、大学進学を希望する割合が増加している。特に高校生で 15.1 ポイント増加している。登校や遅刻の頻度は、多少改善されてはいるものの、大きな差は見られなかった。

社会環境

子どもたちを取り巻く存在、特に対人関係については、居場所に来る前と現在で大きな変化が見られる。例えば、「失敗したときに助けてくれる人」「頑張ったときにほめてくれる人」「一人でできないときに手伝ってくれる人」「悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人」それぞれについて、「たくさんいる」と答えた子どもの割合は、どの学年においても増加している。居場所に来ることにより、子どもたちは、自分たちを勇気づけ支えてくれる存在に出会う機会が増えていることがうかがえる。

さらに、子どもたちの自己効力感について、居場所に来る前より現在の方が、「自分に自信がある」が、小学生中学年では 10.8 ポイント、小学生高学年では 10.0 ポイント、高校生では 11.8 ポイント増加し、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」が高校生では 11.8 ポイント増加、「将来のためにも今頑張りたいと思う」が中学生では 14.2 ポイント、高校生では 11.7 ポイント増加している。居場所に来ることにより、子どもたちの自己効力感に高まる効果が生じている可能性が指摘できる。

◆居場所利用頻度別に見た変化

世帯構成

これまで、子どもたちの変化について、学年別を中心に整理してきたが、ここからは、利用頻度別に特徴的な変化を見ていくこととする。まず、1 週間におおむね 3 回以上利用するという高頻度利用者の 3 割は母子家庭である。全体に占めるふたり親家庭の割合は、利用頻度が低下するにつれて増加し、1 か月に 1~2 回よりも少ないという低頻度利用者の 7 割はふたり親家庭である。ふたり親世帯や母子家庭以外の家庭（父子家庭や祖父母のみ、その他）は、人数が少なく傾向が見えづらいことから、分析は今後の課題としたい。

生活環境

朝食の頻度をみると、居場所を低頻度で利用する者（1 か月に 1~2 回よりも少ない）の方が、高頻度利用者より朝食を食べない割合が高い。世帯構成別に朝食の頻度をみると、ふたり親家庭に比べて母子家庭の方が、毎日またはほとんど毎日朝食を食べる割合は約 10 ポイント低くなっている。

夕食の頻度については、居場所に来る前と現在の変化を見ると、母子家庭において夕食を毎日またはほとんど毎日食べる頻度が 2.1 ポイント高くなっているものの、大きな差は見られない。

教育環境

登校頻度において注目すべき点は、居場所の高頻度利用者群（「1 週間におおむね 3 回以上」「1 週間におおむね 1~2 回」）において週に 3~4 回登校する割合が高くなっていることである。世帯構成別では、ふたり親家庭に比べて母子家庭の方が、毎日登校する割合が約 5 ポイント低くなっている。ただし、母子家庭における居場所に来る前と現在の変化をみると、毎日登校する割合は 2.4 ポイント高くなっている。

学校への遅刻をみると、全体として「遅刻しない」割合が 6 割を超えている。居場所に来る前と現在

との変化を見ると、居場所の利用頻度が「1週間におおむね3回以上」「1週間におおむね1~2回」「1カ月に1~2回程度」における「遅刻はしない」の割合は約3~4ポイント増加している。世帯構成別に遅刻の頻度を見ると、ふたり親家庭に比べて母子家庭の方が「週に2~3回」遅刻する割合が3ポイント程度高い。来る前と現在の比較を見ると、どちらの家庭も「遅刻はしない」が3ポイント以上高くなり、多少改善している様子がみられる。

学習について、居場所の利用頻度別に、居場所に来る前と現在との差が見られた。例えば、学校がある日の授業時間以外での勉強時間について、来る前と現在の変化を見ると、1週間におおむね3回以上の利用や1週間におおむね1~2回の利用群において、「まったくしない」と回答した人の割合が低下している。一方、1カ月に数回利用といった低頻度利用者では、こうした傾向は顕著ではない。利用頻度の高さと学習の習慣づけの間に関連が見られる。本結果は相関関係であり因果関係ではないため、居場所に頻繁に来ることで学習の習慣がついているのか、それとも、学習の習慣が定着してきたために居場所に来る頻度が増加したのかについては、今後、聞き取り等を含めたさらなる調査が必要であるが、仮に、居場所に頻繁に来ることで学習の習慣がついているということであれば、居場所の一つの成果であると言えるだろう。

居場所の利用頻度別に、学校の勉強についての気持ちを見たところ、全体として「よくわかる」「だいたいわかる」という回答が多い。さらに、来る前と現在との変化を見ると、1週間におおむね3回以上、1週間におおむね1~2回といった1週間に数回利用する群では、来る前より現在の方が、「よくわかる」と回答する割合が高くなっている。1カ月に1~2回程度の群においても同様の傾向がみられる。こうした変化は、1カ月に1~2回よりも少ない利用の場合は見られない。ここにも、程度の差はあれ、居場所の利用頻度と学習との関連がうかがえる。

居場所利用頻度別に希望する進学先における来る前と現在との変化を見ると、1週間におおむね3回以上の利用群において、高校までの希望は6.8ポイント減り、専門学校は5.6ポイント、大学は7.6ポイント増えている。大学への進学希望の増加は、高頻度利用者（1週間に3回、もしくは1週間に1~2回）において顕著である。世帯構成別に希望する進学先を見ると、全体として、「高校」の割合が減り、「専門学校」「大学」の割合が増えている。特に、母子家庭の方が、こうした変化は顕著である。また、母子家庭の「決めていない・わからない」は来る前に比べ現在の方が約6.3ポイント低くなっている。

社会環境

子どもたちの人間関係について居場所の利用頻度別に見ると、「何かに失敗したときにたすけてくれる人」「悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人」が「まったくいない」と回答する割合は、1週間に数回利用の群の方が、1カ月に数回利用の群より低い。居場所に来る前と現在との変化については、「一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人」が「たくさんいる」「あるていどいる」と回答する割合が増加しており、増加傾向は、1週間に数回利用する群の方が、1カ月に数回利用する群より顕著であった。居場所の利用頻度と人間関係との関連がうかがえる。

他方、「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「大人を信用できる」「自分の将来の夢や目標を持っている」といった自己効力感については、居場所の利用頻度との関連は見られなかった。居場所を利用することで自己効力感があがるとは言い切れない。さらには、居場所に来る頻度だけではなく、居場所に来てからの期間も分析する必要があるかもしれない。

最後に、「将来のためにも今頑張りたいと思う」「将来働きたいと思う」といった将来展望に関する

変化は、「1週間におおむね3回以上」の利用者において、「そう思う」と回答した割合が多少ではあるが増加している。自由記述の回答を踏まえると、居場所に来て、勉強する機会や他者との交流が増えたことで、勉強に対する自信が芽生えたり、将来のロールモデルと出会ったりすることが考えられる。利用頻度別では、「1週間におおむね3回以上」通う子どもたちの8割が「来て良かったと思う」と答えており、利用頻度が高くなるにつれ「来てよかった」と回答する割合が高くなっている。

居場所に来てよかったと思わない子どもの特徴

「来て良かったと思わない」と回答した子どもは、小学生（低学年）は、20.5%、小学生（中学年）は25.6%、小学生（高学年）は28.2%、中学生は25.6%となっている。高校生では、「どちらかといえば来て良かったと思わない」・「来て良かったと思わない」と回答した人はいない。また性別で見ると、「来て良かったと思わない」回答は、男性の方が女性より約20ポイント高くなっている。

また「来て良かったと思わない」子どもは、毎日学校へ登校する頻度が、肯定的な評価をする群よりも10ポイントほど低い。また、毎日またはほとんど毎日遅刻すると回答の割合においても、「来て良かったと思わない」子どもは24.4%と、他の群よりも10ポイント以上高くなっている。

学習については、居場所に「来て良かったと思わない」と回答する子どもは、学習時間が30分未満の割合が多く、「30分より少ない」「まったくしない」と合わせると46.5%になる。

感動体験についてみると、居場所に「来て良かったと思う」人ほど、「いままでの人生、心から感動したことがある」という項目に「あてはまる」と回答する傾向にある。一方、居場所に「来て良かったと思わない」子どもは、心から感動したことに対する否定的回答（「ややあてはまらない」・「あてはまらない」）は51.2%と高い。また、居場所に「来て良かったと思わない」子どもは、夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある」に対する否定的な回答（「ややあてはまらない」・「あてはまらない」）は、65.1%となっている。自己効力感においても、居場所に対して肯定的な回答群より6ポイント低くなっている。

2. 支援員に関する分析結果のまとめ

1) 支援員制度を利用する保護者の特徴

保護者の回答人数

保護者について、回答者の有効サンプル400名の内訳を見ると、続柄では「お母さん」が343名と最も多く、「お父さん」が29名、「おばあさん・おじいさん」が14名、「おじ、おばなど親戚」が3名、「その他の人」が1名、「無回答」が10名となっている。保護者の年代は、30代と40代で7割以上である。子どもの人数は、2人または3人が全体の半数を占める。世帯構成は、両親ともにいる世帯は3割、母子家庭は5割である。ひとり親家庭は、全体の約6割である。回答者の人数は、昨年度の245名から400名と増えている。回答者の属性の傾向は、大きな違いは見られない。

経済状況

本調査では、家庭の経済状況を把握するために、2016年度の世帯の年間収入に関する質問項目を設けた。本調査の回答者の傾向をとらえるために、2015年に実施された「沖縄子ども調査」²と比較したい

² 沖縄子ども調査「調査結果概要版」

<http://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/kodomomirai/documents/okinawakodomotyousagaiyouban.pdf>

(表1参照)。「沖縄子ども調査」(2015)の結果は、沖縄県に居住する小学5年生と中学2年生の保護者(1168人)の回答である。

表1：沖縄子ども調査と本調査の世帯年収の分布(%)

	200万円未満	200万円～ 300万円未満	300万円～ 400万円未満	400万円～ 700万円未満	700万以上	わからない・無回答
沖縄子ども調査(2015)	18.9	20.1	14.8	28.5	9.4	8.2
本調査	54.3	17.8	4.3	3.8	0.3	19.8

表1の分布をみると、世帯年収200万円未満は、沖縄子ども調査では18.9%と2割を切っているが、本調査では54.3%と半数を超えている。また年収400万円～700万円未満の世帯をみると、沖縄子ども調査は28.5%であるが、本調査は3.8%となっており経済的に厳しい状況に置かれている回答者が多いことがわかる。

また沖縄県の母子世帯の平均年間収入259万円³である。本調査における母子世帯で年間収入が250万円未満の割合は75.3%となっている。また回答人数は少ないが、年間の世帯収入が50万円未満という世帯が8.8%(400名中35名)いることも注視する必要があるだろう。就労状況は、非常勤での勤めが約4割であり、求職中や仕事をさがしていないというケースが2割となっている。

子どもへの経済的な理由による経験

子どもへの経済的な理由による経験は、「家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかった」が52.8%、「習いごとに通わすことができなかった」が45.8%、「学習塾に通わすことができなかった」が44.5%、「おこづかいを渡すことができなかった」が35.3%、「新しい服や靴を買うことができなかった」が30.5%の順に高くなっている。なお、「1～14の項目には、どれにもあてはまらない」が16.5%、「無回答」が7.3%である。

2016年度に実施された大阪府の調査との比較を試みる。2016年度の大阪府調査は、小学5年生と中学2年生の回答者からなり、沖縄県における本調査とは異なるものである。しかしながら、異なる調査ではあっても比較により示唆される点もあると思われる。なお、ここで比較しようとしている子どもへの経済的な理由による経験についての設問は、質問文と選択肢が2つの調査で共通している。

さて、大阪府調査について上位の項目を列挙すると、14項目のうち、「1～14の項目には、どれにもあてはまらない」が55.6%と最も高く、「家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかった」は19.2%、「習いごとに通わすことができなかった」および「学習塾に通わすことができなかった」がそれぞれ11.4%である。「無回答」は15.2%である。

沖縄県(本調査)と大阪府の結果から、以下の2点が示唆される。1つ目に、沖縄県では、子どもへの経済的な理由による経験をしたことのない回答者の割合は、大阪府の3分の1しかない(沖縄16.5%、大阪55.6%)。言い換えれば、沖縄県では、子どもへの経済的な理由による断念する経験をした回答者が多いということである。こうした経験の割合は沖縄と大阪で異なるが、2つ目に、経済的な経験として上位にあげられている項目は、家族旅行、習い事、学習塾への通塾であった。これは、沖縄と大阪で共通している。今後、他地域においても同様の傾向が示されれば、世帯の経済状況の悪化により、子ども

³ 内閣府「沖縄の子供達を取り巻く現状」<http://www8.cao.go.jp/okinawa/3/kodomo-hinkon/shiryuu/kodomo-genjou.pdf>

が特に断念せざるを得ない項目が、地域によらず共通していることが言える。

2) 支援員に関すること

支援員によるサポート

保護者から見て、支援員によるサポートのうち役に立ったものとして多くあげられているのは、教育に関する支援や悩みごとの相談を聞いてもらうことである。一方、保護者から見て、今後受けたいサポートについては、悩み事の相談に関することとして「子どもの居場所や子ども食堂へのつなぎ」、福祉支援に関することとして「福祉事務所など、福祉関係機関へのつなぎ」、教育支援に関することとして「無料塾へのつなぎ」、就労支援に関することとして「職業安定所（ハローワーク）へのつなぎ」、金銭支援に関することとして「家計管理」、住まい支援に関することとして「公営住宅の紹介」が、それぞれ最も多い。

2016年度の沖縄調査と本調査を比較してみる。本調査では、「教育費に関するアドバイス」が35.5ポイント、「就業訓練」が23.2ポイント、「子育てや育児に関するアドバイス」が14.9ポイント低い。一方、「子ども食堂へのつなぎ」が45.8ポイント、「職業安定所（ハローワーク）へのつなぎ」が24.4ポイント、「借金の整理に関するアドバイス」が15.7ポイント、「就学援助の手続き」が14.2ポイント、「家計管理」が10.3ポイント、「公営住宅の紹介」が6.5ポイント高い結果であった。

支援員に会った回数

支援員に会った回数は、おおむね10回以上が3割と最も多い。2016年度と比較すると本調査は、「おおむね10回以上」の割合が11.5ポイント高い。2つの調査は異なる調査であるため単純に比較はできない上、前回の調査から今回の調査の間に会った回数分増加している可能性もあるだろう。「支援員と会って良かった」について「そう思う」「どちらかというと思う」と答える割合は、前回より4ポイント減少しているが、誤差の範囲内であるかもしれない。今年度の調査では、支援員に会った回数が増加するほど、「そう思う」という回答の割合が増加している。何度も会うことで信頼関係が形成されていったのか、それとも、支援員との相性が良かったから何度も会っているのかについては、今回の結果からだけではわからない。

3) 支援員に会う前と現在の変化

子どもとの関わり

保護者による、子どもとの関わり方に改善が見られた。例えば、支援員に会う前と比して、現在の方が、「子どもと会話する」が9.5ポイント、「子どもと十分時間を過ごす」が5.5ポイント、「子どもの将来の夢について話し合う」が8ポイント、「子どもを信頼している」が6.5ポイント高くなり、子どもとの関わりを「よくする」回答の割合が増加している。

一方、子育ての悩みは改善されている。例えば、「つつい子どもにあたってしまう」が10ポイント、「子どもを育てるために我慢している」が6ポイント、「自分一人で育てているという圧迫感を感じる」が9ポイント減少している。

子どもに受けさせたい教育段階

子どもに受けさせたい教育段階については、支援員に会う前より現在では、専門学校までで5.8ポイント、大学までで7.3ポイントと増加している。しかし、全体的な傾向を言えば、支援員に会ったかど

うかに関係なく、高校までは教育を受けさせたいが、それ以降の専門学校や大学については、経済的に受けさせられないという意向が強い。

対人関係

社会環境に関することとして、支援員に会う前より現在では、対人関係が変化している。例えば、心配ごとや悩み事を親身になって聞いてくれる人が「いる」割合は14.2ポイント増加した。同様に、あなたの気持ちを察して思いやってくれる人が「いる」割合は11.2ポイント増加した。子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人が「いる」割合は16.0ポイント増加した。子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人が「いる」割合は21.0ポイント増加した。

◆支援員に会った回数別による変化

保護者と子どもとのネガティブな関係の改善

保護者が支援員に会う頻度と、保護者と子どもとの関係の変化について見ることにする。子育てに対するネガティブな感情は、支援員に会う前と比べて改善される傾向にある。例えば、「ついつい子どもにあたる」（支援員と合った回数が「おおむね6～9回」では13.7ポイント、「おおむね10回以上」では13.6ポイントの差）、「一人で育てているという圧迫感を感じる」（「おおむね6～9回」では10.0ポイント、「おおむね10回以上」では18.1ポイントの差）といった項目にあてはまる回答者の割合が減少している。

保護者と子どもとのポジティブな関係の向上

子育てに対するポジティブな感情は、支援員に会う前と比べて向上が見られる。例えば、「子どもと会話する」（「おおむね6～9回」では13.9ポイント、「おおむね10回以上」では10.1ポイントの差）、「十分に子どもと過ごす」（「おおむね10回以上」では9.2ポイントの差）、「絵本の感想を話し合う」（「おおむね10回以上」では11.2ポイントの差）、「将来の夢について話し合う」（「おおむね6～9回」では11.3ポイント、「おおむね10回以上」では11.9ポイントの差）、「お子さんを信頼している」（「おおむね10回以上」では9.3ポイントの差）といった項目に改善がみられる。

対人関係

保護者のソーシャルサポートとしての対人関係に変化が見られる。例えば、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」（「おおむね6～9回」では22.7ポイント、「おおむね10回以上」では23.7ポイントの増加）、「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」（「おおむね6～9回」では13.2ポイント、「おおむね10回以上」では19.3ポイントの増加）、「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」（「おおむね6～9回」では11.5ポイント、「おおむね10回以上」では7.2ポイントの増加）、「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」（「おおむね6～9回」では22.6ポイント、「おおむね10回以上」では22.0ポイントの増加）、「子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人」（「おおむね6～9回」では26.9ポイント、「おおむね10回以上」では30.7ポイントの増加）、「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」（「おおむね6～9回」では5.7ポイント、「おおむね10回以上」では9.8ポイントの増加）といった結果のように、支援員に会う前よりも現在の方がすべて高くなっており、保護者の対人関係が豊かになったことが示唆される。

3. 総合考察

今回の事業評価調査から、居場所は子どもの貧困対策として一定の効果が認められる。特に家庭では経験しにくい多様な体験ができること、対人関係や学習意欲にも一定効果が見られた。居場所の利用頻度によって理解度が高まると認識していること、また進路希望が高まることがわかったが、食事や不登校については明確に関連が見られなかった。今後、居場所を増やし質的に何が効果的なのか、内容の充実を図りながら、子どもの変化をもっと追っていく必要があるであろう。

母親も支援員から支援を受けたことで支えられた思いを持ち、精神的に子どもとのネガティブな接触が減っていくこと、子どもと接触を増やそうとなっていたり、質的にもポジティブな接触になっていた。そして、母親は、支援頻度が高まるほど変化がもたらされている。どのように子どもと接したらいいか簡単なアドバイスをもらって立ち直れる人も多いことがうかがえる。ただし、母親が変わることで子どもに直接的な影響を与えられているかどうかについては調査票が紐づけられていないためにはっきりしたことはわからない。

今後の政策的課題として、就学援助率の高い校区における居場所の設置が求められる。特に小学生は校区から1人で出てはいけないという指導になっている。そのなかで居場所が自身の校区になればいくら貧困対策であってもそもそもその場所に出向くことができない。これは子どもの貧困対策として大きな課題である。行政責任として、就学援助率の高い地域への居場所を早急に対処すべきである。

また事業評価の課題として、支援員の親への効果は明らかになったが、支援を受けた親の変化が子どもに与える影響についての効果が見えない。今後、親子のデータを紐づけし、支援員の支援によって子どもが落ち着いたり、学習意欲が高まったりするなど間接的効果を測ることが必要である。また支援を受けていない子どもと受けた子どもとの客観的比較が必要である。つまり今回は調査の制限もあり、居場所や支援員の支援を受けた子どもや家庭と受けていない子どもや家庭の比較、受ける前後の比較ができなかった。客観的に評価を行うためにはこの4方面の調査が必要である。また子どもと親が紐づいていないので経済的情報が子どもから見いだせない。本当に貧困対策としてマッチしているのか、どのような支援を行えば解決に向かうのかストレートには見えない。以上、今後の課題である。

図 1. 学校区分.....	4
図 2. 学年別.....	4
図 3. 性別.....	5
図 4. 世帯構成.....	6
図 5. 放課後過ごす場所.....	7
図 6. 持っているもの、使うことができるもの.....	9
図 7. 居場所に来る回数.....	11
図 8. 居場所に来てから友達ができただか.....	12
図 9. 居場所の友だち（どういう友達か）.....	13
図 10. 居場所に来る理由.....	14
図 11. 居場所に来てよかったか.....	15
図 12. 起床時間の規則性.....	16
図 13. 就寝時間.....	17
図 14. 睡眠時間.....	18
図 15. 朝食の頻度.....	19
図 16. 夕食の頻度.....	20
図 17. 健康状態.....	21
図 18. 登校頻度.....	22
図 19. 学校への遅刻.....	23
図 20. 授業以外の勉強時間.....	24
図 21. 授業以外の読書時間.....	25
図 22. 学校の勉強で気持ちに近いもの.....	26
図 23. 希望する進学先.....	27
図 24. 放課後だれと過ごすか（居場所に来る前）.....	28
図 25. 放課後だれと過ごすか（現在）.....	29
図 26. 失敗したときに助けてくれる人.....	30
図 27. 頑張ったときにほめてくれる人.....	31
図 28. 一人でできないときに手伝ってくれる人.....	32
図 29. 悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人.....	33
図 30. いままでの人生で、心から感動したことがある.....	34
図 31. 夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある.....	35
図 32. 小さい子やお年寄りがこまっているとき手助けをする.....	36
図 33. お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する.....	37
図 34. 自分に自信がある.....	38
図 35. 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる.....	39
図 36. 大人を信用できる.....	40
図 37. 自分の将来の夢や目標を持っている.....	41
図 38. 将来のためにも今頑張りたいと思う.....	42
図 39. 将来働きたいと思う.....	43

図 40. 子どもの自己効力感	44
図 41. 居場所利用頻度別に見た、子どもの学年	45
図 42. 居場所利用頻度別に見た、世帯構成	46
図 43. 居場所利用頻度別に見た、居場所に来た感想	47
図 44. 居場所利用頻度別に見た、朝食の頻度	48
図 45. 世帯構成別に見た、朝食の頻度	49
図 46. 居場所利用頻度別に見た、夕食の頻度	50
図 47. 世帯構成別に見た、夕食の頻度	51
図 48. 居場所利用頻度別に見た、登校頻度	52
図 49. 世帯構成別に見た、登校頻度	53
図 50. 居場所利用頻度別に見た、学校への遅刻	54
図 51. 世帯構成別に見た、学校への遅刻	55
図 52. 居場所利用頻度別に見た、学校がある日の授業時間以外での勉強時間	56
図 53. 世帯別に見た学習時間	57
図 54. 居場所利用頻度別に見た、学校の勉強についての気持ち	58
図 55. 世帯構成別に見た、学校の勉強についての気持ち	59
図 56. 居場所利用頻度別に見た、希望する進学先	60
図 57. 世帯構成別に見た、希望する進学先	61
図 58. 居場所利用頻度別に見た、何かに失敗したときにたすけてくれる人	62
図 59. 居場所利用頻度別に見た、勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人	63
図 60. 居場所利用頻度別に見た、一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人	64
図 61. 居場所利用頻度別に見た、悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人	65
図 62. 居場所利用頻度別に見た、自分に自信がある	66
図 63. 居場所利用頻度別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	67
図 64. 居場所利用頻度別に見た、大人を信用できる	68
図 65. 居場所利用頻度別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている	69
図 66. 居場所利用頻度別に見た、将来のためにも今頑張りたいと思う	70
図 67. 居場所利用頻度別に見た、将来働きたいと思う	71
図 68. 居場所利用頻度別に見た、自己効力感	72
図 69. 居場所への感想と性別	73
図 70. 居場所への感想と学年	73
図 71. 居場所への感想と現在の学習時間	74
図 72. 居場所への感想と現在の学習時間	74
図 73. 居場所への感想と登校頻度	75
図 74. 居場所への感想と遅刻の頻度	75
図 75. 居場所への感想といままでの人生で、心から感動したことがある<現在>	76
図 76. 居場所への感想と夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある<現在>	76
図 77. 居場所への感想と夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている	

授業がある<現在>	77
図 78. 居場所への感想とお祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する<現在>	78
図 79. 居場所への感想とお祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する<現在>	78
図 80. 回答者の続柄	79
図 81. 回答者の性別	79
図 82. 回答者の年代	80
図 83. 回答者の子どもの人数	80
図 84. 回答者の子どもから見た、世帯構成	81
図 85. 世帯収入額	82
図 86. 就労状況	83
図 87. 子どもへの経済的な理由による経験	84
図 88. 児童手当	85
図 89. 就学援助費	85
図 90. 児童扶養手当	85
図 91. 障がいや難病の手当	86
図 92. 生活保護	86
図 93. 公的年金（老齢年金）	86
図 94. 公的年金（遺族年金、障がい年金）	87
図 95. 雇用保険（失業保険）	87
図 96. 養育費	87
図 97. 親・親族からの仕送り	88
図 98. 退職金	88
図 99. その他、株式配当などの副収入	88
図 100. 支援員に会った回数	89
図 101. 支援員に会って良かったか	89
図 102. 役に立ったサポート	90
図 103. 生活に関する支援	90
図 104. 福祉に関する支援	91
図 105. 教育に関する支援	91
図 106. 就労に関する支援	92
図 107. 金銭に関する支援	92
図 108. 住まいに関する支援	92
図 109. 子どもの食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況	93
図 110. 同じ時刻に起きる	94
図 111. 朝食を食べる	94
図 112. 健康状態	94
図 113. 授業時間以外にも勉強する	95
図 114. 授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気がでる	95
図 115. お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する	95
図 116. 勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人がいる	96

図 117. 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	96
図 118. 自分の将来の夢や目標を持っている	96
図 119. 子どもが放課後に過ごす場所の変化	97
図 120. 今後支援員から受けたサポート	98
図 121. 子どもと会話する	99
図 122. 子どもと十分時間を過ごす	99
図 123. 子どもと読んだ本の感想を話し合う	100
図 124. 子どもと一緒に図書館に行く	100
図 125. 子どもの将来の夢について話し合う	101
図 126. 子どもを信頼している	101
図 127. ついつい子どもにあたってしまう	102
図 128. 子どもを育てるために我慢している	102
図 129. 自分一人で育てているという圧迫感を感じる	103
図 130. 子どもの世話にはあまり関心がない	103
図 131. 子どもに受けさせたい教育段階	104
図 132. 健康状態	105
図 133. 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	106
図 134. あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	106
図 135. 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	107
図 136. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	107
図 137. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人	108
図 138. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	108
図 139. 留守を頼める人	109
図 140. 地域の行事に参加する	109
図 141. 子どもが通う学校の行事に参加する	110
図 142. 子どもを朝、学校に送り出す	110
図 143. 支援員に会った回数別に見た、回答者の続柄	111
図 144. 支援員に会った回数別に見た、回答者の年代	112
図 145. 支援員に会った回数別に見た、回答者の世帯構成	113
図 146. 支援員に会った回数別に見た、回答者の世帯収入	114
図 147. 支援員に会った回数別に見た、回答者の子どもへの経済的な理由による経験の該当数	115
図 148. 支援員に会った回数別に見た、役立ったサポートの個数	116
図 149. 支援員に会った回数別に見た、回答者の子どもが地域での食事提供や学習支援の利用状況	117
図 150. 支援員に会った回数別に見た、支援員への感想	118
図 151. 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（子どもと会話する）	119
図 152. 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（十分に子どもと過ごす）	120
図 153. 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（絵本の感想を話し合う）	121
図 154. 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（一緒に図書館に行く）	122
図 155. 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（将来の夢について話し合う）	123

図 156. 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（お子さんを信頼している） ...	124
図 157. 支援員に会った回数別に見た、子育てについて（つつい子どもにあたる）	125
図 158. 支援員に会った回数別に見た、子育てについて（育てるために我慢している）	126
図 159. 支援員に会った回数別に見た、子育てについて（一人で育てているという圧迫感を感じる）	127
図 160. 支援員に会った回数別に見た、子育てについて（子どもの世話にはあまり関心がない）	128
図 161. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人）	129
図 162. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（あなたの気持ちを察して思いやってくれる人）	130
図 163. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人）	131
図 164. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人）	132
図 165. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人）	133
図 166. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人）	134
図 167. 支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（留守を頼める人）	135
図 168. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（同じ時刻に起きる）	136
図 169. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（朝食を食べる）	137
図 170. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（健康状態）	138
図 171. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（授業時間以外にも勉強する）	139
図 172. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気がでる）	140
図 173. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する）	141
図 174. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人がいる）	142
図 175. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（自分の考えをはっきり相手に伝えることができる）	143
図 176. 支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（自分の将来の夢や目標を持っている）	144
図 177. 支援員に会った回数別に見た、子どもが放課後に過ごす場所の変化.....	145
図 178. 2016年度と2017年度における回答者の性別	147
図 179. 2016年度と2017年度の居場所に来る回数.....	148
図 180. 2016年度と2017年度における「居場所に来てから友達ができたか」	148
図 181. 2016年度と2017年度における「どういう友達ができたか」	149
図 182. 2016年度と2017年度の希望する進学先.....	150
図 183. 2016年度と2017年度の居場所に来た感想.....	150

図 184. 2016 年度と 2017 年度の回答者の性別	151
図 185. 2016 年度と 2017 年度における回答者の子どもの人数.....	151
図 186. 2016 年度と 2017 年度における回答者の年代	152
図 187. 2016 年度と 2017 年度の子育て：ついつい子どもにあたってしまう	153
図 188. 2016 年度と 2017 年度の子育て：子どもを育てるために我慢している	153
図 189. 2016 年度と 2017 年度の子育て：自分一人で育てているという圧迫感を感じる.....	154
図 190. 2016 年度と 2017 年度の子育て：子どもの世話にはあまり関心がない	154
図 191. 2016 年度と 2017 年度における支援員と会った回数.....	155
図 192. 2016 年度と 2017 年度における「支援員と会ってよかったか」	155
図 193. 2016 年度と 2017 年度における子どもの進路について.....	156
図 194. 2016 年度と 2017 年度における役に立ったサポート	158
図 195. 2016 年度と 2017 年度の生活支援.....	159
図 196. 2016 年度と 2017 年度の福祉支援.....	159
図 197. 2016 年度と 2017 年度の教育支援.....	160
図 198. 2016 年度と 2017 年度の就労支援.....	160
図 199. 2016 年度と 2017 年度の金銭に関する支援.....	161
図 200. 2016 年度と 2017 年度の住まいに関する支援	161
図 201. 2016 年度と 2017 年度における「今後支援員からどの分野のサポートを受けたいか」	162

IV 資料

アンケート調査票（居場所：子ども用）

この調査は、居場所の利用者のみなさんのふだんの生活の様子、将来についての考えや希望などをお聞きし、今後の居場所の改善に役立てることを目的としています。調査へのご協力をお願いします。

----- 回答にあたってのお願い -----

◆名前を書く必要はありません。結果については公表しますが、調査の集計は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

また、本調査の目的以外に使うことはありません。安心して記入して下さい。

◆テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。

答えたくない質問は答える必要はありません。また、回答の途中でやめることもできます。答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。

◆この調査に同意し、協力してくださる場合のみ、アンケートにご記入下さい。アンケートの記入をもって、この調査に同意していただいたものと判断させていただきます。

◆書き終えたら封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで閉じて、居場所のスタッフに渡してください。

提出期限：平成29年 12月 22日（金）

----- この調査の問合せ先 -----

◆調査への回答にあたってわからないことがありましたら、お問い合わせください。

沖縄県 子ども生活福祉部 子ども未来政策課（代表）

電話番号：098-866-2100

F A X 番号：098-868-2402

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟3階（南側）

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように答えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色 2. 黄色	3. 緑色 4. その他の色
----------------	-------------------

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などを書いてありますので、それにしてください。

あなたについておたずねします。

問1 あなたの性別について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 男	2. 女	3. わからない
------	------	----------

問2 あなたは何年生ですか。また、年齢はいくつですか。小・中・高のあてはまるものに○をつけ、カッコの中に数字をいれてください。

しょう 小	ちゅう 中	こう 高	()	ねんせい 年生	()	さい 歳
----------	----------	---------	-----	------------	-----	---------

問3 いっしょに暮らしている家族について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 両親ともにいる	4. 両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃん(両方又は一方)がいる
2. お母さんがいてお父さんがいない	5. その他
3. お父さんがいてお母さんがいない	()

問4 この居場所にどのくらい来ますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 1週間におおむね3回以上	3. 1か月に1~2回程度
2. 1週間におおむね1~2回	4. 1か月に1~2回よりも少ない

問5-1 この居場所いばしょに来てから、新しい友だちあたらしともができましたか。

(あてはまる番号ばんごう1 つに○をつけてください)

1. できた	2. できない
--------	---------

問5-2 「1. できた」と答えた人こたへひとに聞きます。どういう友だちともですか。

(あてはまる番号ばんごうすべてに○をつけてください)

1. 居場所 <small>いばしょ</small> に来る子 <small>こ</small>	2. 学校 <small>がっこう</small> の子 <small>こ</small>	3. その他 ()
--	---	------------

問6 この居場所いばしょへ来る理由くりゆうについて、あてはまる番号ばんごうすべてに○をつけてください。

<p>1. 勉強<small>べんきょう</small>するため</p> <p>2. ここ<small>こゝ</small>にいと安心<small>あんしん</small>できるため</p> <p>3. ごはん<small>ごはん</small>を食<small>た</small>べるため</p> <p>4. スタッフ<small>すたっふ</small>と話<small>はなし</small>をするため</p>	<p>5. 友だち<small>とも</small>と遊ぶ<small>あそ</small>ぶため</p> <p>6. 家<small>いえ</small>にいつらいたため</p> <p>7. 家<small>いえ</small>にだれもいないため</p> <p>8. その他 ()</p>
--	--

問7 あなたは、ふだんげつようび (月曜日～金曜日) の放課後ほうかご、どこで過すごしますか。

(あてはまる番号ばんごうすべてに○をつけてください)

<p>1. 自分<small>じぶん</small>の家<small>いえ</small></p> <p>2. おばあちゃん・おじいちゃん<small>いえ</small>の家</p> <p>3. ともだち<small>いえ</small>の家</p> <p>4. 塾<small>じゅく</small></p> <p>5. 習いごと</p> <p>6. 学校<small>がっこう</small> (クラブ活動<small>くらぶかつどう</small>など)</p> <p>7. 公園<small>こうえん</small>・広場<small>ひろば</small></p> <p>8. スーパー<small>すーぱー</small>やショッピングモール<small>しょoppingモール</small></p>	<p>9. コンビニエンスストア</p> <p>10. ゲームセンター</p> <p>11. 図書館<small>としょかん</small>や公民館<small>こうみんかん</small>など公共<small>こうきょう</small>の施設<small>しせつ</small></p> <p>12. 地域<small>ちいき</small>の居場所<small>いばしょ</small> (学習支援<small>がくしゅうしえん</small>の場<small>ば</small>や子<small>こ</small>ども食堂<small>しょくどう</small>など地域<small>ちいき</small>で同じ年<small>おなとし</small>ごろの子<small>こ</small>どもが集<small>あつ</small>まる場所)</p> <p>13. 学童保育<small>がくどうほいく</small> (※)</p> <p>14. その他</p>
--	--

※「学童保育」とは、「放課後こどもクラブ」、「放課後児童室」、「放課後児童クラブ」などで

問8 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<p>1. 本 <small>がっこう きょうかしょ まんが</small> (学校の教科書やマンガはのぞく)</p> <p>2. マンガ・雑誌 <small>まんが ざっし</small></p> <p>3. 子ども部屋 (ひとり部屋やきょうだい <small>こ べや ひとり べや</small> といっしょに使っている部屋など)</p> <p>4. インターネットにつながるパソコン <small>いんたーねっと つながる ぱそこん</small></p> <p>5. 運動用具 (ボール・ラケットなど) <small>うんどうようぐ ぼーる らけっと</small></p> <p>6. ゲーム機 <small>げーむき</small></p> <p>7. 自転車 <small>じてんしゃ</small></p> <p>8. テレビ <small>てれび</small></p> <p>9. けいたい電話 <small>でんわ</small></p>	<p>10. スマートフォン・タブレット機器 <small>すまーとふぉん たぶれっときき</small> (通話等アプリ (ライン) ツイッター、 <small>つうわとうあぷり らいん ついったー</small> フェイスブックなどできるもの) <small>ふえいすぶっく</small></p> <p>11. 化粧品・アクセサリー <small>けしょうひん あくせさりー</small></p> <p>12. 習いごとなどの道具 (ピアノなど) <small>なら じょうぎ どうぐ ぴあの</small></p> <p>13. 自分で選んだ服 <small>じぶん えら ふく</small></p> <p>14. キャラクターグッズ <small>きゃらくたーぐっず</small></p> <p>15. その他 <small>た</small></p> <p>16. あてはまるものはない</p>
--	--

問9 から問24 までは、<居場所に来る前>と<現在>のそれぞれについて、
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

<p><居場所に来る前> <small>いばしょ く まえ</small></p> <p>1. 赤色 <small>あかいろ</small></p> <p>2. 黄色 <small>きいろ</small></p> <p>3. 緑色 <small>みどりいろ</small></p> <p>4. その他の色 <small>た いろ</small></p>	<p><現在> <small>げんざい</small></p> <p>1. 赤色 <small>あかいろ</small></p> <p>2. 黄色 <small>きいろ</small></p> <p>3. 緑色 <small>みどりいろ</small></p> <p>4. その他の色 <small>た いろ</small></p>
---	---

がっこう いえ せいかつ へんか
あなたのふだんの学校や家での生活の変化についておたずねします。

とい 問9 あなたは、^{しゅう}週にどのくらい^{がっこう とうこう}学校に登校しますか。
 (あてはまる^{ばんごうひと}番号1つに○をつけてください)

<p>いばしょ く まえ <居場所に来る前></p> <p>まいにち 1. 毎日</p> <p>しゅう かい 2. 週に3~4回</p> <p>しゅう かい いていど 3. 週に1回程度</p> <p>い 4. ほとんど行かない</p> <p>まった い 5. 全く行かない</p>	<p>げんざい <現在></p> <p>まいにち 1. 毎日</p> <p>しゅう かい 2. 週に3~4回</p> <p>しゅう かい いていど 3. 週に1回程度</p> <p>い 4. ほとんど行かない</p> <p>まった い 5. 全く行かない</p>
---	---

とい 問10 あなたは、^{がっこう ちこく}学校に遅刻することがありますか。
 (あてはまる^{ばんごうひと}番号1つに○をつけてください)

<p>いばしょ く まえ <居場所に来る前></p> <p>まいにち まいにち 1. 毎日またはほとんど毎日</p> <p>しゅう かい 2. 週に4~5回</p> <p>しゅう かい 3. 週に2~3回</p> <p>しゅう かい いていど 4. 週に1回程度</p> <p>ちこく 5. 遅刻はしない</p>	<p>げんざい <現在></p> <p>まいにち まいにち 1. 毎日またはほとんど毎日</p> <p>しゅう かい 2. 週に4~5回</p> <p>しゅう かい 3. 週に2~3回</p> <p>しゅう かい いていど 4. 週に1回程度</p> <p>ちこく 5. 遅刻はしない</p>
--	--

とい 問11 あなたは、^{がっこう}学校のある日、^ひ授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、^{じかん}勉強をしますか。(塾などの時間も含まれます)。
 (あてはまる^{ばんごうひと}番号1つに○をつけてください)

<p>いばしょ く まえ <居場所に来る前></p> <p>1. まったくしない</p> <p>ぶん すく 2. 30分より少ない</p> <p>ぶんいじょう じかん すく 3. 30分以上、1時間より少ない</p> <p>じかんいじょう じかん すく 4. 1時間以上、2時間より少ない</p> <p>じかんいじょう じかん すく 5. 2時間以上、3時間より少ない</p> <p>じかんいじょう 6. 3時間以上</p> <p>7. わからない</p>	<p>げんざい <現在></p> <p>1. まったくしない</p> <p>ぶん すく 2. 30分より少ない</p> <p>ぶんいじょう じかん すく 3. 30分以上、1時間より少ない</p> <p>じかんいじょう じかん すく 4. 1時間以上、2時間より少ない</p> <p>じかんいじょう じかん すく 5. 2時間以上、3時間より少ない</p> <p>じかんいじょう 6. 3時間以上</p> <p>7. わからない</p>
--	--

問12 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

＜居場所に来る前＞	＜現在＞
1. よくわかる	1. よくわかる
2. だいたいわかる	2. だいたいわかる
3. あまりわからない	3. あまりわからない
4. ほとんどわからない	4. ほとんどわからない
5. わからない	5. わからない

問13 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

＜居場所に来る前＞	＜現在＞
1. まったくしない	1. まったくしない
2. 30分より少ない	2. 30分より少ない
3. 30分以上、1時間より少ない	3. 30分以上、1時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない	4. 1時間以上、2時間より少ない
5. 2時間以上、3時間より少ない	5. 2時間以上、3時間より少ない
6. 3時間以上	6. 3時間以上
7. わからない	7. わからない

問14 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時刻に起きていますか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

＜居場所に来る前＞	＜現在＞
1. 起きている	1. 起きている
2. どちらかといえば、起きている	2. どちらかといえば、起きている
3. あまり、起きていない	3. あまり、起きていない
4. 起きていない	4. 起きていない

問15 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。（就寝時間）
 （あてはまる番号1つに○をつけてください）

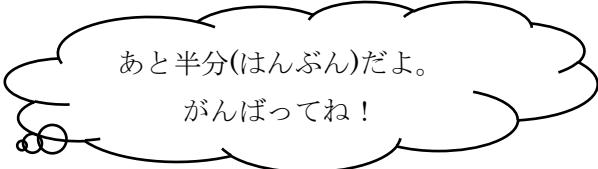
いばしよ く まえ ＜居場所に来る前＞	げんざい ＜現在＞
1. 午後9時より前	1. 午後9時より前
2. 午後9時台	2. 午後9時台
3. 午後10時台	3. 午後10時台
4. 午後11時台	4. 午後11時台
5. 午前0時台	5. 午前0時台
6. 午前1時より後	6. 午前1時より後
7. きまっていない	7. きまっていない

問16 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時間くらい寝ていますか。
 （睡眠時間）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

いばしよ く まえ ＜居場所に来る前＞	げんざい ＜現在＞
1. 5時間59分より短い	1. 5時間59分より短い
2. 6時間～6時間59分	2. 6時間～6時間59分
3. 7時間～7時間59分	3. 7時間～7時間59分
4. 8時間～8時間59分	4. 8時間～8時間59分
5. 9時間～9時間59分	5. 9時間～9時間59分
6. 10時間より長い	6. 10時間より長い
7. きまっていない	7. きまっていない

問17 あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。
 （あてはまる番号1つに○をつけてください）

いばしよ く まえ ＜居場所に来る前＞	げんざい ＜現在＞
1. 毎日またはほとんど毎日	1. 毎日またはほとんど毎日
2. 週に4～5回	2. 週に4～5回
3. 週に2～3回	3. 週に2～3回
4. 週に1回程度	4. 週に1回程度
5. 食べない	5. 食べない



問18 あなたは、週にどのくらい夕食を食べていますか。
 (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

いばしょく ぐ まえ ＜居場所に来る前＞	げんざい ＜現在＞
1. 毎日またはほとんど毎日	1. 毎日またはほとんど毎日
2. 週に4～5回	2. 週に4～5回
3. 週に2～3回	3. 週に2～3回
4. 週に1回程度	4. 週に1回程度
5. 食べない	5. 食べない

問19 あなたの健康状態について聞きます。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

いばしょく ぐ まえ ＜居場所に来る前＞	げんざい ＜現在＞
1. 良い	1. 良い
2. どちらかといえば良い	2. どちらかといえば良い
3. 普通	3. 普通
4. どちらかといえば悪い	4. どちらかといえば悪い
5. 悪い	5. 悪い

問20 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、だれと過ごしますか。
 (1～10までのあてはまる番号すべてに○をつけてください)

いばしょく ぐ まえ ＜居場所に来る前＞	げんざい ＜現在＞
1. おうちの大人の人 (お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど)	1. おうちの大人の人 (お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど)
2. きょうだい	2. きょうだい
3. おうちの人以外の大人 (近所の大人、塾や習いごとの先生)	3. おうちの人以外の大人 (近所の大人、塾や習いごとの先生)
4. 居場所のスタッフ	4. 居場所のスタッフ
5. 学校のともだち	5. 学校のともだち
6. クラブ活動の仲間	6. クラブ活動の仲間
7. 学校以外のともだち (地域のスポーツクラブ、近所のともだち)	7. 学校以外のともだち (地域のスポーツクラブ、近所のともだち)
8. 居場所の友達	8. 居場所の友達
9. ひとりである	9. ひとりである
10. その他の人	10. その他の人

問21 あなたは①～④のことについて、どれくらいあてはまりますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<small>いばしょく まえ</small> <居場所に来る前>	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
①いままでの人生で、心から感動したことがある <small>(小説、映画、ドラマ、マンガ、体験、音楽、芸術、スポーツなど)。</small>	1	2	3	4
②夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある。	1	2	3	4
③小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする。	1	2	3	4
④お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する。	1	2	3	4

<small>げんざい</small> <現在>	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
①いままでの人生で、心から感動したことがある <small>(小説、映画、ドラマ、マンガ、体験、音楽、芸術、スポーツなど)。</small>	1	2	3	4
②夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある。	1	2	3	4
③小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする。	1	2	3	4
④お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する。	1	2	3	4

とい
問22 あなたに①～④のことをしてくれる人ほどのくらいいますか。
（あてはまる番号1つに○をつけてください）

いばしよ く まえ ＜居場所に来る前＞	たくさん いる	あるていど いる	あまり いない	まったく いない
① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる。	1	2	3	4
② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。	1	2	3	4
③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる。	1	2	3	4
④ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる。	1	2	3	4

げんざい ＜現在＞	たくさん いる	あるていど いる	あまり いない	まったく ない
① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる。	1	2	3	4
② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。	1	2	3	4
③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる。	1	2	3	4
④ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる。	1	2	3	4

とい 間23 あなたの^{きも}気持ちについて^{おし}教えてください。①～⑥について、あてはまる^{ばんごうひと}番号1つに○をつけください。

^{いばしょく} ＜居場所に来る前＞	そう ^{おも} 思う	どちらかと いうとそう 思う	どちらかと いうとそう 思わない	そう 思わない
① ^{じぶん} 自分に ^{じしん} 自信がある。	1	2	3	4
② ^{じぶん} 自分の ^{かんが} 考えをはっきり ^{あいて} 相手に ^{つた} 伝えることができる。	1	2	3	4
③ ^{おとな} 大人を ^{しんよう} 信用できる。	1	2	3	4
④ ^{じぶん} 自分の ^{しょうらい} 将来の ^{ゆめ} 夢や ^{もくひょう} 目標 ^も を持っている。	1	2	3	4
⑤ ^{しょうらい} 将来のためにも、 ^{いま} 今、 ^{がんば} 頑張りたい ^{おも} と思う。	1	2	3	4
⑥ ^{しょうらい} 将来、 ^{はたら} 働きたい ^{おも} と思う。	1	2	3	4

^{げんざい} ＜現在＞	そう ^{おも} 思う	どちらかと いうとそう 思う	どちらかと いうとそう 思わない	そう 思わない
① ^{じぶん} 自分に ^{じしん} 自信がある。	1	2	3	4
② ^{じぶん} 自分の ^{かんが} 考えをはっきり ^{あいて} 相手に ^{つた} 伝えることができる。	1	2	3	4
③ ^{おとな} 大人を ^{しんよう} 信用できる。	1	2	3	4
④ ^{じぶん} 自分の ^{しょうらい} 将来の ^{ゆめ} 夢や ^{もくひょう} 目標 ^も を持っている。	1	2	3	4
⑤ ^{しょうらい} 将来のためにも、 ^{いま} 今、 ^{がんば} 頑張りたい ^{おも} と思う。	1	2	3	4
⑥ ^{しょうらい} 将来、 ^{はたら} 働きたい ^{おも} と思う。	1	2	3	4

とい 問24 あなたは、^{しょうらい}将来どの学校まで行きたいと思いますか。

(^{ばんごうひと}あてはまる番号1つに○をつけてください)

^{いばしょ} く ^{まえ} ＜居場所に来る前＞	^{げんざい} ＜現在＞
1. ^{ちゅうがっこう} 中学校	1. ^{ちゅうがっこう} 中学校
2. ^{こうこう} 高校	2. ^{こうこう} 高校
3. ^{せんもんがっこう} 専門学校 (美容師や調理師など仕事 ^{しかた} ^{ぎじゆつ} ^{まな} ^{がっこう} 仕方や技術を学ぶための学校など)	3. ^{せんもんがっこう} 専門学校 (美容師や調理師など仕事 ^{しかた} ^{ぎじゆつ} ^{まな} ^{がっこう} 仕方や技術を学ぶための学校など)
4. ^{だいがく} 大学	4. ^{だいがく} 大学
5. ^き 決めていない・わからない	5. ^き 決めていない・わからない

とい 問25 この居場所に来て良かったと思いますか。あてはまる^{ばんごう}番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

とい 問26 この居場所に来て良かったことを自由^{じゆう}に書いてください。

[]

とい 問27 この居場所に望^{のぞ}むことや、その他何^{ほかなん}でも思^{おも}うことについて書いてください

[]

アンケート調査票（保護者用）

この調査は、沖縄県の子育て支援対策における支援員配置の効果について把握することを目的としています。保護者の方に家庭状況などをお聞きし、今後の支援策に役立てるために実施します。皆様からの回答を今後の改善につなげていきたいと考えていますので、お忙しい中お手数ですが、調査へのご協力をお願いします。

----- 回答にあたってのお願い -----

◆プライバシーへの配慮

- ・お名前や住所を書く必要はありません。
結果については公表しますが、調査の集計は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。
また、本調査の目的以外に使うことはありません。安心してご記入ください。

◆回答にあたってのお願い

- ・答えたくない質問には、回答しなくて結構です。
また回答の途中でやめることもできます。
- ・この調査に同意し、協力してくださる場合のみ、アンケートにご記入下さい。
アンケートの記入をもって、この調査に同意していただいたものと判断させていただきます。

提出の際は、封筒に入れ、テープかのりで閉じて、支援員に渡して下さい。

提出期限：平成 29 年 12 月 22 日（金）

----- この調査の問合せ先 -----

- ◆調査への回答にあたってわからないことがありましたら、お問い合わせください。

沖縄県子ども生活福祉部子ども未来政策課（代表）

電話番号：098-866-2100

FAX 番号：098-868-2402

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2 行政棟 3 階（南側）

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじ、おばなど親戚
2. お父さん	5. 施設職員・ファミリーホーム・里親
3. おばあさん・おじいさん	6. その他の人

問2 あなたの性別、年齢及びお子さんの人数と年齢を教えてください。

あなたについて：性別 () 年齢 () 歳	
お子さんの人数 () 人	
お子さんの年齢：() 歳	お子さんの年齢：() 歳
お子さんの年齢：() 歳	お子さんの年齢：() 歳
お子さんの年齢：() 歳	お子さんの年齢：() 歳

問3 お子さんから見た同居家族の構成について教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 両親ともにいる
2. 母親がいて父親がいない
3. 父親がいて母親がいない
4. 両親がいなくて祖父母(両方又は一方)がいる
5. その他 ()

問4 あなたの世帯では以下の手当や援助等を受けていますか。

(①～⑫の項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	受けている	受けたことがある	受けたことはない
① 児童手当	1	2	3
② 就学援助費※1	1	2	3
③ 児童扶養手当※2	1	2	3
④ 障がいや難病の手当※3	1	2	3
⑤ 生活保護	1	2	3
⑥ 公的年金(老齢年金)	1	2	3
⑦ 公的年金(遺族年金、障害年金)	1	2	3

⑧ 雇用保険（失業保険）	1	2	3
⑨ 養育費	1	2	3
⑩ 親・親族からの仕送り	1	2	3
⑪ 退職金	1	2	3
⑫ その他、株式配当などの副収入	1	2	3

- ※1 「就学援助費」とは、経済的な理由により、就学が困難と認められる児童生徒に対して、学用品費などを援助する制度です。
- ※2 「児童扶養手当」とは、父又は母と生計を同じくしていない18歳到達後最初の年度末までの児童（児童に政令で定める程度の障がいがある場合は20歳未満の児童）を監護しているひとり親家庭の母又は父等に支給される手当です。15歳までを対象とした「児童手当」とは異なります。
- ※3 障がいや難病を対象とした手当には、特別児童扶養手当、障がい児福祉手当、重度障がい者介護手当などがあります。

問5 前年（2016年）のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※収入には、働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。税金や社会保険料を払ったあとの額でお答えください。

※また、児童手当などの公的な手当や養育費・仕送りを含んだ額でお答えください。

1. 50万円未満	12. 550～600万円未満	23. 1,200～1,300万円未満
2. 50～100万円未満	13. 600～650万円未満	24. 1,300～1,400万円未満
3. 100～150万円未満	14. 650～700万円未満	25. 1,400～1,500万円未満
4. 150～200万円未満	15. 700～750万円未満	26. 1,500～1,750万円未満
5. 200～250万円未満	16. 750～800万円未満	27. 1,750～2,000万円未満
6. 250～300万円未満	17. 800～850万円未満	28. 2,000～2,250万円未満
7. 300～350万円未満	18. 850～900万円未満	29. 2,250～2,500万円未満
8. 350～400万円未満	19. 900～950万円未満	30. 2,500～2,750万円未満
9. 400～450万円未満	20. 950～1,000万円未満	31. 2,750～3,000万円未満
10. 450～500万円未満	21. 1,000～1,100万円未満	32. 3,000万円以上
11. 500～550万円未満	22. 1,100～1,200万円未満	33. わからない

問6 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがあります

か。(おおむね1年の間でお考えください。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 子どもを医療機関に受診させることができなかった。	9. 子どもを学習塾に通わすことができなかった。
2. 子どもの進路を変更した。	10. 子どもの誕生日を祝えなかった。
3. 子どものための本や絵本が買えなかった。	11. 子どもにお年玉をあげることができなかった。
4. 子どもにおこづかいを渡すことができなかった。	12. 子どもの学校行事などに参加することができなかった。
5. 子どもに新しい服や靴を買うことができなかった。	13. 子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった。
6. 子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった。	14. 家族旅行(テーマパークなど日帰りのお出かけを含む)ができませんでした。
7. 子どもを習い事に通わすことができなかった。	15. 1~14の項目には、どれにもあてはまらない。
8. 子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった。	

問7 お子さんの世帯で主に生計を支えている方の現在の就業状況についておたずねします。

(複数か所にお勤めされている方はあてはまる番号をすべて選んでください。また「7.」を選択する場合は、その主な理由を①~⑦から選び○をつけてください。)

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

1. 勤め(常勤・正規職員)	7. 仕事をさがしていない
2. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)	①家事や育児に専念
3. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)	②学生
4. 自営業・家業	③おうちの人の介護や介助
5. その他の就業形態	④病気療養
6. 仕事を探している	⑤年金など
	⑥家賃収入、株式運用など
	⑦その他
	8. わからない

問8 あなたは支援員と何回会いましたか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. おおむね10回以上	3. おおむね3～5回
2. おおむね6～9回	4. おおむね1～2回

問9 から問14 までは、<支援員に会う前>と<現在>のそれぞれについてお答えください。

お子さんとの関係の変化についておたずねします。

問9 あなたとお子さんとの関係について、お聞かせください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<支援員に会う前>

<現在>

	よく する	する	あまり しない	しない	よく する	する	あまり しない	しない
①お子さんと会話をしますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
②お子さんと十分時間を過ごしていますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
③お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしていますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
④お子さんと一緒に図書館に行きますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤お子さんの将来の夢について話し合っていますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥お子さんを信頼していますか。	1	2	3	4	1	2	3	4

問10 これまでの子育てについてのお気持ちをお聞かせください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<支援員に会う前>

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
① ついつい子どもにあたってしまう。	1	2	3	4
② 子どもを育てるために我慢している。	1	2	3	4
③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる。	1	2	3	4
④ 子どもの世話にはあまり関心がない。	1	2	3	4

<現在>

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
① ついつい子どもにあたってしまう。	1	2	3	4
② 子どもを育てるために我慢している。	1	2	3	4
③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる。	1	2	3	4
④ 子どもの世話にはあまり関心がない。	1	2	3	4

問 11 あなたのご家庭では、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。それぞれあなたが1番あてはまる場所に○をつけてください。

	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない
<支援員に会う前>			
① 中学校までの教育	1	2	3
② 高校までの教育	1	2	3
③ 専門学校までの教育	1	2	3
④ 大学までの教育	1	2	3

	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない
<現在>			
① 中学校までの教育	1	2	3
② 高校までの教育	1	2	3
③ 専門学校までの教育	1	2	3
④ 大学までの教育	1	2	3

問 12 あなたの健康状態について聞きます。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

<支援員に会う前>

<現在>

1. 良い	1. 良い
2. どちらかといえば良い	2. どちらかといえば良い
3. 普通	3. 普通
4. どちらかといえば悪い	4. どちらかといえば悪い
5. 悪い	5. 悪い

あなたの対人関係の変化についておたずねします。

問 13 次の①～⑦について、おうちの方を含め（子どもは除く）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

<支援員に会う前>

<現在>

	いる	いない	わからない	いる	いない	わからない
① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3	1	2	3
② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3	1	2	3
③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3	1	2	3
④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3	1	2	3
⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）	1	2	3	1	2	3
⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3	1	2	3
⑦ 留守を頼める人	1	2	3	1	2	3

問 15-6 問 15-1 「6.」に○をつけた方にお聞きいたします。金銭に関する支援で、以下ア～エのうちで支援を受けたものすべてに○をつけてください。

- ア. 家計管理
- イ. 借金の整理に関するアドバイス
- ウ. 養育費に関するアドバイス
- エ. その他 ()

問 15-7 問 15-1 「7.」に○をつけた方にお聞きいたします。住まいに関する支援で、以下ア～ウのうちで支援を受けたものすべてに○をつけてください。

- ア. 公営住宅の紹介
- イ. 母子生活支援施設の紹介
- ウ. その他 ()

問 16 あなたのお子さんは、地域で食事の提供や学習の支援などのサービスを利用していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1. よく利用している | 4. 利用していない |
| 2. 利用している | 5. そのようなサービスを利用できる施設は近くにない |
| 3. ほとんど利用していない | |

問 17 問 16 で「1.」「2.」に○をつけた方にお聞きいたします。利用するようになってからのお子さんの変化について①～⑨まではあてはまる番号1つに○をつけてください。⑩は、以前と現在でそれぞれあてはまる番号を書いてください。

- ①同じ時刻に起きる。
(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)
- ②朝食を食べる。
(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)
- ③健康状態
(1. 良い 2. どちらかといえば良い 3. 変わらない 4. どちらかといえば悪い)
- ④授業時間以外にも勉強する。
(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑤授業が楽しい、勉強がおもしろいと思う、やる気が出る。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑥お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑦勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑧自分の考えをはっきり相手に伝えることができる。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑨自分の将来の夢や目標を持っている。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑩放課後どこで過ごしますか。 以前 () 現在 ()

1. 自分の家

2. おばあちゃん・おじいちゃんの家

3. ともだちの家

4. 塾

5. 習いごと

6. 学校 (クラブ活動など)

7. 公園・広場

8. スーパーやショッピングモール

9. コンビニエンスストア

10. ゲームセンター

11. 図書館や公民館など公共の施設

12. 地域の居場所

13. 学童保育

14. その他

問 18 あなたは今後支援員からどの分野のサポートを受けたいですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 悩みごとの相談を聞いてもらうこと

2. 生活に関する支援 (食事や生活時間に関するアドバイス、子どもの居場所及び子ども食堂へのつなぎなど)

3. 福祉に関する支援 (生活保護の手続き、福祉関係機関へのつなぎなど)

4. 教育に関する支援 (就学援助の手続きや学校との調整、無料塾へのつなぎ)

5. 就労に関する支援 (ハローワークへのつなぎ、就労訓練 など)

6. 金銭に関する支援 (家計管理、借金の整理に関するアドバイス など)

7. 住まいに関する支援 (公営住宅の紹介、母子生活支援施設の紹介 など)

8. その他 ()

問 19 支援員と会うようになって良かったと思いますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 20 支援員のサポートを受けてよかったことを自由に記入してください。



問 21 支援員のサポートで今後要望したいこと、その他何でも思うことを自由に記入してください。



単純集計結果（居場所用）

問 1 性別

	件数	男性	女性	わからない	無回答
合計	1745 100.0	762 43.7	938 53.8	22 1.3	23 1.3

問 2 学年と年齢

問 2 学校区分	件数	年齢有効回答	無回答	平均
合計	1745 100.0	1660 95.1	85 4.9	10.6
小学校 合計	1156 100.0	1116 96.5	40 3.5	9.4
小学校・低学年（1～2年生）	326 100.0	311 95.4	15 4.6	7.4
小学校・中学年（3～4年生）	408 100.0	401 98.3	7 1.7	9.2
小学校・高学年（5～6年生）	394 100.0	390 99.0	4 1.0	11.2
小学校・学年不明	28 100.0	14 50.0	14 50.0	8.3
中学校 合計	470 100.0	450 95.7	20 4.3	13.8
中学校・1年生	153 100.0	151 98.7	2 1.3	12.7
中学校・2年生	122 100.0	117 95.9	5 4.1	13.7
中学校・3年生	178 100.0	173 97.2	5 2.8	14.7
中学校・学年不明	17 100.0	9 52.9	8 47.1	13.8
高等学校 合計	35 100.0	32 91.4	3 8.6	17.0
高等学校・1年生	16 100.0	14 87.5	2 12.5	16.2
高等学校・2年生	13 100.0	12 92.3	1 7.7	17.3
高等学校・3年生	6 100.0	6 100.0	-	18.0
高等学校・学年不明	-	-	-	-
学年のみ記入	33 100.0	32 97.0	1 3.0	9.2
無回答	51 100.0	30 58.8	21 41.2	5.6

問 3 家族構成

	件数	両親ともにいる	お父さんがいない	お母さんがいない	お父さんがいないお母さんがいない	お父さんがいないお母さんがいる	お母さんがいないお父さんがいる	お父さんもお母さんもいない	お父さんもお母さんもいる	その他	無回答
合計	1745 100.0	983 56.3	577 33.1	81 4.6	34 1.9	31 1.8	39 2.2				

問4 居場所に来る頻度

	件数	3週間以上おおむね	1週間におおむね	程度1カ月に1〜2回	よりも少ない1〜2回	無回答
合計	1745 100.0	707 40.5	763 43.7	145 8.3	75 4.3	55 3.2

問5-1 居場所に来てからの新しい友だちについて

	件数	できた	できない	無回答
合計	1745 100.0	1386 79.4	326 18.7	33 1.9

問5-2 友だちになった子について

問5-1 居場所に来てからの新しい友だちについて…できた

	件数	居場所に来る子	学校の子	その他	無回答
合計	1386 100.0	934 67.4	724 52.2	59 4.3	13 0.9

問6 居場所に来る理由

	件数	勉強するため	ここにいると安心できるため	ごはんを食べるため	スタツフと話をするため	友だちと遊ぶため	家にいづらいたため	家にだれもないため	その他	無回答
合計	1745 100.0	976 55.9	336 19.3	370 21.2	251 14.4	924 53.0	85 4.9	231 13.2	176 10.1	40 2.3

問7 普段放課後に過ごしている場所

	件数	自分の家	おばあちゃん・おじいちゃんの家	ともだちの家	塾	習いごと	学校(クラブ活動など)	公園・広場	スーパーやショップ	コンビニエンスストア
合計	1745 100.0	1060 60.7	200 11.5	279 16.0	375 21.5	274 15.7	380 21.8	279 16.0	66 3.8	78 4.5

	件数	ゲームセンター	図書館や公民館など	地域の居場所(学習支援の場や子ども食堂など)	学童保育	その他	無回答
合計	64 3.7	156 8.9	266 15.2	161 9.2	132 7.6	42 2.4	

問8 持っているものや使うことができるもの

	件数	マンガ(学校の教科書やマンガはのぞく)	マンガ・雑誌	子ども部屋(ひとり部屋や共有して使っている部屋など)	インターネットにつながるパソコン	運動用具(ボール・ラケットなど)	ゲーム機	自転車	テレビ	けいたい電話
合計	1745 100.0	1165 66.8	907 52.0	750 43.0	394 22.6	908 52.0	1026 58.8	788 45.2	1146 65.7	658 37.7

	スマートフォン・タブレット機器	化粧品・アクセサリ	習いごとなどの道具(ピアノなど)	自分で選んだ服	キャラクターグッズ	その他	あてはまるものはない	無回答
合計	848 48.6	382 21.9	436 25.0	993 56.9	748 42.9	158 9.1	18 1.0	58 3.3

問9-1 学校への登校頻度<居場所に来る前>

	件数	毎日	週に3〜4回	週に1回程度	ほとんど行かない	全く行かない	無回答
合計	1745 100.0	1444 82.8	121 6.9	39 2.2	39 2.2	38 2.2	64 3.7

問9-2 学校への登校頻度<現在>

	件数	毎日	週に3〜4回	週に1回程度	ほとんど行かない	全く行かない	無回答
合計	1745 100.0	1409 80.7	102 5.8	37 2.1	25 1.4	27 1.5	145 8.3

問10-1 遅刻の頻度<居場所に来る前>

	件数	毎日またはほとんど毎日	週に4〜5回	週に2〜3回	週に1回程度	遅刻はしない	無回答
合計	1745 100.0	195 11.2	78 4.5	140 8.0	185 10.6	1053 60.3	94 5.4

問10-2 遅刻の頻度<現在>

	件数	毎日またはほとんど毎日	週に4〜5回	週に2〜3回	週に1回程度	遅刻はしない	無回答
合計	1745 100.0	179 10.3	56 3.2	107 6.1	187 10.7	1089 62.4	127 7.3

問 1 1 - 1 学校がある日の授業時間以外での学習時間<居場所に来る前>

	件数	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時	1時間以上、2時	2時間以上、3時	3時間以上	わからない	無回答
合計	1745 100.0	273 15.6	303 17.4	418 24.0	307 17.6	102 5.8	90 5.2	167 9.6	85 4.9

問 1 1 - 2 学校がある日の授業時間以外での学習時間<現在>

	件数	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時	1時間以上、2時	2時間以上、3時	3時間以上	わからない	無回答
合計	1745 100.0	141 8.1	243 13.9	367 21.0	383 21.9	189 10.8	159 9.1	143 8.2	120 6.9

問 1 2 - 1 学校の勉強についての気持ち<居場所に来る前>

	件数	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	ほとんどわからない	わからない	無回答
合計	1745 100.0	529 30.3	615 35.2	266 15.2	95 5.4	158 9.1	82 4.7

問 1 2 - 2 学校の勉強についての気持ち<現在>

	件数	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	ほとんどわからない	わからない	無回答
合計	1745 100.0	669 38.3	637 36.5	173 9.9	49 2.8	124 7.1	93 5.3

問 1 3 - 1 学校の授業時間以外の1日あたりの読書時間<居場所に来る前>

	件数	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時	1時間以上、2時	2時間以上、3時	3時間以上	わからない	無回答
合計	1745 100.0	538 30.8	514 29.5	276 15.8	105 6.0	38 2.2	73 4.2	119 6.8	82 4.7

問 1 3 - 2 学校の授業時間以外の1日あたりの読書時間<現在>

	件数	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時	1時間以上、2時	2時間以上、3時	3時間以上	わからない	無回答
合計	1745 100.0	460 26.4	522 29.9	286 16.4	139 8.0	59 3.4	66 3.8	117 6.7	96 5.5

問14-1 ほぼ同時刻での起床について<居場所に来る前>

	件数	起きている	どちらかといえ	あまり、起きていない	起きていない	無回答
合計	1745 100.0	930 53.3	382 21.9	202 11.6	151 8.7	80 4.6

問14-2 ほぼ同時刻での起床について<現在>

	件数	起きている	どちらかといえ	あまり、起きていない	起きていない	無回答
合計	1745 100.0	975 55.9	383 21.9	172 9.9	115 6.6	100 5.7

問15-1 ふだんの就寝時間<居場所に来る前>

	件数	午後9時より前	午後9時台	午後10時台	午後11時台	午前0時台	午前1時より後	きまつていない	無回答
合計	1745 100.0	204 11.7	366 21.0	447 25.6	289 16.6	106 6.1	65 3.7	197 11.3	71 4.1

問15-2 ふだんの就寝時間<現在>

	件数	午後9時より前	午後9時台	午後10時台	午後11時台	午前0時台	午前1時より後	きまつていない	無回答
合計	1745 100.0	183 10.5	353 20.2	453 26.0	296 17.0	116 6.6	63 3.6	197 11.3	84 4.8

問16-1 ふだんの睡眠時間<居場所に来る前>

	件数	5時間59分より短	5時間59分	6時間59分	7時間59分	8時間59分	9時間59分	10時間より長い	きまつていない	無回答
合計	1745 100.0	120 6.9	193 11.1	291 16.7	393 22.5	357 20.5	82 4.7	220 12.6	89 5.1	

問16-2 ふだんの睡眠時間<現在>

	件数	い5時間 5分より短	分6時間 5分	分7時間 5分	分8時間 5分	分9時間 5分	10時間より長い	きまつていない	無回答
合計	1745 100.0	112 6.4	197 11.3	304 17.4	376 21.5	346 19.8	84 4.8	221 12.7	105 6.0

問17-1 朝食の頻度<居場所に来る前>

	件数	ど毎日 またはほとん	週に4 5回	週に2 3回	週に1 回程度	食べない	無回答
合計	1745 100.0	1230 70.5	140 8.0	120 6.9	40 2.3	132 7.6	83 4.8

問17-2 朝食の頻度<現在>

	件数	ど毎日 またはほとん	週に4 5回	週に2 3回	週に1 回程度	食べない	無回答
合計	1745 100.0	1234 70.7	148 8.5	105 6.0	51 2.9	115 6.6	92 5.3

問18-1 夕食の頻度<居場所に来る前>

	件数	ど毎日 またはほとん	週に4 5回	週に2 3回	週に1 回程度	食べない	無回答
合計	1745 100.0	1478 84.7	102 5.8	51 2.9	22 1.3	15 0.9	77 4.4

問18-2 夕食の頻度<現在>

	件数	毎日またはほとんど毎日	週に4〜5回	週に2〜3回	週に1回程度	食べない	無回答
合計	1745 100.0	1497 85.8	99 5.7	34 1.9	15 0.9	15 0.9	85 4.9

問19-1 健康状態<居場所に来る前>

	件数	良い	どちらかといえば良い	普通	悪い	どちらかといえば悪い	無回答
合計	1745 100.0	1080 61.9	216 12.4	289 16.6	51 2.9	33 1.9	76 4.4

問19-2 健康状態<現在>

	件数	良い	どちらかといえば良い	普通	悪い	どちらかといえば悪い	無回答
合計	1745 100.0	1119 64.1	191 10.9	267 15.3	53 3.0	26 1.5	89 5.1

問20-1 放課後に過ごす相手<居場所に来る前>

	件数	おうちの大人の人	きょうだい	おうちの人以上の大人	居場所のスタッフ	学校のともだち	クラブ活動の仲間	学校以外のともだち	居場所の友達	ひとりである	その他の人	無回答
合計	1745 100.0	826 47.3	563 32.3	191 10.9	146 8.4	854 48.9	234 13.4	154 8.8	221 12.7	253 14.5	78 4.5	85 4.9

問20-2 放課後に過ごす相手<現在>

	件数	おうちの大人の人	きょうだい	おうちの人以上の大人	居場所のスタッフ	学校のともだち	クラブ活動の仲間	学校以外のともだち	居場所の友達	ひとりである	その他の人	無回答
合計	1745 100.0	783 44.9	553 31.7	229 13.1	399 22.9	881 50.5	239 13.7	194 11.1	447 25.6	230 13.2	83 4.8	109 6.2

問21-1-① いままでの人生で、心から感動したことがある<居場所に来る前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	いやあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1745 100.0	798 45.7	352 20.2	188 10.8	303 17.4	104 6.0

問2 1-1-② 夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある<居場所に来る前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	いやあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1745 100.0	745 42.7	421 24.1	227 13.0	241 13.8	111 6.4

問2 1-1-③ 小さい子やお年寄りがこまっているとき手助けをする<居場所に来る前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	いやあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1745 100.0	586 33.6	580 33.2	277 15.9	192 11.0	110 6.3

問2 1-1-④ お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する<居場所に来る前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	いやあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1745 100.0	605 34.7	401 23.0	316 18.1	311 17.8	112 6.4

問2 1-2-① いままでの人生で、心から感動したことがある<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	いやあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1745 100.0	859 49.2	327 18.7	163 9.3	289 16.6	107 6.1

問2 1-2-② 夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	いやあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1745 100.0	825 47.3	400 22.9	196 11.2	214 12.3	110 6.3

問2 1-2-③ 小さい子やお年寄りがこまっているとき手助けをする<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	いやあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1745 100.0	682 39.1	550 31.5	212 12.1	186 10.7	115 6.6

問2 1-2-④ お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	いやあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1745 100.0	679 38.9	403 23.1	274 15.7	274 15.7	115 6.6

問2 2-1-① 何かに失敗したときにたすけてくれる人<居場所に来る前>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくない	無回答
合計	1745 100.0	703 40.3	604 34.6	217 12.4	113 6.5	108 6.2

問2 2-1-② 勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人<居場所に来る前>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくない	無回答
合計	1745 100.0	756 43.3	549 31.5	213 12.2	117 6.7	110 6.3

問2 2-1-③ 一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人<居場所に来る前>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくない	無回答
合計	1745 100.0	779 44.6	537 30.8	215 12.3	99 5.7	115 6.6

問2 2-1-④ 悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人<居場所に来る前>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくない	無回答
合計	1745 100.0	746 42.8	514 29.5	237 13.6	131 7.5	117 6.7

問2 2-2-① 何かに失敗したときにたすけてくれる人<現在>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくない	無回答
合計	1745 100.0	845 48.4	558 32.0	139 8.0	92 5.3	111 6.4

問 2 2 - 2 - ② 勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人<現在>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくいない	無回答
合計	1745 100.0	880 50.4	503 28.8	156 8.9	94 5.4	112 6.4

問 2 2 - 2 - ③ 一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人<現在>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくいない	無回答
合計	1745 100.0	896 51.3	495 28.4	159 9.1	87 5.0	108 6.2

問 2 2 - 2 - ④ 悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人<現在>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくいない	無回答
合計	1745 100.0	895 51.3	466 26.7	153 8.8	116 6.6	115 6.6

問 2 3 - 1 - ① 自分に自信がある<居場所に来る前>

	件数	そう思う	どちらかというそ う思う	どちらかというそ う思わない	そう思わない	無回答
合計	1745 100.0	482 27.6	431 24.7	425 24.4	289 16.6	118 6.8

問 2 3 - 1 - ② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる<居場所に来る前>

	件数	そう思う	どちらかというそ う思う	どちらかというそ う思わない	そう思わない	無回答
合計	1745 100.0	502 28.8	461 26.4	391 22.4	269 15.4	122 7.0

問 2 3 - 1 - ③ 大人を信用できる<居場所に来る前>

	件数	そう思う	どちらかというそ う思う	どちらかというそ う思わない	そう思わない	無回答
合計	1745 100.0	630 36.1	520 29.8	272 15.6	192 11.0	131 7.5

問23-1-④ 自分の将来の夢や目標を持っている<居場所に来る前>

	件数	そう思う	どちらかというところ	どちらかというところ	そう思わない	無回答
合計	1745 100.0	945 54.2	316 18.1	164 9.4	197 11.3	123 7.0

問23-1-⑤ 将来のためにも今頑張りたいと思う<居場所に来る前>

	件数	そう思う	どちらかというところ	どちらかというところ	そう思わない	無回答
合計	1745 100.0	894 51.2	394 22.6	193 11.1	139 8.0	125 7.2

問23-1-⑥ 将来働きたいと思う<居場所に来る前>

	件数	そう思う	どちらかというところ	どちらかというところ	そう思わない	無回答
合計	1745 100.0	1196 68.5	267 15.3	72 4.1	83 4.8	127 7.3

問23-2-① 自分に自信がある<現在>

	件数	そう思う	どちらかというところ	どちらかというところ	そう思わない	無回答
合計	1745 100.0	614 35.2	415 23.8	351 20.1	247 14.2	118 6.8

問23-2-② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる<現在>

	件数	そう思う	どちらかというところ	どちらかというところ	そう思わない	無回答
合計	1745 100.0	621 35.6	475 27.2	321 18.4	212 12.1	116 6.6

問23-2-③ 大人を信用できる<現在>

	件数	そう思う	どちらかというところ	どちらかというところ	そう思わない	無回答
合計	1745 100.0	726 41.6	518 29.7	199 11.4	177 10.1	125 7.2

問23-2-④ 自分の将来の夢や目標を持っている<現在>

	件数	そう思う	どちらかというところ	どちらかというところ	そう思わない	無回答
合計	1745 100.0	1018 58.3	308 17.7	137 7.9	158 9.1	124 7.1

問23-2-⑤ 将来のためにも今頑張りたいと思う<現在>

	件数	そう思う	どちらかというところ	どちらかというところ	そう思わない	無回答
合計	1745 100.0	1018 58.3	367 21.0	124 7.1	107 6.1	129 7.4

問23-2-⑥ 将来働きたいと思う<現在>

	件数	そう思う	どちらかというところ	どちらかというところ	そう思わない	無回答
合計	1745 100.0	1265 72.5	232 13.3	54 3.1	72 4.1	122 7.0

問24-1 将来の進学希望<居場所に来る前>

	件数	中学校	高校	専門学校	大学	決まていない・わか	無回答
合計	1745 100.0	97 5.6	373 21.4	268 15.4	491 28.1	406 23.3	110 6.3

問24-2 将来の進学希望<現在>

	件数	中学校	高校	専門学校	大学	決まていない・わか	無回答
合計	1745 100.0	85 4.9	292 16.7	337 19.3	574 32.9	321 18.4	136 7.8

問25 居場所に来た感想

	件数	来て良かったと思う	どちらかというところ	どちらかというところ	来て良かったと思わ	無回答
合計	1745 100.0	1273 73.0	264 15.1	67 3.8	45 2.6	96 5.5

単純集計結果（支援員配布用（保護者用））

問1 お子さんからみた続柄

	件数	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	おじ、おばなど親戚	施設職員・ファミリーホーム・里親	その他の人	無回答
合計	400 100.0	343 85.8	29 7.3	14 3.5	3 0.8	-	1 0.3	10 2.5

問2-1 回答者の性別

	件数	男性	女性	無回答
合計	400 100.0	33 8.3	361 90.3	6 1.5

問2-2 回答者の年齢

	件数	30歳未満	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	無回答	平均	最小値	最大値	実数合計
合計	400 100.0	18 4.5	51 12.8	86 21.5	107 26.8	65 16.3	52 13.0	21 5.3	41.7	21	80	15802 100.0

問2-3 お子さんの人数

	件数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均	最小値	最大値	実数合計
合計	400 100.0	58 14.5	101 25.3	104 26.0	72 18.0	52 13.0	13 3.3	3.0	1	9	1150 100.0

問2-4 お子さんの年齢(合計)

	件数	有効回答	無回答	平均	最小値	最大値	実数合計
合計	3600 100.0	1131 31.4	2469 68.6	11.9	0	36	13508 100.0

問3 お子さんからみた同居家族の構成

	件数	両親ともにいる	ない 母親がいて父親がい	ない 父親がいて母親がい	母親がいない が(両方又は一方)	両親がいない 祖父	その他	無回答
合計	400 100.0	134 33.5	222 55.5	19 4.8	9 2.3	7 1.8	9 2.3	

問4-① 児童手当

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	371 92.8	4 1.0	3 0.8	22 5.5

問4-② 就学援助費

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	253 63.3	22 5.5	56 14.0	69 17.3

問4-③ 児童扶養手当

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	190 47.5	19 4.8	88 22.0	103 25.8

問4-④ 障がいや難病の手当て

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	43 10.8	1 0.3	198 49.5	158 39.5

問4-⑤ 生活保護

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	80 20.0	10 2.5	171 42.8	139 34.8

問4-⑥ 公的年金（老齢年金）

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	11 2.8	1 0.3	215 53.8	173 43.3

問4-⑦ 公的年金（遺族年金、障がい年金）

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	36 9.0	-	205 51.3	159 39.8

問4-⑧ 雇用保険（失業保険）

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	18 4.5	37 9.3	179 44.8	166 41.5

問4-⑨ 養育費

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	22 5.5	7 1.8	208 52.0	163 40.8

問4-⑩ 親・親族からの仕送り

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	6 1.5	13 3.3	216 54.0	165 41.3

問4-⑪ 退職金

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	-	9 2.3	223 55.8	168 42.0

問4-⑫ その他、株式配当などの副収入

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	3 0.8	-	229 57.3	168 42.0

問5 2016年度の世帯収入の合計額

	件数	50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～250万円未満	250万円～300万円未満	300万円～350万円未満	350万円～400万円未満	400万円～450万円未満	450万円～500万円未満	500万円～550万円未満	550万円～600万円未満	600万円～650万円未満	650万円～700万円未満
合計	400 100.0	35 8.8	51 12.8	80 20.0	51 12.8	43 10.8	28 7.0	10 2.5	7 1.8	6 1.5	6 1.5	1 0.3	1 0.3	-	1 0.3

	70万円～75万円未満	75万円～80万円未満	80万円～85万円未満	85万円～90万円未満	90万円～95万円未満	95万円～100万円未満	100万円～105万円未満	105万円～110万円未満	110万円～115万円未満	115万円～120万円未満	120万円～125万円未満	125万円～130万円未満	130万円～135万円未満	135万円～140万円未満	140万円～145万円未満
合計	-	1 0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	520,000円～570,000円未満	570,000円～620,000円未満	620,000円～670,000円未満	670,000円以上	わからない	無回答
合計	-	-	-	-	30 7.5	49 12.3

問6 経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験

件数	医療機関に受診させたことができなかった	進路を変更した	本や絵本が買えなかった	おこづかいを渡すことができなかった	新しい服や靴を買うことができなかった	学校への遠足や修学旅行へ参加できなかった	習い事に通わすことができなかった	学校のクラブ活動に参加させられなかった	学習塾に通わすことができなかった	誕生日を祝えなかった	お年玉をあげることができなかった	学校行事などに参加することができなかった	子ども会・地域の行事等に参加することができなかった	家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかった	なにもあてはまらない	無回答	
合計	400 100.0	86 21.5	35 8.8	69 17.3	141 35.3	122 30.5	11 2.8	183 45.8	64 16.0	178 44.5	42 10.5	97 24.3	47 11.8	43 10.8	211 52.8	66 16.5	29 7.3

問7 生計を支えている者の現在の就業状況

件数	勤め(常勤・正規職員)	勤め(非正規職員など)	勤め(非正規職員など)	自営業・家業	その他の就業形態	仕事を探している	仕事をさがしていない	わからない	無回答	
合計	400 100.0	101 25.3	157 39.3	19 4.8	34 8.5	5 1.3	28 7.0	64 16.0	3 0.8	13 3.3

問7-1 仕事を探していない理由

問7 生計を支えている者の現在の就業状況…仕事をさがしていない

件数	家事や育児に専念	学生	介護や介助	病気療養	年金など	家賃収入、株式運用など	その他	無回答
合計	64 100.0	14 21.9	1 1.6	4 6.3	31 48.4	15 23.4	6 9.4	5 7.8

問8 支援員と会った回数

件数	10回以上	6~9回	3~5回	1~2回	無回答	
合計	400 100.0	121 30.3	54 13.5	106 26.5	82 20.5	37 9.3

問9-1-① お子さんと会話をしますか<支援員に会う前>

件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	215 53.8	143 35.8	24 6.0	2 0.5	16 4.0	3.49 1339 100.0

問9-1-② お子さんとは十分時間を過ごしていますか<支援員に会う前>

件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	120 30.0	183 45.8	68 17.0	8 2.0	21 5.3	3.09 1173 100.0

問9-1-③ お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	34 8.5	94 23.5	173 43.3	78 19.5	21 5.3	2.22	842 100.0

問9-1-④ お子さんと一緒に図書館に行きますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	21 5.3	45 11.3	101 25.3	213 53.3	20 5.0	1.67	634 100.0

問9-1-⑤ お子さんの将来の夢について話し合っていますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	94 23.5	177 44.3	81 20.3	27 6.8	21 5.3	2.89	1096 100.0

問9-1-⑥ お子さんを信頼していますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	200 50.0	153 38.3	22 5.5	5 1.3	20 5.0	3.44	1308 100.0

問9-2-① お子さんと会話をしますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	253 63.3	118 29.5	12 3.0	2 0.5	15 3.8	3.62	1392 100.0

問9-2-② お子さんと十分時間を過ごしていますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	142 35.5	174 43.5	61 15.3	4 1.0	19 4.8	3.19	1216 100.0

問9-2-③ お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	42 10.5	112 28.0	162 40.5	64 16.0	20 5.0	2.35	892 100.0

問9-2-④ お子さんと一緒に図書館に行きますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	29 7.3	47 11.8	98 24.5	208 52.0	18 4.5	1.73	661 100.0

問9-2-⑤ お子さんの将来の夢について話し合っていますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	126 31.5	171 42.8	69 17.3	15 3.8	19 4.8	3.07	1170 100.0

問9-2-⑥ お子さんを信頼していますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	226 56.5	140 35.0	13 3.3	4 1.0	17 4.3	3.54	1354 100.0

問10-1-① ついつい子どもにあたってしまう<支援員に会う前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	66 16.5	151 37.8	100 25.0	61 15.3	22 5.5	2.41	912 100.0

問10-1-② 子どもを育てるために我慢している<支援員に会う前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	86 21.5	134 33.5	83 20.8	73 18.3	24 6.0	2.38	895 100.0

問10-1-③ 自分一人で育てているという圧迫感<支援員に会う前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	84 21.0	106 26.5	74 18.5	113 28.3	23 5.8	2.57	970 100.0

問10-1-④ 子どもの世話にはあまり関心がない<支援員に会う前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	5 1.3	22 5.5	64 16.0	285 71.3	24 6.0	3.67	1381 100.0

問10-2-① ついつい子どもにあたってしまう<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	26 6.5	137 34.3	138 34.5	82 20.5	17 4.3	2.72	1042 100.0

問10-2-② 子どもを育てるために我慢している<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	62 15.5	117 29.3	107 26.8	96 24.0	18 4.5	2.62	1001 100.0

問10-2-③ 自分一人で育てているという圧迫感<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	48 12.0	95 23.8	99 24.8	141 35.3	17 4.3	2.87	1099 100.0

問10-2-④ 子どもの世話にはあまり関心がない<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	6 1.5	20 5.0	58 14.5	296 74.0	20 5.0	3.69	1404 100.0

問11-1-① 中学校までの教育<支援員に会う前>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	400 100.0	267 66.8	2 0.5	3 0.8	128 32.0

問11-1-② 高校までの教育<支援員に会う前>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	400 100.0	280 70.0	8 2.0	14 3.5	98 24.5

問11-1-③ 専門学校までの教育<支援員に会う前>

	件数	受けさせたい	要経済的に可能なが必	れ経済的に受けさせら	無回答
合計	400 100.0	134 33.5	15 3.8	135 33.8	116 29.0

問11-1-④ 大学までの教育<支援員に会う前>

	件数	受けさせたい	要経済的に可能なが必	れ経済的に受けさせら	無回答
合計	400 100.0	138 34.5	20 5.0	160 40.0	82 20.5

問11-2-① 中学校までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	要経済的に可能なが必	れ経済的に受けさせら	無回答
合計	400 100.0	272 68.0	3 0.8	-	125 31.3

問11-2-② 高校までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	要経済的に可能なが必	れ経済的に受けさせら	無回答
合計	400 100.0	285 71.3	7 1.8	7 1.8	101 25.3

問11-2-③ 専門学校までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	要経済的に可能なが必	れ経済的に受けさせら	無回答
合計	400 100.0	157 39.3	15 3.8	119 29.8	109 27.3

問 1 1 - 2 - ④ 大学までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	400 100.0	167 41.8	25 6.3	131 32.8	77 19.3

問 1 2 - 1 健康状態<支援員に会う前>

	件数	良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば悪い	悪い	無回答
合計	400 100.0	100 25.0	37 9.3	132 33.0	69 17.3	46 11.5	16 4.0

問 1 2 - 2 健康状態<現在>

	件数	良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば悪い	悪い	無回答
合計	400 100.0	104 26.0	46 11.5	141 35.3	69 17.3	23 5.8	17 4.3

問 1 3 - 1 - ① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	241 60.3	88 22.0	50 12.5	21 5.3

問 1 3 - 1 - ② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	233 58.3	81 20.3	62 15.5	24 6.0

問13-1-③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	218 54.5	109 27.3	48 12.0	25 6.3

問13-1-④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	226 56.5	86 21.5	65 16.3	23 5.8

問13-1-⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	155 38.8	113 28.3	103 25.8	29 7.3

問13-1-⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	176 44.0	177 44.3	25 6.3	22 5.5

問13-1-⑦ 留守を頼める人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	172 43.0	187 46.8	18 4.5	23 5.8

問13-2-① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	298 74.5	48 12.0	36 9.0	18 4.5

問13-2-② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	278 69.5	49 12.3	52 13.0	21 5.3

問13-2-③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	247 61.8	91 22.8	41 10.3	21 5.3

問13-2-④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	290 72.5	48 12.0	44 11.0	18 4.5

問13-2-⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	239 59.8	67 16.8	72 18.0	22 5.5

問13-2-⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	202 50.5	157 39.3	22 5.5	19 4.8

問13-2-⑦ 留守を頼める人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	183 45.8	174 43.5	22 5.5	21 5.3

問14-1-① 地域の行事に参加していますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	34 8.5	68 17.0	135 33.8	140 35.0	23 5.8	1.99	750 100.0

問14-1-② お子さんが通う学校の行事に参加していますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	119 29.8	161 40.3	78 19.5	22 5.5	20 5.0	2.99	1137 100.0

問14-1-③ 子どもを朝、学校に送り出していますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	208 52.0	107 26.8	38 9.5	22 5.5	25 6.3	3.34	1251 100.0

問14-2-① 地域の行事に参加していますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	41 10.3	81 20.3	125 31.3	132 33.0	21 5.3	2.08	789 100.0

問14-2-② お子さんが通う学校の行事に参加していますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	133 33.3	160 40.0	67 16.8	24 6.0	16 4.0	3.05	1170 100.0

問14-2-③ 子どもを朝、学校に送り出していますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	218 54.5	109 27.3	28 7.0	25 6.3	20 5.0	3.37	1280 100.0

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野

	件数	悩みごとの相談を聞く	生活に関する支援	福祉に関する支援	教育に関する支援	就労に関する支援	金銭に関する支援	住まいに関する支援	その他	無回答
合計	400 100.0	168 42.0	136 34.0	88 22.0	237 59.3	48 12.0	39 9.8	49 12.3	20 5.0	48 12.0

問15-2 生活に関して受けた支援

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野…生活に関する支援

	件数	食事や生活リズム	子ども食堂へのつなび	子育てや育児に関する	その他	無回答
合計	136 100.0	28 20.6	98 72.1	58 42.6	8 5.9	5 3.7

問15-3 福祉に関して受けた支援

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野…福祉に関する支援

	件数	生活保護の手続き	生活困窮者自立支援制度の手続き	福祉関係機関へのつなぎ	福祉事務所など、その他	無回答
合計	88 100.0	21 23.9	20 22.7	48 54.5	13 14.8	8 9.1

問15-4 教育に関して受けた支援

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野…教育に関する支援

	件数	就学援助の手続き	学校との調整	無料塾へのつなぎ	その他	無回答
合計	237 100.0	101 42.6	73 30.8	144 60.8	18 7.6	3 1.3

問15-5 就労に関して受けた支援

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野…就労に関する支援

	件数	職業安定所へのつなぎ	就業訓練	その他	無回答
合計	48 100.0	30 62.5	14 29.2	7 14.6	4 8.3

問15-6 金銭に関して受けた支援

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野…金銭に関する支援

	件数	家計管理	借金の整理に関するアドバイス	養育費に関するアドバイス	その他	無回答
合計	39 100.0	17 43.6	8 20.5	14 35.9	8 20.5	3 7.7

問15-7 住まいに関して受けた支援

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野…住まいに関する支援

	件数	公営住宅の紹介	母子生活支援施設の紹介	その他	無回答
合計	49 100.0	21 42.9	20 40.8	9 18.4	4 8.2

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況

	件数	よく利用している	利用している	ほとんど利用していない	利用していない	近々利用できる施設は	無回答
合計	400 100.0	54 13.5	104 26.0	28 7.0	128 32.0	26 6.5	60 15.0

問17-① 同じ時刻に起きる

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	32 20.3	42 26.6	68 43.0	9 5.7	7 4.4

問17-② 朝食を食べる

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	56 35.4	28 17.7	64 40.5	5 3.2	5 3.2

問17-③ 健康状態

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	良い	どちらかといえば良	かわらない	どちらかといえば悪	無回答
合計	158 100.0	61 38.6	35 22.2	57 36.1	1 0.6	4 2.5

問17-④ 授業時間以外にも勉強する

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	40 25.3	64 40.5	41 25.9	9 5.7	4 2.5

問17-⑤ 授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気がでる

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	29 18.4	59 37.3	57 36.1	6 3.8	7 4.4

問17-⑥ お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	26 16.5	53 33.5	59 37.3	13 8.2	7 4.4

問17-⑦ 勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人がいる

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	70 44.3	53 33.5	26 16.5	1 0.6	8 5.1

問17-⑧ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	30 19.0	70 44.3	47 29.7	6 3.8	5 3.2

問17-⑨ 自分の将来の夢や目標を持っている

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	40 25.3	54 34.2	53 33.5	4 2.5	7 4.4

問17-⑩ 放課後どこで過ごしますか<以前>

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	自分の家	いおばあちゃんの家	ともだちの家	塾	習いごと	学校(クラブ活動など)	公園・広場	スーパーやショッピングモール	アコンビニエンスストア	ゲームセンター	図書館や公民館など公共の施設	地域の居場所	学童保育	その他	無回答
合計	158 100.0	90 57.0	15 9.5	15 9.5	7 4.4	5 3.2	24 15.2	7 4.4	2 1.3	-	2 1.3	5 3.2	7 4.4	8 5.1	5 3.2	21 13.3

問17-⑩ 放課後どこで過ごしますか<現在>

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	自分の家	いばあちゃん・おじいちゃんの家	ともだちの家	塾	習いごと	学校(クラブ活動など)	公園・広場	スーパードラッグモールの	アコンビニエンスストア	ゲームセンター	図書館や公民館など公共の施設	地域の居場所	学童保育	その他	無回答
合計	158 100.0	61 38.6	13 8.2	9 5.7	36 22.8	8 5.1	17 10.8	4 2.5	1 0.6	-	2 1.3	9 5.7	40 25.3	11 7.0	8 5.1	21 13.3

問18 今後支援員から受けてみたい分野のサポート

	件数	悩みごととの相談を聞いてもらうこと	生活に関する支援	福祉に関する支援	教育に関する支援	就労に関する支援	金銭に関する支援	住まいに関する支援	その他	無回答
合計	400 100.0	151 37.8	108 27.0	67 16.8	204 51.0	58 14.5	47 11.8	86 21.5	18 4.5	78 19.5

問19 支援員と会うようになって良かったと思うか

	件数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
合計	400 100.0	264 66.0	94 23.5	8 2.0	1 0.3	33 8.3

単純集計結果（支援員配布用（保護者用））

問1 お子さんからみた続柄

	件数	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	おじ、おばなど親戚	施設職員・ファミリーホーム・里親	その他の人	無回答
合計	400 100.0	343 85.8	29 7.3	14 3.5	3 0.8	-	1 0.3	10 2.5

問2-1 回答者の性別

	件数	男性	女性	無回答
合計	400 100.0	33 8.3	361 90.3	6 1.5

問2-2 回答者の年齢

	件数	30歳未満	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	無回答	平均	最小値	最大値	実数合計
合計	400 100.0	18 4.5	51 12.8	86 21.5	107 26.8	65 16.3	52 13.0	21 5.3	41.7	21	80	15802 100.0

問2-3 お子さんの人数

	件数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均	最小値	最大値	実数合計
合計	400 100.0	58 14.5	101 25.3	104 26.0	72 18.0	52 13.0	13 3.3	3.0	1	9	1150 100.0

問2-4 お子さんの年齢(合計)

	件数	有効回答	無回答	平均	最小値	最大値	実数合計
合計	3600 100.0	1131 31.4	2469 68.6	11.9	0	36	13508 100.0

問3 お子さんからみた同居家族の構成

	件数	両親ともにいる	ない 母親がいて父親がい	ない 父親がいて母親がい	母親がいる (両親がいないくて祖父)	両親がいないくて祖父	その他	無回答
合計	400 100.0	134 33.5	222 55.5	19 4.8	9 2.3		7 1.8	9 2.3

問4-① 児童手当

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	371 92.8	4 1.0	3 0.8	22 5.5

問4-② 就学援助費

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	253 63.3	22 5.5	56 14.0	69 17.3

問4-③ 児童扶養手当

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	190 47.5	19 4.8	88 22.0	103 25.8

問4-④ 障がいや難病の手当て

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	43 10.8	1 0.3	198 49.5	158 39.5

問4-⑤ 生活保護

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	80 20.0	10 2.5	171 42.8	139 34.8

問4-⑥ 公的年金（老齢年金）

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	11 2.8	1 0.3	215 53.8	173 43.3

問4-⑦ 公的年金（遺族年金、障がい年金）

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	36 9.0	-	205 51.3	159 39.8

問4-⑧ 雇用保険（失業保険）

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	18 4.5	37 9.3	179 44.8	166 41.5

問4-⑨ 養育費

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	22 5.5	7 1.8	208 52.0	163 40.8

問4-⑩ 親・親族からの仕送り

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	6 1.5	13 3.3	216 54.0	165 41.3

問4-⑪ 退職金

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	-	9 2.3	223 55.8	168 42.0

問4-⑫ その他、株式配当などの副収入

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	400 100.0	3 0.8	-	229 57.3	168 42.0

問5 2016年度の世帯収入の合計額

	件数	50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～250万円未満	250万円～300万円未満	300万円～350万円未満	350万円～400万円未満	400万円～450万円未満	450万円～500万円未満	500万円～550万円未満	550万円～600万円未満	600万円～650万円未満	650万円～700万円未満	700万円以上
合計	400 100.0	35 8.8	51 12.8	80 20.0	51 12.8	43 10.8	28 7.0	10 2.5	7 1.8	6 1.5	6 1.5	1 0.3	1 0.3	-	-	1 0.3

	未70万円未満	未70万円～75万円未満	未80万円～85万円未満	未85万円～90万円未満	未90万円～95万円未満	95万円～100万円未満	100万円～105万円未満	105万円～110万円未満	110万円～115万円未満	115万円～120万円未満	120万円～125万円未満	125万円～130万円未満	130万円～135万円未満	135万円～140万円未満	140万円～145万円未満	145万円～150万円未満	150万円以上
合計	-	1 0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	520,000円未満	020,000円～075,000円未満	3,000,000円以上	わからない	無回答
合計	-	-	-	30 7.5	49 12.3

問6 経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験

件数	医療機関に受診させたことができなかった	進路を変更した	本や絵本が買えなかった	おこづかいを渡すことができなかった	新しい服や靴を買うことができなかった	学校への遠足や修学旅行へ参加できなかった	習い事に通わすことができなかった	学校のクラブ活動に参加させられなかった	学習塾に通わすことができなかった	誕生日を祝えなかった	お年玉をあげることができなかった	学校行事などに参加することができなかった	子ども会・地域の行事等に参加することができなかった	家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかった	なにもあてはまらない	無回答	
合計	400 100.0	86 21.5	35 8.8	69 17.3	141 35.3	122 30.5	11 2.8	183 45.8	64 16.0	178 44.5	42 10.5	97 24.3	47 11.8	43 10.8	211 52.8	66 16.5	29 7.3

問7 生計を支えている者の現在の就業状況

件数	勤め(常勤・正規職員)	勤め(非正規職員など1か所に勤務)	勤め(非正規職員など2か所に勤務)	自営業・家業	その他の就業形態	仕事を探している	仕事をさがしていない	わからない	無回答	
合計	400 100.0	101 25.3	157 39.3	19 4.8	34 8.5	5 1.3	28 7.0	64 16.0	3 0.8	13 3.3

問7-1 仕事を探していない理由

問7 生計を支えている者の現在の就業状況…仕事をさがしていない

件数	家事や育児に専念	学生	おうちの人の介護や介助	病気療養	年金など	家賃収入、株式運用など	その他	無回答
合計	64 100.0	14 21.9	1 1.6	4 6.3	31 48.4	15 23.4	6 9.4	5 7.8

問8 支援員と会った回数

件数	おおむね10回以上	おおむね6〜9回	おおむね3〜5回	おおむね1〜2回	無回答	
合計	400 100.0	121 30.3	54 13.5	106 26.5	82 20.5	37 9.3

問9-1-① お子さんと会話をしますか<支援員に会う前>

件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	215 53.8	143 35.8	24 6.0	2 0.5	16 4.0	3.49 1339 100.0

問9-1-② お子さんと十分時間を過ごしていますか<支援員に会う前>

件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	120 30.0	183 45.8	68 17.0	8 2.0	21 5.3	3.09 1173 100.0

問9-1-③ お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	34 8.5	94 23.5	173 43.3	78 19.5	21 5.3	2.22	842 100.0

問9-1-④ お子さんと一緒に図書館に行きますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	21 5.3	45 11.3	101 25.3	213 53.3	20 5.0	1.67	634 100.0

問9-1-⑤ お子さんの将来の夢について話し合っていますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	94 23.5	177 44.3	81 20.3	27 6.8	21 5.3	2.89	1096 100.0

問9-1-⑥ お子さんを信頼していますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	200 50.0	153 38.3	22 5.5	5 1.3	20 5.0	3.44	1308 100.0

問9-2-① お子さんと会話をしますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	253 63.3	118 29.5	12 3.0	2 0.5	15 3.8	3.62	1392 100.0

問9-2-② お子さんと十分時間を過ごしていますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	142 35.5	174 43.5	61 15.3	4 1.0	19 4.8	3.19	1216 100.0

問9-2-③ お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	42 10.5	112 28.0	162 40.5	64 16.0	20 5.0	2.35	892 100.0

問9-2-④ お子さんと一緒に図書館に行きますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	29 7.3	47 11.8	98 24.5	208 52.0	18 4.5	1.73	661 100.0

問9-2-⑤ お子さんの将来の夢について話し合っていますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	126 31.5	171 42.8	69 17.3	15 3.8	19 4.8	3.07	1170 100.0

問9-2-⑥ お子さんを信頼していますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	226 56.5	140 35.0	13 3.3	4 1.0	17 4.3	3.54	1354 100.0

問10-1-① ついつい子どもにあたってしまう<支援員に会う前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	66 16.5	151 37.8	100 25.0	61 15.3	22 5.5	2.41	912 100.0

問10-1-② 子どもを育てるために我慢している<支援員に会う前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	86 21.5	134 33.5	83 20.8	73 18.3	24 6.0	2.38	895 100.0

問10-1-③ 自分一人で育てているという圧迫感<支援員に会う前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	84 21.0	106 26.5	74 18.5	113 28.3	23 5.8	2.57	970 100.0

問10-1-④ 子どもの世話にはあまり関心がない<支援員に会う前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	5 1.3	22 5.5	64 16.0	285 71.3	24 6.0	3.67	1381 100.0

問10-2-① ついつい子どもにあたってしまう<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	26 6.5	137 34.3	138 34.5	82 20.5	17 4.3	2.72	1042 100.0

問10-2-② 子どもを育てるために我慢している<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	62 15.5	117 29.3	107 26.8	96 24.0	18 4.5	2.62	1001 100.0

問10-2-③ 自分一人で育てているという圧迫感<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	48 12.0	95 23.8	99 24.8	141 35.3	17 4.3	2.87	1099 100.0

問10-2-④ 子どもの世話にはあまり関心がない<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	6 1.5	20 5.0	58 14.5	296 74.0	20 5.0	3.69	1404 100.0

問11-1-① 中学校までの教育<支援員に会う前>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	400 100.0	267 66.8	2 0.5	3 0.8	128 32.0

問11-1-② 高校までの教育<支援員に会う前>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	400 100.0	280 70.0	8 2.0	14 3.5	98 24.5

問11-1-③ 専門学校までの教育<支援員に会う前>

	件数	受けさせたい	要経済的に可能なが必	れ経済的に受けさせら	無回答
合計	400 100.0	134 33.5	15 3.8	135 33.8	116 29.0

問11-1-④ 大学までの教育<支援員に会う前>

	件数	受けさせたい	要経済的に可能なが必	れ経済的に受けさせら	無回答
合計	400 100.0	138 34.5	20 5.0	160 40.0	82 20.5

問11-2-① 中学校までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	要経済的に可能なが必	れ経済的に受けさせら	無回答
合計	400 100.0	272 68.0	3 0.8	-	125 31.3

問11-2-② 高校までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	要経済的に可能なが必	れ経済的に受けさせら	無回答
合計	400 100.0	285 71.3	7 1.8	7 1.8	101 25.3

問11-2-③ 専門学校までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	要経済的に可能なが必	れ経済的に受けさせら	無回答
合計	400 100.0	157 39.3	15 3.8	119 29.8	109 27.3

問 1 1 - 2 - ④ 大学までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	400 100.0	167 41.8	25 6.3	131 32.8	77 19.3

問 1 2 - 1 健康状態<支援員に会う前>

	件数	良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば悪い	悪い	無回答
合計	400 100.0	100 25.0	37 9.3	132 33.0	69 17.3	46 11.5	16 4.0

問 1 2 - 2 健康状態<現在>

	件数	良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば悪い	悪い	無回答
合計	400 100.0	104 26.0	46 11.5	141 35.3	69 17.3	23 5.8	17 4.3

問 1 3 - 1 - ① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	241 60.3	88 22.0	50 12.5	21 5.3

問 1 3 - 1 - ② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	233 58.3	81 20.3	62 15.5	24 6.0

問13-1-③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	218 54.5	109 27.3	48 12.0	25 6.3

問13-1-④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	226 56.5	86 21.5	65 16.3	23 5.8

問13-1-⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	155 38.8	113 28.3	103 25.8	29 7.3

問13-1-⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	176 44.0	177 44.3	25 6.3	22 5.5

問13-1-⑦ 留守を頼める人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	172 43.0	187 46.8	18 4.5	23 5.8

問13-2-① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	298 74.5	48 12.0	36 9.0	18 4.5

問13-2-② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	278 69.5	49 12.3	52 13.0	21 5.3

問13-2-③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	247 61.8	91 22.8	41 10.3	21 5.3

問13-2-④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	290 72.5	48 12.0	44 11.0	18 4.5

問13-2-⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	239 59.8	67 16.8	72 18.0	22 5.5

問13-2-⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	202 50.5	157 39.3	22 5.5	19 4.8

問13-2-⑦ 留守を頼める人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	400 100.0	183 45.8	174 43.5	22 5.5	21 5.3

問14-1-① 地域の行事に参加していますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	34 8.5	68 17.0	135 33.8	140 35.0	23 5.8	1.99	750 100.0

問14-1-② お子さんが通う学校の行事に参加していますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	119 29.8	161 40.3	78 19.5	22 5.5	20 5.0	2.99	1137 100.0

問14-1-③ 子どもを朝、学校に送り出していますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	208 52.0	107 26.8	38 9.5	22 5.5	25 6.3	3.34	1251 100.0

問14-2-① 地域の行事に参加していますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	41 10.3	81 20.3	125 31.3	132 33.0	21 5.3	2.08	789 100.0

問14-2-② お子さんが通う学校の行事に参加していますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	133 33.3	160 40.0	67 16.8	24 6.0	16 4.0	3.05	1170 100.0

問14-2-③ 子どもを朝、学校に送り出していますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答	平均	実数合計
合計	400 100.0	218 54.5	109 27.3	28 7.0	25 6.3	20 5.0	3.37	1280 100.0

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野

	件数	悩みごとの相談を聞く	生活に関する支援	福祉に関する支援	教育に関する支援	就労に関する支援	金銭に関する支援	住まいに関する支援	その他	無回答
合計	400 100.0	168 42.0	136 34.0	88 22.0	237 59.3	48 12.0	39 9.8	49 12.3	20 5.0	48 12.0

問15-2 生活に関して受けた支援

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野…生活に関する支援

	件数	食事や生活リズムに関する	子ども食堂へのつなび	子育てや育児に関する	その他	無回答
合計	136 100.0	28 20.6	98 72.1	58 42.6	8 5.9	5 3.7

問15-3 福祉に関して受けた支援

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野…福祉に関する支援

	件数	生活保護の手続き	生活困窮者自立支援制度の手続き	福祉関係機関へのつなぎ	福祉事務所など、福祉関係機関へのつなぎ	その他	無回答
合計	88 100.0	21 23.9	20 22.7	48 54.5	13 14.8	8 9.1	

問15-4 教育に関して受けた支援

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野…教育に関する支援

	件数	就学援助の手続き	学校との調整	無料塾へのつなぎ	その他	無回答
合計	237 100.0	101 42.6	73 30.8	144 60.8	18 7.6	3 1.3

問15-5 就労に関して受けた支援

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野…就労に関する支援

	件数	職業安定所へのつなぎ	就業訓練	その他	無回答
合計	48 100.0	30 62.5	14 29.2	7 14.6	4 8.3

問15-6 金銭に関して受けた支援

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野…金銭に関する支援

	件数	家計管理	借金の整理に関する	養育費に関するアド	その他	無回答
合計	39 100.0	17 43.6	8 20.5	14 35.9	8 20.5	3 7.7

問15-7 住まいに関して受けた支援

問15-1 支援員からのサポートで役に立った分野…住まいに関する支援

	件数	公営住宅の紹介	母子生活支援施設の紹介	その他	無回答
合計	49 100.0	21 42.9	20 40.8	9 18.4	4 8.2

問 1 6 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況

	件数	よく利用している	利用している	ほとんど利用していない	利用していない	近く利用できる施設はない	そのようなサービスはない	無回答
合計	400 100.0	54 13.5	104 26.0	28 7.0	128 32.0	26 6.5	60 15.0	

問 1 7-① 同じ時刻に起きる

問 1 6 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	32 20.3	42 26.6	68 43.0	9 5.7	7 4.4

問 1 7-② 朝食を食べる

問 1 6 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	56 35.4	28 17.7	64 40.5	5 3.2	5 3.2

問 1 7-③ 健康状態

問 1 6 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	良い	どちらかといえば良い	かわらない	どちらかといえば悪い	無回答
合計	158 100.0	61 38.6	35 22.2	57 36.1	1 0.6	4 2.5

問 1 7-④ 授業時間以外にも勉強する

問 1 6 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	40 25.3	64 40.5	41 25.9	9 5.7	4 2.5

問17-⑤ 授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気がでる

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	29 18.4	59 37.3	57 36.1	6 3.8	7 4.4

問17-⑥ お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	26 16.5	53 33.5	59 37.3	13 8.2	7 4.4

問17-⑦ 勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人がいる

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	70 44.3	53 33.5	26 16.5	1 0.6	8 5.1

問17-⑧ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	30 19.0	70 44.3	47 29.7	6 3.8	5 3.2

問17-⑨ 自分の将来の夢や目標を持っている

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	158 100.0	40 25.3	54 34.2	53 33.5	4 2.5	7 4.4

問17-⑩ 放課後どこで過ごしますか<以前>

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	自分の家	いおばあちゃんの家	ともだちの家	塾	習いごと	学校(クラブ活動など)	公園・広場	スーパーやショッピングモール	アコンビニエンスストア	ゲームセンター	図書館や公民館など公共の施設	地域の居場所	学童保育	その他	無回答
合計	158 100.0	90 57.0	15 9.5	15 9.5	7 4.4	5 3.2	24 15.2	7 4.4	2 1.3	-	2 1.3	5 3.2	7 4.4	8 5.1	5 3.2	21 13.3

問17-⑩ 放課後どこで過ごしますか<現在>

問16 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	自分の家	いばあちゃん・おじいちゃんの家	ともだちの家	塾	習いごと	学校(クラブ活動など)	公園・広場	スーパードラッグモールの	アコンビニエンスストア	ゲームセンター	図書館や公民館など公共の施設	地域の居場所	学童保育	その他	無回答
合計	158 100.0	61 38.6	13 8.2	9 5.7	36 22.8	8 5.1	17 10.8	4 2.5	1 0.6	-	2 1.3	9 5.7	40 25.3	11 7.0	8 5.1	21 13.3

問18 今後支援員から受けたい分野のサポート

	件数	悩みごととの相談を聞	生活に関する支援	福祉に関する支援	教育に関する支援	就労に関する支援	金銭に関する支援	住まいに関する支援	その他	無回答
合計	400 100.0	151 37.8	108 27.0	67 16.8	204 51.0	58 14.5	47 11.8	86 21.5	18 4.5	78 19.5

問19 支援員と会うようになって良かったと思うか

	件数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
合計	400 100.0	264 66.0	94 23.5	8 2.0	1 0.3	33 8.3

子ども・保護者のみなさまに本調査にご協力いただきました。ご多忙の中快くお引き受けくださりご協力くださいましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

沖縄子供の貧困緊急対策事業
アンケート調査報告書

平成 30 年 3 月

公立大学法人 大阪府立大学 山野則子研究室